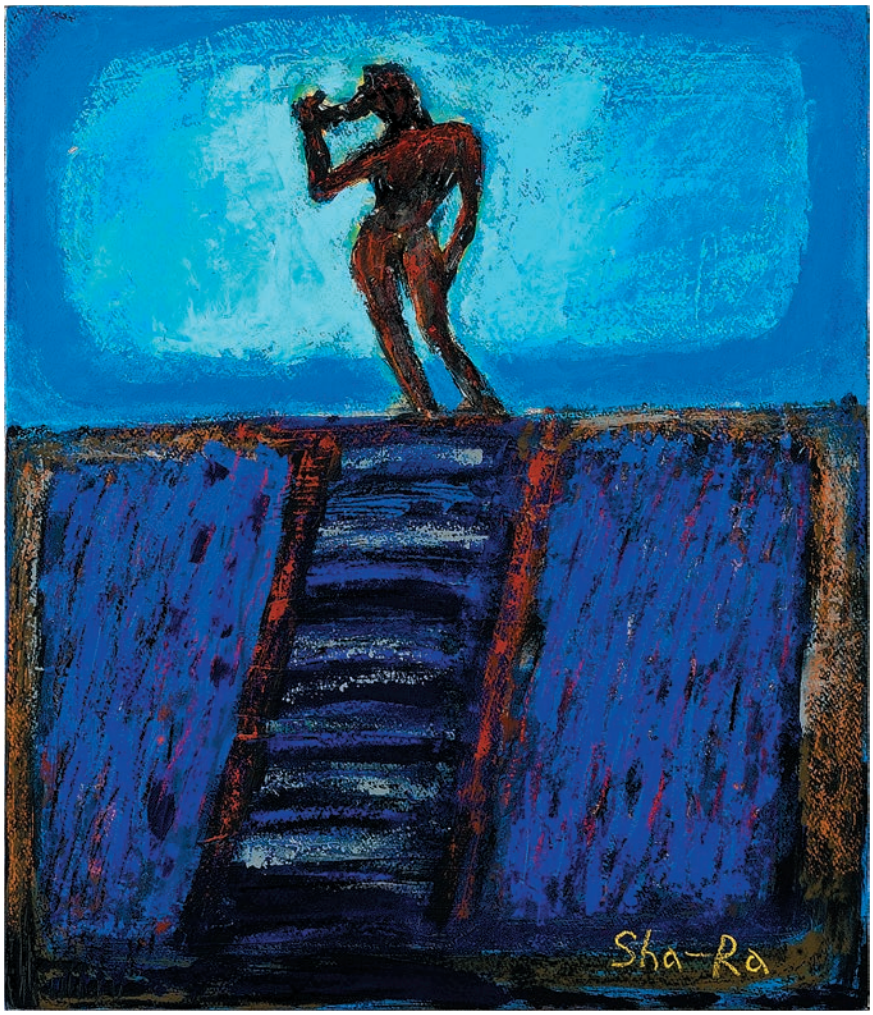
文部科学省認可通信教育

# レポート課題集

## 心理・教職編




2013

東北福祉大学

# レポート課題集
## 2013

### 心理・教職編

東北福祉大学 通信教育部

# 目　次

## 福祉心理学科関連専門科目


050103　福祉心理学 …… 9
050501　心理学概論 …… 12
050502　生涯発達心理学 …… 16
050503　臨床心理学 …… 21
050514　社会心理学 …… 25
050505　心理学実験Ⅰ …… 29
050506　心理学実験Ⅱ …… 34
050508　心理学研究法Ⅰ …… 38
050509　心理学研究法Ⅱ …… 48
050504　環境心理学 …… 53
050510　認知心理学 …… 58
050511　人格心理学 …… 61
050512　学習心理学 …… 68
050513　教育心理学 …… 71
050515　家族心理学 …… 75
050516　児童青年心理学 …… 77
050517　老年心理学 …… 81
050518　障害児の心理 …… 85
050519　心理アセスメント …… 89
050520　心理療法 …… 92
050521　心理療法各論 …… 99
050680　産業カウンセリングⅠ …… 102
050681　産業カウンセリングⅡ …… 103
050682　カウンセリングⅠ …… 105
050683　カウンセリングⅡ …… 106
050685　カウンセリング演習Ⅰ …… 107
050686　カウンセリング演習Ⅱ …… 108
050687　産業心理学 …… 110
050688　組織心理学 …… 111
050689　人間関係論 …… 112
050690　人的資源論 …… 113
050691　労働法 …… 115
050692　職場のメンタルヘルス …… 117
050146　統計情報を見る眼 …… 119
050991　卒業研究 …… 123


## 高等学校福祉科教諭免許状関連科目


050301　教育原理 …… 134
050702　教職論 …… 137
050703　高等学校教育課程の意義と
　　編成 …… 139
050704　福祉科の指導法 …… 142
050705　特別活動の指導法 …… 146
050706　教育方法論
　　（視聴覚教育等を含む） …… 148
050707　生徒指導論
　　（進路指導を含む） …… 149
050708　カウンセリング …… 151
050709　総合演習 …… 155

050701 ～22 介護実習事前事後指導 …… 157
050741 23～ 介護実習事前事後指導 …… 164
050193 介護技術 …… 165
050903 介護実習 …… 168
050710 教育実習の事前事後指導 …… 174
050904 教育実習 …… 178
050913 教職実践演習（高） …… 184
050332 情報処理Ⅰ …… 186

**特別支援学校教諭免許状関連科目**

050718 障害者教育総論 …… 189
050721 知的障害者の心理 …… 191
050722 知的障害者の生理・病理 …… 194
050723 肢体不自由者の心理，生理・病理 …… 197
050724 病弱者の心理，生理・病理 …… 202
050725 聴覚障害者の心理 …… 207
050726 聴覚障害者の生理・病理 …… 210
050727 知的障害教育 …… 212
050719 肢体不自由教育 …… 215
050729 病弱教育 …… 219
050730 聴覚障害教育 …… 224
050731 病弱教育総論 …… 227
050732 重複障害教育総論 …… 230
050733 発達障害者の心理 …… 233
050734 発達障害教育総論 …… 235
050735 自閉症教育総論 …… 237
050736 コミュニケーション障害教育 …… 239
050737 視覚障害教育総論 …… 243
050740 障害者教育実習の事前・事後指導 …… 245
050906 障害者教育実習 …… 251
050771 特別支援教育支援員概論 …… 258

**レクリエーション・インストラクター関連科目**

050280 レクリエーション概論 …… 260
050281 レクリエーション実技 …… 262
050282 レクリエーション事業 …… 264

注

1）特講科目は，開講年度の『試験・スクーリング　情報ブック』または『With』をご覧ください。
2）「障害児の心理」を除いて，旧養護学校教諭免許状に関する科目（「障害児教育Ⅰ」など）は，『レポート課題集2011』またはホームページをご覧ください。
3）「社会教育学科」の方のみが卒業要件単位になる科目（生涯学習概論・教育社会学など）は掲載しておりません。『レポート課題集2007』をご覧ください。

# 科目別索引

〜20 平成21年度以降入学者履修不可
21〜 平成20年度以前入学者履修不可
〜22 平成23年度以降入学者履修不可
23〜 平成22年度以前入学者履修不可
〜23 平成24年度以降入学者履修不可
24〜 平成23年度以前入学者履修不可

社福 → 別冊『レポート課題集2013（社会福祉編）』を参照してください。
2007年版 →『レポート課題集2007』…… 2011年版 →『レポート課題集2011』を参照してください。
情報ブック → 開講年度の『試験・スクーリング　情報ブック』でご案内予定です。
25年度開講 → 25年度の『試験・スクーリング　情報ブック』でご案内予定です。


## ア　行

050079 21〜 医学一般 …… 社福
050106 〜20 医学一般 …… 社福
050113 NPO論 …… 社福
050322 女の民俗 …… 2007年版

## カ　行

050065 21〜 介護概論 …… 社福
050120 〜20 介護概論 …… 社福
050193 21〜 介護技術 …… 165
050903 介護実習 …… 168
050701 〜22 介護実習事前事後指導 …… 157
050741 23〜 介護実習事前事後指導 …… 164
050708 カウンセリング（教職免許状取得希望者向け） …… 151
050682 カウンセリングⅠ …… 105
050683 カウンセリングⅡ …… 106
050684 カウンセリングⅢ …… 2010年版
050685 カウンセリング演習Ⅰ …… 107
050686 カウンセリング演習Ⅱ …… 108
050020 科学的な見方・考え方 …… 社福
050512 学習心理学 …… 68
050010 数の世界 …… 2004年版
050515 家族心理学 …… 75
050144 家族法 …… 社福
050504 環境心理学 …… 53
050018 観光と文化 …… 社福
050012 基礎英作文 …… 2008年版
050145 基礎演習 …… 社福
050301 教育原理 …… 134
050306 教育史 …… 2007年版
050904 教育実習 …… 178
050710 教育実習の事前事後指導 …… 174
050304 教育社会学 …… 2007年版
050513 教育心理学 …… 71
050706 教育方法論（視聴覚教育等を含む） …… 148
050913 教職実践演習（高） …… 184
050702 教職論 …… 137
050124 ケアマネジメント論 …… 社福
050734 (軽度)発達障害教育総論 …… 235
050733 (軽度)発達障害者の心理 …… 233
050016 健康科学 …… 社福
050308 現代社会と社会教育Ⅰ …… 2007年版
050309 現代社会と社会教育Ⅱ …… 2007年版
050006 現代社会を見る眼 …… 2008年版
050323 考古学概論 …… 2007年版
050110 公衆衛生学 …… 社福
050069 21〜 更生保護制度論 …… 社福
050108 公的扶助論 …… 社福
050703 高等学校教育課程の意義と編成 …… 139
050064 21〜 高齢者福祉論 …… 社福
050117 〜20 高齢者福祉論 …… 社福
050115 国際福祉論 …… 社福
050019 子どもと社会 …… 2008年版
050011 コミュニケーション英語 …… 社福
050736 コミュニケーション障害教育 …… 239
050326 古文書学 …… 2007年版

## サ　行

050680 産業カウンセリングⅠ …… 102
050681 産業カウンセリングⅡ …… 103
050687 産業心理学 …… 110
050737 視覚障害教育総論 …… 243
050719 (旧050728) 肢体不自由教育 …… 215
050723 肢体不自由者の心理、生理・病理 …… 197
050066 21〜 児童・家庭福祉論 …… 社福
050516 児童青年心理学 …… 77

050116 ～20 児童福祉論 …… 社福
050735 自閉症教育総論 …… 237
050312~5 社会教育演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ …… 2007年版
050305 社会教育行政論 …… 2007年版
050307 社会教育計画 …… 2007年版
050303 社会教育史 …… 2007年版
050514 社会心理学 …… 25
050073 21～ 社会調査の基礎 …… 社福
050114 社会病理学 …… 社福
050130 ～20 社会福祉援助技術演習Ⅰ …… 社福
050131 ～20 社会福祉援助技術演習Ⅱ …… 社福
050082 21～ 社会福祉援助技術演習A …… 社福
050083 21～ 社会福祉援助技術演習B …… 社福
050084 21～ 社会福祉援助技術演習C …… 社福
050901 ～20 社会福祉援助技術現場実習 …… 社福
050132 ～20 社会福祉援助技術現場実習指導 …… 社福
050907 21～ 社会福祉援助技術実習 …… 社福
050190 21～ 社会福祉援助技術実習指導A …… 社福
050191 21～ 社会福祉援助技術実習指導B …… 社福
050070 21～ 社会福祉援助技術総論 …… 社福
050071 21～ 社会福祉援助技術論A …… 社福
050072 21～ 社会福祉援助技術論B …… 社福
050126 ～20 社会福祉援助技術論Ⅰ …… 社福
050127 ～20 社会福祉援助技術論Ⅱ …… 社福
050128 ～20 社会福祉援助技術論Ⅲ …… 社福
050129 ～20 社会福祉援助技術論Ⅳ …… 社福
050104 社会福祉原論（職業指導を含む）…… 社福
050111 社会福祉法制 …… 社福
050112 社会保険論 …… 2008年版
050107 社会保障論 …… 社福
050076 就労支援サービス論 …… 社福
050302 生涯学習概論 …… 2007年版
050711 障害児教育Ⅰ …… 2011年版
050712 障害児教育Ⅱ …… 2011年版
050905 障害児教育実習 …… 2011年版
050716 障害児教育実習の事前・事後指導 …… 2011年版
050714 障害児の教育課程 …… 2011年版
050715 障害児の指導法 …… 2011年版
050518 障害児の心理 …… 85
050713 障害児の生理・病理 …… 2011年版
050906 障害者教育実習 …… 251
050718 (旧050717・720) 障害者教育総論 …… 189
050740 (旧050738・739) 障害者教育実習の事前・事後指導 …… 245
050118 障害者福祉論 …… 社福
050311 生涯スポーツ論 …… 2007年版
050195 21～ 障害の理解 …… 社福
050502 生涯発達心理学 …… 16
050013 情報英語 …… 2007年版
050332 情報処理Ⅰ …… 186
050333 情報処理Ⅱ …… 2007年版
050334 情報処理Ⅲ …… 2007年版
050331 情報処理論 …… 2007年版
050692 職場のメンタルヘルス …… 117
050327 史料講読 …… 2007年版
050511 人格心理学 …… 61
050690 人的資源論 …… 113
050519 心理アセスメント …… 89
050501 心理学概論 …… 12
050508 心理学研究法Ⅰ …… 38
050509 心理学研究法Ⅱ …… 48
050505 心理学実験Ⅰ …… 29
050506 心理学実験Ⅱ …… 34
050507 心理学実験Ⅲ …… 2008年版
050520 心理療法 …… 92
050521 心理療法各論 …… 99
050015 スポーツ（バーンゴルフ）…… 社福
050014 スポーツ（バレーボール）…… 社福
050194 21～ 生活行動と人体 …… 社福
050140 精神医学 …… 社福
050139 精神科リハビリテーション学 …… 社福
050151 24～ 精神障害者の生活支援システム …… 社福
050136 精神保健学 …… 社福
050141 ～23 精神保健福祉援助演習 …… 社福
050157 24～ 精神保健福祉援助演習A …… 社福
050158 24～ 精神保健福祉援助演習B …… 25年度開講
050159 24～ 精神保健福祉援助演習C …… 26年度開講
050138・050148 ～23 精神保健福祉援助技術各論 …… 社福
050156 24～ 精神保健福祉援助技術各論 …… 社福
050153 24～ 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ …… 社福

050154 24〜 精神保健福祉援助技術総論Ⅱ …… 社福
050137 〜23 精神保健福祉援助技術総論 …… 社福
050902 〜23 精神保健福祉援助実習 …… 社福
050908 24〜 精神保健福祉援助実習A …… 25年度開講
050909 24〜 精神保健福祉援助実習B …… 26年度開講
050150 24〜 精神保健福祉のサービス …… 社福
050152 24〜 精神保健福祉の制度 …… 社福
050155 24〜 精神保健福祉の理論 …… 社福
050133 〜23 精神保健福祉論Ⅰ …… 社福
050134 〜23 精神保健福祉論Ⅱ …… 社福
050135 〜23 精神保健福祉論Ⅲ …… 社福
050707 生徒指導論（進路指導を含む） …… 149
050188 24〜 精神保健福祉援助実習指導A …… 25年度開講
050189 24〜 精神保健福祉援助実習指導B …… 26年度開講
050005 生命の科学 …… 社福
050330 西洋美術史 …… 2007年版
050324 先史考古学 …… 2007年版
050001 禅のこころ …… 社福
050709 総合演習 …… 155
050688 組織心理学 …… 111
050991 卒業研究 …… 123


## タ　行


050105 地域福祉論 …… 社福
050727 知的障害教育 …… 212
050721 知的障害者の心理 …… 191
050722 知的障害者の生理・病理 …… 194
050119 知的障害者福祉論 …… 社福
050730 聴覚障害教育 …… 224
050725 聴覚障害者の心理 …… 207
050726 聴覚障害者の生理・病理 …… 210
050732 重複障害教育総論 …… 230
050146 統計情報を見る眼 …… 119
050321 東北の山岳信仰 …… 2007年版
050705 特別活動の指導法 …… 146
050771 特別支援教育支援員概論 …… 258
050316 図書館概論 …… 2007年版
050201〜・050601〜
特講科目 …… 情報ブック


## ナ　行


050329 日本美術史 …… 2007年版
050328 日本文化史 …… 2007年版
050689 人間関係論 …… 112
050017 人間と教育 …… 社福
050004 人間と宗教 …… 社福
050510 認知心理学 …… 58


## ハ　行


050317 博物館概論 …… 2007年版
050734 発達障害教育総論 …… 235
050733 発達障害者の心理 …… 233
050211 発達障害者の地域支援 …… 社福
050729 病弱教育 …… 219
050731 病弱教育総論 …… 227
050724 病弱者の心理、生理・病理 …… 202
050704 福祉科の指導法 …… 142
050121 福祉機器論 …… 社福
050080 21〜 福祉行財政と福祉計画 …… 社福
050074 21〜 福祉経営論 …… 社福
050123 〜20 福祉計画法 …… 社福
050125 〜20 福祉施設管理論 …… 社福
050109 福祉思想論 …… 社福
050101 福祉社会学 …… 社福
050103 福祉心理学 …… 9
050003 福祉と経済 …… 社福
050021 福祉と生活 …… 社福
050063 21〜 福祉法学 …… 社福
050102 〜20 福祉法学 …… 社福
050142 福祉ボランティア活動 …… 社福
050143 福祉リスクマネジメント …… 社福
050008 文学入門 …… 社福
050318 文化財概論 …… 2007年版
050319 文化財の保護と活用 …… 2007年版
050007 法の基礎（日本国憲法を含む） …… 社福
050075 21〜 保健医療サービス論 …… 社福
050002 ボランティア論 …… 社福


## マ・ラ　行


050320 民俗学概論 …… 2007年版
050122 リハビリテーション論 …… 社福
050503 臨床心理学 …… 21
050325 歴史考古学 …… 2007年版
050009 歴史を見る眼 …… 社福
050280 レクリエーション概論 …… 260
050282 レクリエーション事業 …… 264
050281 レクリエーション実技 …… 262
050310 レクリエーション論 …… 2007年版
050691 労働法 …… 115
050517 老年心理学 …… 81

# 福祉心理学科関連専門科目

「特講・福祉心理学」の科目内容は，開講年度の『試験・スクーリング　情報ブック』をご覧ください。

## 福祉心理学関連科目のスクーリング受講者専用別レポート一覧

| 科目コード | 科　目　名 | 別レポート該当単位 |
|---|---|---|
| 050103 | 福祉心理学 | 2単位め |
| 050501 | 心理学概論 | 3・4単位め |
| 050502 | 生涯発達心理学 | 2・4単位め |
| 050503 | 臨床心理学 | 1・2単位め |
| 050504 | 環境心理学 | 2単位め |
| 050510 | 認知心理学 | 1・2単位め |
| 050511 | 人格心理学 | 1・2単位め |
| 050512 | 学習心理学 | 1単位め |
| 050513 | 教育心理学 | 1単位め |
| 050514 | 社会心理学 | 2単位め |
| 050515 | 家族心理学 | 2単位め |
| 050516 | 児童青年心理学 | 2・4単位め |
| 050517 | 老年心理学 | 3・4単位め |
| 050518 | 障害児の心理 | 1・4単位め |
| 050519 | 心理アセスメント | 2単位め |
| 050520 | 心理療法 | 3単位め |

## ● 福祉心理学科・卒業要件についての2012年４月以降の変更点

⑴ 心理学実験Ⅰ・心理学実験Ⅱは，どちらか１科目２単位を単位修得すれば卒業が可能です（専門選択必修科目）。

⑵ 心理学研究法Ⅱは，必修科目ではなくなり，専門選択科目Ａ群の科目となりました。

⑶ 上記にかかわらず，認定心理士取得希望者は「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」の４科目とも必修です。

## ●福祉心理学科専門必修科目，専門選択必修科目，専門選択科目Ａ群　科目表（配当学年は社会福祉学科学生のもの）

| 授業科目の名称 | | 単位数 | スクーリング単位 | 社会福祉学科配当学年 | 掲載ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| （専門必修科目）<br>1 2編 3編 18単位必修 | | | | | |
| 心理学概論 | | 4 | 2 | 1年 | 12 |
| 福祉心理学 | | 2 | 1 | 1年 | 9 |
| 生涯発達心理学 | | 4 | 2 | 2年 | 16 |
| 臨床心理学 | | 4 | 2 | 2年 | 21 |
| 18〜 | 社会心理学<br>平成18年度以降入学者必修科目 | 2 | 1 | 1年 | 25 |
| 〜17 | 環境心理学<br>平成14〜17年度入学者必修科目 | 2 | 1 | | 53 |
| 心理学研究法Ⅰ | | 2 | 1 | | 38 |
| （専門選択必修科目＝１科目２単位以上選択）選択必修科目「実験Ⅰ・Ⅱ」を２科目４単位とも単位修得した場合は２単位分をＡ群の単位数に含めます | | | | | |
| 心理学実験Ⅰ | | 2 | 1 | | 29 |
| 心理学実験Ⅱ | | 2 | 1 | | 34 |
| （専門選択科目Ａ群）<br>1 2編 3編 Ａ群より34単位以上を選択履修 | | | | | |
| 心理学研究法Ⅱ | | 2 | 1 | | 48 |
| 認知心理学 | | 4 | 2 | | 58 |
| 人格心理学 | | 4 | 2 | | 61 |
| 学習心理学 | | 2 | | | 68 |
| 教育心理学 | | 2 | 1 | 2年 | 71 |
| 18〜 | 環境心理学<br>平成18年度以降入学者選択科目Ａ群 | 2 | 1 | | 53 |
| 〜17 | 社会心理学<br>平成14〜17年度入学者選択科目Ａ群 | 2 | 1 | 1年 | 25 |
| 家族心理学 | | 2 | 1 | | 75 |

| 授業科目の名称 | 単位数 | スクーリング単位 | 社会福祉学科配当学年 | 掲載ページ |
|---|---|---|---|---|
| 児童青年心理学 | 4 | 2 | | 77 |
| 老年心理学 | 4 | 2 | 3年 | 81 |
| 障害児の心理 | 4 | 2 | 3年 | 85 |
| 心理アセスメント | 2 | 1 | | 89 |
| 心理療法 | 4 | 2 | | 92 |
| 心理療法各論 | 1 | | | 99 |
| 産業カウンセリングⅠ | 1 | 1 | 2年 | 102 |
| 産業カウンセリングⅡ | 1 | 1 | 2年 | 103 |
| カウンセリングⅠ | 1 | 1 | 2年 | 105 |
| カウンセリングⅡ | 1 | 1 | 2年 | 106 |
| カウンセリング演習Ⅰ | 1 | 1 | | 107 |
| カウンセリング演習Ⅱ | 1 | 1 | | 108 |
| （産業心理学）<br>今後の開講予定未定 | 1 | 1 | 2年 | 110 |
| 組織心理学 | 1 | 1 | 2年 | 111 |
| 人間関係論 | 1 | 1 | 2年 | 112 |
| 特講・福祉心理学１〜 | 1 | 1 | | 情報ブック |
| 卒業研究 | 8 | | 4年 | 123– |
| （専門選択科目Ｂ群）<br>1 52単位以上を選択履修（１年次入学者は，共通基礎科目，専門選択科目Ａ群で規定の単位数以上修得した単位はＢ群の単位数に含めることが可能です。）<br>2編 40単位以上　3編 8単位以上（２・３年次編入学者は，専門選択科目Ａ群で規定の単位数以上修得した単位はＢ群の単位数に含めることが可能です。） | | | | 社会福祉主事任用資格を取得希望の２・３年次編入学者は『学習の手引き』３章のご注意をお読みください。 |
| Ｂ群の科目名・省略 | | | | |

# 福祉心理学

科目コード●050103

担当教員●渡部　純夫

2単位 | R or SR | 1年以上

社会福祉 必修/選択（20年度以前入学者 / 21年度以降入学者）

社会教育 選択B

福祉心理 必　修

## 科目の内容

現代の日本社会は，まさに「ストレス社会」であるといえます。そのストレス社会を生き延びるのはそう簡単なことではありません。現に複雑・多様化する日本社会にあって，「心」の悩みを抱えている人が急速に増加してきていることがよい例でしょう。

福祉心理学は，社会的に弱い立場にいる人々の心の問題を受容し，理解しながらどのような関わりができるかを探る，「福祉」と「心理」の融合を目指した新しい学問です。実際的には，福祉の世界に「心理学」の知見を活用し，人々の「生活の質」（QOL）を向上させ，幸せの追求を援助するための方法について学んでいきます。

## 教 科 書

小松紘・木村進編著『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』八千代出版，2009年

**（平成21年度以前履修登録者）**2010年４月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書　今城周造編著『福祉の時代の心理学』（ぎょうせい）などにもとづいて，下記の課題に取り組むことは可能です。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 福祉心理学の枠組みのひとつである人間理解が，「心理学的視点」からはどのように行われるかについてまとめ，考察しなさい。 |
| 2単位め | 人間が生きていく過程において直面すると思われる問題を，「教育領域」「福祉領域」「医療領域」「司法領域」「障がい領域」「思春期領域」「老年期領域」から，自分の関心にそってひとつ選択し，どのように福祉心理学を実践にいかし，支援等に役立てることができるかについて考察しなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・Web解答可** |

**（平成21年度以前履修登録者）**2010年４月より，２単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題は2011年９月で受付を終了しました。

## アドバイス

「福祉心理学」では，深い人間理解が必要になります。人間は発達を通していろいろなものを身に付け，自己形成の課題に取り組んでいきます。課題に直面し不適応を起こすこともあります。そのような人々に対して援助を行うにあたっては，一般的な発達においての特徴と課題をしっかりと押さえておくことが必要になります。しかし，人間には個性や個人差があります。個としての見方やとらえ方も同時に必要になります。

この「福祉心理学」では，まず心理学の視点から人間理解を深めていくことを行います。その上で，何らかの援助を必要としている人に対して，どのような援助方法があるのか，ひとりひとりのニーズにどのように応えていけばよいかについて，理念と実践から考えていくことにしたいと思います。

「福祉心理学」を考えるとき，「社会福祉」と「心理学」の二面性の問題と向き合うことになりますが，ここでは「心理学」を「福祉」にどう活用するかという観点から考えていただきたいと思います。

**1単位め 解説**

⑴　テキスト『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』の第 1 部「心理学の歴史から未来を考える」から第 3 部「心の成り立ちと個性の形成を考える」までをよく読み，人間の心理的活動がどうなっているかを理解するための努力をしてください。

⑵　次に，参考図書にあたり人間理解のための方法や視点の共通点と違いについてまとめ，考えを膨らませてください。あなた自身が今まで行ってきた理解の仕方についてもふりかえりを行ってください。

⑶　それらを，分析・考察しながら自分なりにまとめていくことにより，深い人間理解にもとづいたレポートができあがると思います。

⑷　人間のすべての行動面に「心理学」は関わりをもちますから，日々の生活の中で気になる人間の行動をとりあげ，「心理学」とつないで学んでみるとよいと思います。

**2単位め 解説**

⑴　テキスト『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』の第 4 部「ともに生きるための心理学の役割」と第 5 部「『人生』を生きていくということ」をよく読んで，自分が問題意識を感じたり，興味・関心を引く領域がどれかを見つけてください。

⑵　次に，その領域に関する情報を文献等で集めてください。施設見学やボランティア活動などで，現場に触れてみる機会があれば体験や経験を通して考えることができてよいと思います。どうしてもそれが無理であれば，テレビや映画，小説など参考になるも

のを見つけるようにしてみてください。その時感じた気持ちを大事にしながら，その事例をもとに分析するとよいと思います。

⑶　1単位めで考えた人間理解を基に，実践の場で何ができるか・どのようなアプローチが考えられるかを検討しまとめてください。福祉心理学の可能性と限界を実践に照らしながら理解できるレポートに仕上げてください。

⑷　実践の場でどんな関わりをしていけばよいかという視点でまとめるとよいと思います。

## 参考図書


佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行編著『福祉心理学総説』田研出版，2011年

今城周造編著『福祉の時代の心理学』　ぎょうせい，2004年

岡田明著　『福祉心理学入門』　学芸図書，1995年

水島恵一編著　『人間科学入門』　有斐閣双書，1976年

村上陽一郎著　『生と死への眼差し』　青土社，1993年

藤森和美編　『子どものトラウマと心のケア』　誠信書房，1999年

岩城宏之著　『いじめの風景』　朝日新聞社，1996年

村瀬嘉代子著　『子どもと大人の心の掛け橋』　金剛出版，1995年

佐藤泰正・山根律子編著　『福祉心理学』　学芸図書，1998年（改訂版，2005年）

宮原和子・宮原英種著　『福祉心理学を愉しむ』　ナカニシヤ出版，2001年（第2版，2006年）

白樫三四郎編著　『現代心理学への招待』　ミネルヴァ書房，1995年

小林重雄監修　『福祉臨床心理学』　コレール社，2002年

安藤治著　『福祉心理学のこころみ』　ミネルヴァ書房，2003年

# 心理学概論

科目コード●050501

担 当 教 員● 佐藤　俊人

4 単位 | R or SR | 1 年以上

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択A | 必　修 |

## 科目の内容

生命体が目指すのは「生きる」ことです。ところが「うまく」生きるために，進化の過程で「心」という働きができ，心の働きはしだいに精巧になり，ものの世界とは別に心の世界をつくりました。その心の働きと，心の内容についてのまとまった知識が心理学です。

心理学の概要を，まず心理学の問題史と研究方法の特徴を通して学び，そのあと，心は発達的にどのように形成されるのか，人が環境についての情報を入手するための心の働き，欲求や願望の充足を求めるときの心の動き方，経験を蓄積し利用する心の仕組み，困難な場面に直面したときの心の動き方と心の使い方，一人ひとりの心の働きの個性的特徴とその捉え方などについて学んでほしいと思います。

心の「働き」とは，たとえば「見る」「考える」などで，心の「内容」とは，その結果できあがったイメージや知識などのことです。

## 教 科 書

金城辰夫監修，藤岡新治・山上精次編『図説 現代心理学入門（三訂版）』培風館，2006年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 心の世界は，意識される世界のほかに意識されない世界を含むことを具体的にわかりやすく説明しなさい。 |
| 2 単位め | 動物の心と人間の心の違いについて考えてみなさい。 |
| 3 単位め | 知覚とは，刺激を受動的に感受することではなくて，人が情報を能動的に「つかみとる」働きであることを，具体的な事実をあげて，わかりやすく説明しなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・Web解答可** |

| 4 単位め | 家族の要因が子どもの人格形成に及ぼす影響について，１～２のトピックに焦点を絞って研究してみなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・Web解答可** |
|---|---|

## アドバイス

**1単位め 解説**

心理学は「心」の学ですが，初期の頃は，「心」イコール「意識」であると考えられました。意識されている世界が「心の世界」だという考えです。ヴントの考え方がその典型でしたが，やがて，心の世界は意識される世界だけではないという認識に到達しました。そのきっかけとなったのが，フロイトの精神分析です。精神分析は，もともとヒステリーなどの神経症の治療法ですが，それをもとにフロイトは壮大な心の理論を生み出しました。その基本となる考え方は，心の動きは意識下の動機や無意識の記憶に左右されるということです。これは，人間の心の見方についての大転換でした。自分の心は自分が誰よりもよく知っているという思い込みが，真っ向から否定されることになりました。思えば，我々が自分のことを意識するのは，物事が思い通りに進まなかったりしたときで，順調に進んでいるときは意識する必要がありません。心が意識されない世界を含むことは間違いないでしょう。

特に，心を「働き」と「内容」に分けると，「働き」は意識されないのが普通です。たとえば，目の前に張ってあるロープの高さをまたいでとび越せるか，下をくぐるかの判断をどのようにして決めているかは意識できません。要は，「よりよく」生きようとして，人は時に意識し，時には意識することを拒否し，時には，現実に存在しないことを想像します。そのときの心の働きは意識されません。しかし，想像したことは意識されやすいのです。このようにして人は現実をはるかに越えた広大な心の世界をつくったのです。

**2単位め 解説**

心の働きと心の世界をもっているのは人間だけでしょうか。この点をよく考えて欲しいと思います。まず，知覚とか，記憶などの心の働きが人間以外の動物にあることには異論はないでしょう。意見が分かれるのは，第一に，感情，意思，思考，想像，言語などの働きがあるかという点です。第二は，心の世界があるか，という点です。心の働きがどの程度まで精巧にできあがっているかは，動物の種により大幅に違います。原生動物のように，環境からの刺激に反射的に反応するだけで生きている動物の場合は，心の働きを使う必要はないので，心の働きは，ほとんどないとみてよいでしょう。ところが，環境の刺激に対してどう行動するかを「選択」しなければならない動物は，「うまく」選択するために，知覚も記憶も思考も意思決定の働きも使わなければなりません。その意味では，動物にも心の働きはさまざまな程度に存在します。特に欲求と

感情は「生きる」過程を支える基盤です。日常的には，人の心の働きの 7 割は感情です。

心の働きの進化にとって最も重要な分岐点となるのは，ことばの獲得です。ことばを獲得すると，いま目の前に存在しないことをも心の中に取り込むことができます。それればかりか，現実には存在しないものをも心の中に取り込むことができます。想像上の動物も科学フィクションもつくることができます。反面，事実に合わない信念を抱いたり，ありもしない危険を事実と思い込んだりして混乱することもあります。これが人間の心の世界です。このように，ことばを持ってしまったがゆえに，人間は科学や芸術をつくりだした。それが人間の生活を豊かにした反面，動物は決してしないような，危険な戦いをすることにもなりました。人間の悩みもことばの産物です。ことば的なものが人間以外の動物に存在するかどうかは議論が分かれますが，ことばのもとになるような働き，すなわち，いま目の前に存在しないものを何かのシンボルで表す働きは，他の動物にも見られます。

しかし，心の中でそれをいじりまわして（操作して），工夫したり，悩んだりする力は極めて弱いのです。

**3単位め 解説**

メロディーは音の中には存在するのではありません。音と音との時間的関係から人が読み取るのです。映画のフィルムのひとコマひとコマの映像は静止画像であって，どこを探しても映像の中には「動き」はありません。しかし，静止画像の連続のなか，人は「動き」をみます。このように，物理的刺激の中には存在しない現象を人はキャッチします。これは心の働きの重要な側面です。知覚は，物理的刺激を受動的に感受するだけの働きではありません。むしろ，外部刺激の意味を読みとるのです。その物理的刺激が，人の生存にとってどのような意味があるのかを読み取る働きです。カメラで人物を低いアングルから撮影した写真でみると，その人物の脚がとても長い。ところが，ファインダーからみたときは，格別長いとは見えなかったはずです。知覚は刺激に忠実ではなくて，その刺激の現実的意味に忠実なのです。

知覚という心の働きによって，人は生きる上に必要な環境の情報を読み取り，それを手がかりとして，自分の行動を決定するのです。行動するための手がかりを入手する働きです。手がかりとは，例えば，交差点で赤と青の交通信号によって，いま横断してよいか否かを決めるように，人がどう行動するかを決めるための情報です。大地の裂け目を飛び越せるかどうか，狭い場所を自分のからだが通り抜けることができるか否かを読み取る働きが知覚です。

このような観点から知覚の意味を考えてみましょう。

4単位め
**解説**

まず，人格とは何かを理解してもらいたいと思います。人の心の働きには個人差があります。知的働きの個人差を知能といいます。感情意思の働きの個人差は気質と性格です。その人全体としての個人差は個性です。いずれも他者との違いを示すことばです。個性的だ，というのは，他者と違うという点を強調しています。それにたいして，人格ということばは，それぞれの違いを持ち合わせながら，人の心の働きは全体としてまとまった働きをする，という意味を含んでいます。心がばらばらに勝手な方向に動き出すことは，まれです。

この「まとまり」を強調するのが人格という概念です。

食べるときでも話をするときでも，その人のすべての心の働きがまとまった形で関与し，その人らしい話し方，食べ方をします。その人らしさがあります。このような，その人らしい「まとまり」を強調するのが人格という概念です。心理学でいう人格には，道徳的，倫理的意味合いはありません。しかし，どんな道徳観を持ち合わせているかは，人格の大事な構成要素です。

家族関係が子どもの人格形成にどう関係するかは，とても複雑な仕組みになっています。しかし，心理学を学ぶとき，避けて通れない課題です。そこで，家族関係の 1 つか 2 つの要因を選び，それが子どもの人格にどう関連するかを考えてみてほしいと思います。たとえば，出生順位はどう影響するか，一人っ子はどうか，母子関係の質は，などと，1 つか 2 つの要因をとりあげて考えてみてほしいと思います。その際大切なことは，家族の要因は 1 つの要因だけが単独に働くのではなく，他の要因と複雑にからみ合うことを念頭においてほしいと思います。

## 参考図書

浜田寿美男著『「私」とはなにか』講談社，1999年
心がどんなふうにしてできあがるのかを，根本的に深く考えてみたい人にお勧めします。心理学の根本問題を平易に解説しています。

川上吉昭・佐藤俊昭編『わかりあう心とからだ――共感の覚醒』中央法規出版，1995年
他人の心がわかるのはどのような仕組みによるのかを，第 1 章に佐藤が書いています。このような問題に関心がある人にお勧めします。

アトキンソン，R. Lほか編　内田一成監訳『ヒルガードの心理学』ブレーン出版，2002年
1, 540ページの概論書です。価格もとびきり高いのですが，レベルが高く，読んで面白い本です。

# 生涯発達心理学

科目コード●050502

担当教員● 木村 進(左)
中村 修(右)

**4** 単位 | **R or SR** | **1** 年以上

社会福祉 選択　社会教育 選択A　福祉心理 必修

## 科目の内容

発達を，人の一生における変化として捉える考え方は比較的新しいものですが，この科目においては，**「生涯発達」**という視点から発達について基本的に理解することを目指しています。発達ということを現象的に捉えるのは，さほど難しくないかもしれませんが，ここでは，その基本にある発達理論の理解を土台として，「発達は積み重ねである」ということの意味を具体的に理解することが目標です。

たとえば，一人の老人を理解しようとする時に，その人の現在を理解するだけでなく，その人がこれまでどう生きてきたかということを理解しなければ十分とはいえません。逆に言えば，子どもから老人まで生涯を見通すことなのです。

## 教科書

平山諭・鈴木隆男編著『発達心理学の基礎Ⅰ　ライフサイクル』ミネルヴァ書房，1993年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 発達とはどういうことか。発達についての考え方の変遷を踏まえて，発達とはどういうことかについて考えなさい。最終的には「生涯発達心理学」という考え方が出てきた経緯について説明しなさい。 |
| 2 単位め | 成人期の発達課題を「役割の変化」という視点から述べなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・Web解答可** |
| 3 単位め | 発達段階についてのいろいろな説を述べ，それに合わせて，発達課題（エリクソン／ハヴィガースト）について論じなさい。 |
| 4 単位め | 老年期をどのように捉えるかということについて論じなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（論述式）・Web解答可** |

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年４月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年９月で受付を終了しました。

## アドバイス

レポートを書き始める前に，教科書や参考書の該当する個所をよく読んで理解しておくということが第一に重要です。該当する個所は１か所とは限りませんから，課題に取り組む前に，少なくとも教科書については精読し，内容をつかんでおいてください。

**『学習の手引き』序章に「レポートの書き方」を載せてありますので，もう一度読んで，作業手順を確認してから，レポート作成にとりかかってください。**

たとえば３単位めの課題は，教科書をよく読めば書けるはずです。また，４単位めの課題は，いわば応用問題です。教科書や参考書の中から必要な部分を抜き出し，課題にそってそれを組み立てるという作業が必要です。そのためには，全体として何を書くかというストーリーを最初に描いておくことが大切です。

**1単位め 解説**

この課題は，教科書の「序章」と「１章」の内容を踏まえて考えてください。レポートの内容は，①発達とはどういうことか（発達についての定義と解説）　②発達についての考え方がどう変わってきたか　③生涯発達心理学とはどういう分野かの３つの要素を明確にするようにしてください。

①については，教科書にも定義がありますが，他の文献も参照して，発達とはどういうことなのかについて，いろいろな説を紹介し，解説してください。

②については，主に教科書の内容をまとめて，考え方の変化を明確にしてください。

③については，教科書には明確に説明されていませんので，他の文献を参考にするか，あるいは，教科書の内容から類推してください。なお，①から③はあくまでレポートの要素であって，レポート内の「項目立て・小見出し」とする必要はありません。この１単位めの課題では，発達についての考え方の変遷をふまえて，発達とはどのようなことかを説明することを求めています。過去に言われていた定義とその問題点を指摘しながら，現在の生涯発達心理学で用いられている発達の捉え方へと展開していくことが望ましい形式となるでしょう。

**2単位め 解説**

人は青年期から成人期にかけて子どもから大人への移行を経験し，その主たる役割は学生から社会人へ変わっていくことになります。それでは，成人期ではどのような役割の変化に直面することになるでしょうか？

この変化には，「獲得する」ことと「喪失する」ことの両面があります。また，これに加えて，いったん得た役割であっても果たすべき内容が変わるものもあるはずです。ここで，テキストに従えば，成人期という時期もさらに前期・後期に分けて考えられています。そこで，課題に答える際にも前期・後期に分けて考えてみてください。もちろん単に

別々のものとして考えるのではなく，「前期での役割が後期には……」というような連続性も考えてみてください。

この役割の変化と発達課題の関連を考えると，まず，ある発達課題の達成によって得られる役割がある，と考えられるわけです。そして，以前の発達課題の達成によって得た役割も，次の発達課題を達成するために「役割の見直し」を行わなければならなくなることが考えられるのです。

ある役割が獲得されその後役割内容が変わっていく，という「流れ」でみることによって発達課題間の関連も理解しやすくなると思います。なので，レポートをまとめるにあたっては，まず①成人期前期と後期の発達課題を整理してから，②**ある特定の役割に絞って**それが成人期の中でどのように変化していくのか，についてまとめてください。さらに展開させるのなら，③役割の変化に適応する際に生じる発達的・心理的問題について述べてください。

なお，課題が難しい・考えづらいという方は，特に「親役割」「職業人役割」を中心に考えてみてください。

**3単位め 解説**

この課題のレポートを完成させるためには，まず，次のことについて教科書や参考書で調べてみてください。

⑴ 発達段階とは何か，また，発達段階を区切ることについてのいろいろな研究者の考え。

⑵ 発達課題とは何か，エリクソンおよびハヴィガーストの発達課題についての考え方とその具体的内容（エリクソンの心理社会的危機〔発達課題〕については，教科書のいろいろなところに部分的にふれられています。それらを総合して，**発達課題の表**を完成させてください）。

この準備が終わったら，**代表的な発達段階説を選んで**，その段階に合わせて，エリクソンとハヴィガーストの発達課題を記入します（**一覧表**にしてください）。

以上が，第一段階です。この表をもとにしながら，以下の内容のレポートに仕上げてください。

⑴ 1ページめ：上記の表。一覧表はレポート用紙の1ページめに入りきらない場合，別紙に記入し開いたときに見やすいように折り曲げ，レポート用紙1ページめに貼り付けて提出してください。かなり細かい字数の多い表になりますが，表の字数は176文字（手書き用レポート用紙1ページめの字数）と換算してください。

※この表は手書きでもワープロ・パソコン印字でも可です。

※ワープロ・パソコン印字提出の場合，この表はA4判用紙に作成（表のみ手書きも可）してください（字数・書式自由）。

⑵　2～8ページめ（ワープロ・パソコン印字の場合は2～3ページめ）：下記(a)～(c)のような内容を含めてまとめてください（見出しをつけるとよいです）。

(a)　発達段階とは何かということと，いろいろな発達段階説（教科書の内容をただ写すだけでは不十分です。参考文献等の内容を検討して，より充実したものにしてください）

(b)　エリクソンとハヴィガーストの発達課題（心理社会的危機）についての考え方を踏まえて，発達課題とは何か。

(c)　エリクソンの心理社会的危機を踏まえて，人間の生涯のあるべき姿についてまとめる。

**4単位め 解説**

高齢化社会とか高齢社会とかの表現をよく目にしますが，老人に対する社会的関心が高まっているということです。この課題は，老年期というものについての捉え方を総合的に考えてみようということを目標にしています。一番単純な捉え方としては，いったいいつからを老年期というのだろうかということがあります。たとえば，老人福祉法では，65歳以上を老人としています。しかし，個人としてみる時には，どんな条件が揃った（あるいはなくなった）時に「老人だ」と感じるのでしょうか？つまり，こんな単純なことでさえも，いろいろな角度から検討する余地があるということになります。このようなことを含めて，老年期というものをいろいろな角度から考えてみてください。

内容は，各自の自由としますが，参考までにモデル的な内容を示しておきます。

⑴　老年期はいつから始まるか，老年期をどのように分けるか

⑵　老年期の発達課題と老年期への適応

⑶　老年期にはどのような変化があるか

⑷　老人の生きがいは何か

⑸　successful aging（幸福な老い）のための条件は何か

⑹　現代は，老人にとって生きやすい時代か

もちろん，上記の内容すべてを網羅する必要はありません。考える材料として示したものです。

## 参考図書

1）平山諭・鈴木隆男編著『発達心理学の基礎Ⅱ　機能の発達』ミネルヴァ書房，1994年

2）下仲順子編『老年心理学』（現代心理学シリーズ14）培風館，1997年

3）原千恵子・中島智子著　『老年心理学（心理学の世界　専門編2）』培風館，2012年

4）『生涯発達心理学とは何か――理論と方法』（講座生涯発達心理学 1）金子書房, 1995年
5）岡本祐子編著『アイデンティティ生涯発達論の射程』ミネルヴァ書房, 2002年
6）二宮克美・大野木裕明・宮沢秀次編『ガイドライン　生涯発達心理学』ナカニシヤ出版, 2006年
7）無藤隆・久保ゆかり・遠藤利彦編『発達心理学』（現代心理学入門 2）岩波書店, 1995年
8）無藤隆・子安増生編著『発達心理学Ⅰ』東京大学出版会, 2011年
9）氏家達夫・陳省仁著『発達心理学概論』放送大学教育振興会, 2011年
10）会沢勲・石川悦子・小嶋明子編『移行期の心理学――こころと社会のライフイベント』ブレーン出版, 1998年

# 臨床心理学

科目コード●050503

担 当 教 員● 清水めぐみ

4単位 | R or SR | 2年以上

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択A | 必　修 |

## 科目の内容

臨床心理学（clinical psychology）の「臨床」は，ギリシャ語の「寝台」（クリネー）から生じた語といわれています。僧侶らが，死を目前にして苦しむ者に手をさしのべ，魂の世話をしたことに臨床の起源があるのです。現代では，魂の世話（卑近なことばでいえば心のケア）が必要なのは，死を目前にしている人たちだけではありません。だれもが，苦しみを抱え，ときに抱えきれずに立ちつくすことがあるものです。そのようなときにその人が自分らしい道を歩き出すために心理学的な援助を提供するという実践的な目的を持っているのが臨床心理学です。

心理学的な援助を提供するためには，まず相手について理解しようとすることが不可欠です。人をわかろうとするということは，自分の心を通じて行われるので，まず，自分をわかろうとすることが大前提になります。

また，援助は，援助を提供する側からの一方通行では成り立ちません。援助を提供する側と援助を受ける側がお互いに参加する関係があって援助は成り立ちます。臨床心理学では，相互性や関係性についても学んでいきます。

## 教 科 書

神田久男編著『心理臨床の基礎と実践―現代社会の人間理解』樹村房，1998年

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年４月より教科書，レポート課題が変更されました。

以前の教科書にもとづいて課題に取り組む際には『レポート課題集2010（１・２年次）』p. 197～を参照してください。

## 教科書への訂正事項

この教科書は1998年に出版されているため，2002年に変更され現在は「統合失調症」とされる疾患が「精神分裂病」「分裂病」と記載されています。訂正して読んでください。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 臨床心理学の目的について述べよ。加えて，心理面接における面接の構造と面接を構成する要素について，実践を想定しながら述べよ。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題** |
| 2 単位め | マーラーのいう再接近期危機について説明せよ。また，青年期の課題と危機について，エリクソンの考え方に沿って述べたうえで，青年期が「第二の個体化」と位置づけられる点について検討せよ。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題** |
| 3 単位め | 心理アセスメントの目的と方法および留意点について概要を述べよ。さらに，面接によるアセスメントに加え，心理テストによるアセスメントを実施する必要性があるのはどのような場合か，またその時の手順および留意点について述べよ。 |
| 4 単位め | 無意識について，フロイトの考え方とユングの考え方とを比較して論じたうえで，無意識の動きについて身近な例を挙げて説明せよ。 |

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年 4 月より課題が変更となりました。『レポート課題集 2010』の課題は2012年 9 月まで提出できます。

## アドバイス

まず，テキストを通読してください。その上で，テキスト以外に臨床心理学を概観している文献や課題に関連する文献の複数にあたりながら，課題に取り組むようにしましょう。テキストだけでは，いずれの課題にも取り組むことができません。

また，レポート作成にあたっては，形式が重視されます。日本語の文章を書く上で必要な，原稿用紙の使い方や段落の作成などが不適切である場合には，内容が適切であっても評価されません。特に，文献やウェブサイトからの引用については，出典を明示してください。『学習の手引き』などで示されている引用の方法，文献の挙げ方の形式が整っていない場合には，内容は優れていても再提出となります。十分に注意を払ってレポートを作成してください。

**1単位め 解説**

臨床心理学という学問について概観して，おおよそのイメージをつかみましょう。教科書全体を見通してみることが必要です。そこで「目的」についてまとめておきましょう。次に，臨床心理学でいう「面接」とはどのようなものか，その構造と構成要素という観点から詳細を見てみましょう。臨床心理学を構成している要素のうち，相手と会う（面接をする）のは大きな要素です。そのような場面で自らが

心理臨床家としての役割を負う際にどのような感覚を抱くかを想像し，その感覚も含めて課題をまとめましょう。

2単位め
**解説**

人を理解し援助を提供しようとする際，その人がどのようにして成長してきたのか，成長の過程でどのような積み残しがあるだろうか，という視点はとても大切です。臨床心理学では，さまざまな発達・人格理論がありますが，マーラーは乳幼児が成長していく過程でどのような体験がなされているのかを観察しながら理論化しました。マーラーが分離―個体化について述べてから半世紀以上を経過した現在でも，この視点は臨床心理学の現場で多いに援用されています。マーラーの発達理論全般を概観し，再接近期危機についてまとめましょう。

ところで，思春期・青年期は「疾風怒涛の時代」で，その時期を乗り越えるのは，だれにとっても実は大仕事です。そのため，乳幼児期に経験した再接近危機が再燃し，葛藤が激しくなります。青年期の「第二の個体化」について調べ，その時期の課題と困難について把握することを通じて，人間の成長のプロセスと成長の過程にともなう課題と困難があるという視点を身につけていきましょう。

3単位め
**解説**

臨床心理学というと，ともすると「カウンセリング」とダブってとらえられるかもしれません。臨床心理学を構成する大きな柱として「心理アセスメント」があります。援助を必要としている（かもしれない）人が，どのような人で，何ができて，何が難しいのか，抱えている困難は何なのか，どのような社会資源が活用できるのか，どのような援助が可能なのかを見通していくのが心理アセスメントです。その作業の全体像を把握し，課題の項目に沿ってまとめてください。教科書だけでは，レポートを作成できません。ほかの文献にもあたって，その人を理解していこうとする作業，どのような援助が可能なのか見極めていく作業について概観しましょう。

4単位め
**解説**

私たちは，自分の思っているような自分ではないということにままならなさを感じます。自分は自分の知っている自分だけではない，という視点が導入されたことで，人を多面的かつ複層的にとらえ，より複雑な人間のありようが想定されるようになりました。無意識という考え方はフロイトによって広く提唱され，私たちも日常生活でよく使っています。臨床心理学でいう無意識とはどのようなものなのか，フロイトとユングの考え方を比較することによって，理解の糸口をつかみましょう。また，自分の無意識の動きが現れている行動（行為，感情，考え方など）について例を挙げながらまとめてみましょう。

## 参考文献

伊藤良子編著『臨床心理学――全体的存在として人間を理解する』ミネルヴァ書房，2009年
鈴木　晶『図解雑学　フロイトの精神分析』ナツメ社，2009年
山中康裕編著『心理学対決！ フロイトvsユング』ナツメ社，2010年
沼　初枝『臨床心理アセスメントの基礎』ナカニシヤ出版，2010年
野島一彦編著『臨床心理学への招待』ミネルヴァ書房，1995年
森谷寛之『臨床心理学　心の理解と援助のために』サイエンス社，2005年

# 社会心理学

科目コード●050514

担当教員●吉田　綾乃

2単位 | R or SR | 1年以上

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択A/必修 |

14〜17年度入学者　18年度以降入学者

## 科目の内容

社会心理学は「人間がその場の状況や他の人々（社会）とのかかわりの中で，どのように影響を受けて行動するのか」という視点から人間を研究している学問です。研究テーマは，「人の第一印象はどうやって決まるのだろう？」「意見の合わない友人を説得するにはどうしたらいいだろう？」「彼はなぜあんなに攻撃的にふるまっているのだろう？」といった，身近な疑問や発想から生まれています。その意味では，「答えは自分の中にもある」と考える人も多いかと思います。しかしながら，社会心理学を学び，興味深い数々の実験結果を知ると，「自分の考え」が必ずしも「科学的に証明された事実」と一致しないことに驚くことでしょう。社会心理学は，非常に親しみやすい分野でありながらも，自分たちの身のまわりに起こる出来事や自分たちの考え方や行動について，「常識」とは違った観点から見直すきっかけを与えてくれます。

## 教科書

池上知子・遠藤由美著『グラフィック　社会心理学　第2版』サイエンス社，2008年

**（平成20年度以前履修登録者）**2007年4月より教科書が変更になりました。以前の教科書にもとづいて下記のレポート課題に取り組むことは可能です。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 対人認知における歪みがなぜ生じるのか，自分自身が経験した事柄をあげながら説明しなさい。また，その克服方法について自分の考えを述べなさい。 |
| 2単位め | 態度変容における説得の影響について，自分自身が経験した事例をあげながら説明しなさい。また，説得を防ぐための方法について自分の考えを述べなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・Web解答可** |

## アドバイス

テキストを読む際には，その内容が日常生活のどのような場面について述べているのか，具体的に思い浮かべながら読んでください。レポート課題は，誰もが日常的に経験している，他者を判断する，他者から判断されるという「対人認知」と，態度を決める，態度を変えるといった「態度形成・態度変容」に関するものです。自分の日々の経験を，社会心理学の理論や研究知見から捉えなおしてみてください。

レポート作成にあたっては，教科書だけに頼るのではなく，他の文献も参考にするようにしてください。また，自分自身の言葉で述べることが最も大切ですが，テキストの内容を理解した上でまとめていることがわかるように，テキストに紹介されている社会心理学的な用語を用いて，その現象が「なぜ」生じたと考えられるのか，ご自身の考えをまとめてください。

1単位め
**解説**

私たちは，「あの人は冷たい人だ」と他者を判断することもありますが，逆に「あなたは冷たい人だ」と他者から判断されてしまうこともあります。このような他者の判断（対人認知）は，人が自分の中で「判断」した結果であり，「事実」とは異なっている可能性があります。皆さんも，周囲から誤解されていると感じたり，あるいは自分が他者を誤解していたことに気がついたことがあるのではないでしょうか。このレポートでは，皆さんがこれまでに経験した対人認知の歪みについて，社会心理学的な側面から考えていただきます。

レポートを作成する際には，テキストの第 1 章：対人認知を参考にしてください。テキストに紹介されているように，対人認知の歪みは，**期待効果，ステレオタイプ，暗黙の人格理論，ネガティビティ・バイアス**などによって引き起こされることが明らかになっています。また，この課題はテキストの第 2 章：社会的推論も参考になります。たとえば，対人認知の歪みをもたらす要因として，**スキーマ，錯誤相関，仮説確証型判断，仮説確証バイアス**などの影響を考えることができます。これまでに自分が経験した対人認知（判断する側・される側のどちらの経験でもよい）の歪みが，なぜ生じたと考えられるのか，テキストに紹介されているキーワードを用いながら，客観的かつ論理的に考えてみてください。そして，そのような対人認知の歪みを克服するためには，どうすればよいのか，**認知的複雑性**や，**印象形成の 2 過程モデル**などの研究も参考にして，ご自身の考えを述べてください。

2単位め解説

私たちは，「この映画が好きだ」，「この意見に賛成である」など，さまざまな対象に対して何らかの態度をもっています。しかしながら，このような態度は，常に変わらないわけではありません。これまでに周囲の人から説得され，自分の態度を変化させたことがある人は多いでしょう。このレポートでは，皆さんがこれまでに経験した「態度変容」について「説得」という側面から考えていただきます。

レポートを作成する際には，テキストの第 3 章：態度を参考にしてください。説得が成功するか否かは，**メッセージの要因，送り手の要因，状況要因，受け手の要因**によって左右されます。これまでに自分が経験した説得（説得する側・される側のどちらの経験でもよい）による態度変容が，どのような要因によってなぜ生じたのか，テキストに紹介されている，**メッセージの反復効果，恐怖喚起，リアクタンス，信憑性，スリーパー効果，自我関与，気分状態**などのキーワードを用いながら，客観的かつ論理的に考えてみてください。その他にも，**認知的不協和理論，精緻化可能性モデル**などの理論に基づいた考察もよいでしょう。また，今日でも報道が続いている振り込め詐欺など，悪質な説得を避けるためにはどうすればよいのか，**直接経験，予告，被説得性，接種理論**に関する記述などを参考に，ご自身の考えを述べてください。

## 参考図書

**基礎編：初めて学ぶ人へ**

吉田寿夫著『人についての思い込み　Ⅰ・Ⅱ』北大路書房，2002年

心理学ジュニアライブラリのシリーズの一冊であり，読みやすいでしょう。

1 単位めの対人認知に関する課題の参考になります。

岡本浩一著『社会心理学ショート・ショート』新曜社，1986年

トピック中心のわかりやすい内容になっています。

認知的不協和理論や態度変容に関する実験内容が詳細にまとめられています。

2 単位めの態度変容に関する課題の参考になります。

藤本忠明・東正訓著『ワークショップ　人間関係の心理学』ナカニシヤ出版，2004年

社会心理学の研究が人間関係の問題と関連づけて分かりやすく紹介されています。

Q&Aがあり，自分の理解度を評価することができます。

**応用編①：テキストだけでは物足りない人へ**

山岸俊男編『社会心理学キーワード』有斐閣双書，2001年

概念の正確な把握や知識の整理に有効です。辞書としても利用できます。

末永俊郎・安藤清志著『現代社会心理学』東京大学出版会，1998年

社会心理学の領域が網羅され，また個々の研究内容についても詳細な説明がありま

す。参考図書も充実しています。

池田謙一・唐沢　穣・工藤恵理子・村本由紀子著『社会心理学』有斐閣，2010年

幅広いテーマを取り上げており，広く社会心理学の知識を深めたい方にお勧めします。

**応用編②：社会心理学およびレポート課題に関連する知識を深めたい人へ**

E.アロンソン著『ザ・ソーシャル・アニマル－人間行動の社会心理学的研究』サイエンス社，1994年

著名な社会心理学者による読み応えのある一冊です。

T.ギロビッチ著『人間この信じやすきもの』新曜社，1993年

人間の認知の偏りがなぜ生じるのか，いかに克服するかを論理的に解説しています。

R.チャルディーニ著『影響力の武器　なぜ人は動かされるのか（第２版）』誠信書房，2007年

R.チャルディーニ・N.J.ゴールドスタインほか著『影響力の武器　実践編』誠信書房，2009年

態度形成や態度変容について幅広い視点から理解することができます。

**■「TFUオンデマンド」上での論述式レポート・解答方法**

この科目の通常のレポートは，おって『With』でご案内する時期（2013年１月ごろ）より，「別レポート」だけでなく，１・２単位めの論述式レポートについても，郵送提出以外に，「TFUオンデマンド」のホームページにアクセスしてweb上での提出を可能にする予定です。

1）TFUオンデマンドのページにアクセスし，「セミナー画面」から「社会心理学・論述式レポート」のコンテンツをクリックし始めてください。提出方法の詳細は『With』でご案内します。

2）提出の記録は，科目修了試験の申込締切日などに通信教育部の方で本学の「成績管理サーバー」に登録します。

3）教員は任意の時期に評価を行います。評価がすんだら，「TFUオンデマンド」右上の「設定」画面に登録しているアドレスに，評価された旨をお知らせします。一度合格の評価が入力されると，その後は評価の変更やレポートの提出はできません。また，教員評価終了後１週間以内に本学の「成績管理サーバー」に登録します。

# 心理学実験Ⅰ

科目コード●050505

担当教員●小松　紘・皆川　州正・佐藤　俊人
大関　信隆・山口奈緒美・本多　明生

| 2単位 | SR | 1年以上 |
|---|---|---|

実験Ⅰ・Ⅱいずれか1科目必修。ただし認定心理士取得希望者は実験Ⅰ・Ⅱとも必修。 → 福祉心理 選択必修

## 科目の内容

心理学は行動科学の一分野であり，どのような条件の下でどのような行動が生じるか，あるいは，ある行動はどのような条件で起こったのかなどということを明らかにしようとしています。そのための方法にはいくつかありますが，実験法もそのひとつです。

科学的知識とは，客観的事実として実証されたものをいいますが，心理学では，特定の要因（独立変数とよぶ）を系統的に変化させ，意識や行動（従属変数）がどのように変わるかということを明らかにしようとする手法があり，これを実験法と呼んでいます。不測の要因が介入しないように条件を統制するところに実験法の特徴がありますが，心理学実験Ⅰ・Ⅱでは，さまざまな角度から，この実験法について，その基礎を学ぶことを目標とします。

## 教科書

テキスト（プリント）は，スクーリング時に配布します。

## 授業の進め方

心理学実験Ⅰでは，下記の4つの実験を体験します。受講生をグループに分け，1グループ1種目ずつ，①実験についてのオリエンテーション　②実験を行う　③データの整理・分析　④レポート作成　という一連の作業を行います。翌日は，別の種目を経験し，4回のローテーションで全種目を終わることになります。

仙台以外のスクーリングでは，実験種目，担当者，実験スケジュールが変更になります。また，レポート課題についても，若干の変更があります。

**▶実験1「長期記憶の検索」　（佐藤俊人　担当）**

長期記憶の中からいくつかの記憶を探し出す時，我々はどのような探し方をするのでしょうか。さまざまな探し方が考えられますが，長期記憶を探す時に，人は一般にどのような心の使い方をするのか（ストラテジーという）を実験的に調べます。

**▶実験 2 「印象形成におよぼす背景効果」　　（小松　紘　担当）**

私達は人と会うときに，美しい景色，良い香り，快い音楽など快適な環境を選びます。それはなぜでしょうか。ここでは人物の印象評定に対する背景の効果を，評定尺度法という方法を用いて調べるとともに，この方法のメリット，デメリットについても検討します。　　2013年度以降担当教員変更予定

**▶実験 3 「ミューラー・リヤーの錯視」　　（皆川州正　担当）**

私たちの知覚は，物理的世界のそのままの写しではなく，心理的世界の特性と物理的世界の特性にはずれがありますが，これを錯覚といいます。視覚における錯覚（錯視）を取り上げ，調整法によって，錯視の生じる条件について検討します。

**▶実験 4 「刺激の弁別閾」（時間間隔の弁別）　（大関信隆　担当）**

刺激の弁別閾（いき）とは，２つの刺激の強さの違いを区別する感覚の分解能に関する閾（感覚の相違を引き起こす境界）のことです。本実験では人間の触覚について，恒常法や極限法といった精神物理学的測定法を用いて，その弁別閾を推定する実習を行います。

## 評価の方法

評価は，①それぞれの実験において指示された内容についてのレポートと，②スクーリング終了後に提出してもらう単位認定レポートの２つに基づいて行います。①に関しては，１種目でも欠席しレポートが提出されない場合にはその時点で単位が与えられなくなるので気をつけてください。②に関しては，以下に示す４つのテーマの中から１つを選び，指定期間内にレポートを作成して提出すること（字数は1,000字以上2,000字程度4,000字以内）。もちろん，未提出の場合，単位は与えられません。

## 単位認定レポート課題　スクーリング終了後１課題選択

| | |
|---|---|
| 課題1<br>（担　当<br>佐藤俊人） | 「マジックナンバー・セブン」の実験的検証<br>短期記憶の貯蔵能力には限界があり，健康な成人で，おおむね7個であるとされているが，その通りであるかどうかを確かめる実験を工夫し，実際に確かめてみなさい。 |
| 課題2<br>（担　当<br>小松　紘） | 心理学的測定や評定における恒常誤差と偶然誤差をあげ，説明し，対策を述べなさい。 |

| | |
|---|---|
| 課題3（担当 皆川州正） | 幾何学的錯視以外の錯覚現象を調べ，その説明と体験した感想を述べなさい。そして，もし私たちの知覚が錯覚現象を生じないとすれば，私たちの知覚作用や知覚された世界はどのようなものであると思うか，考察しなさい。 |
| 課題4（担当 大関信隆） | 心理学の方法論の一つとしての実験（法）の意味について考察しなさい。 |

## アドバイス

上記の課題から１つ選びp. 33記載の期限内に提出してください。レポート用紙の表紙の「科目名」右側に担当教員名を，「課題欄」に課題を必ず記入してください。なお，レポートの字数は2, 000字程度を標準としますが，16ページめまでを使用し，最長4, 000字程度まで記入していただいて結構です（パソコン印字の場合左右40字×30行× 4 枚まで）。

**課題1 解説**

スクーリングで詳しいアドバイスをしますが，まず，短期記憶とはどういうものかを確認してみてください。その中から，自分が何を提示刺激にした実験をするかを決めるところから始まります。具体的には数字の列，意味のない文字列などが例に出されることが多いですが，いろいろと工夫をしても面白いと思います。

次にそれをどのように被験者に提示するのかも決めなければなりません。紙に書かれたものを見せるのか，読んで聞かせるのか，あるいはパソコンをつかってスライドショーのように提示することも可能でしょう。

さて，課題の中心は，短期記憶がいくつくらいまでなら覚えていられるか，ということですから，確実に覚えていられる数（刺激の種類によっても変わりますが３～５くらい？）からマジックナンバーである７をはさんで，覚えているのが無理な数（15以上？）まで，いろいろな刺激数で実験してみてください。ある刺激数を超えると急激に覚えられなくなってくるのではないでしょうか。そこが一人ひとりの実験でのマジックナンバーになります。この刺激の数が７±２になればマジックナンバー７が検証されたことになります。もし実験の結果がマジックナンバーが７±２から大きくずれたら，それがなぜかも考察しなければなりません。

以上の点を押さえた上で，覚えていられる数を増やすという実験を重ねても面白いと思います。例えばチャンクという考え方も有効なのではないでしょうか。

**課題 2 解説**

参考書やスクーリング時に配布する資料を参考にまとめてください。「誤差」は“真の値からのずれ”といえるものですが，まずはどのような誤差があるか，それはどのような時に生じるのかを調べてみてください。誤差が私たちの判断につきものだとすれば，それをできる限り小さくするには，どのようなことに注意しなければならないか，考えてみましょう。

**課題 3 解説**

錯覚現象については，幾何学的錯視以外の錯視，視覚以外の錯覚などがあります。それらについて，単に知識として知るだけでなく，自ら観察あるいは体験してその感想やコメントを述べてください。そして，スクーリングでの説明などを参考に錯覚現象の背後にある知覚の働き（作用）について考え，もしそれらがなかったらと考えてみてください。

**課題 4 解説**

心理学における実験（法）の意義を考える際には，次のような視点を持つことが必要と思われます。すなわち，①：「こころ」という対象に接近していくために，心理学の中にはどのような方法があるのか，②：実験（法）とは，具体的にどのようなやり方を有する方法論なのか，③：実験（法）の特徴や長所は何か，などです。これらのことは，言い換えれば心理学における他の方法論との比較，と考えることができるかもしれません。そうすることで，一層，実験（法）の意義や長所・短所が見えてきて，さらには心理学独自の多様な方法論を俯瞰（ふかん）的に眺められるかと思います。また，実験（法）は心理学成立の歴史とも深い関係がありますので，これらについて＋αの考察をしてみることもよいかもしれません。

## 参考図書


**課題 1**：金城辰夫編『図説現代心理学入門』培風館，1996年（「心理学概論」の教科書 改訂版 p. 94〜97・三訂版 p. 142〜145）

**課題 2**：市川伸一 編著『心理測定法への招待』（新心理学ライブラリ　13）サイエンス社，1991年　　ほか，心理学研究法・心理測定などに関する本，または心理学の教科書で「測定や研究法」に関する箇所など。

**課題 3**：後藤倬男・田中平八編『錯視の科学ハンドブック』東京大学出版会，2005年

北岡明佳著『錯視入門』朝倉書店，2010年

丸山欣哉編『基礎心理学通論』福村出版，1996年

椎名健著『錯覚の心理学』講談社現代新書，1995年

梅津八三・相良守次・宮城音弥・依田新監修『新版　心理学事典』平凡社，1981年

http://www.brl.ntt.co.jp/IllusionForum/index.html（ホームページ「錯覚とは何か」）

http://www.ritsumei.ac.jp/~akitaoka/（ホームページ「北岡明佳の錯視のページ」）

http://psywww.human.metro-u.ac.jp/sakusi/（ホームページ「錯視の広場」）

**課題 4**：南風原朝和・市川伸一・下山晴彦編　『心理学研究法入門』東京大学出版会，2001年

小牧純爾著『心理学実験の理論と計画』ナカニシヤ出版，2000年

利島保・生和秀敏編著『心理学のための実験マニュアル』北大路書房，1993年

宮原英種・宮原和子監修　加知ひろ子・武藤幸穂著『心理学実験を愉しむ――心理学の「日常性」と「科学性」』ナカニシヤ出版，2003年

大山正・中島義明編『実験心理学への招待』（新心理学ライブラリ　8）サイエンス社，1993年

中島義明著『実験心理学の基礎』誠信書房，1992年

B. フィンドレイ著　細江達郎・細越久美子訳『心理学実験・研究レポートの書き方』北大路書房，1996年

## スクーリング受講上の注意

筆記用具，定規（グラフを書くのに使用），4 色ボールペン（色鉛筆），電卓を持参してください。

なお，『福祉心理学科　スタディ・ガイド』（東北福祉大学）で「心理学実験」の概要を予習しておいてください。

「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」の受講の順序の指定はありません。「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」のスクーリングは，どちらを先に受講していただいても結構です。

## レポート提出期限

実験レポート（4 課題とも）　スクーリング終了 1 ～ 2 週間後の指定された期日必着

単位認定レポート　12月24日必着，9 月卒業希望者は 8 月末必着

（他会場受講者も同じ；9 月卒業希望者は要問合せ；再提出レポートは上記以降も提出可）

10月生科目等履修生が今年度中の単位修得を希望する場合は，単位認定レポートを 8 月末までに，10月以降の休学予定者は，単位認定レポートを 9 月末までに提出し合格する必要があります。

# 心理学実験Ⅱ

科目コード●050506

担 当 教 員● 西野美佐子・中村　修
吉田　綾乃・平川　昌宏

| 2単位 | SR | 1年以上 |
|---|---|---|

実験Ⅰ・Ⅱいずれか1科目必修。ただし認定心理士取得希望者は実験Ⅰ・Ⅱとも必修。 → 福祉心理 選択必修

## 科目の内容

心理学は行動科学の一分野であり，どのような条件の下でどのような行動が生じるか，あるいは，ある行動はどのような条件で起こったのかなどということを明らかにしようとしています。そのための方法にはいくつかありますが，実験法もその一つです。

科学的知識とは，客観的事実として実証されたものをいいます。心理学では，特定の要因（独立変数とよびます）を系統的に変化させ，意識や行動（従属変数）がどのように変わるかということを明らかにしようとする手法があり，これを実験法とよんでいます。条件を厳密に統制するというところに実験法の特徴がありますが，心理学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは，さまざまな角度から，この実験法について，その基礎を学ぶことを目標とします。

## 教 科 書

テキスト（プリント）は，スクーリング時に配布します。

## 授業の進め方

心理学実験Ⅱでは，下記の4つの実験を体験します。受講生をグループに分け，1グループ1種目ずつ，①実験についてのオリエンテーション，②実験の実施，③データの整理・分析，④レポート作成という一連の作業を行います。翌日は，別の種目を経験し，4回ローテーションして全種目を終わることになります。

仙台以外のスクーリングでは，実験種目，担当者，実験スケジュールが変更になります。また，レポート課題についても，若干の変更があります。

**▶実験1「系列学習法」　（平川昌宏）**

記憶研究の先駆者といわれるエビングハウスが用いた伝統的な実験材料である無意味綴りを用いて，言語学習実験の代表的な3タイプのうち系列学習法（ある順序で呈示された無意味綴りをその順序どおり覚えさせる実験法）を実習し，系列位置効果（呈示された刺激がはじめの方にあるか，終わりの方にあるか等で学習しやすさに差があること）につい

て調べます。

**▶実験 2 「鏡映描写」　（西野美佐子　担当）**

一般に先行した学習が後続の学習に何らかの影響を与えることを学習の転移といいます。転移の一例として鏡映描写における利き手による練習の非利き手のパフォーマンスへの転移などにともなう運動技能の上達過程を検討し，両側性転移現象の有無，さらにはその理由について考察します。

**▶実験 3 「概念学習」　（中村　修　担当）**

われわれは，いくつかのモノやコトが持つさまざまな特性のうち，ある特性群に注目（抽象）し，また他の特性群を無視（捨象）することによって，任意のカテゴリー（概念）を「心」の中につくりあげていると仮定できます。だからこそ，“アリ”と“ゾウ”を同じ“動物”とみなすことができます（ところで何が同じ？）。こうした概念作用に影響を与える諸要因について，実験的に検討します。

**▶実験 4 「社会的影響」　（吉田綾乃　担当）**

他者へ影響を与えることおよび他者から影響を受けることを社会的影響といいます。その影響過程について実験的に検討します。

## 評価の方法

評価は，①それぞれの実験において指示された内容についてのレポートと，②スクーリング終了後に提出してもらう単位認定レポートの 2 つに基づいて行います。①に関しては，1 種目でも欠席しレポートが提出されない場合にはその時点で単位が与えられなくなりますので気をつけてください。②に関しては，以下に示す 4 つの課題の中から 1 つを選び，指定期間内にレポートを作成して提出してください（字数は1, 000字以上2, 000字程度4, 000字以内）。もちろん，未提出の場合，単位は与えられません。

## 単位認定レポート課題　スクーリング終了後 1 課題選択

| | |
|---|---|
| 課題 1<br>（担　当<br>平川昌宏） | 系列学習において「なぜ系列位置効果が現れるのか」について文献やスクーリングでの体験などを参考にしながら考察しなさい。 |
| 課題 2<br>（担　当<br>西野美佐子） | 一般に以前の学習が後の学習に影響を及ぼすことを学習の転移という。以前の学習が後の学習を促進する場合を正の転移，逆に以前の学習が後の学習を妨害する場合を負の転移と呼んでいる。日常生活でみられる上記のような学習の転移の例を示し，説明しなさい。 |

| | |
|---|---|
| 課題3<br>（担　当<br>中村　修） | 次の 4 つの尺度について，日常生活の中から 2 つずつ例を挙げて，違いを説明しなさい。また，なぜ尺度をこのような 4 つに分ける必要があるのか，考察しなさい。①名義尺度（nominal scale），②順序尺度（ordinal scale），③間隔尺度（interval scale），④比率尺度（ratio scale）。 |
| 課題4<br>（担　当<br>吉田綾乃） | 社会的影響に対するわれわれの反応は追従，同一視，内面化の 3 種類に区別される。それぞれの特徴とそれらが生じる条件について文献を参考に調べ，具体的事例を挙げながら考察しなさい。 |

## アドバイス

上記の課題から 1 つ選びp. 37記載の期限内に提出してください。レポート用紙の「課題欄」に課題を，また表紙の科目名の右側に担当教員名を必ず記入してください。なお，レポートの字数は2, 000字程度を標準としますが，16ページめまでを使用し最長4, 000字程度まで記入していただいても結構です（パソコン印字の場合左右40字×30行× 4 枚まで）。

**課題 1 解説**

スクーリング時の解説，配布する資料を参考にまとめてみてください。

**課題 2 解説**

学習の転移は，さまざまな領域・場面でみられます。スキーを習う前にスケートをマスターしておくと，一般的にスキーの初歩の上達は早いでしょう。また，軟式テニスをしていた人が，硬式テニスに切りかえた場合，ストロークやラケットの持ち方など，軟式独持のくせがなかなか抜けなくて困る場合もあるでしょう。しかし，軟式・硬式を問わないテニスに共通の点も多く学びやすいこともあるはずです。

このように，生活の中でさまざまな転移がみられますが，「両側性転移に関連する事例を探して，その事例を詳しく分析し報告してください」というのが課題です。まず両側性転移について一般的な心理学書，心理学辞典などで概念理解とその生起要因について理解したうえで，自分の生活を振り返り，正の事例，もしくは負の事例を探して，分析し報告してください。ちなみに，日常動作で見られる転移の例として報告されたものとしては，

・非利き手での箸の持ち方や卓球練習の上達具合・パソコンのキーボード操作の学習・耳掃除の手の使い方・マニキュアを左右の手で塗る時の動作学習・水泳練習時の手の動きの学習・弓道の動作の「肘いれ」動作学習（この動きは非利き手の左手の動作で，利き手が右手の人から見れば困難学習課題です。そこで，利き手で練習しできるようになってから，非利き手で挑戦したところ，非利き手で，簡単にできた事例）・流れ作業で袋付めする動作を，立ち位置を逆にした場合の混乱，などなど，いっぱい見つけられることと思います。

**課題 3 解説**

この課題では，４つの尺度の概念弁別がきちんとなされているかが評価ポイントとなります。心理学の本というよりも，統計学，心理統計学，心理学研究法などの入門書などを参考になさった方がいいかもしれません。例を挙げて説明してもらうのは，調べたことを使って自分で考えたんだ！自分で見つけたんだ！というヨロコビを味わっていただきたいからです。ぜひお書きください。参考図書欄には，手元にあった文献のなかから少しあげておきます。

**課題 4 解説**

スクーリング時の解説，配布資料ならびに参考図書を参考にまとめてください。

## 参考図書

**課題 1 ・ 2 ・ 4** ：スクーリング時に紹介します。

**課題 3** ：山内光哉著『心理・教育のための統計法〈第 3 版〉』サイエンス社，2010年
岩淵千明編著『あなたもできるデータの処理と解析』福村出版，1997年
吉田寿夫著『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大路書房，2003年

## スクーリング受講上の注意

・筆記用具，定規，電卓を持参してください。
・『福祉心理学科　スタディ・ガイド』東北福祉大学で「心理学実験」の概要の予習をしてきてください。
・授業の冒頭で受講者全員参加のガイダンス（30分程度）を行います。
・「心理学実験 I ・ II」の受講の順序の指定はありません。「心理学実験 I ・ II」のスクーリングは，どちらを先に受講していただいても結構です。

## レポート提出期限

| | |
|---|---|
| 実験レポート（４課題とも） | スクーリング終了 1 ～ 2 週間後の指定された期日必着 |
| 単位認定レポート | 12月24日必着（他会場受講者も同じ；再提出レポートは左記以降も可） |

・10月以降の休学予定者＝単位認定レポートを 9 月末までに提出
・ 9 月卒業希望者・10月生科目等履修生＝ 8 月末必着

# 心理学研究法Ⅰ

科目コード●050508

担当教員● 木村　進・西野美佐子・白井　秀明
吉田　綾乃・大関　信隆・平川　昌宏

**2**単位 | **R or SR** | **2**年以上

福祉心理
必　修

## 科目の内容

この科目は，心理学において使われる代表的な方法について，基本的な理解を図ることを目指しています。代表的な方法の一つである「実験法」については，別に**「心理学実験Ⅰ」**，**「心理学実験Ⅱ」**として科目が設定されているので，ここでは，**実験法以外の方法**について取り上げることにします。また，**「検査法」**については，「研究法Ⅱ」のスクーリングにおいて解説する予定になっています。

心理学は，実証的学問です。実証的というのは，データを収集し，それを分析して，その結果に基づいて論を展開するということです。したがって，どのようなデータをどのような方法で収集するかということが，心理学の研究においてはきわめて重要な意味を持つことになります。つまり，心理学の研究において使われる方法は，正確にデータをキャッチできるものであるだけでなく，客観的に評価される科学的なものでなければなりません。同時に，心理学の研究の対象は，多くの場合，人間ですから，どのような方法を使う場合でも，そこには一定の倫理性が保たれていなければなりません。この科目では，単に研究法の習得を目指すだけでなく，倫理性・科学性の問題を含めて，心理学における方法論の理解を目標にします。

なお，この科目では平成19年度よりスクーリングを開講しました。このスクーリングは必須ではありませんが，できうる限り参加することをお勧めします。

## 教 科 書

大村彰道編著『教育心理学研究の技法』（シリーズ・心理学の技法）福村出版，2000年
『福祉心理学科　スタディ・ガイド』東北福祉大学（福祉心理学科以外の方は通信教育部ホームページで閲覧可）

## レポート課題

この科目は 2 単位です。したがって，提出しなければならないレポートは 2 つですが，課題は 5 つ設定してあります。 1 単位めは，**課題 1 ～ 3 の中からいずれか 1 つを選んで**レ

ポートを作成し提出してください。2単位めは，「心理学研究法Ⅰ」のスクーリングを受講するかどうかによって，取り組む課題が異なります。つまり，**「心理学研究法Ⅰ」のスクーリングを受講しない人は課題4に，受講する人は受講後に課題5**に取り組みレポートを提出することになります。

なお，1単位めの課題と2単位めの課題のうち，どちらの課題を先に行っても構いません。ただし，2単位めの課題が「観察法」「面接法」「質問紙法」の理解を問う課題であるのに対して，1単位めの課題が各研究法に関する理解を応用して自身で研究計画を立てる課題になっていますので，**2単位めの課題を先に行った方が，1単位めの課題もより容易に取り組むことができる**と思います。

| | |
|---|---|
| 1単位め<br>（1課題選択） | **課題1**　気の長い人と短気な人を観察法によって見分けるための研究をするとしたら，どのような観察を行うかを中心に，研究計画を立てなさい。<br>**課題2**　小学生における教科の好き嫌いに影響する要因について面接法で研究するとします。半構造化面接によって調査を行うとしたら，どのような研究計画になるか考えなさい。<br>**課題3**　子どもの攻撃性の高さに対するテレビの影響というテーマで，質問紙法を使って研究するとしたら，どのような研究をするか，研究計画を立てなさい。 |
| 2単位め | **課題4**　**（「研究法Ⅰ」スクーリングを受講しない人はこの課題を行ってください）**　「観察法」「面接法」「質問紙法」のそれぞれについて，その方法の効用と限界（留意点）を述べなさい。<br>**課題5**　**（「研究法Ⅰ」スクーリングを受講する人はこの課題を行ってください）**　「心理学研究法Ⅰ」スクーリング終了時に配布される研究論文の中から1つを選び，<br>Ⅰ．選択した研究の①目的，②仮説，③方法をまとめなさい。<br>Ⅱ．選択した研究と同じ目的や仮説で研究を行うとすれば，あなたは「観察法」「面接法」「質問紙法」のうちどの方法を用いるか，そして，なぜその方法を選択するかについて述べなさい。 |

## レポート提出上の注意

⑴　この科目のレポートは，**1単位ずつ提出**してください。1単位の課題の字数は2,000字程度ですが，レポート用紙のp.16まで使用し4,000字程度まで記入することも可です（パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで）。

⑵　1単位めの課題が取り組みにくく感じる方，再提出が続く方は，この科目のスクーリングを受講してから提出してください。

⑶　2007年度から2単位めの課題が変更になりました。『レポート課題集2006』の課題の提出も2008年9月で締め切りました。再提出者も含めて必ず今年度の課題で提出してください。

2単位めの課題変更にともない，2006年度まであったレポートの提出順序の指定（1単位め合格後2単位め提出）はなくなりました。2単位め（課題4）を先に提出することも可です。とくにスクーリングを受講しない方にとっては，2単位めの方が取り組みやすい課題です。

⑷ 2単位め課題4や旧2単位めレポート課題に合格した方もスクーリングを受講することができます。その際，2単位め課題5の提出は不要です。

⑸ スクーリングを受講しない方は，通常の科目と同様に科目修了試験受験の必要があります。この科目のスクーリング試験，科目修了試験ともに，心理学研究法の基礎的な理解がないと合格が難しい傾向にありますので，充分学習をしてから臨んでください。

## スクーリング受講条件

**スクーリング申込締切日まで**に，福祉心理学科専門必修科目・専門選択科目A群のなかから7科目分のレポート（4単位科目は4課題などその科目の全てのレポート）を提出していること（実験科目を含めること可・特講科目・S科目は含められない）。

## アドバイス

1単位め **解説**

課題1～3は，同じ種類の課題ですので，まとめて解説します。それぞれの課題には，テーマと使用する方法が指示されています。この科目の目標は，研究法を学習することにあるので，それぞれの方法についての学習を進めたうえで，つまり，それぞれの方法について十分理解したうえで，指示に従って研究の計画を立てるというのが課題です。次のような学習の進め方をし，そのうえで，以下に示すような内容のレポートにまとめてください。

⑴ 教科書の1章を読んで，研究の進め方についての全体的な理解を図ってください。

ここには，研究の進め方についての一般的な考え方と，実際の研究に基づいた研究の進め方の例とが書かれています。1節の1と2をまず読み，次に3節を読んで理解してから，2節の事例を読んだ方がわかりやすいかもしれません。また，2章以降のそれぞれの方法についての理解を確立した後で，もう一度2節を読むと，より一層理解が深まると思われます。

⑵ 次に，それぞれの方法（2章から5章）について理解します。それぞれの方法について1節に「**～法への招待**」，2節に**研究紹介**，3節に「**～法の手順と留意点**」という構成で書かれていますので，まず1節を読んで，その方法についての基本的な理解を確立し，次に3節を読み，一般的な理解が進んでから，2節の研究例を通してその方法についての具体的な理解を図るという学習の仕方が望ましいでしょう。

⑶　この段階で，**観察法，面接法，質的分析，質問紙法**の 4 つの方法についての理解ができたことになります。次に，**課題 1 ～ 3** のどれかを選んで，そこで使うことになっている方法について改めて読みなおして，理解を確実なものにしてください。特に，各章 2 節を参考にすることになりますので，そこはしっかり読みましょう。なお，課題 2 に取り組む際「半構造化面接」の意味を辞典，参考図書で調べて理解する必要があります。

⑷　いよいよ課題に取り組みます。それぞれに示されているテーマは漠然としていますので，まず**研究の目的**をはっきりさせることから始めます。つまり，そのテーマにそって，最終的に何を明らかにしたいか，ということをまず考えなければなりません。課題 1 は「気が長いか短気か」ですからはっきりしていますが，次のように取り組むとよいでしょう。「気の長い・短い」は，心理学ではこれまでどのような分野で扱われてきたのでしょうか。これから研究計画を立てようとするテーマに関連した行動をある程度特定することが必要です。例えば，「気の長い・短い」は，これまでもよく「のろま・ぐず」とか「せっかち・早とちり」などと称されてきたものに近いかもしれないことに気づくでしょう。そこで，その行動は日常生活のどんな場面でよく見かけるか考えてみてください。このように研究しようとする行動とその「気の長い・短い」の（自分なりの）定義をし，仮説を立てて研究内容を絞り込むことです。その後，研究対象，観察場所，時間，観察行動などを考えてください。観察の手法は，自然的観察だけでなく，その行動が良く見かけるように仕掛けた実験的観察でもよいでしょう。組織的な観察法を用いる場合は，観察チャックに必要な行動カテゴリーをどんなものにするか考えることが必要です。その後の結果処理，すなわちデータがどう示されれば仮説が検証されると言えるのかを考えると良いでしょう。課題 2 は「教科の好き嫌い」としか指定していないので，「教科の好き嫌い」ということをどのように捉えるかを具体的に考えなければなりませんし，同時に，「影響する要因」といっても，さまざまに考えられるわけですから，どんな要因を取り上げるか　ということも考える必要があります。課題 3 も，「テレビの影響」といってもいろいろ考えられるので，そこをどう捉えるか，ということがポイントになります。

⑸　研究についての具体的なイメージができたら，次は「**仮説**」を立てるという段階です。「仮説」というと難しく聞こえるでしょうが，単純にいえば「どのような結果を予想するか」ということです。課題 1 でいえば，「気の長い人と短気な人の行動の違いは，こういうところに現れるだろう」と予想することであり，課題 2 では「教科の好き嫌いは，こういう要因が影響しているのではないか」と考えることであり，課題 3 では「子どもの攻撃性に影響するのは，テレビのこういう面ではないか」と考えることです。

　この仮説がないと，研究計画が立てられないので，頑張って考えてください。

⑹　実際に研究を行うとなるといろいろ制約が出てきますが，ここでは机上で計画を立てるという課題なので，実行可能かどうかは考えないで，自由な発想で計画を考えてください。上記の仮説が明らかになったとして，いよいよ具体的な研究計画を考えます。**研究計画**の具体的内容については，課題ごとに説明します。仮説を明らかにした上で，

①課題１：１）観察の対象をどのような人にするか　また，その人数

２）観察の場所と時間

３）**どのような行動を観察対象とするか**◎

４）**観察の仕方と記録の仕方**◎

５）観察が終わった後で，どのように分析するか

②課題２：１）面接の対象をどのような人にするか　また，その人数

２）**面接の内容（具体的な質問）と記録の仕方**◎

３）面接調査が終わった後で，どのように分析するか

③課題３：１）どのような子ども（年齢・性別など）を質問紙調査の対象とするか

（子どもたちが低年齢で質問紙に答えることが難しい場合は，どのような人たちを質問紙調査の対象とするか）

２）**どのような質問紙**（具体的質問項目）**を使うか**◎

（質問紙には，①テレビの見方や内容などについて調べるための質問項目と②「攻撃性」を調べるための質問項目が含まれることになります。①については，「仮説」にしたがってどのような内容をどのような項目で尋ねたらよいか考えてください。また，②については，全部で６項目とします。そのうち，３項目は「すぐに暴力をふるう」「言葉遣いが荒い」「つまらない，ささいなことでイライラする」とし，残り３項目は攻撃性を調べる上で適切な項目を各自で考えてください。その際，上で挙げた３項目の単純な言い換え（たとえば，「簡単に手を挙げる」「乱暴な言葉を使う」「ちょっとしたことで腹を立てる」など）にならないよう注意してください。

３）調査の仕方

４）調査が終わった後で，どのように分析するか

どの課題も，教科書のそれぞれの方法の「研究紹介」に示されている研究例を参考に計画を立ててください。紹介されている研究ほど綿密な計画でなくて構いませんが，基本的には同じような内容になります。また，レポートのポイントは，◎がついた項目です。

⑺　レポートの内容

レポートは，次のような内容にしてください。

1）その課題を選んだ理由
2）研究の目的と仮説
3）研究計画
4）その課題に取り組んで考えたこと，難しかった点，工夫したところ，疑問，感想など

2単位め 解説

**⑴　課題 4**

この課題は，**「心理学研究法Ⅰ」のスクーリングを受講しない人**が，2 単位めの課題として取り組むものです。レポート作成にあたっては，1 単位めの課題のアドバイスで述べた⑴と⑵の内容が非常に重要となります。教科書（とりわけ第 2 章，3 章，5 章の 3 節）をよく読み内容を理解してから課題に取り組んでください。

心理学の研究を進める上では，「どのような現象を明らかにしたいのか」あるいは「どのような対象に対して研究を行うのか」によって用いられる方法が異なります。また，それぞれの方法を通して得られるデータの性質（データの数や内容）や検査実施上の利点・留意点（一度に得られるデータの数，調査者や調査協力者の負担など）も異なります。したがって，実際に研究を行う際には，研究の目的や対象，仮説に合わせて，どの方法を用いるかを選択しなければなりません。では，「観察法」「面接法」「質問紙法」それぞれによって，明らかにできる事柄，できない事柄はどのようなことなのでしょうか？　また，それぞれの方法によって得られたデータの特徴や実施上の利点・留意点はどのようなことなのでしょうか？　以上の内容について，それぞれ「効用」と「限界（留意点）」に分けて整理し，レポートを作成してください。

**⑵　課題 5**

この課題は，**「心理学研究法Ⅰ」のスクーリングを受講する人**が，2 単位めの課題として取り組むものです。「研究法Ⅰ」のスクーリングでは，「研究法の成り立ち」「観察法」「面接法」「質問紙法」に関して，その内容や効用・限界について解説していきます。また，この 4 つのテーマについて，より具体的に理解してもらうために，適宜実習を行います。そして，スクーリング終了後，「観察法」「面接法」「質問紙法」のいずれかの方法を実際に用いた研究論文を配布します。課題 5 は，これらの配布された研究論文の中から 1 つを選び，まず，その研究の①目的，②仮説，③仮説を確かめるために用いられている方法とその詳細についてまとめます。さらに，④あなたなら仮説を確かめるためにどの方法を用いるかについて考えを述べることが課題となります。

レポートは，次のような内容で作成してください。

**①研究の目的**

心理学研究においては，研究者が関心を向けた要因（従属変数）に対して影響を及ぼす

別の要因（独立変数）が考えられ，この独立変数と従属変数の関係について検討が行われます。たとえば，『福祉心理学科スタディ・ガイド』Ⅲ章の「心理学研究法Ⅰレポート作成のためのヒント」について見てみると，清兵衛は「桶の売り上げ」に関心を向け（従属変数），それに影響を及ぼす要因（独立変数）として，「風が吹くかどうか」や「店の雰囲気」を取り上げています。では，選択した研究論文において，研究者は**独立変数，従属変数としてどのような要因を取り上げているのでしょうか。**言い換えれば，**どのような要因とどのような要因との関係を見ること**が目的となっているのでしょうか。この点についてまとめてください。

なお，「①研究の目的」と次に述べる「②研究の仮説」は，研究論文では多くの場合，「問題と目的」の中に書かれています。また，研究によっては論文の題目を見るだけで，独立変数や従属変数が何であるかわかる場合があります。たとえば，「○○が××に及ぼす影響」といった題目であれば，○○が独立変数であり××が従属変数であることがわかります。

**②研究の仮説**

「①研究の目的」で述べた独立変数と従属変数について，独立変数は従属変数に対してどのような影響を及ぼすのでしょうか？　この点について研究者が調査前に考える「仮の答え」が仮説となります。たとえば，先ほどの例を再び用いると，清兵衛は「風が吹くかどうか」という独立変数が「桶の売り上げ」という従属変数に対して，「風が吹くと桶の売り上げが下がってしまう」という方向ではなく，「風が吹くと桶の売り上げが上がってくれる」という方向で影響を及ぼすことを仮説として考えています。そして，実際の研究では，データを集め分析した結果に基づいて，その仮説が正しいかどうかについての検討が行われます。ここでは，選択した研究論文の中でどのような仮説が考えられているかについてまとめてください。

なお，研究論文においてはこの仮説が必ずしも明確に書かれているわけではありません。その場合，研究者がどのような仮説を考えていたかについて論文の中から読み取ることが重要となります。このレポート課題でも，「①研究の目的」で明らかにした独立変数と従属変数との関係について，つまり，**独立変数が従属変数に及ぼす影響の方向**について読み取り明記してください。

**③研究の方法**

ここでは，大きく［A．調査の手続き］と［B．独立変数と従属変数とを測定するために用いられた尺度］についてまとめてください。以下，「観察法」「面接法」「質問紙法」それぞれについて詳しく説明していきます。

「観察法」について

［A. 調査の手続きについて］

1）どのような人たちが観察の対象となっているか。また，その人数

2）観察の場所や状況，所要時間

3）観察方法（自然観察法か実験的観察法か）

4）観察の流れと記録の仕方

［B. 測定尺度について］

独立変数や従属変数を調べるために用いている行動カテゴリーや基準。そして，その行動カテゴリーや基準の具体的な内容。ここでは，独立変数と従属変数それぞれに対応する形でまとめてください。つまり，独立変数を調べるために用いた基準や行動カテゴリーとその具体的内容，そして，従属変数を調べるために用いた基準や行動カテゴリーとその具体的内容を分けてまとめてください。

「面接法」について

［A. 調査の手続きについて］

1）どのような人たちが面接の対象となっているか。また，その人数

2）面接が行われた時期，所要時間

3）面接方法（構造化面接か非構造化面接か半構造化面接か）

4）面接の流れと記録の仕方

［B. 測定尺度について］

独立変数や従属変数を調べるために用いている質問の具体的内容。ここでは，独立変数と従属変数それぞれに対応する形でまとめてください。つまり，独立変数を調べるために用いた質問内容と，従属変数を調べるために用いた質問内容を分けてまとめてください。

「質問紙法」について

［A. 調査の手続きについて］

1）どのような人たちが質問紙調査の対象となっているか。また，その人数

2）調査の仕方（質問紙の配布方法や回収方法）

3）用いた質問紙や尺度。そして，その具体的な項目

［B. 測定尺度について］

独立変数や従属変数を調べるために用いている尺度とその具体的項目。ここでは，独立変数と従属変数それぞれに対応する形でまとめてください。つまり，独立変数を調べるために用いた尺度や質問項目と，従属変数を調べるために用いた尺度や質問項目とを分けてまとめてください。

**④あなたなら「面接法」「観察法」「質問紙法」のうちどの方法を用いるか**

選択した研究論文では，「観察法」「面接法」「質問紙法」のいずれかの方法を用いて研究が行われています。「観察法」「面接法」「質問紙法」にはそれぞれそれを用いる効用と限界があります。つまり，「どのような現象を明らかにしたいのか」あるいは「どのような対象に対して研究を行うのか」さらには「どのような仮説を確かめたいのか」などについて，得意な部分と不得意な部分がそれぞれあるのです。そして，研究計画を立てる際にはこのような各研究法の効用と限界についての理解に基づき，研究の方法を選択することが必要になります。

では，選択した研究論文と同じ目的や仮説のもとで研究計画を立てる場合，あなたなら「面接法」と「観察法」と「質問紙法」のうちどの方法を選択するでしょうか。ここではその方法と選択理由について述べてください。もちろん，研究論文と同じ方法を選択しても構いません。ただし，その選択理由として「選択した論文で用いられていた方法だったから」というのはやめてください。たとえば，「この研究においては，○○（焦点が当てられている現象や対象，仮説の内容など）だから，××という特徴を持つ“面接法”（“観察法”“質問紙法”）を用いるのが適切だと考えたため」といった形でまとめるようにしてください。さらに，「この研究においては，○○（焦点が当てられている現象や対象，仮説の内容など）だから，△△という特徴を持つ“面接法”（“観察法”“質問紙法”）はあまり適切ではないのではないか」ということを付け加えても構いません。

## 参考図書


南風原朝和・市川伸一・下山晴彦編著『心理学研究法入門』東京大学出版会，2001年

南風原朝和・市川伸一・下山晴彦著『心理学研究法』放送大学教育振興会（NHK出版），2003年

海保博之・大野木裕明・岡市広成著『心理学研究法［新訂］』放送大学教育振興会，2008年

高野陽太郎・岡隆編『心理学研究法』有斐閣，2004年

『心理学マニュアル　研究法レッスン』『心理学マニュアル　面接法』『心理学マニュアル観察法』『心理学マニュアル　質問紙法』『心理学マニュアル　要因計画法』北大路書房，1997～2000年

高橋順一ほか編著『人間科学研究法ハンドブック』ナカニシヤ出版，1998年

日本発達心理学会監修『心理学・倫理ガイドブック』有斐閣，2000年

『発達研究の技法』『臨床心理学研究の技法』『社会心理学研究の技法』『性格研究の技法』『認知研究の技法』（シリーズ・心理学の技法）福村出版，1999～2000年

大山正監修『心理学研究法 1 ～ 5 』誠信書房，2011～2012年

『心理学研究法』（1～17）東京大学出版会
W. J. レイ著・岡田圭二訳『エンサイクロペディア　心理学研究方法論』北大路書房，2003年
森正義彦・篠原弘章『心理学研究法』培風館，2007年
伊藤正人『心理学研究法入門』昭和堂，2006年
吉田寿夫編著『心理学研究法の新しいかたち』誠信書房，2006年
大山正ほか著『心理学研究法』サイエンス社，2005年
丹野義彦編『臨床心理学研究法』誠信書房，2004年
山本力・鶴田和美編著『心理臨床家のための「事例研究」の進め方』北大路書房，2001年
鈴木淳子著『調査的面接の技法』ナカニシヤ出版，2002年
松浦均・西口利文編『観察法・調査的面接法の進め方』ナカニシヤ出版，2008年
安藤清志・村田光二・沼崎誠編『新版　社会心理学研究入門』東京大学出版会，2009年
やまだようこ編『現場（フィールド）心理学の発想』新曜社，1997年
田尾雅夫・若林直樹編『組織調査ガイドブック』有斐閣，2002年

# 心理学研究法Ⅱ

科目コード●０５０５０９

担 当 教 員● 木村　進・白井　秀明
中村　修・佐藤　俊人・平川　昌宏　ほか

| 2 単位 | SR | 2 年以上 |
|---|---|---|

24年度から必修科目ではなくなりました。 → 福祉心理 選択A

## 科目の内容

この科目は，心理学において使われる代表的な研究の方法について，基本的な理解を図ることを目指しています。代表的な方法の一つである「実験法」については，別に「心理学実験Ⅰ」，「同Ⅱ」，として科目が設定されており，さらに「心理学研究法Ⅰ」において，観察法，面接法，質的分析，質問紙法の４つについて学習します。

「心理学研究法Ⅱ」のスクーリング（２単位６コマ）では，検査法に関する理解と調査法のデータ分析（心理統計）に関する理解を図ることを目的とします。具体的には，１日めの最初の２コマで検査法全般に関する講義を行い，３コマめに心理統計の基礎に関する講義を行います。さらに，２日めには，$\chi^2$検定やｔ検定，相関分析といった基本的な検定法・データ分析法についての講義を行います。その中で，統計的仮説検定の一連の流れや各検定法・分析法について，さらには，結果のまとめ方などについてより実践的な理解を目指すために，パソコンの統計処理ソフトをデータ例にもとづいて操作することも行っていただきます。

講義内容の概要は以下のとおりです。

⑴　検査法について（担当　木村　進ほか）

①心理検査法とは　検査法実施上の留意点

②知能検査（ウエクスラー系・ビネー系）の概要と留意点

③発達検査の概要と留意点

④性格検査（Ｙ－Ｇ性格検査など質問紙法，ロールシャッハテスト・ＴＡＴなど投影〔映〕法，作業検査法）の概要と留意点

⑵　心理統計とデータ分析について（担当　白井秀明ほか）

①心理統計学の基礎についての講義（仮説演繹法，実験的研究と相関的研究，心理統計がなぜ必要か，サンプリングと剰余変数の統制，統計的仮説検定の流れなど）

②統計処理（有意差検定，相関分析等）についての講義（解説）と演習

## 教 科 書

スクーリング受講申込者に資料送付

心理学研究法一般については『福祉心理学科スタディ・ガイド』も参考にしてください。

## スクーリング受講条件

⑴ スクーリング申込締切日までに，福祉心理学科専門必修科目・選択科目A群のなかから 7 科目分のレポート（4 単位科目は 4 課題などその科目の全てのレポート）を提出していること（実験科目を含めて可，特講科目などS科目は含められない)。

⑵ スクーリング事前学習をすませてくること。スクーリング受講申込者には，あらかじめ「心理統計学についての基礎知識」のプリントを送る予定にしています。プリントに書かれている内容は，スクーリング内で説明しますが，そのプリントの内容が頭に入っていると，理解が的確にでき，スムーズに講義や演習に取り組めると期待されます。できるだけきちんと読んで理解してくるように努力してください。

⑶ レポート課題 1 単位めの課題 1 を行い，スクーリング初日開始時間に提出すること。

※ 課題の内容については，「レポート課題」「アドバイス」を参照してください。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | **課題 1 は，スクーリング初日開始時間に提出してください。課題 2 は，スクーリング受講中，または指定された期日までに提出してください。**<br>**課題 1**　『福祉心理学科スタディガイド』 III 章を読み原則的な研究の流れについて要約レポートを作成しなさい。その際，「独立変数」「従属変数」「仮説」「構成概念」という 4 つの用語を必ず用いること。<br>**課題 2**　当日わたされたデータを講義内容をふまえ統計的手法を用いて分析し，その結果をわかりやすく整理した後，仮説が支持されたか否か検討しなさい。 |
| 2 単位め | **スクーリング受講後に提出すること**<br>パーソナリティ検査における質問紙法・投影法・作業検査法の特徴について述べ，それぞれ代表的な検査の 2 ～ 3 について解説しなさい。 |

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年 3 月スクーリング受講者よりレポート課題が一部変更されました。必ず今回記載の課題で提出してください。

## アドバイス

**1単位め 課題1 解説**

この課題は，スクーリング初日開始時間に提出してください（事前郵送は不可。必ず当日持参）。

要約レポートの作成要領は下記のとおりです。

1）A4判用紙（または原稿用紙）使用1,000字以上 ワープロ･パソコン可（手書きも可）。1行めに学籍番号・氏名を記載。返却はいたしませんので，コピーを手元に残しておいてください。

2）要約は，文中太字の語句を中心にまとめてください。また，「独立変数」「従属変数」「仮説」「構成概念」という4つの用語を必ず用いてください。書式は自由（箇条書きや図解の使用も自由）です。

3）この要約レポートはスクーリングの講義内容の理解を深めるための予習にあたるものですので，自分なりの理解でまとめてください。

**1単位め 課題2 解説**

この課題は，スクーリング受講中，または指定された期日までに提出してください。提出用紙はスクーリング実施中に配布します。

レポート課題では，具体的な研究例のデータに対して，

・その研究の仮説を確認する
・仮説の検討に用いる分析手法を選択する
・SPSSを用いて実際に分析する
・SPSSの分析結果を読み取り，どういう結果が得られたかを文章と表でわかりやすくまとめる
・仮説が支持されたか否か結論をくだす

という作業を一人で行い，レポートにまとめていただきます。

多くの受講生にとっては，何のために統計処理をするのか，また，その結果は何を意味しているかということについては，ほとんど知識がなく戸惑うことが多いのではないかと予想されます。その点についても，スクーリング中に説明しますので，講義をきちんと聴くということと，ある程度予習をして「統計学」ということについても基礎的な学習をしてくることを期待しています（前述の「事前学習」参照）。

**2単位め 解説**

スクーリングを受講した人が，「2単位めのレポート課題」に取り組むことになります。

2単位めのレポートは，通常のレポート用紙に記入して，提出してください。

パーソナリティ検査（性格検査）は，検査の仕方によって「質問紙法」「投影法」「作業

検査法」などに分類されます。この課題は，まず，それぞれの方法について，その考え方，長所と短所などを解説することが求められています。そして，それぞれの方法を使った代表的な検査を各１つ（合計３つ）選んで，その検査の作成の経過，特徴，内容，実施方法，分析方法などについて説明するというのが，課題の後半部分です。

なお，この課題は，

⑴　質問紙法・投影法・作業検査法の特徴について述べる部分

⑵　それぞれの代表的な検査の各１つについて，検査の作成の経過，特徴，内容，実施方法，分析方法などを解説する部分

で構成する必要があります。

２単位めの課題では，レポート用紙のｐ．９～16まで使用し，4,000字程度まででまとめていただいても結構です（パソコン印字の場合左右40字×30行×４枚まで）。

⑴の「質問紙法・投影法・作業検査法の特徴について述べる部分」がこの課題の中心となりますので，⑵については簡略にまとめてください。

このレポート課題は，スクーリングの講義内容および適当な参考書を見つければ書ける内容になっています。参考書入手が困難な受講生は，スクーリングの際に図書館を利用して，レポートの材料を集めておいた方がいいでしょう。なお，参考文献を明記することを忘れないでください。

## 参考図書


**●心理検査に関するもの**

松原達哉編著『心理テスト法入門［第４版］』日本文化科学社，2002年

大村政男・花沢成一・佐藤誠著『心理検査の理論と実際〔第４版〕』駿河台出版社，1998年

塩見邦雄編著『心理検査ハンドブック』ナカニシヤ出版，1998年

願興寺礼子・吉住隆弘編『心理検査の実施の初歩』ナカニシヤ出版，2011年

水田善次郎著『心理検査の実際』ナカニシヤ出版，2001年

渡部洋編著『心理検査法入門』福村出版，1993年

村上宣寛著『心理テストはウソでした』講談社＋α文庫，2008年

**●心理統計に関するもの**

吉田寿夫著『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大路書房，1998年

岩淵千明編著『あなたもできるデータの処理と解析』福村出版，1997年

大村平著『改訂版　統計のはなし』日科技連，2002年

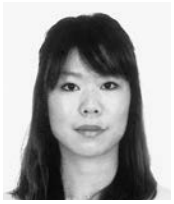
松田文子ほか著『わかって楽しい心理統計法入門』北大路書房，2007年

丸山欣哉ほか著『学生のための心理統計法要点』おうふう，2009年
村井潤一郎・柏木惠子著『ウォームアップ心理統計』東京大学出版会，2008年
山内光哉著『心理・教育のための統計法＜第3版＞』サイエンス社，2010年
山田剛史・村井潤一郎著『よくわかる心理統計』ミネルヴァ書房，2004年
南風原朝和著『心理統計学の基礎』有斐閣，2002年
南風原朝和ほか著『心理統計学ワークブック』有斐閣，2009年
田中敏著『実践心理データ解析（改訂版）』新曜社，2006年
森　敏昭・吉田寿夫編著『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』北大路書房，1990年

## スクーリング受講上の注意

3月のスクーリングを受講して3月末に卒業することは原則としてできません。万一，希望する場合は1月10日ごろまでに書面で希望届の提出が必要で，1・2単位めレポートもスクーリング受講後すぐの提出が必要です。

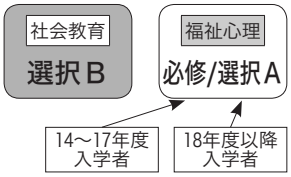
# 環境心理学



科目コード●050504

担当教員●小松　紘(左)
山口奈緒美(右)

**2**単位 | **R or SR** | **2**年以上




## 科目の内容

「環境心理学」は「心理学」の研究分野の一つです。「心理学」の大きな目的の一つは人間理解にあるのですが，「環境心理学」はとくに，ヒトと環境とのさまざまなかかわりのあり方を通して人間を理解するといってもよいでしょう。よく“人は人によって人となる”などといわれますが，これは人と人的環境，もっと大きくとらえれば人と社会的環境とのかかわりについて述べたものです。また私たちは，毎日の生活を快適にするために，部屋のインテリア，採光，温度などに配慮します。これは物理的環境に手を加えていることになります。街の景観や都市計画，産業地帯の整備などは，はるかに規模の大きいものになるわけです。それによって私たちは快適感や満足感を味わうことができる一方で，目的や方法が身勝手で，環境への配慮の足りないものであれば，環境を汚染し取り返しのつかない破壊を地球に残してしまうことにもなります。

この科目では，人間の成長発達に及ぼす環境の影響や，快適環境作りなど，基礎と応用の両面にわたって勉強しながら，一方では破壊，他方では保全といった，相反する行動を行う人間の心の世界をも考えてみたいと思います。

## 教科書

岩田紀編著『快適環境の社会心理学』ナカニシヤ出版，2001年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 職場環境あるいは居住環境のどちらかを選び，その機能性，快適性，安全性について，具体例をあげながら，望ましい環境条件について論じなさい。 |
| 2単位め | 地球温暖化はなぜ起こるのか，その原因と考えられる人間の心理と行動について説明し，地球環境を守るために私たちが今行わなければならないことは何かを論じなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（別レポートは論述式）** |

## アドバイス

私たちの日々の生活で最も身近な「家」あるいは「職場」環境の機能性，快適性，安全性と，私たち人間の環境破壊によるさまざまな環境問題について考えてもらいます。どちらもきわめて日常的かつ重要な問題ですので，日ごろの自分の考えを生かしながら，具体的で現実味のあるアイディアを述べてください。解決策は意外と身近なところにあるものです。

**■ 2 つの課題に共通する留意点**

**1．レポート全体の構成**

レポート全体の構成について注意深く考えてみましょう。大きくは，導入・議論・結論の 3 部構成にし，それぞれ順に15%，70%，15%くらいの割合にするとバランスが良くなるでしょう。

**2．「段落」，「一文」についての意識を高める**

その段落で読み手に伝えたいことは何でしょうか？　読み手に何を伝えたいのか，段落ごとに意識しながら書きましょう。また，次の段落につなげるときには，段落間のつながりがスムーズで無理のないものかを考えてみましょう。そのようにして一つひとつの段落を積み上げていくつもりで全体を書いてみましょう。同様に，一つひとつの文章間のつながりも，なめらかで強引なところはないか見直し，文章単位でも推敲を重ねてください。主語と述語が一致しない文章がないか，長すぎる文章がないかをチェックしてみてください。（レポートでの「です・ます」調，体言止めなどはふさわしくありませんので使用しないように。）

**3．参考文献・引用文献について**

引用文献とは，その中の文言を引用した文献です。その文献の著者・出版年・タイトル・出版社をレポートの最後に明記しなくてはなりません。本文中に，例えば，「高田（2009）は…」や「…である（高田，2009）」などと表記した場合には引用文献となりますので，その原典を引用文献として記載してください。テキスト中で紹介されている研究をレポートに引用する場合，テキストを参考文献として挙げるだけでは不十分です。レポート本文で上述のような表記〔（高田，2009）など〕をするなら引用文献として扱ってください。原典は参考にした図書（章）の最後にまとめられていますので，そのままの形式で記載してください。一方，参考文献とは，レポートを書く上で漠然と参考になったという文献です。これも最後に参考文献として著者，出版年，タイトル，出版社の情報を挙げてください。

1単位め 解説

テキスト第4章「住宅環境と居住性」，第5章「超高層集合住宅」，あるいは第6章「オフィス環境の快適性」をよく読んでください。それらの知識を参考にしながら，今お勤めの職場環境，あるいは今お住まいの居住環境（建物そのものと立地条件など）を，どのように改善したら機能性，快適性，安全性の点から見てよりよい環境になるかを論じてください。

なお論述に当たっては，プライバシーの観点から判断して，許される範囲で結構です。よりくわしいアドバイスは下記のとおりです。

**1．概念の定義**

職場環境か住居環境のどちらかを選び，その環境における機能性，快適性，安全性とは何か，3概念それぞれについて，自分はどのような意味でこの言葉を用いるかを述べてください。その際，「○○性とは…のことである」などの文章を使うとよいでしょう。

論じようとする概念を定義することは，自分が何について述べようとしているのか，自分が論じるのはどの範囲なのかを読者に伝えることです。何について述べようとしているのかを最初に読者に示すことによって，レポートの書き手と読み手が同じことについて考えられるようになります。例えば，「快適性」とは何のことでしょう？身体的な心地よさを指しているのか，精神的なそれを指しているのか，両方なのか，あるいはもっと別なものを指しているのか，さまざまな解釈があり得ます。書き手と読み手が同じ事象について考えることができるよう，概念を定義する必要があるのです。

**2．定義した範囲内におさまる具体例**

定義ができたら，自分が定義した範囲内に収まる具体例を示すようにしましょう。その際，定義と具体例の一貫性を保つよう心がけましょう。そうすることによって，脱線することなく議論することができ，読者に説得力をもって働きかけることができます。

**3．最後にまとめの段落をつくりましょう**

住居環境（職場環境）の機能性，快適性，安全性についてそれぞれ論じ終えたら，最後にまとめの段落を作ってレポート全体を締めくくるようにしましょう。今まで論じてきたことをまとめ，どのような住居環境（職場環境）が理想とされるのかについて，自分の考えをまとめるようにしてください。

2単位め 解説

テキストのパートⅢ「地球環境の保全」を参考にしてください。環境を汚染し，破壊するような結果をもたらした人間行動の多くは，おもに経済的価値を第一とする考え方に根ざしており，それに政治的価値重視の考えが重なるとそ

の規模も極端に大きくなる傾向にあります。改善のためには，いろいろな機会を利用しての啓蒙と，一人ひとりが，面倒がらずに保全のための努力を地道に継続するしかありません。自分の日々の生活を振り返り，地球市民の一員としての責任を果たすためにも，ぜひ改めて考え，実行してみてください。よりくわしいアドバイスは下記のとおりです。

**1．地球温暖化による異変**

地球温暖化による異変について，砂漠化や温暖化など，ご自身の関心のあるものでよいので，1～2つ位のトピックスに絞って具体的に紹介してください。実際のデータや数値などを示しながら，客観的に書きましょう。

**2．地球温暖化**

温暖化がなぜ生じたのか，その原因を考えて書いてみましょう。その際，温暖化を導いた人々の心理的原因とそれによって引き出される行動的原因に注目してみましょう。

**3．原因を取り除く具体的行動と，それを促進する具体的アプローチは？**

原因まで記述できたら，その原因を取り除くために我々ができることを具体的に書くとよいでしょう。その際，どのような心理学の知見や考え方がそれを促進することができるのかを調べて紹介してください。環境問題の難しさは，環境破壊を抑制する日常的な行動（例えばエコバックや公共交通機関の利用など）が大切であるという人々の認識は十分にあるのに，実際にはそれをあまり行わないところにあります。どのような心理学的知見を活用すれば，こうした問題を少しでも解決できると思いますか？その際，テキストにある専門用語を単に並べて述べるのではなく，その専門用語が何のことを意味していて，それがどのように課題の解決に役立つのかを自分の言葉で述べましょう。この分野を初めて学ぶ人にも分かるように心がけて書くと良いレポートになると思います。大いに自分の考えを述べてください。

レポートの一番の目的は，課題についてさまざまな資料や文献を調べ，調べたことをもとに自分が「何を」「どう考えたのか」を読み手に分かりやすく伝えることです。自分の考えや主張を段取りよく相手に説明することは日常生活でも重要なスキルだと思います。レポート作成を通して，ぜひこのスキルを身につけていただけたらと思います。がんばってください。

## 参考文献

広瀬幸雄編　『シリーズ21世紀の社会心理学11　環境行動の社会心理学－環境に向き合う人間のこころと行動』　北大路書房，2008年

佐古順彦・小西啓史編『朝倉心理学講座12　環境心理学』朝倉書店，2007年

三菱総合研究所　環境・エネルギー研究本部編『Q＆A環境問題50』日本経済新聞出版社，2010年

鈴木浩明著『快適さを測る』日本出版サービス，1999年

遠山益著『人間環境学』裳華房，2001年

日本生理人類学会　居住環境評価研究部会編著『生理人類学から見た環境の科学』彰国社，2000年

槙究著『環境心理学――環境デザインへのパースペクティブ』春風社，2004年

渡辺光雄・高阪謙次編著『新・住居学〔改訂版〕』ミネルヴァ書房，2005年

# 認知心理学

科目コード●050510
担 当 教 員● 西林　克彦

**4** 単位 | **R or SR** | **2** 年以上

社会教育 選択B

福祉心理 選択A

## 科目の内容

日常用語としての「認知」という言葉は，「認める」とか「知る」といった意味です。心理学では，それにくわえて推理・思考などの高次精神機能をへて「知る」ということも入ってきます。とにかく「認知」とは広い意味で「知る」ことだと思ってください。

ですから，「認知心理学」は「どのようにして知るのか」の学問といっていいでしょう。ただ，「認知心理学」には著しい特徴があります。それは，人は（動物も基本的に同じですが）その時々において，すでに枠組みを持っているのを認めることです。意識することは少ないのですが，私たちは自分の持っている枠組みで外の世界に注意を向けます。ですから，その枠組みに関係する情報は引っかかりやすく簡単に取り入れられるのです。それに対して枠組み・知識のない分野の情報は，取り込むのに大変苦労したりします。偏った考えを持った人が，そのアンテナに掛かる情報ばかり取り入れ，ますます偏ってしまうことにもなったりするわけです。旧来の条件づけ的な心理学ではこのような事態は説明できませんが，認知心理学では可能になります。

さて，この講座では，広範囲にわたる認知心理学領域全体を浅くカバーするのではなく，学習，理解，学習指導，文章の理解といったことを中心に，この学問ならではのアプローチの面白さを実感していただこうと思います。そこで獲得した見方・考え方は，認知心理学の広範な他領域の学習や，日常的な場面への適用をも容易にしてくれるでしょう。

## 教 科 書

1）西林克彦『間違いだらけの学習論――なぜ勉強が身につかないか』新曜社，1994年

2）西林克彦『わかったつもり――読解力がつかない本当の原因』光文社，2005年

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年４月より教科書，レポート課題，担当教員が変更されました。以前の教科書にもとづいて課題に取り組む場合は『レポート課題集2010（３・４年次）』p.146～を参照ください（提出期限：2012年９月）。なお，スクーリング受講時には新しい教科書の所持が必要となります。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 有意味学習と機械的暗記では学習の様態がずいぶん違います。なぜそうなるのか，そのことは学び方や教え方にどんな違いをもたらしそうか，について述べてください。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（論述式）** |
| 2 単位め | 文脈，スキーマ，活性化などの用語を使いながら，読みのメカニズムについて整理してください。また，それと以前の自分の読みに対する考えと対比させて述べてください。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（論述式）** |
| 3 単位め | 理解の構造，応用のためにはなぜ理解が必要なのか，について考えを整理して述べてください。 |
| 4 単位め | 読みの過程で「わかったつもり」がどのように生じ，それがどのようにより深い読みを妨げるかについて整理してください。また，認識の深まりということからすれば，このようなことは読みに限られるわけではないでしょう。他の分野でどのようなことがあるか考えてみてください。 |

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年 4 月よりレポート課題が変更されました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年 9 月までは提出できます。

## アドバイス

レポートを書くという作業は，教科書を読んでその内容をまとめることではありません。知識は，自分の頭の中を通過していない限り借り物ですし，自分のものになった言葉で書かない限り人に訴える力を持ちません。認知心理学的にいえば，自分の枠組み・認知構造が情報獲得に関与していなければなりませんし，関与していなければ「わかる」ということにもならないのです。また，自分の枠組み・認知構造が獲得した知識・情報によって，再構成すなわち変化させられていなければ，これまた，「わかって使える」ということにはならないのです。

ですから，レポートを書いている途中でわからないことや調べたいことが出てくれば，情報がだいぶん咀嚼されて自分のものになりつつあると考えてください。「わかったふり」をするのは厳禁です。そもそもそれでは自分の勉強になりません。新しく学んだ知識を整理し，わからない点や不整合な点を見つけ出し，具体的に適用するとどうなるのかといった疑問を抱き，それらに自分なりの回答を考えるといったレポートを期待しています。

**1単位め 解説**　教科書１）の１，２，５章が主として関係するところです。世の中では勉強法というと機械的暗記すなわち無意味材料に関するものがほとんどです。認知心理学で考えた有意味学習の有利さについて，またなぜ世の中では有意味学習が推奨されることが少ないのかについても考えてみてください。

**2単位め 解説**　教科書２）の１，２章が主として関係するところです。私たちは，読むときに意識しませんが，こんなにも積極的に複雑なことを，しかも瞬時に行っているのです。その巧緻なメカニズムを理解すれば，それがうまく働かないとき，うまく読めないときの理由や対応も考えることができるようになります。

**3単位め 解説**　教科書１）の３，４，５章が主として関係するところです。「理解の構造」は，少し歯ごたえがあるかと思いますが，ここが理解できれば，「応用」は比較的楽に了解できると思います。

**4単位め 解説**　教科書２）の３，４，５章が主として関係するところです。「わかったつもり」は，ひとつの「わかった」状態ですから，わからないところがなく，次の行動がとれないので，読みが深まらないのです。「わからない」だけが次に進めない理由だ，とよく思われがちですが，ある程度読める人には「わかったつもり」の方が，じつはよほど問題なのです。

## 参考図書


１）箱田裕司・都築誉史・川畑秀明・萩原　滋著『認知心理学』　有斐閣，2010年

２）リンゼイ，P.H.・ノーマン，D.A. 著　中溝幸夫ほか訳『情報処理心理学入門』（１－３巻）　サイエンス社，1985年

# 人格心理学

科目コード●050511

担当教員●皆川　州正

4単位 | R or SR | 1年以上

社会教育 選択B

福祉心理 選択A

## 科目の内容

ある状況で人はその人なりの思考や行動をとります。しかも，別なときの同じような状況でもその人はその思考や行動をとりがちです。このように一貫性と持続性をもったその人特有の思考や行動の特徴的傾向の体系を「人格」といっています。「人格」と「性格」はほぼ同じ意味で用いられますが，区別するときは，「人格」は態度，興味，価値観などを含む心の全体的特徴を指し，「性格」は主として感情や意志の側面の特徴を指します。

人格心理学では，①個人の全体性と独自性の記述と理解，②個人差の理解と予測，③自我・自己の理解，④人格の発達・形成過程の理解，⑤自己成長・人格変化の過程の解明と援助，⑥人格の障害・病理（葛藤と欲求不満，防衛機制を含む），⑦人格と健康の関連，⑧人格と文化・性差の関連，⑨人格の理解の方法などについて学びます。このうち，⑥⑧については，補足資料を参照ください。

なお，産業カウンセラーの受験資格取得をめざす人は，『産業カウンセリング』（産業カウンセラー養成講座テキスト）も参照ください。

## 教科書

岡田斉編『心理学理論と心理的支援』（社会福祉士シリーズ 2）（第 3 章）弘文堂，2008年

さらに，以下の補足資料（A 3 判・ 1 枚）を配付します。

・皆川州正　2004　問題行動の一般的経過：どのように見通しを持つのか　今城周造（編）福祉の時代の心理学　ぎょうせい　pp.198〜199

・今城周造　2004　情動・欲求の否定的側面：悩んだり，迷ったり　今城周造（編）福祉の時代の心理学　ぎょうせい　pp.63〜64（皆川により補足）

・皆川州正　人格と文化・性差の関連

※産業カウンセラー受験資格取得をめざす人は，『産業カウンセリング』（産業カウンセラー養成講座テキスト）も教科書に準じて活用ください。

**（平成20年度以前履修登録者）** 2009年 4 月より教科書のタイトルが変わりました。内容は，以前の教科書『臨床に必要な心理学』と同じです。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | **【説明型レポート】**<br>下記について各300字以上500字以内で簡潔に説明してください。<br>① ミッシェルの状況論の意義について<br>② 学習性無力感とその克服のための援助について<br>③ 自己概念の意義について<br>④ 認知スタイルおよび認知の歪みが感情や行動に及ぼす影響について<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・Web解答可** |
| 2 単位め | **【説明型レポート】**<br>下記について各300字以上500字以内で簡潔に説明してください。<br>①ユングの類型論からみた次の人物（A～Cから一つの人物群を選択）について<br>A 織田信長，豊臣秀吉，徳川家康<br>B 『サザエさん』のサザエ，マスオ，カツオ<br>C 『赤毛のアン』のアン，ダイアナ，ギルバート<br>②ビッグ・ファイブからみた①で選んだ人物について<br>③マズローの自己実現の研究の意義について<br>④タイプA・タイプCとそれぞれへの援助<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・Web解答可** |
| 3 単位め | 力動的構造論の一つをとりあげ，その力動的構造論の観点から，心理的不適応の具体例について考察しなさい。 |
| 4 単位め | 人格諸理論の視点から自己分析を試みて，その感想とコメントを述べなさい。 |

**（平成21年度以前履修登録者）**2009年 4 月および2010年 4 月に，レポート課題が変更となりました。『レポート課題集2008』『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年 9 月で受付を締め切りました。なお，2007年度の課題の 1 単位目が2008年度の 2 単位め，2007年度の 2 単位めが2008年度の 3 単位めに変更されていますが，合格していない課題については今後は上記の課題で提出してください。

## アドバイス

人格の研究方法として，伝記・日誌法，フィールドワーク，実験法，自然観察法，面接法，観察法（客観的評価法），尺度・質問紙法，投影法などがあります。人格について理解を深める際も，単に知識として学ぶだけでなく，人格の研究法を参考に実際の日常生活場面での人格にアプローチして考えていくことが望まれます。その際，他人の性格に対する私たちのとらえ方の癖や歪み（寛大化傾向，中心化傾向，近接誤差，対比誤差，年功誤差，ハロー効果，論理的誤謬，傾性帰属傾向など）についてよく知っておくことが大切で

す。第5章の1のBの［1］の⑴帰属と⑵印象形成も参照してください。また，あいまいな状況では，評価者の善悪の価値・期待・願い・恐れ・不安なども無意識に投影されて理解されがちです。

第3章の2では，人格のさまざまなとらえ方について述べてありますので，よく読んで，その背後にある人間観の違いについても考えてみてください。

レポートの作成にあたっては，テキストをよく読んで，その内容をよく理解してください。その際，①知識の理解，②具体的な場面での理解，③テキストの執筆者の見方や意図の理解，④家庭・仕事・教育・臨床などの場面での応用を心がけるとよいでしょう。また，知識の理解に際しても，心理学的な見方や考え方に目を向け，理論や学説が生まれた経緯や背景も考えながら読み進めるとよいでしょう。さらに，テキストだけでなく，各自でいろいろ調べて深めてください（1単位め～3単位めの課題については，テキスト以外に少なくとも2冊以上の専門書を参考にし，引用・参考文献として明示してください）。

**1単位め 解説**

①テキストの第3章の2のC〔4〕（状況論と相互作用論）を参考に取り組んでください。ミッシェルが特性論に疑問を抱くようになった経緯や状況論がその後のパーソナリティ研究に与えた影響も調べるとよいでしょう（特に，戸田・サトウ・伊藤（2005）に詳しく紹介されています）。

②テキストの第3章の2のE〔2〕（不適応行動の学習）を参考に取り組んでください。学習性無力感はセリグマン. Mによって発見された心理学的知見です。発見の経緯やその後の研究の知見，展開（ポジティブ心理学など）も調べるとよいでしょう。克服のための援助については，動機づけ的側面，認知的側面，情動的側面，選択的側面について考えてみてください。その際，第3章の2のE〔3〕（社会的学習理論と自己効力感）や第3章の2のD〔5〕⑴（個人心理学），第9章の3のC（動機づけの理論）も参考になります。なお，セリグマンの著書は日本でも翻訳されていますので，一読をお勧めします。

③テキストの第3章の2のF〔3〕（ロジャーズの自己理論）を参考に行動への影響，適応への影響について具体例をあげて取り組んでください。また，第4章の1のB〔2〕（青年期の発達課題）および第11章の1のD〔5〕（ナラティヴセラピー），小松・木村（2009）の第3部第2章第3節（自我と自己）も参考になります。

④テキストの第3章の2のG〔2〕（認知の個人差）を参考に具体例をあげて取り組んでください。代表的な認知スタイルとして，場独立／場依存などがあります。代表的な認知の歪みについては，第11章の1のC〔2〕認知療法に詳しくのっていますので，参考にしてください。

**2単位め 解説**

①テキストの第 3 章の 2 のB［3］（ユングの類型論）を参考に取り組んでください。3 人の特徴をあげ，それをもとに類型を考えるとよいでしょう。また，お互いの関係や達成・挫折についてもユングの類型の観点から考察してみてください。なお，類型論から人物をとらえる作業を通して，類型論の利点・欠点についても確認してください。

②テキストの第 3 章の 2 のC［3］（ビッグ・ファイブ）を参考に取り組んでください。特性は誰でも持っており，その程度の違いによってとらえます。そこで，それぞれの特性が高い，中くらい，低いというような記述になります。3 人の 5 因子の特性の程度を考え，それを裏付ける行動的な特徴をあげるとよいでしょう。また，特性論から人物をとらえる作業を通して，特性論の利点・欠点についても確認してください。

③テキストの第 3 章の 2 のF［2］（マズローの欲求階層説と自己実現論）およびジェネリックポイントの自己実現・自己超越を参考に取り組んでください。マズローは，最初は自己実現を果たしている人（自己実現的な人）について調べましたが，その後，自己実現的な人でなくても，至高経験をしていることに着目しました。また，晩年は，自己実現の上位にある自己超越を強調しました。マズローの研究の歩みについても調べてみるとよいでしょう。なお，小松・木村（2009）の第 3 部第 2 章第 4 節（自己実現）も参考になります。

④テキストの第12章のコラムを参考に取り組んでください。タイプAとタイプCは健康と関連する人格として有名です。具体例をあげながら考えてみてください。なお，課題およびテキストにはありませんが，健康と関連する人格として，アイゼンクによる 6 つのタイプ（タイプ 1 はタイプCに，タイプ 2 はタイプAに相当），うつ病になりやすい性格として，下田光三による執着気質やテレンバッハによるメランコリー親和型があります。

**3単位め 解説**

テキストの第 3 章の 2 のD（力動的構造からみる）と第11章の 1 のA（精神分析と分析心理学）あるいは第11章の 1 のE（交流分析）をよく読んで取り組んでください。力動的な人格理論は，障害や心理的不適応を説明するために臨床的知見から得られた理論でもあります。心理的不適応の具体例については，身近な人や社会的な事件，臨床的な事例などをとりあげて理解を試みてください。そして，テキストを参考に，力動的構造論の立場から，その具体例の人に対してどのように援助していったら心理的適応を促すことになるかについても考えてみてください。

**4単位め 解説**

人間の目は前についていて外を向いています。ある人は，このことから，自分を振り返り，自分の内に目を向ける人は少ないといいます。また，ソクラテスは「汝自身を知れ」といい，己の無知さをまず知ることを説きました。他

方，インドには，ソクラテスを訪ねた修行者が「あなたの哲学は何か」と問うたところ，ソクラテスは「自分自身を知ること」と答えたので，その修行者は「人間の本質を知らずして自分自身を知るなんて不可能」と思い，早々に帰ってきたという話が伝わっているそうです。それほど自分自身を知ることは難しいものです。

自分自身を知ることが難しい理由を心理学的にみた場合に，防衛機制と自我関与の働きがあります（加藤，2001）。自己分析に際して，防衛機制が働くと，知的に理解することで無意識に自分の感情に直面することを避けたり，○○だから仕方がないとあきらめたりするようになります。また，自我関与が働くと，自分のことだけを考えて，相手がどんな気持ちでいるかをなかなか考えられなくなったり，考えても自分の都合のいいように考えてしまったりします。そうすると，自分の感情（葛藤する感情や隠れた動機など）を見つめること，相手の気持ちに目を向け，相手の気持ちにそって考えることで自己分析の幅も広がるでしょう。

自己分析を行う際には，まずテーマをしぼります。最近イヤなこと，恥ずかしかったこと，癪に障ったこと，ガックリきたこと，あわてたことなどを思い出して，焦点をしぼって，そのときの自分の気持ちや動機について分析を行います（加藤，2001）。また，相手や周囲がどんな気持ちでいたか，自分の言動によってどんな気持ちになったかを考えます。

次に人格諸理論の視点から自己分析を行います。テキストの第 3 章だけでなく，第11章も読むと役立つと思います。以下に要点を述べますので，参考にしてください。

⑴ 類型論：自分の類型について知るとともに，相手の類型の良さを生かせる状況作りを図ったかどうか，相手の類型の短所を補うように助けたかどうかを振り返ります。

⑵ 特性論：自分の特性や相手の特性の病理的特徴を一般的特徴に言いかえてみます（たとえば，「臆病な人」は「とても控えめな人」というと印象が変わる）。そして，その特性を認め，その特性を十分に出せる状況や新たな行動の付加を考えてみます（たとえば，立食パーティでは大いに控えめにしていいので，周囲をよく観察してコップや料理の皿が空になっている人にはそっとビールをついだり料理を届けたりするなど）。

⑶ 力動的構造論：精神分析理論によれば，現実生活での外傷的体験やストレスを振り返るとともにそれ以前（主に子どもの頃）に性愛的（愛情・依存）欲求や攻撃欲求などで葛藤し，抑圧してこなかったかどうかを振り返り，抑圧してきた欲求を社会的に認められる形で満たす方法を考えます。ユング心理学によれば，症状や問題行動を無意識の補償作用や個性化の過程としてとらえ直し，生き方を変えていきます。個人心理学によれば，問題行動を通して自分は本当には何を望んでいるのか（行動の目的）を振り返り，問題行動以外で目的を達するやり方を考えます。交流分析理論（p. 41， p. 187〜190）によれば，自我状態をとらえ，高い自我状態での行動に偏っていないかどうかを振り返り，低い自我状態を高めるようにします。また，自分が繰り返しやすいゲームのパター

ンや人生脚本に気づき，ゲームからの脱却や再決断を行います。

⑷　学習理論：自分の問題行動について先行する手がかり刺激や強化について振り返ります。そして，段階的に目標行動に向かうことや目標行動の誘導の工夫（マークをつける，自己会話（「落ち着け」など）をするなど），社会的スキルの訓練，役割遂行や自己選択による自己効力感の向上，セルフ・モニタリング（自ら毎日測定記録をつける）などを図ります。

⑸　人間性心理学：自己概念を振り返り，経験していること（自分の感情や欲求など）に目を向けるようにします。

⑹　認知論：認知スタイルや認知の歪みについて振り返り，別の考え方や取り組みを図ります。

なお，第 3 章のジェネリックポイントの人生の意味の探究や自分についての物語，第11章の 1 のDの［ 2 ］のソリューション・トークも，新たな視点や問題行動と偽解決の悪循環パターンから抜け出すヒントを与えてくれるので，参照してください。

## 参考図書


加藤孝義著『パーソナリティ心理学――自分を知る・他者を知る』新曜社，2001年

河合隼雄著『ユング心理学入門』培風館，1967年（※ユングの類型論について詳しい）

小松紘・木村進編『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』八千代出版，2009年（※人格・性格・気質，人格諸理論，自我・自己，自己実現について詳しい）

前田重治著『図説　臨床精神分析学』誠信書房，1985年

諸冨祥彦著『カール・ロジャーズ入門――自分が“自分”になるということ』コスモスライブラリー，1997年

諸冨祥彦『自己成長の心理学――人間性/トランスパーソナル心理学入門』コスモスライブラリー，2009年

A.H.マズロー著　小口忠彦訳『人間性の心理学――モチベーションとパーソナリティ』（改訂新版）産能大出版部，1987年

A.H.マズロー著　上田吉一訳『完全なる人間――魂のめざすもの』（第 2 版）誠信書房，1998年

本明寛他編『性格心理学新講座』全 6 巻，金子書房，1989～1990年（「性格の理論」「性格形成」「適応と不適応」「性格の理解」「カウンセリングと心理治療」「ケース研究」）

大渕憲一・堀毛一也著『パーソナリティと対人行動』誠信書房，1996年

小川捷之・詫摩武俊・三好暁光編『パーソナリティ』（臨床心理学大系第 2 巻）金子書房，1990年（※自我・自己，人格の障害について詳しい）

小野直広編『生徒指導』（新教育心理学体系 3 ）中央法規出版，1993年

（※人格の理解の方法について詳しい）
M. セリグマン著　山村宜子訳『オプティミストはなぜ成功するか』講談社，1994年
島井哲志編『健康心理学』（現代心理学シリーズ15）培風館，1997年
清水弘司著『はじめてふれる性格心理学』（ライブラリ心の世界を学ぶ３）サイエンス社，1998年
杉山憲司・堀毛一也編『性格研究の技法』福村出版，1999年
瀧本孝雄著『性格のタイプ――自己と他者を知るための11のタイプ論』サイエンス社，2000年
詫摩武俊監修『性格心理学ハンドブック』福村出版，1988年
詫摩武俊・瀧本孝雄・鈴木乙史・松井豊編『性格心理学への招待（改訂版）――自分を知り他者を理解するために』サイエンス社，2003年
詫摩武俊・鈴木乙史・清水弘司・松井豊編『人間と性格』シリーズ全８巻，ブレーン出版，1999～2001年（「性格の理論」「性格の発達」「性格と対人関係」「性格の変容と文化」「性格研究の拡がり」「性格の測定と評価」「性格の不適応」「性格の病理」）
丹野義彦著『性格の心理――ビッグファイブと臨床からみたパーソナリティ』サイエンス社，2003年
戸田まり・サトウタツヤ・伊藤美奈子著『グラフィック性格心理学』サイエンス社，2005年

# 学習心理学

科目コード●050512

担 当 教 員● 本多　明生

2 単位 | R | 2 年以上

社会教育 選択B

福祉心理 選択A

この科目は25年度より履修方法がRorSRに変更されます。スクーリングは隔年開講の予定です。

## 科目の内容

心の科学である心理学は，近年めざましい発展を遂げ，研究領域も大きく広がってきています。心理学において，「学習」は，「経験による行動の変化，あるいは行動の可能性の変化」と定義されています。学習心理学は，このような経験による行動の変容を対象とする研究領域です。学習心理学の研究には，主として動物を対象として行われた条件付けの研究と，人間の記憶の研究という大きな二つの流れがありました。この二つの流れを学ぶことを通じて，私たちの行動がどのような要因の影響を受けるのかを包括的に理解すること，そして学習心理学の応用的成果に関しても理解を深めることが本科目の主な目的です。

## 教 科 書

篠原彰一著『学習心理学への招待―学習・記憶のしくみを探る（改訂版）』サイエンス社，2008年

**（平成19年度以前履修登録者）**2008年 4 月より教科書が変更されました。また，2009年 4 月より教科書は改訂されています。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | まず，無条件反応，無条件刺激，条件反応，条件刺激などという条件づけの専門用語の意味をそれぞれ説明しなさい。次に，「古典的条件づけ」と「オペラント条件づけ」とは何かを述べなさい。そして，「条件づけ」の「一般原則」とその生物学的制約について例をあげて考察しなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題** |
| 2 単位め | 学習心理学の知識を応用してください。<br>持込み不可の試験に合格したい時に効果的な記憶力を高める方法と忘却を防ぐ方法とを具体的に述べなさい。 |

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年４月に，レポート課題が一部変更されました。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年９月に受付を締め切りました。

## アドバイス

**1単位め解説**

特に教科書の第１章から第５章までがレポート課題に関係します。この教科書にはたくさんの図表が使用されています。心理学では図表を通して研究内容や実験結果を理解することが求められることが頻繁にありますので，図表にもきちんと目を通しながら学習を進めてください。

最初に第１章「学習心理学の領域」を読んで「学習とは何か」を学びましょう。その後，第２章「古典的条件づけ」と第３章「オペラント条件づけ」を読みましょう。第２章では，レポート課題に関係する専門用語が登場しますので，注意しながら読み進めてください。第３章まで読み進めたら，一度「古典的条件づけ」と「オペラント条件づけ」の相違点についてまとめてみましょう。レポートがまとめやすくなると思います。その後，第４章「強化と行動」と第５章「条件づけの制約」を読んでください。条件づけの生物学的制約に関しては第５章を参照してください。

１単位めのレポートでは，複数の専門用語解説が求められます。たくさんの情報をある一定量にまとめて，わかりやすく，簡潔に表現することは，心理学を学ぶうえで非常に重要です。そのため，１単位めのレポートを評価するときは，指定文字数（2000字以内）で，課題内容にそった記述が，わかりやすく，明確になされているかどうかに注目して評価したいと思います。

**2単位め解説**

特に教科書の第６章から第10章までがレポート課題に関係します。１単位めと同様，心理学では図表を通して研究内容や実験結果を理解することが求められることが頻繁にありますので，図表にもきちんと目を通しながら学習を進めてください。

最初に第６章「一時的な記憶」を読んで「条件づけと記憶」のつながりを理解しましょう。その後，第７章「長期記憶の多様性」と第８章「長期記憶への取り入れ」を読みましょう。レポートに関係する事柄（特に記憶力を高める方法）は，第８章で中心的に記述されています。その後，第９章「保持と忘却」と第10章「検索」を読んでください。レポートに関係する事柄（特に忘却を防ぐ方法）は，第９章が参考になると思います。

２単位めのレポートでは，教科書に書かれている学習の原則や現象を自分なりにまとめ，応用するように工夫して頂きます。教科書を読み進めるときには，上述したレポート課題に関係しそうな部分に注意するとレポートが書きやすくなると思います。１単位めのレポートと同様，指定文字数（2000字以内）で，課題内容にそった記述が，わかりやす

く，明確になされているかどうかに注目して評価したいと思います。

## 参考図書

山内光哉・春木豊編著『グラフィック学習心理学　行動と認知』サイエンス社，2001年
森敏昭・岡直樹・中條和光著『学習心理学（心理学の世界　基礎編 2）』培風館，2011年

# 教育心理学

科目コード●050513

担当教員●白井　秀明

2単位 | R or SR | 1年以上

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択A | 選択A |

## 科目の内容

「心理学」の中で最も有名な研究のひとつに，エビングハウスが行った記憶の研究があります。「ひとはなぜ忘れるのか？」という記憶や忘却のメカニズムをはじめて科学的に研究したからです。一方，その「心理学」の一分野である「教育心理学」では，同じ記憶や忘却を研究するのに，「どうしたら忘れなくなるか？」という発想をします。この発想の違いが，教育心理学とはどういう考え方をする学問か，ということを考える際の手がかりになると思います。えっ，まだよくわからないって……。

では，ズバリ言いましょう。教育心理学的に考えるとは，“学ぶ人の味方になって考える”ことなのです。子どもであれ大人であれ何かを学ぶ人は，まちがったりつまずいたりすることもある，それはきっと彼ら彼女らなりの理由があるにちがいない，その“言い分”にじっくり耳を傾けて，その対策を考えてみようじゃないか，というわけです。ですから，子どもに何かをわかりやすく教えたいと思っている先生，いやなにも学校教育に限らず，人と楽しく教育的なかかわりを持ちたいと思っている人にとって，少しでも役に立つ知識や技術や考え方，そういうものを提供するのが教育心理学だと考えています（かなり私の希望が入っていますが）。

本科目で使用する教科書には，算数や国語などの具体的な教え方はほとんど書かれてありません。でも，“学ぶ人の味方になりたい！”と考えている人にとっては，大切な考え方や研究が数多く紹介されています。「ほほう，こういう考えや研究は学ぶ人に味方になっているな」などと読み進めていただければ，と思います。もちろん，ご自分の「教育」「学習」「発達」などに対する考え方とつきあわせて読むということも大切なことです。教科書に書いてある心理学者の名前や考え方をただ記憶するだけでは，教育心理学って面白いな！とは感じてもらえないと思うからです。

## 教科書

永野重史編著『教育心理学――思想と研究』放送大学教育振興会，1997年

## レポート課題

**※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。**

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 「知識観」「学習観」「動機づけ観」「学習環境観」「教育評価観」「教師観」からひとつ選んで，「行動主義」と「認知主義」の考え方の違いを，具体例を挙げながら説明しなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（別レポートは論述式）** |
| 2 単位め<br>（課題1, 2選択） | **課題 1 （認定心理士，精神保健福祉士受験資格取得希望として届出をしている者，その他教職免許状取得希望者以外はこちらを解答すること）**<br>ヴィゴツキーの「発達の最近接領域説」は，どんなところが“学ぶ人の味方”になっている考え方か。ピアジェの「発達段階説」と対比させて説明しなさい。<br><br>**課題 2 （教職免許状取得希望として届出をしている者はこちらを解答すること）**<br>「学習障害（LD)」「注意欠陥多動性障害（ADHD)」のどちらかひとつを選び，そうした障害を持つ児童・生徒の行動特徴を整理し，もし自分が彼ら彼女らの担任になったとしたら，どんなことを大切にしてかかわりたいと考えるかについて述べなさい。 |

## アドバイス

レポートを書くにあたって，教科書だけに頼るのでなく，教科書や文末に紹介されている参考文献などからの“輸入”は大歓迎です（“輸入元”はレポートに明記してください)。“わかること”と“わからなくなること”が交互に繰り返される，それが何かを学ぶ筋道だと考えるからです。

**1単位め 解説**

「〜観」というのは，ものごとに対する見方，考え方のことです。「行動主義」と「認知主義」では，学習についてだけでなく，さまざまなことに関する考え方が異なります。教科書の 3 章， 4 章だけでなく， 9 章や10章にも，両者の違いが書かれてあります。まず，これらを読んで両者の違いについて整理してください。

それから，課題に書いてある「知識観」〜「教師観」の中からひとつ選んで，ご自分が読んだり，見たり，聞いたりしたこと，特に，今までのご自分の教育体験の中で，「行動主義」と「認知主義」の考え方のそれぞれに当てはまる具体例をさがしてください。なにもかたく考える必要はありません。「こんな先生がいたけど，これは行動主義的な考え方をもった先生だったのではないか」とか，「生徒のやる気を出すためにこんなことをした先生がいたけど，これは認知主義が主張する内発的動機づけになっていたのではないか」とか「今まで自分は勉強するってこう考えてやってきたけど，そういう考えって行動主義

的な学習観になっていたのではないか」とか「こういう問題を解いているときに，こういう“ああーわかった！体験”をしたけど，認知主義の先駆であるゲシタルト心理学が主張した洞察のことだったのか」などなど，自由にそして大胆（!?）に，具体例探しをしていただきたいのです。面白いエピソード，お待ちしています。

**2単位め 課題1 解説**

ポイントは，「発達」に対する「教育」の役割を，両者がどう考えているかです。もちろん，ここでいう教育とは，学校教育だけでなく，社会的・文化的経験などを含めたもっと広い意味での教育活動のことです。間違いやつまずきを示す，いいかえると，発達が滞っている人に対して教育活動を受動的・消極的にとらえているのはどちらでしょうか。能動的・積極的にとらえているのはどちらでしょうか。まず，「教育」と「発達」の関係に対する両者の考え方の違いを対比的に示して欲しいのです。そして，両者の「教育」と「発達」の関係に対する考え方とご自分の考えとつきあわせた結果，自分は「教育」「発達」についてどう考えるか（考えられるようになったか）も，ぜひお書きいただきたいと思います。

**2単位め 課題2 解説**

教員免許を取得なさりたい受講者への課題です。まず，発達や学習，さらにコミュニケーション等の面で，こうした障害を持つ子どもたちがどういう行動をしがちなのか，その特徴を調べて整理してください。その上で，自分がそうした子どもの担任になったとしたら，その子どもにとってよりよい成長を少しでもうながすために，どういうことに注意してかかわる必要があるのか，いろいろ調べたり考えたりしていただきたいのです。その際，学級の中だけでなく，学校という組織の中，さらには学校外の専門機関との連携など，視野を広げて考えてください。

なお，この課題に取り組むにあたって，教科書ではなく，ご自分で参考となる本を見つけていただきたいのです。いわゆる専門書でなくてもかまいません。もちろん，やさしく書かれてあると思う何冊かは，参考図書として次頁に挙げておきました（こうした障害を持つ子どもやその親を支援する団体が開設しているホームページなどにも，やさしい解説や参考図書などが紹介されています）。これら以外にも参考になる本はたくさん見つけられると思いますが，いきなり専門的な本に手をつけるのでなく，入門書的な，そして，なるべく具体的にやさしく書かれてある本を何冊かみつけて，まず全体を一読することをお勧めします。そうすることで，障害の種類による違いだけでなく，いわゆる障害を持つ子どもたちとかかわる際に共通して大切な見方，考え方がおわかりいただけるのではないか，と思うからです。

## 参考図書

園田富雄監修・著　山崎史郎編著『新版教育心理学ルック・アラウンド――わかりたいあなたのための教育心理学』ブレーン出版，1992年
教育心理学の主な領域の内容が網羅されています。初学者が，教育心理学の全体的な骨格を知るには適書だと思います。

宇野忍編『授業に学び授業を創る教育心理学　第2版』中央法規出版，2002年
題名からわかるように，授業実践の実例を豊富に取り上げながら教育心理学の諸問題について書かれてあります。と同時に，学習者の味方になって授業を創っていこうという姿勢が貫かれている，とも言えるでしょう。教員志望の方にはぜひともお読みいただきたい一冊です。

永野重史著『教育心理学通論――人間の本性と教育』放送大学教育振興会，2001年
教育心理学の再入門のために書かれた本です。「教育」「学習」「発達」などに関するご自分の考えをさらに整理する目的でお読みいただけたら，と思います。

**参考図書（2単位め　課題2）**

辻井正次編著『特別支援教育　実践のコツ　発達障害のある子どもの＜苦手＞を＜得意＞にする』金子書房，2011年
茂木俊彦監修，上野一彦編，稲沢潤子文，オノビン＋田村孝絵『子どものためのバリアフリーブック　障害を知る本⑧　LD（学習障害）の子どもたち』大月書店，1998年
上野一彦・中根 晃責任編集　『わかるLDシリーズ①　LDとは何か　基本的な理解のために』日本LD学会編　日本文化科学社，1996年
リンダ・J・フィフナー著　上林靖子・中田洋二郎・山崎透・水野薫監訳『こうすればうまくいく　ADHDをもつ子の学校生活』中央法規出版，2000年
アリソン・マンデン＆ジョン・アーセラス著　市川宏伸・佐藤泰三　監訳　紅葉誠一訳『ADHD注意欠陥・多動性障害　親と専門家のためのガイドブック』東京書籍，2000年
田中康雄　『ADHDの明日に向かって――認めあい，支えあい，赦しあうネットワークをめざして』星和書店，2001年

**参考になるホームページ**

NPO法人　えじそんくらぶ　　http://www.e-club.jp/
NPO法人　アスペ・エルデの会　http://www.as-japan.jp/

# 家族心理学

科目コード●050515

担 当 教 員● 西野美佐子

2単位 | R or SR | 1年以上

社会教育 選択B

福祉心理 選択A

## 科目の内容

家族は，社会を構成する基礎的集団です。近代社会の中で，家族は徐々に縮小化し，孤立化してきており，これまで家族が果たしてきた役割は試練に立たされています。家族の形態や営みは，その国の歴史的・社会的・経済的影響を受けさまざまな様相を示しますが，人は家族の中で生まれ，家族メンバーが織りなす心理構造の中で成長し，やがて死を迎えます。

家族心理学では，家族のライフコースと発達段階，そのあと，夫婦，親子，きょうだい，そして多世代関係などの家族内心理構造について，そして，次世代を生み育てる営みであるペアレンティング（親らしい行動）の形成について学びます。さらに，システムアプローチに基づいた家族臨床の問題として，児童虐待・家庭内暴力・非行や自殺，子どもの神経症などを引き起こす家族病理，さらに家族への援助や指導が的確になされるために，家族関係のアセスメントと家族関係への心理的介入などについて学ぶことをねらいとします。

## 教 科 書

岡堂哲雄編『家族心理学入門〔補訂版〕』培風館，1999年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 家族の発達段階について，それぞれの時期に家族メンバーが直面する危機（発達課題）について，具体例を示して考察し，その解決には何が求められるのか家族のもつ心理構造から説明しなさい。 |
| 2単位め | 家族病理について述べなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題** |

## アドバイス

1単位め 解説

心理学的にみると，家族発達の各段階にはその段階固有の生活の姿があり，家族メンバーは適応と変化を求める課題に直面します。これは家族に緊張と動揺をもたらしますが，この課題に取り組み，新しい段階に適応した再組織化を

することで危機を脱し安定した状態に達することができます。もし，家族が特定の段階のありようにしがみつき，変容を受け入れずその課題の解決が十分なされないで次の段階に進むと，次の発達段階の課題解決も一層難しくなるでしょう。ここでは，これまで提示されてきた主な家族発達段階論を学び，そのうえで家族ライフコースの諸段階の特徴をまとめてください。

テキストでは家族の誕生から崩壊までを 6 段階の家族発達段階モデルで説明しています。第 1 段階は新婚期，第 2 段階は出産・育児期，第 3 段階は子どもが学童期の時期，第 4 段階は子どもが10代の時期，第 5 段階は子どもが巣立つ時期，第 6 段階が加齢と配偶者の死の時期です。その発達段階で生じやすい問題行動や心理的症状を理解し，家族の健全な発達を促進する心理教育的方法を探求してください。そのために，家族の心理構造を理解するための鍵概念は，境界，連合，パワー，そして家族内コミュニケーションのあり方や家族の地位に見合った期待される役割などです。これらの鍵概念をひも解きながら各発達段階の家族の心理構造についてまとめてください。

**2単位め 解説**

人は誰でも，家族という複雑な有機体の中に産み落とされ，そこで成長発達していきます。また人は誰も自分の周囲を見渡すと，自分の父親・母親の家族，さらに世代の違う祖父母の家族など多くの家族に出会います。

個人の成長発達の理解は，家族という心理的な構造を持った集団との関連や，家族を取り巻くコミュニティや社会，さらに大きな生態系との関連で理解することが不可欠です。

この考え方から家族病理を考えると，家族というシステムは，家族メンバー間の関係と，それを取り巻く環境との間で作られている人間関係等によって理解することができます。たとえば，夫婦は家族の中で父親と母親という役割も担うが，社会や家族とどのようなつながり方をし，どのような形でそれぞれの役割を果たしているのか，親たちにとって子どもとの関係はどんな関係を作り出しているのか，多世代家族では原家族の親たちと娘・息子家族メンバーとの関係を規定しているのは何か，その家族特有な，あるいはどの家族にも見られるルールやコミュニケーションのやり方が見分けられれば，家族関係，家族病理を理解する手立てとなるでしょう。家族病理の事例に基づきその家族の心理構造を論じてください。

## 参考図書

教科書に参考提示してある文献をみてください。

# 児童青年心理学

科目コード●050516

担当教員●西野美佐子(左)
中村　修(右)

**4**単位 | **R or SR** | **1**年以上

社会教育 選択B

福祉心理 選択A

## 科目の内容

児童青年心理学は，人間の児童期と青年期における発達の姿と特徴，発達にかかわる要因の分析やそのメカニズム等を明らかにすることを中心におく発達心理学の一分野です。児童は狭義には学童期をさしますが，広義には，人間の誕生から，胎児期，新生児期，乳児期，幼児期，学童期までの青年にいたる前の発達期をすべて包含します。そして，学童期に続く青年期にある個人の心理・行動を研究するのが青年心理学です。したがって，児童青年心理学で扱う対象は，児童期・青年期としておきます。

児童期・青年期の示す種々の行動や状態について一般的傾向を把握するばかりでなく，そのような発達をもたらす要因や条件の分析，発達の制御や発達過程を明確にするための理論の構築と検証，そして理論の適用へと児童青年心理学の課題は進展してきています。

それらを解明するためには，単に児童や青年を対象とする心理学だけではなく，心理学の他の領域――家族心理学，教育心理学，臨床心理学，コミュニティ心理学――はもちろんのこと，近接領域の科学――社会学，経済学，生物学，文化人類学――などとも，ますます密接に関係をもつ必要性がでてきています。児童・青年の理解とその行動科学のために，基礎的な知識と理論を学んで欲しいと思います。

## 教科書

1）心理科学研究会編『小学生の生活とこころの発達』福村出版，2009年（1・2単位め）

2）菊池武剋監修　沼山博編集『トピックス 思春期・青年期と向き合う人のための心理学』中央法規出版，2004年（3・4単位め）

**（平成18・21年度以前履修登録者）**2007年4月より，2）の教科書が変更になり，2010年4月より，1）の教科書が変更になりました。スクーリング受講時は，1）2）の教科書持参がのぞましいでしょう。

## レポート課題

※2007年度よりこの課題は 2 名の教員で担当しています。1 ・ 2 単位め（児童の部分）＝西野美佐子先生，3 ・ 4 単位め（青年の部分）＝中村修先生。**再提出になった場合は，1 ・ 2 単位めと 3 ・ 4 単位めは，それぞれ別々のレポート用紙を利用して提出してください。**

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 幼児期から児童期に移行すると，経験を通して自己の広がりと深まりがいっそう増す。児童期の発達の特徴を，知的機能と社会性の発達の両面から述べなさい。 |
| 2 単位め | 児童期から思春期にかけての社会化の問題について，発達のつまずきの問題などから適応の問題を論じなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題** |
| 3 単位め | 以下の 3 つの概念をそれぞれ解説しなさい。<br>①心理的離乳　②早期完了型アイデンティティ　③ライフキャリア |
| 4 単位め | 青年期にて行われる職業的選択プロセスの中でのアルバイト経験の活かし方について考えなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題** |

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年 4 月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年 9 月に受付を締め切りました。

## アドバイス

各課題について，テキストならびに関連参考書を読んで，丸写しにするのではなく，自分の言葉で，理解された内容をまとめるように心がけてください。その際，自分が大人になっていく道筋を振り返り素材とするのもいいでしょう。経験科学である心理学を学ぶことは，自分を含めて周囲の人や出来事を科学化することと考えることもできます。

**1単位め 解説**

児童期は比較的安定した発達を遂げる時期だといわれてきました。しかし，現代では子どもの育つ環境が急激に変化し，それに伴って子どもの生活様式が目覚しく影響を受けています。児童期における知的操作の発達は，ピアジェの認知発達にならうと，自己中心性を脱して具体的操作へ，そしてさらに形式的操作へと移行していきます。また，子どもの社会性の発達においては，遊び時間・仲間・遊び場の減少などにより，同性の仲間が群れて遊ぶギャングエイジが喪失したと言われます。児童期の発達について，健全育成の面からどのような手立てが必要か考えてみましょう。

**2単位め解説**　人間の発達の様態を見ると，児童期は比較的緩慢な成長を示しますが，児童期後期以降急激に成長する時期がきます。これは第 2 次成長期と言われ，子どもから大人への移行の開始を表すものです。今日の子どもは，メディア環境の急激な変化にさらされています。また，現代では子どもにおける身体発育の早熟化や早期完了化が進んでいることが指摘され「発達加速現象」と言われています。一方，情報化や少子化のなかで，子どもたちの心身のアンバランスな発達が社会問題となっています。この時期に見られる一過性の不適応状態である情緒障害にはどんなものがあるか，実証的に論じてください。

**3単位め解説**　単に辞書的な定義を書くだけではなく，用語解説としてわかりやすいものとなるように気をつけてください。①については，「青年期の親子関係の変化」の概略について触れる必要があるでしょう。②では，「○○型」という以前に，「アイデンティティとは何か」ということに触れる必要があるでしょう。③は，青年期に留まらず，人の生涯を理解する際に有用な概念です。ライフキャリアの定義だけではなく，この概念を用いることで「人の生涯に対してどのような見方が可能となるのか」ということに触れる必要があるでしょう。なお，①〜③とも，テキストの特定のトピック，特定のページだけに着目するのではなく，他のトピック・ページでの事項も踏まえ，参考文献他からの情報も取り入れて，自分なりの整理をしてください。

**4単位め解説**　青年期の終わりには「その後の人生で自分は何をして生きていくのか」に対する答えを出さなければなりません。たとえそれがその後修正されたりまったく別のものに変わったりするとしても，とにかく「一つの答えをだして」社会人・成人としての一歩を踏み出さなければなりません。その意味で，青年期は答えを出すまでの「探索期」として捉えることができるでしょう。

この答えは一人でじっと悩むことによって得られるわけではなく，実際に「社会と関わってみた経験」に基づいて考えることが有用となります。学校で行われる職場見学や短期職業体験，インターンシップは，学校が学生・生徒にそのような経験をつむことを求めて設定されているわけです。もちろん，漫然とただ経験し「楽しかった」「大変だった」というおおまかな感想をもつだけでは，「自分の選択に生かせる経験」にはならないでしょう。生きた経験にするためには，経験のなかからどのようなことを理解することが必要になるのでしょうか。

そして，学校などが用意してくれた経験だけが「選択に生かせる何か」を理解する経験ではありません。日常の生活の中で青年が職業に触れる経験，特にアルバイト経験も，単にお金を稼ぐ手段としてだけではなく，何かを理解する経験へとその意義を変えることが

できるでしょう。

課題に答えるにあたっては，まずはエリクソンの心理社会的発達段階説とスーパーの職業的発達段階説から，「探索期としての青年期のありよう」についてまとめてください。次に探索する中で，どのようなことを理解し発見することが，一つの答えに絞ること・選択することにつながっていくのか，明確にしてください。そして，そのために必要な体験の一つとして，アルバイト経験の活かし方について考えてください。なお，「アルバイト賛美」をすることを求めているわけではないことに注意してください。

## 参考図書


1）心理科学研究会編『心理科学への招待』有斐閣，2004年

2）J.コールマン・L.ヘンドリー著　白井利明ほか訳『青年期の本質』ミネルヴァ書房，2003年

3）浦上昌則・三宅章介・横山明子著『就職活動をはじめる前に読む本』北大路書房，2004年

4）遠藤由美著『青年の心理　ゆれ動く時代を生きる』サイエンス社，2000年

5）斉藤誠一編『青年期の人間関係』培風館，1996年

6）白井利明・都筑学・森陽子著『やさしい青年心理学』有斐閣，2002年

7）白井利明著『大人へのなりかた――青年心理学の視点から』新日本出版社，2003年

8）徳田安俊著『青年心理学入門――発達の課題とその理解』川島書店，1982年


＊生涯発達心理学の教科書・参考文献も「使える」はずです。

# 老年心理学

科目コード●050517

担当教員●吉川　悠貴

4単位 | R or SR | 1年以上

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択A | 選択A |

## 科目の内容

これまで老年期（高齢期）は一般的に否定的なイメージでとらえられてきました。しかし人間を生涯発達する存在として考えると，老年期は発達の最終段階にあたる時期となります。人間は加齢に伴ってさまざまな身体的変化や心理学的な変化を示しますが，それが実際にはどのように起こってくるのかを系統的に学習していくのがこの科目のねらいです。具体的には，老化の基本的考え方や知能に代表される精神機能の変化，老年期のパーソナリティと適応，人間関係，認知症の問題などについて，心理学的な理解を深めていくことがこの科目の大きな目的です。

## 教科書

加藤伸司編『介護福祉士養成テキストブック10　発達と老化の理解』ミネルヴァ書房，2010年

本間昭編『介護福祉士養成テキストブック11　認知症の理解』ミネルヴァ書房，2009年

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年４月より教科書が変更されましたが，以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能です。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 高齢期（老年期）と呼ばれる時期がどのようにとらえられるかについて，「生涯発達」および「老化」という観点から，これまで示されてきた考え方や知見を整理した上であなたの考えを述べなさい。 |
| 2単位め | 高齢期における，加齢に伴う記憶および知能の変化についてまとめた上で，それらの変化を理解する上で必要な留意点をまとめなさい。 |
| 3単位め | 高齢期におけるパーソナリティ（≒人格・性格）の変化と心理的な適応がどのように生じるかについて，変化や適応に影響する具体的な要因を示しながら説明しなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・Web解答可** |

| 4 単位め | 認知症の症状について，中核症状と周辺症状（認知症に伴う行動・心理学的症候：BPSD）という観点から整理した上で，症状の出現に影響する要因について具体的に示しなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・Web解答可** |
|---|---|

**（高等学校福祉科免許状取得希望の方へ）**「老年心理学」を高等学校教諭一種免許状（福祉）取得に必要な科目として使用するためには，平成23年度以降の入学者で，平成23年度以降に履修登録をして上記の課題に取り組み，平成23年度以降に単位修得をする必要があります。平成22年度までに履修登録した「老年心理学」は高等学校教諭一種免許状（福祉）取得に必要な科目として使用できません。

平成22年度以前の入学者で，6条別表4で免許状取得希望者など，何らかの事情でこの科目を教職科目として使用する場合は，必ず通信教育部・教職免許係まで書面（メールuc@tsukyo.tfu.ac.jp・FAX・郵送）でご相談ください。ただし，いかなる場合も平成23年度以降に履修登録を行い，上記の課題に解答して単位修得をおこなった「老年心理学」でないと免許状取得の必要科目としては認められません。

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できます。

## アドバイス

レポート課題をまとめるにあたって考えて欲しいことは，単にテキストを見てそれを要約するのではないということです。高齢期に見られるさまざまな心理学的変化が，これまでにいわれてきた通説とどのように異なるのか，あるいはこれまで心理学という学問が高齢者のさまざまな問題をどのように明らかにしてきたのかについて理解を深めていかなければなりません。

以下に各レポート課題のまとめ方についてのアドバイスを行いますが，すべてのレポート課題について，各レポートの前半の部分はさまざまな研究成果などをまとめる形にしてください。後半部分ではそれらのテーマについて自分なりの意見や具体的な例を取り入れながら結論を出していってください。

レポートは，ただ単にテキストや参考文献をまとめただけでは評価の対象にはなりません。また自分なりの意見を述べただけでも評価の対象にはなりません。必ず課題に対する心理学的な研究成果等を踏まえ，かつ自分なりの意見や具体的な例を取り入れた形でまとめてください。またレポートの最後に参考にした文献も一覧にして載せ，レポート本文中の引用箇所に文献番号を記載してください。

**1単位め解説**　テキスト『発達と老化の理解』を主に参照してください。同書第1章第1節・第6節，第2章第1節，第4章第1節を中心によく読み，他の文献なども参考にしながら，高齢期という時期がどのように位置づけられるかについてまとめていきます。その際，「生涯発達」および「老化」という観点からテキスト等で紹介されている考え方を整理した上で，自分の考えを主張するようにしてください。

**2単位め解説**　高齢期における記憶および知能について，テキスト『発達と老化の理解』の第3章第3節・第4節を中心によく読み，加齢に伴う変化がどのように生じているのかについて整理してください。また，それらの変化を理解する上で留意すべき点についてまとめてください。なお，ここでいう留意点とは，単に機能の衰退や減少という側面からのみではない理解のしかたや高齢者への対応に必要な，考慮すべき事項という意味です。

**3単位め解説**　テキスト『発達と老化の理解』の第3章第5節・第6節，第4章第2節～第4節を中心によく読み，高齢期におけるパーソナリティ（≒人格・性格）の変化と心理的な適応がどのように生じるかについてまとめていきます。その際，変化や適応に影響しうる要因について，特に高齢期に生じやすい事象を具体的な例を示しながら論述してください。その意味では，影響要因については網羅的である必要はなく，特に重要と思われたもののみ取り上げて論じても構いません。

**4単位め解説**　テキスト『認知症の理解』の第1章第2節・第3節・第6節を中心によく読み，同書第2章や他の文献なども参考にしながらまとめてください。課題に示したように，単に症状や影響要因を羅列するのではなく，中核症状と周辺症状という区分を理解した上で，症状に影響しうる要因が具体的にどのように作用し，どのように症状があらわれるのかを示してください。なお，かつてそのようにみなされていた，あるいは誤った考え方，という意味で用いる場合以外に，周辺症状について「問題行動」という表現を用いた場合は，評価を減じることがありますので留意してください。

## 参考図書

1）内田伸子編著『誕生から死までのウェルビーイング　老いと死から人間の発達を考える』金子書房，2006年
2）谷口幸一・佐藤眞一編著『エイジング心理学　老いについての理解と支援』培風館，2007年
3）日本認知症ケア学会編『認知症ケアの基礎知識』ワールドプランニング，2008年

4）加藤伸司著『認知症になるとなぜ「不可解な行動」をとるのか』河出書房新社，2005年
5）下仲順子編『高齢期の心理と臨床心理学』培風館，2007年
6）原千恵子・中島智子著　『老年心理学（心理学の世界　専門編 2）』培風館，2012年

※「痴呆」という呼び方にはマイナスのイメージがつきまとうため，厚生労働省の「痴呆に替わる用語に関する検討会」で検討の結果，「認知症」という用語に呼び替えることになりました。従来の書籍では「痴呆性高齢者」などという表現が使われていますが，「認知症高齢者」と読み替えてください。なお，用語の変更の背後にある誤解や偏見の解消などという点にも配慮し，理解を深めてください。

# 障害児の心理

科目コード●050518

担当教員●木村　進

4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉 選択　社会教育 選択B　福祉心理 選択A

## 科目の内容

「障害」という言葉を聞いて，皆さんはどのような印象や感想を持つのでしょうか。「心身障害児」とか「障害者」とよぶ以上，そこには何か意味があるはずです。保育や教育の場面を例にとれば，障害をもった子どもの保育・教育には，その障害の特徴に合わせた特別な配慮が必要だということを意味していると思われます。障害をもった子どもの保育・教育が的確に行われるためには，「障害」についてきちんと理解し，「障害をもつ人」の心理について基本的な認識を深める必要があります。

ここでは，障害をいくつかの種類に分け，その特徴，原因を理解するとともに，障害をもつ子どもや大人がどのような心理状態に陥りやすいかということを学習します。

## 教科書

田中農夫男・木村　進編著『ライフサイクルからよむ障害者の心理と支援』福村出版，2009年

**（平成21年度以前履修登録者）**2010年4月より教科書が変更になりましたが，以前の教科書にもとづいてのレポート提出やスクーリング受講も可能です。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 「心身障害児」などという場合の「障害」の意味について説明しなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（別レポートは論述式）** |
| 2単位め | 「知的障害児」の心理的特徴と学童期の指導について説明しなさい。 |
| 3単位め | 「（軽度）発達障害」とは何かについて説明しなさい。 |
| 4単位め | 障害のある子どもをもつ家庭への支援についてまとめなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（別レポートは論述式）** |

**（平成21年度以前履修登録者）**2010年 4 月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年 9 月で受付を締め切りました。

## アドバイス

**レポートを書き始める前に，この課題集と教科書や参考書の該当する個所をよく読んで理解しておくということ**が第一に重要です。該当する個所は 1 カ所とは限りませんから，課題に取り組む前に，少なくとも教科書については精読し，内容をつかんでおいてください。

**『学習の手引き』序章（または 6 章）に「レポートの書き方」を載せてありますので，もう一度読んで，作業手順を確認してから，レポート作成にとりかかってください。**

課題はすべて，基本的には教科書に書いてあることについてまとめ，それに参考文献等で肉付けをするという形で書けるはずです。教科書をまとめるだけでは不十分ですので，必ず教科書以外の参考文献の内容も加えて書いてください。

### 1単位め 解説

最初のレポートは，**「障害」**ということの定義を書きなさいという課題です。これは「序章 2 」の内容をまとめることが中心になりますが，「序章 1 」の内容や他の研究者の定義なども含めて内容を充実させることが望まれます。定義について考察することにより，「障害とは何か」ということについての理解を確立することが目標です。そして，それらを総合して，できれば，自分なりの定義としてまとめてください。他の課題も同様ですが，教科書を含めて，参考文献を明記することを忘れないでください。

### 2単位め 解説

2 単位めは**「知的障害」**がテーマです。教科書の内容を踏まえて，足りない分は他の文献で調べてください。内容としては，①知的障害とは何か（定義），②知的障害をもたらす原因についてコンパクトにまとめてから，③心理的特徴について説明し，さらに，④学童期における指導について論じてください。①〜③は，教科書をまとめることで書けますが，④は，教科書だけでは内容が不十分ですので，他の文献を捜してください。なお，④は，「学童期」に限定していることに留意してください。また，④の内容は，「支援」ではなくて「指導」となっています。この指導という意味は，「学習指導」と解釈してください。

「知的障害」はもっとも数の多い障害といえると思います。もし将来障害児・者関係の仕事をするとしたら，知的障害の子どもや大人を相手にする可能性が高いので，このレポートでしっかり学習してください。長い間**「精神薄弱」**とよばれ，その後**「精神遅滞」**とよばれるようになり，最近は**「知的障害」**が使われることが多くなりましたが，この呼称の変遷は，「障害」ということを理解する上でも興味深いことだと思われます。

このレポートの中心はあくまで③と④であることに注意してください。

3単位め解説

この課題は，**「(軽度)発達障害」**というものについての理解を深めるために設定したものです。障害児教育の歴史を見てみると，障害児（特に知的障害児）が「教育可能」「訓練可能」などと分類された時代があり，ある程度以上重い障害児は教育の対象になっていなかった時期がありました。その後，昭和54年に**「障害児の全員就学」**が実現し，重い障害の子どもにも教育の光が当たるようになりました。そして，現在は，通常学級に在籍するLD，ADHD，PDDなどの発達障害をもつ子どもたちの教育をどうするかということが課題になってきています。こういう状況を受けて，ここでは，そういう**「(軽度)発達障害児」**についての学習を進めることが課題です。

具体的には，上記のLD，ADHD，PDDのそれぞれについて，①定義，②そのような障害が起きる原因，③主な特徴（症状），④基本的な教育（指導）のあり方の４点をレポートしてください。この課題は，「第７章」「第８章」「第９章」を読んでまとめるという作業になりますが，「(軽度)」というところに注目して内容を考えてください。大体の内容は教科書で間に合うはずですが，教科書以外にも手を広げて，充実した内容にしてください。

他のレポートについても同じですが，あなたがたは，レポートを書くことによってそのことについての理解を深めるということが目標なのですから，自分で書いたレポートの中に専門用語など，言葉としては知っていても意味の理解が不十分な単語や言い回しが出てきたら，それについて［注］をつけて解説するということをやってみてください。そうすれば，何よりも自分にとってわかりやすいレポートになります。

（注）この課題では「(軽度)発達障害」という表現を使っています。「軽度発達障害」という言葉が教育界などで一般に使用されていた時期もあったのですが，「軽度」という表現が「障害が軽い」と誤解されがちだという理由で，現在の文部科学省は「軽度」をとって「発達障害」という言葉に統一しています。しかし，本来「軽度」という言葉を付加していたのには意味があるので，ここでは（軽度）として残してあります。

4単位め解説

この課題では，障害のある子どもをもつ家庭への支援のあり方について学習します。テーマの中心は**「支援のあり方」**ですが，適切な支援をおこなうためには，そのような家庭について的確に理解しておく必要があります。したがって，まず，「11章」の内容から**「家族関係」**というものについての基本的な理解をして，それに基づいて「12章」前半の**「家族の心理」**を論じ，最後に**「支援のあり方」**を考えるという内容になると思われます。

受講生の中には，さまざまな立場で，障害児をもつ家庭への支援に携わっている方もい

ると思われます。的確な支援を行うためには，障害の理解，発達の理解と並んで，この支援のあり方について考えおよび支援のスキルが問題になります。この課題は，支援についての考えを問うものですが，他の文献も参考にして，支援スキルにまで言及することが望まれます。「支援」という言葉に含まれる意味はかなり広いと思われますが，ここでは，家庭あるいは家族に直接支援するということを前提に内容を考えてください。つまり，あなたが，直接相談を受けるとか親を指導する立場であるとか，あるいは，育児カウンセラー的な立場であるとか，そういうことを想定してレポートをまとめてください。

## 参考図書


1）中司利一著『障害者心理――その理解と研究法』ミネルヴァ書房，1988年

2）小池敏英・北島善夫著『知的障害の心理学――発達支援からの理解』北大路書房，2001年

3）熊谷公明著『発達障害の基礎』日本文化科学社，1999年

4）栗田広編著『広汎性発達障害』全国心身障害児福祉財団，1998年

5）池田勝昭・目黒達哉編著『障害者の心理・「こころ」』学術図書，2007年


※その他「発達障害」関係の文献はたくさん出ています。図書館や書店でさがしてみてください。

# 心理アセスメント

科目コード●050519

担 当 教 員●渡部　純夫

**2** 単位 | **R or SR** | **1** 年以上

社会教育 選択B

福祉心理 選択A

## 科目の内容

悩みを抱えているクライエントに心理的援助を行おうとするとき，クライエントを多面的，総合的，全人的な角度からとらえることが必要になります。そのためには，クライエントの生育歴やパーソナリティ，環境などの情報を科学的にとらえ，客観的に評価・査定することが重要です。この評価・査定の方法がアセスメントです。心理アセスメントでは，特に「面接法」「観察法」「検査法」よりクライエントへの接近を試みることになります。そのとき大事なことは，クライエントの気持ちに寄り添いながら癒しの心を忘れないことです。心理アセスメントでは，これらのことを押さえた評価・査定の学習を行うことになります。

## 教 科 書

日本健康心理学会編『健康心理アセスメント概論』実務教育出版，2002年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | クライエントを多面的・総合的・全人的にとらえようとしたとき，心理アセスメントにおける「面接法」「観察法」「検査法」をどのように活用していけばよいのか考察しなさい。 |
| 2 単位め | パーソナリティの定義を文献と自分の考えから考察し，さらにアセスメントを行うための心理テストを一つ取り上げて，調べたことをまとめなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題** |

## アドバイス

クライエントの心理を理解するためには，どのようなアセスメントの方法を身につけておかなければならないかをまず学習していきます。心理アセスメントというと，どうしても心理テストに偏りがちなのですが，ここでは「面接法」「観察法」「検査法」の 3 つの方

法について学習を深めていき，総合的なクライエント理解を考えていきます。心理テストによるアセスメント（＝検査法）も重要なのですが，「面接法」「観察法」「検査法」はそれぞれ独自の特徴を持っています。その特徴をよくつかみながら，上手に組み合わせて使いこなすことにより，より効果的なアセスメントが可能になります。

また，アセスメントで特に注意を払わなければならないことの一つに，クライエントのパーソナリティの問題をあげることができます。パーソナリティを読み解き理解していくためには，パーソナリティとは何かをまず知らなくてはなりません。その上で，自分なりの考え方をしっかりと身につけていくことが重要になります。パーソナリティの理解は，「面接法」「観察法」でも行われるわけですが，より客観性を求めていくと「検査法」である心理テストに行き当たります。そこで，興味を持った心理テストを取り上げ，自分なりに調べてみることにより，心理テストのいろいろな特徴について理解を深めてもらいたいと思います。

**1単位め 解説**

⑴ テキスト『健康心理アセスメント概論』の第 1 章・第 2 章・第 3 章をよく読み，アセスメントとは何なのか。その必要性と意義について幅広い観点から学習してください。自分の中のイメージをふくらますことができたら，アセスメントの方法に進んでください。

⑵ アセスメントの方法にはいくつかのものがありますが，特に「面接法」「観察法」「検査法」の理解を深めてください。「検査法」と関係の深いものに「質問紙法」「心理生理学的測定」があります，あわせて学ばれると「検査法」に関しての理解が広がると思われます。

⑶ それらを，実際的な場面を想定しながら自分なりにまとめていくことにより心理アセスメントの方法が自分なりに理解できてくると思います。それを，整理しレポートにまとめてください。

**2単位め 解説**

⑴ テキスト『健康心理アセスメント概論』の第 5 章から第10章までをよく読んで，パーソナリティのアセスメントに関係する事柄について広く学んでください。倫理の問題についても考えを深めてください。

⑵ 次に，第 6 章を中心にパーソナリティとは何なのかを自分なりに考えてみてください。いろいろな文献にあたり，いくつかの理論・考え方を比較しながらまとめてください。そのとき自分の考えを必ず入れてください。

⑶ 最後に，パーソナリティをみるための心理テストを一つ選んで，それについて文献にあたり調べたことを自分なりに整理しまとめてください。まとめていて沸いてきた感想や疑問についても書いてみてください。

## 参考図書

鈴木睦夫著『TATの世界』誠信書房，1997年
鈴木睦夫著『TATパーソナリティ』誠信書房，2000年
成瀬悟策著『動作療法』誠信書房，2000年
村瀬嘉代子著『心理療法のかんどころ』金剛出版，1998年
片口安史著『改訂　新・心理診断法』金子書房，1987年
河合隼雄著『心理療法序説』岩波書店，1992年
岡堂哲雄著『心理テスト』講談社現代新書，1994年
藤掛明著『描画テスト・描画療法入門』金剛出版，1999年
岡堂哲雄編集『心理査定プラクティス』（現代のエスプリ別冊）至文堂，1998年
C・コッホ著『バウム・テスト』日本文化科学社，1970年
野島一彦編著『臨床心理学への招待』ミネルヴァ書房，1995年
下山晴彦・松澤広和編『実践心理アセスメント』日本評論社，2008年
村上宣寛・村上千恵子著『臨床心理アセスメントハンドブック［改訂版］』北大路書房，2008年

# 心理療法

科目コード●050520
担 当 教 員● 秋田　恭子

**4** 単位 | **R or SR** | **2** 年以上

社会教育 選択B

福祉心理 選択A

## 科目の内容

心理療法は，今から100年前に誕生し，発展してきた学問領域です。他の科学と比べると若い学問領域でありますが，急速に理論と実践が発展してきています。それは，物が豊かになった現代社会において緊急課題となっている親子関係，対人関係，自分らしい生き方など，いわば「心のあり方」に関する事柄にこの学問領域が応えているからでしょう。

人間の心は，複雑に機能しつつもある程度のまとまりをもって機能しています。現代のような複雑な社会において，人間が人間らしく生きていこうとするといろいろな要因により心が充分に機能しなくなることがあります。心理療法とは，深刻な悩み，症状（身体症状も含めて），問題行動，人格機能等を心理的側面から援助する学問です。人間が複雑な心の働きをするため，その接近法である心理療法も多種多様となります。

そこでここでは，心理療法の基本的枠組みと各種心理療法の特徴等を学習することを目的とします。

## 教 科 書

水島恵一・岡堂哲雄・田畑治編著『カウンセリングを学ぶ〔新版〕』有斐閣，1987年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 第１章より第４章まで――次の４つの課題から１つを選び，レポートしなさい。その場合，どの課題を選んだのか，課題欄に明示しなさい。<br>⑴　フロイト，アドラー，ユングの３人が理論化した「心の構造」の共通点と相違点について論述しなさい。<br>⑵　クライエント中心療法とジェンドリンの体験過程の共通点と相違点について論述しなさい。<br>⑶　エリクソンは，フロイトの発達理論をどのように修正し，自分の発達理論を発展させていったのか，論述しなさい。<br>⑷　クライエントと呼ばれる人とはどのような人なのか，またカウンセラーに求められていることについて論述しなさい。 |

| | |
|---|---|
| 2 単位め | 第 5 章より第 7 章まで――クライエント中心療法とフロイトによる精神分析と行動カウンセリングの中から 1 つを選び，以下の観点から論述してください。その際 1 ～ 7 の 1 つずつの項目ごとに論述してください。<br>（どのカウンセリングを選んだかを「課題欄」に明記してください）<br>1. 人間観　2. 病理論　3. 性格論　4. 面接の目標　5. カウンセラーの役割　6. クラインエントの役割　7. カウンセリングを行う上で重視していること |
| 3 単位め | 第 8 章より第10章まで――次の 2 つの課題から 1 つを選び，レポートしなさい。その場合，どの課題を選んだか，課題欄に明示しなさい。<br>⑴　第 8 章のグループアプローチの事例を「グループ体験が個人にどのような影響を与えるか」について，クライエント中心療法を発展させたエンカウンター・グループの視点から論述しなさい。<br>⑵　クライシス・インターベンションとPTSD（外傷後ストレス障害）の関連を論述しなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題** |
| 4 単位め | 第11章より第14章まで――次の文章は，ある事例の要約です。この文章を読み，下記の課題をレポートしなさい。<br>（※レポート用紙の課題記載欄は，下 2 行の課題の記載のみでよい。）<br><br>ある両親が，中 2 の子どもの不登校のことで来談された。家族は，祖父母，両親，長女，長男，次女，次男（本人）である。父親は，一流企業の役員をしているが，祖父に頭が上がらず，家計は祖父母が管理している。そのためか，嫁姑の関係は悪い。本人は，末っ子のこともあり，家族から溺愛されて育ってきた。不登校になるまでひとりで留守番することができなかった。また，2 階の自分の部屋にひとりで行かれなかったので，家族の誰かがその都度ついて行った。祖父母も両親も社会的地位や名誉には敏感で，上の兄弟は一流の学校を卒業し，一流の企業に就職をしている。本人は，小学校の時も不登校気味であったが，家庭教師をつけたこともあり，一流の中学校に入学したが，不登校に陥った。現在の本人は，テレビゲームを中心に昼夜逆転した生活をしており，家族とのかかわりを回避している。時々気に入らないことがあると両親に暴力を振るい始めているが，風呂にも入らず，無気力な生活を送っている。祖父母は，こうなったのも両親の育て方が悪いからだと非難しているが，夫婦でそのことについての話し合いはない。他の兄弟も本人のことに触れないようにしている。祖父母と両親の共通点は，本人が今の中学校を卒業して，有名高校に入学することを願っていることだ。<br><br>**課題**　発達的カウンセリングの視点も考慮に入れて，どのようにファミリー・カウンセリングをおこなっていったらよいか，論述しなさい。 |

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年 4 月に，レポート課題が一部変更されました。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年 9 月に受付を締め切りました。

## アドバイス

ここで使用している教科書は，「心理療法」を初めて学ぶ人を前提に選択しました。本書では，代表的な心理療法を取り扱っていますが，各心理療法を創始した創始者の生育歴や時代背景をとりあげ，読む側にとっては，それぞれの心理療法の形成過程と特徴について理解を深めることを容易にしています。教科書は，レポートを書く前提としての基礎的知識を習得する本として位置づけています。入門的で平易な文章でありますが，それぞれの文章には深い意味が込められています。この点を学んでもらいたくレポート課題を課しています。したがって，教科書のみでは，各レポート課題をまとめにくい点が多々あります。教科書の基礎的知識をもとに各レポート課題の中から興味ある課題を選択し，下記にとりあげた参考書等を読み砕き，レポートを作成してください。また，心理療法に興味をもったなら各参考書に載っている本・文献や各自が見つけた本等を読み進めてください。

**引用・参考文献が，テキストだけのものは，必ず再提出**にしています。テキスト以外に利用した本を最低 1 冊以上はあげてください。

なお，**レポートは，教科書，参考書，インターネット情報等の「抜粋」や「切り張り」や「内容の要約」，「あらすじの説明」ではなく，教科書と参考書等を熟読し，それを学習者自身の創意にもとづいて理論的に組み立て，作成**してください。また，心理療法という科目の性質上，個人的体験談等を書きたくなりますが，提出されたレポートは成績をつけるものですので，個人的経験談等は評価の対象にはなりません。あくまでも心理療法という学問についてレポートをしてください。

**1単位め 解説**

⑴ フロイト，アドラー，ユングの 3 人は，それぞれの独自の心理療法を創始しました。心理療法の目的は，クライエントの人格の変容です。そこでまずそれぞれの心理療法は，人格（心の構造）をどうとらえているのかを理解する必要があります。独自の心理療法の理論と技法を創始した 3 人は，人格をどのようにとらえているのかを理解した上で，3 人の「共通点」と「相違点」を中心にレポートしてください。

なお，それぞれの理論を中心にレポートを作成すると課題である「共通点と相違点」が，書ききれなく恐れがあります。3 人の理論を理解した上で，「共通点と相違点」を中心にレポートしてください。

⑵ ロジャースは，クライエント中心療法を創始しました。ロジャースの弟子であるジェンドリンは，クライエント中心療法を基礎にフォーカシング（体験過程）技法を創始しました。この 2 人のカウンセリングの「共通点」と「相違点」を中心にレポートを作成してください。

なお，クライエント中心療法と体験過程の説明を中心としたレポートは，２人の「共通点と相違点」の課題が希薄になります。２人の理論を理解した上で，両者の「共通点と相違点」を中心にレポートを作成してください。

⑶　精神分析を創始したフロイトは，独自の発達理論を構築しました。まず，精神分析の発達理論の理解が必要です。その発達理論をもとにしながらエリクソンは，フロイトの発達理論をどの点を批判し，どのように修正を加え，そして独自の発達理論を構築していったかを中心にまとめてください。

フロイトとエリクソンのそれぞれの発達理論の記述がレポート課題ではなく，エリクソンがフロイトの発達理論をどのような点を批判し，それをどのように修正をして，彼独自の発達理論を構築したかがレポート課題です。

⑷　クライエントと呼ばれる人は，どのような精神・身体の症状や問題行動等に悩み，苦しんでいるのか，を理解する必要があります。そのためには，発達的危機と精神医学的診断名の理解が必要です。また，このようなクライエントにカウンセリングをおこなうカウンセラーは，どのような資質や条件が求められるのか（または，どのような人は不向きなのかも含めて），またどのような責任性や倫理性等が求められているのか，どのような研修方法がもとめられているのか，をレポートしてください。

クライエントとカウンセラーの記述は，同等の分量でまとめてください。

2単位め
**解説**

クライント中心療法，フロイトによる精神分析，行動カウンセリングには，それぞれが考える①人間観（人間とはなにか），②病理論（問題行動はどうしておこるのか），③性格論（性格とは何か，それはどのように形成されるのか），④面接の目標（なおるとは何か），⑤カウンセラーの役割（面接の目標の達成のためにカウンセラーは何をすべきか），⑥クライエントの役割（面接の目標のためにクライエントは何をすべきか），⑦カウンセリングを行う上で重視していることがそれぞれにあるので，療法の特徴を捉えて①～⑦の項目ごとに記述してください。

3単位め
**解説**

⑴　グループ体験が個人の成長にどのように影響を与えるか，クライエント中心療法を基礎としたエンカウンター・グループの視点から，グループ体験を考察してください。そのためには，クライエント中心療法の理解も必要となるし，エンカウンター・グループの特徴の理解も必要となります。「個人の成長」に「エンカウンター・グループ体験」が相互にどのように影響を及ぼしているかという視点を取り入れてレポートしてください。

⑵　日本では，阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件等からPTSD（外傷後ストレス障害）が注目されるようになりました。心理療法の学問領域は，これらの事件・事故の被害

者への危機介入（こころのケア）が求められています。そのためには，まずPTSDの心理的特徴の理解が必要です。そして，そのような心理状態の人にどのように危機介入したらよいのか，留意点も含めて考察してください。

「クライシス・インターベンション」と「PTSD」のそれぞれの一般的説明ではなく，両者を「関連性」を中心にレポートしてください。

**4単位め 解説**

ひとつの事例を今まで学習してきた心理療法の知識をもとに考察してもらう課題です。

「発達的カウンセリング」についてですが，この事例は，中学 2 年の男子です。中学 2 年という年代は一般的には，どんな年代でしょうか？　心の状態，親との問題，人との関係など，子どもから大人になる時期です。このことは，すでに様々な研究者が指摘しているので，それを参考にして，具体的な研究者の理論をあげながら（理論をくわしく紹介する必要はない），まずはその年代の発達的特徴を捉えてください。その上で，その特徴と比較して，この事例の中学生はどうでしょうか？　例えば，「ひとりで留守番できない」「ひとりでは自分の部屋に行けない」など他にもこの中学生の状況について書かれた部分はありますが，そのことと一般的中学生の状態と比較してこの事例の中学生はどんな成長を遂げており，あるいは遂げていないでしょうか？　その視点を織り交ぜてこの事例を考察してください。これが，発達的カウンセリングの視点ということになります。

また，このような家族に心理的援助をしていく場合，ファミリー・カウンセリングの視点がカウンセラーに求められます。なお，ファミリー・カウンセリングは，その名称からただ「家族」に行うカウンセリングと理解しがちですが，今日では「家族療法」の名称が一般的です。家族療法にもいろいろな立場があります。その中で興味ある家族療法（ファミリー・カウンセリング）の視点から，この面接のあとの面接でこの家族にどのようにアプローチしていくか論述してください。なお，今回は両親が来談したが，この後の面接に関してはどの家族メンバーを面接に呼ぶかなども考察してみてください。

上記の 2 つの視点を織り交ぜて，この事例を考察してください。

なお，発達心理学の一般的説明とファミリー・カウンセリングの一般的説明で事例を考察するのは，事例に則した考察というより「一般的説明」の要約に陥ります。たとえばエリクソン理論の内容を細々と要約して紹介する必要はないので，あくまでこの事例に即して考えてください。

現段階で得られている情報をもとに，①中学 2 年の男の子の発達心理学の視点からのアセスメント，②この家族のかかえていると思われる問題，③　①と②をふまえた上でこの家族に適切とおもわれる家族療法の選択を行い，その家族療法の具体的な技法をあげなが

ら，どのようなアプローチが良いかを記述する，④そのアプローチを行う上での留意点や問題点を最後にまとめる，という流れで論じてください。

## 参考図書


**[第 1 章から第 4 章]**

1）E.H.エリクソン著 西平直・中島由恵訳『アイデンティティとライフサイクル』誠信書房，2011年

2）妙木浩之著『フロイト入門』ちくま新書，2000年

3）河合隼雄著『ユング心理学入門』培風館，1967年

4）河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』誠信書房，1970年

5）河合隼雄著『コンプレックス』岩波書店，1971年

6）神田久男編　飽田典子・宇田川一夫ほか著『心理臨床の基礎と実践』樹村房，1998年

7）前田重治編『カウンセリング入門』有斐閣選書，1986年

8）鑪幹八郎著『アイデンティティの心理学』講談社，1990年

9）末武康弘・保坂亨・諸富祥彦『カウンセリングと心理療法』（ロジャース主要著作①巻）岩崎学術出版社，2005年

10）末武康弘・保坂亨・諸富祥彦『ロジャースが語る自己実現の道』（ロジャース主要著作③巻）岩崎学術出版社，2005年

11）村瀬孝雄著『フォーカシング事始め――こころとからだにきく方法』金子書房，1996年

12）村瀬孝雄・阿世賀浩一郎「体験過程とフォーカシング」上里一郎・鑪幹八郎・前田重治編著『臨床心理学大系 8　心理療法 2 』金子書房，1999年

13）鑪幹八郎著『心理臨床と倫理・スーパーヴィジョン』ナカニシヤ書店　2004年

14）鈴木晶著『フロイトからユング』日本放送出版協会　1999年

**[第 5 章から第 7 章]**

15）氏原寛・成田義弘共編『臨床心理学①カウンセリングと精神療法』［心理治療］培風館，1999年

16）河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』誠信書房，1970年

17）瀧本孝雄著『カウンセリングへの招待』サイエンス社，2006年

18）窪内節子・吉武光世共著『やさしく学べる心理療法の基礎』培風館，2003年

19）佐治守夫・飯喜一郎編『ロジャーズクライエント中心療法』有斐閣，1988年

20）末武康弘・保坂亨・諸富祥彦『クライエント中心療法』（ロジャース主要著作②巻）岩崎学術出版社，2005年

21）上里一郎・鑪幹八郎・前田重治編『臨床心理学大系 7　心理療法 1 』金子書房，1990年
22）山上敏子『方法としての行動療法入門』金剛出版，2007年
23）土居健郎『新訂　方法としての面接』医学書院，1992年
24）妙木浩之『初回面接入門』岩崎学術出版社，2010年
[第 8 章から第10章]
25）こころのケアセンター編『災害とトラウマ』みすず書房，1998年
26）西澤哲著『子どものトラウマ』講談社，2003年
27）村山正治著「エンカウンター　グループ」上里一郎・鑪幹八郎・前田重治著『臨床心理学大系 8　心理療法 2 』金子書房，1999年
28）畠瀬稔著『エンカウンター　グループと心理的成長』創元社，1990年
29）ロジャース，C.R.著　畠瀬稔・畠瀬直子訳『エンカウンター・グループ』創元社，1982年
30）近藤喬一・鈴木純一編著『集団精神療法ハンドブック』金剛出版，2000年
31）ドナ・C. アギュララ著　小松源助・荒川義子翻訳『危機介入の理論と実際――医療・看護・福祉のために』川島書店，1997年
[第11章から第14章]
32）笠原嘉著『青年期』中央公論社，1977年
33）乾吉佑著『思春期・青年期の精神分析的アプローチ　出会いと心理臨床』遠見書房，2009年
34）鍋田恭孝編『思春期臨床の考え方・すすめ方』金剛出版，2007年
35）河合隼雄・岩井寛・福島章著『家族精神療法』金剛出版，1984年
36）団士郎著『不登校の解法　家族のシステムとは何か』文春新書，2000年
37）村山正治・山本和郎編『スクールカウンセラー――その理論と展望』ミネルヴァ書房，1995年
38）栗原和彦著『心理臨床家の個人開業』遠見書房，2011年
39）亀口憲治『家族療法 (心理療法プリマーズ) 』ミネルヴァ書房，2006年

# 心理療法各論

科目コード●050521

担 当 教 員● 日笠真理子

| 1 単位 | R | 2 年以上 |
|---|---|---|

福祉心理
選択A

**履修方法：R**　レポート提出後，科目修了試験の申込み・受験を忘れずに行ってください。

## 科目の内容

カウンセリングにおいて，理論とは，困難に直面した人を理解したいと思ったときに道しるべとなるものであり，技法とは，援助したいと思ったときに道具になってくれるものです。現在よく知られている理論だけでも相当な数があり，それぞれに異なる人間観・治療観・技法を持っています。カウンセラーは，これら多くの理論・技法について，知っている必要があります。一つの理論では，到底理解・対応しきれないのが，生身の人間だからです。同時に，これら多くの理論・技法の中から，自分の臨床実践の背骨となる特定の理論を選び，深く学ぶことも大切です。

この科目では，「臨床心理学」「心理療法」など他の科目ではくわしくとりあげられなかった下記の人格理論，カウンセリング・心理療法技法や人間関係を円滑にする技法を学んでいただこうと思います。多種多様な理論・技法の特徴を学びながら，自分のバックボーンとなる理論や使いこなせる技法を見つけていってください。

1）特性因子理論　2）認知行動療法　3）論理療法
4）ゲシュタルト療法　5）交流分析（TA）　6）家族療法
7）実存分析　8）現実療法　9）短期療法
10）森田療法　11）内観法　12）ソーシャルスキル・トレーニング
13）アサーション・トレーニング　14）グループ・アプローチ

## 教 科 書

1）日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト）第5章5－3・4』日本産業カウンセリングサポートセンター，2008年
2）『同上　資料編』
※2013年度教科書変更予定

## レポート課題

別紙（専用レポート用紙）の問題に解答してください。

## 履修登録条件

「カウンセリングⅠ」を履修登録した方のみが履修登録が可能です。
「心理療法」「臨床心理学」の単位修得後，学習することが望ましいものです。

## アドバイス

コラムや図表を含め，教科書と別冊の資料（12．交流分析（エゴグラム））をよく読んで，レポート課題に取り組んでください。特に，認知行動療法，交流分析，アサーション・トレーニング，グループ・アプローチは，活用されることが多いので，しっかり読んでください。各理論のパーソナリティ論・病理論・治療目標には，その理論の特徴がよく表れています。

教科書以外の参考文献を併せて読むと，教科書の内容が感覚的にもっと理解しやすくなります。「急がば回れ」で是非読んでみてください。

その際，自分自身のこと（悩み・ストレス・家族関係・学校や職場の人間関係・性格・ものの考え方・過去の経験など）を当てはめ，実際にその療法を受けるところを想像してみてください。そうすることで，血の通った理解になります。それぞれの理論は，生身の人間同士の出会いともがきの中から生まれ，育ち，そして，それに共感する大勢の人たちによって今日まで引き継がれているのだということを忘れないでください。

下記以外にも多くの文献が出版されています。またワークショップなどで実際に体験できるものもあります。将来の実践のために，興味を惹かれたものから，どんどん学習を深めていってください。

## 参考図書

《辞典・事典》

国分康孝編『カウンセリング辞典』誠信書房，1990年

※具体的な例が添えてあり，説明が分かりやすいです。最初に目次つきの領域別項目一覧が載っていて，辞典でありながら，体系的に学習するのにも役立ちます。

氏原寛・小川捷之・東山紘久・村瀬孝雄・山中康裕編『心理臨床大事典』培風館，1992年

※各項目がかなり詳しく説明されています。また，それぞれの項目の最後に参考文献が載せてあるため，更に知識を深めたいときにも役立ちます。

日本産業カウンセリング学会監修『産業カウンセリング辞典』金子書房，2008年
※各項目に参考文献が載せてあります。

《書籍》

国分康孝著『カウンセリングの理論』誠信書房，1980年

小此木啓吾・福島章・成瀬悟策編『心理療法 1　臨床心理学大系 7 』金子書房，1990年

上里一郎・前田重治・鑪幹八郎編『心理療法 2　臨床心理学大系 8 』金子書房，1990年

河合隼雄・村瀬孝雄・水島恵一編『心理療法 3　臨床心理学大系 9 』金子書房，1989年

乾吉佑・氏原寛・亀口憲治・成田善弘・東山紘久・山中康裕編『心理療法ハンドブック』創元社，2005年

伊藤絵美著『ケアする人も楽になる　認知行動療法入門　BOOK 1 』医学書院，2011年

伊藤絵美著『ケアする人も楽になる　認知行動療法入門　BOOK 2 』医学書院，2011年

# 産業カウンセリングⅠ

科目コード●050680

担当教員●神　春美
末冨　美貴ほか

| 1単位 | S | 2年以上 |
|---|---|---|

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択A |

## 科目の内容

教科書にもとづいて，下記の内容を講義する予定です。

1　産業カウンセリングの歴史と発展

1）産業カウンセリングの発展

2）日本における産業カウンセリングの展開と課題

3）日本におけるEAPと産業カウンセリング

2　産業カウンセラーの役割と活動

1）産業カウンセリングの目的と対象

2）産業カウンセラーの役割

3）産業カウンセラーの活動

## 教　科　書　（「カウンセリングⅠ」と共通のため，この科目での教科書配本はありません。）

1）日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト)』日本産業カウンセリングサポートセンター，2008年

2）『同上　資料編』

※2013年度教科書変更予定

## 履修登録上の注意

この科目は，「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録済か，同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

# 産業カウンセリングⅡ

科目コード●050681

担当教員●神　春美　末冨　美貴ほか

| 1単位 | S | 2年以上 |
|---|---|---|

社会福祉 選択　社会教育 選択B　福祉心理 選択A

## 科目の内容

カウンセラーは適切な技術，知識を学び経験を重ね質の高いサービスを提供しなければなりません。倫理綱領を定めているのは質の悪いカウンセラーにより，相談者が被害にあうことの予防になります。倫理といえば守秘義務や多重関係が浮かぶと思います。しかし，守秘義務も実際の問題では全てを守らなければならないというものでもないのです。また，産業カウンセラーは企業や組織とのかかわりの中で，個人と組織の間での守秘義務が発生します。カウンセラーとしての倫理を産業カウンセラーの立場から理解し実践に即，対応できるものを「産業カウンセラー倫理綱領」から学びます。

また後半では，実際の業務にあたり必要な手順，記録の取り方や逐語の書き方など実践的な事を修得し，逐語検討，事例検討の手順等を修得することにより，即，現場で対応できる必要な技術と知識を身につけることをねらいとします。

## スクーリング講義概要

1　産業カウンセリング倫理
　1）カウンセラーの倫理とは
　2）守秘義務の実際
2　面接記録の作成
3　対話分析
4　逐語記録作成（ピアカウンセリングによる）
5　逐語検討
6　事例検討（公開事例より）
7　まとめ

## 教科書 （「カウンセリングⅠ」と共通のため，この科目での教科書配本はありません。）

1）日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト）』日本産業カウンセリングサポートセンター，2008年

2）『同上　資料編』

※2013年度教科書変更予定

## 履修登録上の注意

この科目は，「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録している方，または同時に履修登録する方のみが履修登録可能です。

# カウンセリングⅠ

科目コード●050682

担当教員●渡部 純夫・神 春美
末冨 美貴 ほか

| 1単位 | S | 1年以上 |
|---|---|---|

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択A |

## 科目の内容

教科書にもとづいて，下記の内容を講義する予定です。

1　カウンセリングの原理
　1）カウンセリングとは
　2）カウンセリングの特質
　3）カウンセリングの効用と限界
2　傾聴の意義と技法
　1）傾聴の意義
　2）傾聴の技法
　3）カウンセリングのプロセスと傾聴

## 教 科 書

1）日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト)』日本産業カウンセリングサポートセンター，2008年
2）『同上　資料編』
※2013年度教科書変更予定

※「カウンセリングⅠ・Ⅱ」の履修の順序の指定はありません。Ⅰ・Ⅱのいずれを先に受けていただいても，または1科目のみの受講でも大丈夫です。

# カウンセリングⅡ

科目コード●050683

担当教員●中村　裕子
　　萩原　豪人

| 1 単位 | S | 1 年以上 |
|---|---|---|

社会福祉 選択　社会教育 選択B　福祉心理 選択A

## 科目の内容

カウンセリングは，カウンセラーとクライエントによるかかわりあいのプロセスです。そしてカウンセリングの導入期から終結までの各段階には，ある程度共通する課題やかかわり方があると言われています。ここでは，このようなカウンセリングの普遍的な側面を中心にお話をしたいと思います。

この授業では，インテーク面接やアセスメントに始まり，面接の契約，目標の設定，そして終結に至るまでのプロセスを辿りながら，カウンセリングが実際どのように進められていくかをご紹介していきます。また各段階におけるカウンセリングの特徴や使用される代表的なカウンセリングの技法についても取り上げたいと思います。

## 教 科 書

平木典子著『カウンセリングとは何か』朝日新聞社，1997年

## スクーリング講義予定内容

以下のような内容を予定しています。

1．面接が始まる前に
2．インテーク面接
3．アセスメント
4．契約と目標の設定
5．自己理解と行動変容
6．終結
7．代表的なカウンセリング技法のまとめ

## 講師紹介

中村裕子　　東京大学学生相談所
萩原豪人　　慶応義塾大学学生相談室

# カウンセリング演習Ⅰ

科目コード●050685

担当教員●神　春美　末冨　美貴ほか

| 1単位 | S | 2年以上 |
|---|---|---|

福祉心理
選択A

## 科目の内容

カウンセリングの基本姿勢である「傾聴」を中心とするグループワークなどを行います。

## 教科書（「カウンセリングⅠ」と共通のため，この科目での教科書配本はありません。）

1）日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト）』日本産業カウンセリングサポートセンター，2008年

2）『同上　資料編』

※2013年度教科書変更予定

## 履修登録上の注意

この科目は，「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録している方，または同時に履修登録する方のみが履修登録可能です。

# カウンセリング演習Ⅱ

科目コード●050686

担 当 教 員● 菊住　　彰

| 1 単位 | S | 2 年以上 |
|---|---|---|

福祉心理
選択A

## 科目の内容

カウンセリングの実践や応用について，演習を通して体験的に理解していくことを目的とした授業です。１対１のカウンセリングにおける傾聴の姿勢を身に付けるだけでなく，逐語記録を使った対話分析等を行い，より適切な応答を細かく検討していきます。また，伝統的な個人面接に加え，臨床現場で行われているサポートネットワーキング，コンサルテーション，危機介入，システムズアプローチ等の援助法についても紹介します。

## スクーリング講義内容

ロールプレイ，対話分析，グループワーク，VTR教材鑑賞，講義等を適宜織り交ぜて行う予定です。

できるだけ無理なく楽しく学習できるように配慮するつもりでいますが，演習が中心となりますので，授業へ積極的に参加する姿勢が必要です。どうしてもコミュニケーションの苦手な学生は，申し出てください。

**【ロールプレイ】**カウンセラー役，クライエント役を実際に演じてもらいながら，カウンセリングの応答についてトレーニングを行います。カウンセリングの各種技法の理解と習得を目指します。

**【対話分析】**カウンセリング場面を文字に起こした教材を使い，１つ１つの応答を検討していきます。

**【グループワーク】**グループワークやグループ討議を通じて，各種対人援助法についての理解を深めます。ロールプレイの感想のシェアリング等も行います。

**【VTR教材鑑賞】**実際のカウンセリング場面を見ながら，解説を加えていきます。

**【講義】**カウンセリングについて基礎的な講義を行います。

## 履修登録上の注意

本講義は原則的に「カウンセリングⅠ」または「Ⅱ」または「カウンセリング演習Ⅰ」のスクーリングを受講されるなど，カウンセリングの基礎知識をお持ちの方を対象として

おります。

## 教 科 書

福島脩美『カウンセリング演習』金子書房, 1997年

## 講師紹介

菊住　　彰　　東京学芸大学特任教授

# 産業心理学

科目コード●050687

担 当 教 員● 吉田　信彌

| 1 単位 | S | 2 年以上 |
|---|---|---|

社会福祉 選　択

社会教育 選択B

福祉心理 選択A

## 科目の内容

産業心理学は20紀初頭に米国を中心に起こったが，その背景には米国の資本主義とくに工場の労働状態への反省があった。産業心理学はつねに時代とともに変遷する。本講義では勃興期の産業心理学の問題から現在までの進展を，時代背景とともに簡単に解説する。

1911年にテーラーは『科学的管理の原理』を，ギルブレス夫妻は『動作研究』を公刊し，工場での作業を中心にその効率化が産業心理学の初期のテーマの一つであった。講義ではその内容とその後の発展を紹介する。

次に「産業心理学の動機づけの理論」を紹介する。労働では物的な環境ではなく人間の動機づけが大きいとの立場が登場するきっかけを与えたホーソン研究とそこから人間関係論等への展開を紹介する。

動機づけの基礎理論として精神分析，行動主義，マズロー等の人間主義心理学の立場を復習しながら，産業心理学で展開する動機づけ論の応用，たとえばハーズバーグの理論や職務満足，コミットメントなどの研究を紹介する。

後半は，「人事と適性」を扱う。いかに組織の構成員の動機づけを高めるかが産業心理学の課題となる。いかにして適材適所とするか，人事に役立つ心理学が求められる。組織の中でリーダーシップを発揮できる人材や特殊な業務にあった人材を見つける方法はないか，という要請が生じる。そうした要請に対する心理学の知見を紹介する。

最後は試験を実施する。

## 教 科 書

1）吉田信彌著『事故と心理』中公新書，2006年

2）日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト）第10章』日本産業カウンセリングサポートセンター，2008年

3）『同上　資料編』

※2013年度教科書変更予定

# 組織心理学

科目コード●050688

担 当 教 員●田尾　雅夫

| 1 単位 | S | 2 年以上 |
|---|---|---|

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択A |

## 科目の内容

現代人にとって，企業・官庁・学校・病院など組織との関わりは避けて通れない。産業心理学は，広く産業活動で生じる問題に対して心理学の知識や方法を応用する分野として20世紀はじめに成立したが，20世紀後半になると社会と人間に対する組織の「支配」が進んだため，組織と個人の関係に焦点を当てた組織心理学が心理学の一領域として確立した。これら2つの心理学を併せたものが，産業・組織心理学である。この授業では，特に人間の心理・行動を〈組織との関わり〉から考える組織心理学に焦点をあて，組織がそのメンバーの心理・行動にどのような影響を及ぼすか，逆に，個々のメンバーの行動は組織全体の業績にどのように結びつくかを考える。授業では，仕事への動機づけ・満足感，職場の人間関係，リーダーシップ，組織コミットメント，組織ストレスなど，組織心理学の主要なトピックスをとりあげるとともに，現代日本企業の人的資源管理の特徴とその影響について検討する。

## 教 科 書

1）日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト)』日本産業カウンセリングサポートセンター，2008年

2）『同上　資料編』　※2013年度教科書変更予定

※「カウンセリングⅠ」を履修登録しないと上記教科書の配本は受けられません。

## 参考図書

外島　裕・田中堅一郎（編著）　『産業・組織心理学エッセンシャルズ【増補改訂版】』ナカニシヤ出版，2004年

田尾雅夫『組織の心理学 新版』有斐閣，1999年

## 講師紹介

田尾　雅夫　　愛知学院大学教授・京都大学名誉教授

# 人間関係論

科目コード●050689

担 当 教 員● 山口奈緒美

| 1 単位 | S | 1 年以上 |
|---|---|---|

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択A |

## 科目の内容

今みなさんが抱えている悩みやストレスの原因は何でしょうか？　この問いに「人間関係」と答える人が多いことは，みなさんご存知かもしれません。人間関係は私たちの円滑な毎日の営みを支えるものであり，さらに，人と関わることによって得られる喜びや嬉しさは，人と関わらないで得られるそれらよりも，深く，大きなものです。このように，人間関係が私たちにとって最も重要な関心事であるからこそ，逆に，大きなストレスの原因にもなってしまいます。

この講義では，まず，これまでの研究で明らかにされてきた人間関係の発展から崩壊までのプロセスをご紹介します。さらに，人間関係への満足感に強く影響すると考えられる多様なコミュニケーションについてや，私たちが人間関係を築き，維持していく際に悪影響を及ぼす私たちの認知的な歪みについてもご紹介します。こうした認知的な歪みは，私たちの情報処理を行いやすいように支えている基盤の副作用ともいうべきもので，人なら誰にでも備わっているものですが，こうした歪みによって人間関係が阻害されてしまうこともあります。

この講義を通して得た知識と，ご自分の人間関係に照らし合わせ，自分の有している人間関係がどのプロセスにあるのか，どのような認知的バイアスのもとに人間関係を見ていたか，客観的に捉えなおす機会になればと思います。

## 教 科 書

スクーリング時に資料を配付予定

## 参考図書

藤森立男編著『人間関係の心理パースペクティブ』誠信書房，2010年

# 人的資源論

科目コード●050690

担当教員●齊藤　幹雄

| 1単位 | S | 2年以上 |
|---|---|---|

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択B |

## 科目の内容

働くことの意味や働きがいが問われている。その問いは，従来いわれてきたマニュアル化・標準化・歯車化された労働様態のみならず，昨今の市場経済化にまつわる労働市場の階層分化と雇用不安の蔓延，「会社中心主義」の弊害などと無縁ではない。同時にこうした問題では，個人と組織（企業）の成長・目標がもはや必ずしも一枚岩ではなくなり，勤労観の変化や価値の多様化が顕在化したことを見逃せない。

上記の動向や問題意識を念頭に本講座では，働くことの意義を職業的自律の可能性・確立に求める。すなわち，職業的自律の基盤としてのキャリア形成について講じるとともに，モチベーションの創出や「勤労生活の質的向上（QWL）」に資する人事労務管理の基礎的知識および経済社会の動向について触れる。かかる労働経済論およびキャリア論を通じて，冒頭の問いかけに関する手がかりを得たい。

### Ⅰ．労働経済

⑴まず，労働の 3 側面，労働市場の特異性，労働市場の類型など労働経済の予備的知識を概略する。⑵次いで，年功（賃金）制や終身雇用など日本的雇用慣行の特質を小括する。その上で日本的雇用慣行の典型モデルが，今日あてはまり実際に妥当しているかを検証し，揺らぎ・変容している実相を例証する。⑶そうした問題を踏まえつつも，近年「人的資源管理」と呼称される人事労務管理および総額件費（賃金管理を含む）対象領域を確認し，職域福利や人事考課制度などに関する基礎知識を把握する。⑷まとめにかえる形で，成果・業績主義が席捲するなかで人的資源論の欠陥を指摘し，今後の方向性などを示唆する。

1．労働および労働市場に関する予備的知識
2．日本的雇用慣行の特質とその動揺
3．人事労務管理（人的資源管理）の機能と領域等
4．人事考課
5．職域福利

6．課題と方向性

**Ⅱ．キャリア論**

⑴なぜキャリアの意義・必要性がいわれるのか，その背景や課題について雇用の変容，勤労意識の変化・価値の多様化，フリーター問題にみられるキャリア・クライシスなどをとりあげて本講の導入とする。⑵次いで，ワークキャリアとライフキャリアの統合としてのキャリアの含意，そしてキャリア形成にとって必要な事柄をE.H.シャインのキャリア・デザイン論を手がかりに示す。⑶キャリア・ガイダンスの基礎理論として，F.パーソンズの職業選択論，状況的・構造論，D.E.スーパーの職業発達論を小括する。また，キャリア選択と不可分のキャリア・カウンセリングの進め方にも触れる。⑷初期キャリアからキャリア・アンカーと連なるキャリア・パスについて，動機づけを伴う「職務充実」や「キャリア・ディベロップメント・プログラム」を，職場での「幅広い専門性」の形成例を交えて解説する。⑸職業的自律の基盤としての職業能力，職業生活の方向性（キャリア・コース）などを概略し，職業の 3 要素とその意義を述べ，「職業人モデル」を考察する。

1．求められるキャリア形成・開発
2．キャリアの概念
3．キャリア・ガイダンスの基礎理論
4．キャリア・カウンセリングの進め方
5．キャリア・ディベロップメント，職務充実と「幅広い専門性」
6．職業の意義と課題

## 教 科 書 （「カウンセリングⅠ」と共通のため，この科目での教科書配本はありません。）

1）日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト)』日本産業カウンセリングサポートセンター，2008年
2）『同上　資料編』
※2013年度教科書変更予定

## 履修登録上の注意

この科目は，「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録済か，同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

# 労働法

科目コード●050691

担当教員●菅原　好秀

| 1単位 | R | 3年以上 |
|---|---|---|

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択B |

※この科目の単位修得方法は，以下のとおりです。

**履修方法**：R　レポート課題合格＋科目修了試験合格で単位修得

## 科目の内容

近年の労働環境は，少子化が引き起こす若年労働力の不足，ニート・フリーターの増加の問題から，過労死，過労自殺，うつ病などのメンタルヘルス問題まで，労働を取り巻く環境は複雑化・多様化しております。産業組織で働く人々が，人生の局面で前述の問題に直面したとき，問題解決へのプロセスを通して自立・自律的に生きていくためには，法律のサポートが必要となります。

そのため，産業カウンセラーは，心理学的手法を用いて，働く人たちが抱える問題を自らの力で解決できるよう援助する専門家であるため，労働者の労働に関する法律関係を理解する必要があります。

本科目では，労働基準法を中心に，産業カウンセラーとして相談援助に必要な労働に関する法律のシステムとその考え方について，具体的に下記のような内容を学んでいきます。

⑴労働法の体系　⑵労働基準法の誕生　⑶労働契約，労働条件の決定システム，試用期間　⑷労働時間法制　⑸年少者と女性労働者の保護　⑹賃金　⑺労働者の自己決定権の保障　⑻解雇　⑼就業規則　⑽付随的契約義務　⑾男女雇用機会均等法　⑿育児・介護休業法　⒀高年齢者雇用安定法　⒁労働市場法制

## 履修登録条件

この科目は，「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録済みか，同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

## 教科書

1）日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト）第12章』日本産業カウンセリングサポートセンター，2008年

2）『同上　資料編』

※2013年度教科書変更予定

※カウンセリングⅠと共通のため，この科目での教科書配本はありません。

## レポート課題　①②を専用レポート用紙にて解答してください

| | |
|---|---|
| 1 単位め | ①　労働法の体系について論ぜよ。<br>②　別紙問題に解答せよ。 |

## アドバイス

1単位め 解説

人権宣言の誕生，近代市民国家の光と影，人権の社会化，人権の国際化について言及した上で，自分の考えを論じてください。

## 参考図書

1）渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社，2010年

2）水町勇一郎著『労働法　第2版』有斐閣，2008年

3）志田民吉編著『法学　第3版』建帛社，2007年

# 職場のメンタルヘルス

科目コード●050692

担 当 教 員●鈴木　直子

| 1 単位 | R | 3 年以上 |
|---|---|---|

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択B |

※この科目の単位修得方法は，以下のとおりです。

**履修方法：R**　レポート課題合格＋科目修了試験合格で単位修得

## 科目の内容

1　**労働者のこころの健康をめぐる状況**

1）労働者をめぐるストレスの状況

2）自殺者数の増加と自殺予防

3）労働災害

2　**メンタルヘルスと労働安全衛生法**

1）労働安全衛生法とは何か

2）職場のメンタルヘルスに関する安衛法の改正

3　**職場のメンタルヘルスに関する指針など**

1）事業場における労働者の健康の保持増進のための指針

2）事業者が講ずべき快適な職場環境の形成のための措置に関する指針

3）事業場における労働者の心の健康づくりのための指針

4）心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き

5）労働者の心の健康の保持増進のための指針

4　**ストレスとストレス反応**

1）ストレスとは何か

2）ストレス要因

3）ストレスへの対処

## 履修登録条件

この科目は，「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録済みか，同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

## 教 科 書

1）日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト）第13章』日本産業カウンセリングサポートセンター，2008年

2）『同上　資料編』

※2013年度教科書変更予定

※カウンセリングⅠと共通のため，この科目での教科書配本はありません。

## レポート課題　　専用レポート用紙またはTFUオンデマンドにて解答してください

| | | |
|---|---|---|
| 1 単位め | 別紙の問題に解答してください。 | （Web解答可・下記参照） |

## アドバイス

**1単位め 解説**

教科書をよく読んで，職場のメンタルヘルスの取り組みを理解しましょう。また，職場のメンタルヘルスは，社会環境や経済情勢により変化します。どのような流れで現在のヘンタルヘルスケアが行われるようなったかを理解するために，「資料編」の法律や指針に目を通すようにしましょう。

ストレス理論は，労働者や管理者がストレス軽減を図ったり職場環境の改善を行うにあたり有効です。自分なりに説明ができるように整理し，内容をより深く理解するようにしましょう。

**■「TFUオンデマンド」上でのレポート・解答方法**

この科目のレポートは，専用レポート用紙の郵送提出以外に，「TFUオンデマンド」のホームページにアクセスしてweb上での解答も可能にします。希望者はweb上で解答ください（その場合，専用レポート用紙の郵送提出はできません）。web上のレポートは自動採点です。また何度もチャレンジできます（評価登録期間内の最高点が登録されます）。

※慣れると，ネット上で解答していただく方が楽だと思います。1問1問解説がついていて，非常に勉強になります。

1）TFUオンデマンドのページにアクセスし，「セミナー画面」から「職場のメンタルヘルス・レポート」のコンテンツをクリックし始めてください。使用方法は『With』83号p.42～などを参照してください。

アクセス先　　http://www2.netrecorder.jp/tfu/login

2）すべての解答が終わったら必ず「採点」ボタンを押して評価結果を確認してください。合格しているかどうかは「採点」ボタンを押した際と，『With』83号p.46　7.の方法で確認が可能です。

3）通信教育部の方で科目修了試験申込締切日の正午（『With』で案内）を締切として，レポートの評価を本学の「成績管理サーバー」に登録します。TFUオンデマンドで合格が出ても登録日まではレポート提出記録として反映されません。また，一度合格の評価が入力されると，その後は評価は変更できませんので，ご注意ください。

（例1）8／20に「良」の成績，8／22に「優」の成績　→　8／23に「優」の成績登録

（例2）8／20に「良」の成績→　8／23に「良」の成績登録→　9／5に「優」の成績　→　一度評価が入力されているので10／11に「優」の評価は入りません。

# 統計情報を見る眼

科目コード●050146

担当教員●平川　昌宏

2単位 | R or SR | 2年以上

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択B |

## 科目の内容

私たちは普段テレビや新聞，広告などを通してたくさんの統計情報に接しています。統計情報は物事を客観的に理解し，人に伝える上で非常に有効で便利なものです。さらに，統計情報を適切に「読みこなし」「使いこなす」ことによって，そこから有益な結論を論理的に導き出すことが可能になると考えられます。しかし，その反面，このように統計情報を適切に「読みこなし」「使いこなす」ことは必ずしも簡単なことではありません。さらに言えば，それができなければ，統計情報に「騙され」，知らず知らずのうちに真実とは異なる解釈に至ってしまったり，真実とは異なる印象を抱いてしまう危険性すらあると考えられます。

本科目では，まず，統計情報の種類やそれらの特徴について理解することを目的とします。さらに，それを解釈する際の統計的な思考法について学んでいくことを目的とします。以上を通して，統計情報に騙されることなく，それを「読みこなし」「使いこなす」ことができるよう「統計情報を見る眼」をより豊かなものにすることを目指します。

なお，統計情報は事象を数値的に処理したものであり，統計情報についての理解を深める上である程度の数学的な知識が必要になります。その点で，特に数学に苦手意識を持つ方には，履修することがはばかれる科目かもしれません。スクーリングでは，この点を考慮し，数学的な内容は必要最小限にとどめ，統計的な考え方の習得に焦点を当てていくこととします。

## 教科書

飯田泰之 『考える技術としての統計学』日本放送出版協会，2007年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | テキストの第 1 章を読み，「統計詐欺の 3 つのパターン」を具体例を挙げながらまとめてください。 |
| 2 単位め | 次の 2 つの課題 1 ・ 2 のうち，**いずれか 1 つ**に回答してください。<br>**課題 1**　1 つの変数の特徴を記述する際に用いられる値として算術平均があります。<br>i ）算術平均の特徴について述べてください。<br>ii ）1 つの変数の特徴を記述する上で算術平均を用いる際の留意点について述べてください。さらに，算術平均がデータを代表する値として不適切な場合，そのデータの特徴を理解し，記述する際の方法について述べてください。<br>**課題 2**　2 つの変数の関係を述べる際に相関という言葉が用いられます。<br>i ）相関の種類についてまとめてください。また，相関係数の特徴について述べてください。<br>ii ）相関関係を解釈する際の留意点について具体例を挙げて説明してください。その際，「因果関係」，「疑似相関」という用語を必ず用いること。 |

## アドバイス

**1単位め 解説**

テキストの第 1 章『統計的思考とは何か』では，真実とは異なる印象を抱かせる統計情報のパターンとして，3 つのパターン（①見せ方の嘘，②選択の嘘，③収集の嘘）が述べられています。この 3 つのパターンそれぞれについて，テキストの内容を参考にしながら述べてください。その際，各パターンの具体例をそれぞれ挙げるようにしてください。

具体例については，まず，皆さんのまわりにある統計情報，あるいは，テキスト以外の文献等で紹介されている統計情報を見直し，その中で各パターンに該当するものがないかどうかを検討してください。このような検討を行った上で，それでも各パターンに該当する適切な具体例が見当たらない場合は，テキストで述べられているものについて述べても構いません。

**2単位め 課題 1 解説**

たとえば，「○○のテストの平均は△△点だった」など，平均（とりわけ算術平均）は私たちにとって非常になじみ深い統計情報です。それゆえに，その特徴や留意点を理解した上でつきあっていく必要があると考えられます。今回の課題については，テキストの第 2 章『「平均」による情報縮約』を学習した上で取り組むようにしてください。詳細なアドバイスは以下の通りです。

ⅰ）について

・テキストでは，４種類の平均について述べられています。レポート課題では，その中で算術平均について述べるようにしてください。

・テキストでは算術平均の特徴として「やじろべえの支点」という表現が用いられています。この点について詳しく述べるようにしてください。

ⅱ）について

・主にテキスト第２章の第２節『平均の誤解を解く』に書かれている内容を参考にし，レポートを作成するようにしてください。

・他のデータに比べて極端に大きな値や小さな値を示すデータのことを「外れ値」と言います。算術平均を用いる際の留意点について述べる際，この用語を用いるようにしてください。

**2単位め 課題２ 解説**

ある事柄について予測を行う，あるいは原因をさぐる上で，２つの変数の関係を理解することは非常に有益だと考えられます。今回の課題については，テキストの第５章『「回帰分析」による関係把握』を学習した上で取り組むようにしてください。詳細なアドバイスは以下の通りです。

ⅰ）について

・主にテキスト第２章の第１節『関係性を発見する』の中の，『まずは視覚化する』（ｐ. 148～），『次に数量化する』（ｐ. 150～）に書かれている内容を参考に，レポートを作成するようにしてください。

・相関係数の特徴については，この値から２つの変数の関係についてどのような情報を読み取ることが可能なのかについて述べてください。

ⅱ）について

・主にテキスト第２章の第３節『回帰分析の有効利用へ』の中の『因果と相関』（ｐ. 171～）の中で，回帰分析の根本的な問題点として述べられている事柄を参考に，レポートを作成するようにしてください。

・「疑似相関」とは，実際には直接関係のない変数同士（たとえば，「地震」と「ナマズがさわぐ」）が，両者に共通する別の要因（「地殻変動」）の影響を受けて，見かけ上相関関係が生じる現象のことを言います。

・具体例としては，皆さんのまわりにある統計情報や一般的に言われている通説の中で，「疑似相関」であることが考えられるものを１つ挙げるようにしてください。

## 参考図書

青木繁信　『統計数字を読み解くセンス』化学同人，2009年
上田尚一　『統計グラフの賢い見方・作り方』講談社ブルーバックス，1988年
大村　平　『統計のはなし（改訂版）』日科技連，2002年
ジョエル ベスト　『統計はこうしてウソをつく――だまされないための統計学入門』
　林大訳　白揚社，2002年
谷岡一郎　『データはウソをつく』　筑摩書房，2007年
ダレル ハフ　高木秀玄訳　『統計でウソをつく法』講談社ブルーバックス，1968年
吉田寿夫　『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』
　北大路書房，1999年

# 卒業研究

科目コード●050991
担 当 教 員● 本学専任教員

| 8単位 | 卒業研究 | 4年 |
|---|---|---|

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択A | 選択A |

## 科目の内容

卒業研究は，在学中における学習成果をもとに，各自が研究テーマを設定し，担当教員の指導助言を受けながら，論文を作成するものです。

必修科目ではありませんが，学生時代に学問的な創造性を発揮し得る絶好の機会です。自分がはたして大学で何を学び身につけることができたのかを確認することもできます。時間的な余裕のある学生は履修することをお勧めします。

## 教 科 書

各自で研究テーマに応じて準備。福祉心理学科の方は『福祉心理学科スタディガイド』VI章は必読。

## 卒業研究の流れ

### 1　研究テーマの決定

#### (1)　問題意識の具体化・明確化

一般に論文を書く場合，まず第１に，テーマをどのようなものにするかが問題となります。テーマは，かなり漠然とした興味や関心から出発することが多いものです。また，講義や実習・実験の中で，こういうことを研究したいという，ある程度具体的な問題意識を持つ場合もあるでしょう。しかし，いざ自分の研究として進めていこうとすると，どこから手をつけてよいか，方向づけに迷いがちなものです。したがって，研究を進めていく第一歩は，問題をできるだけ明確にし，一定期間内でまとめあげられるように絞り込んでいくことです。そのためにはまず，自分の興味・関心に関連のある文献を読むことが必要です。また，この段階で可能ならば通信教育部事務室を通して然るべき先生に相談し，指導を仰ぐことも，問題意識を深める上で非常に役立つはずです。さらに，順序は逆になりますが，はっきりした問題意識の方向がなかなか定まらない場合に，文献を読むことによって，おもしろそうな問題を発見することもあると思われます。

⑵　**関連文献を調べること**

問題意識がある程度具体化してきたら，関連のある文献を読み始めます。文献とは，単行本だけではなく，オリジナルな論文（専門誌・学会誌や紀要など＝『学習の手引き』９章参照）も含まれます。文献は，まず，最も新しいものを読み，それからさかのぼって読んでいくのがいいと思いますが，１つの論文を読むと，それに関連した文献が，参考文献（references）の欄に挙げられていますから，その文献を次々に読んでいくのが効率的です。

関連論文が見つかったら，自分なりの文献目録を作ります。そうすると，後で本格的に文献を整理する時に効果的です。

⑶　**仮テーマ（仮題）の決定＝卒業研究の受講申込み**

＝通信教育部への提出（３月卒業希望者）４月５日必着／（９月卒業希望者）10月５日必着

⑴，⑵により，ある程度問題意識が明確になったら，その問題の方向に従って，仮テーマを決定し，本冊子巻末の「卒業研究　申込用紙」に必要事項を記入して，大学に提出していただきます。各自の提出したテーマを検討し，大学で指導教員を決定します。

この段階でｐ. 126〜127の「卒業研究の受講条件」を満たしていることが必要です。また，テーマや主旨が明確でない方は，卒業研究の受講ができない場合もありますので，ご了承ください。

⑷　**指導教員の決定**

＝通信教育部から書面で連絡　５月初旬／11月初旬に発送予定。なお，指導教員が決まったら，できるだけ早く面接指導でも通信指導でもよいので，初回の指導を受けてください。

⑸　**テーマ（論題）の最終決定**

指導教員が決定したら，その指導，助言のもとに，具体的なテーマを決定します。テーマは，研究の具体的な内容が理解できるように，できるだけ具体的かつ簡潔なものであることが望まれます。また，やや抽象的なメインテーマに，具体的なサブテーマをつける方法もよく使われています。

**２　研究を進める**

研究を進めるプロセスとしては，①文献研究，②データ・資料の収集・分析，③執筆などが考えられますが，指導教員の指導を十分に受けてください。研究・執筆の過程で，最低限２回の面接指導，３回の通信指導を受けることが必要です。ただし面接指導の回数が２回より多くなる場合は，通信指導はその分減らすことができます。

なお，口頭で構いませんので指導教員から，執筆の前には卒業研究執筆許可を，提出

の前には卒業研究提出許可をもらうようにしてください。

また，**調査やインタビューなどを実施する前には，必ず指導教員の了承を得る必要があります。**福祉心理学科の場合は，指導教員の了承を得たうえで，調査に協力をいただく機関ないし個人に「調査依頼状」を提出してください。「調査依頼状」の書式見本は，『福祉心理学科　スタディガイド』第 1 版 p. 135，第 2 版 p. 165に掲載されています。ご自身で作成した「調査依頼状」に指導教員の署名・捺印をいただいたうえで，ご自身で調査依頼先に提出してもらいます。なお，書式フォーマットを希望される方は通信教育部卒業研究担当までご連絡ください。

**⑴　通信指導**

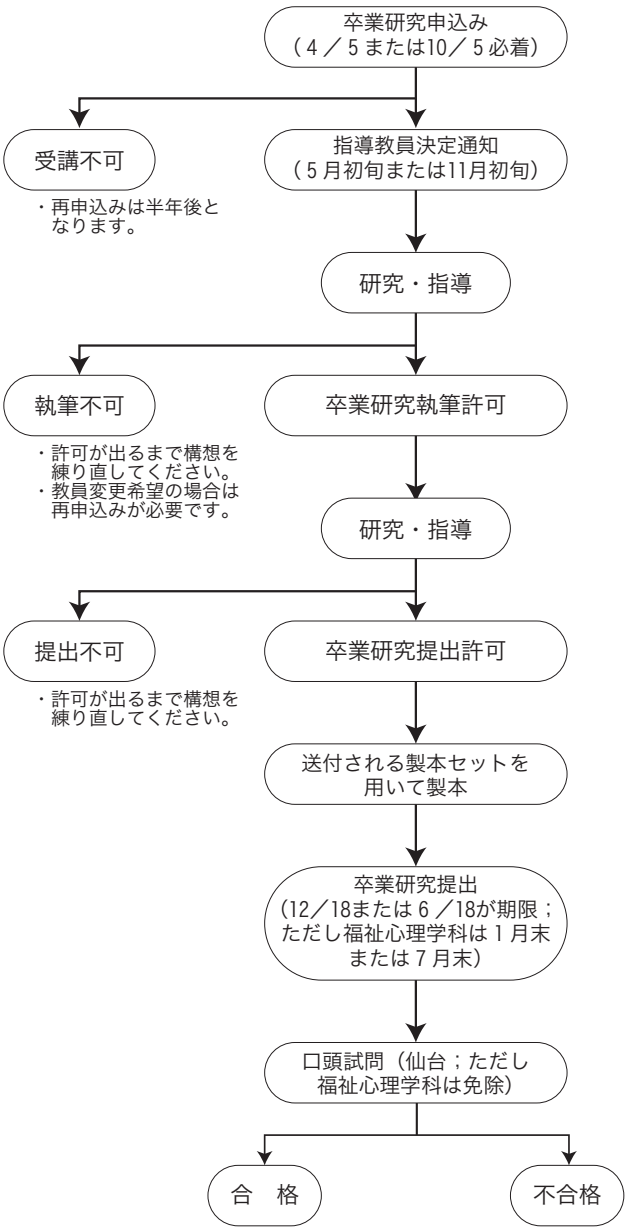
通信指導は，卒業研究の進行状況に応じたレジュメ（要旨・要約）などを作成・提出することにより指導教員に指導を受けるものです。指導は，一般的には通信教育部事務室経由で郵送で行っていただきますが，指導教員によっては学生ー教員間で直接やりとりを行っていただきます。

**⑵　面接指導**

面接指導は，担当教員と直接会い，指導を受けるものです。原則として，本学の演習室か教員研究室で行います。面接指導には，事前の申込みが必要です。申込みは，⑴通信教育部事務室経由で行う場合，⑵指導教員と直接相談して決めていただく場合があります。

通信教育部事務室経由で行

**――申込以降の流れ――**



う場合は，本冊子巻末の「卒業研究ガイダンス・面接指導申込書」の「面接指導」欄と「相談・質問内容」欄に必要事項を記入して，FAXまたは郵送でお申込みください。同様の内容を記入していただいて，電子メールでの申込みも可能です。

## 提出の方法

⑴ 400字詰原稿用紙で50枚以上100枚以内の分量が必要です。もちろん卒業研究としてふさわしい論文の内容でないと合格することはできません。

⑵ パソコンの場合は，下記のスタイルに統一してください。

・Ａ４判の用紙ヨコ書　左右40字×天地30行　マージン上下左右各30mm

・文字サイズは本文10.5ポイントを原則としてください。見出しは，適宜大きいポイントにしたり，太字にしてください。

⑶ ページ数を頁下部に記入または印字してください。

⑷ 本文以外に，論文のスタイルにそって①目次や②注または引用・参考文献などをつける必要があります。

⑸ ３月卒業希望者の論文提出締切は12月18日（ただし福祉心理学科は１月末），９月卒業希望者の論文提出締切は６月18日（ただし福祉心理学科は７月末）前後となり，１～２月，７～８月の口頭試問に合格することが必要です（福祉心理学科は口頭試問なし）。提出の際の「製本」仕様については受講者にご案内します。なお，論文は正副あわせて２部提出していただきます。

⑹ 論文は本学通信教育部事務室などで公開されます。プライバシー侵害などのないようにし，個人情報の記載は行わないでください。

## 卒業研究の受講条件

⑴ 正科生・４年生以上で，受講申込締切日〔４／５ or 10／５〕までに，卒業見込となる単位数（１年次入学者は90単位以上，２年次編入学者は60単位以上，３年次編入学者は28単位以上）を修得済みであること。

⑵ 自身で研究したいテーマがあり，論文の構想が申込み時に作成できていること。指導教員は，希望する研究テーマにもとづき大学側で決定されます。

⑶ 執筆の過程で，最低２回以上の面接指導，３回以上の通信指導を受けられること。

⑷ **福祉心理学科で「卒業研究」を受講するためには，下記の条件**が必要です。

① 受講申込締切日までに「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」「統計情報を見る眼」の単位が修得済であること。

② 実験・研究法・特講科目・Ｓ科目を除く福祉心理学科　専門必修科目・専門選択科目Ａ群の16科目のうち10科目以上の単位を修得しているか，学習を終了（レポー

ト提出済，かつ科目修了試験受験済orスクーリング受講済）していること。

③ 「卒業研究第 2 回めガイダンス（事前個別相談）」を受講していること。

## 福祉心理学科・卒業研究ガイダンス

福祉心理学科で卒業研究の受講を考えている方を対象に，事前に 2 回の「卒業研究ガイダンス」を行っています。なお，以下のガイダンスに出席したから必ず「卒業研究」に取り組まなければいけないということはありません。

**⑴ 卒業研究第 1 回めガイダンス**

卒業研究の概要について説明されるものです。この内容は，「TFUオンデマンド授業」視聴の要領で自宅のパソコンで視聴することができます（科目名「福祉心理学科・卒業研究ガイダンス」）。また，「心理学研究法 II」スクーリング開講日 1 日め講義終了後などにビデオ視聴することができます。第 1 回めガイダンスの受講申込みは不要です。

**⑵ 卒業研究第 2 回めガイダンス（事前個別相談）**

3 年生以上の方が，希望するテーマをもとに教員と個別，または少人数のグループで相談するものです。

第 2 回めガイダンス（事前個別相談）は，毎年 3 ・ 8 ・12月ごろに実施します。第 2 回めガイダンスは，下記の要領で申込みが必要です。

**・卒業研究第 2 回めガイダンス（事前個別相談）の申込方法**

卒業研究第 2 回めガイダンスは，本冊子巻末の「卒業研究ガイダンス・面接指導申込書」の「ガイダンス」欄と「相談・質問内容」欄に必要事項を記入して，FAX（FAXで返信可の場合のみ）または郵送でお申込みください。同様の下記の内容を記入していただいて，卒業研究係あての電子メールでの申込みも可能です（電子メールアドレス　ugr@tsukyo.tfu.ac.jp）。

**メールの件名**　卒業研究 2 回めガイダンス申込み

**メール本文**　下記①～⑩を箇条書きに記入してください。

① 卒業研究 2 回めガイダンス申込み
② 氏名
③ 学籍番号
④ 住所
⑤ 連絡先電話番号・FAX・携帯番号
⑥ 電子メール　アドレス
⑦ 卒業研究で取り組んでみたいテーマ（簡単で可）

⑧　希望日時（期間内でできるだけ多くの候補をあげてください）

⑨　希望教員の有無（ない場合はなしで可。ある場合は第 1 希望・第 2 希望）

⑩　（あれば）質問

**・卒業研究第 2 回めガイダンス（事前個別相談）の実施期間および申込締切日**

| 申込締切日 | 連絡予定日 | 第 2 回めガイダンス期間 |
|---|---|---|
| 7 月第 1 月曜日必着 | 7 月20日すぎ | 8 月 1 ～25日ごろ |
| 11月第 1 月曜日必着 | 11月20日すぎ | 12月 1 ～25日ごろ |
| 2 月第 1 月曜日必着 | 2 月20日すぎ | 3 月 1 ～25日ごろ |

## 社会福祉学科・社会教育学科　卒業研究ガイダンス

社会福祉学科・社会教育学科の方のための全体ガイダンスもTFUオンデマンド授業の方法（科目名「社会福祉学科・卒業研究ガイダンス」）で視聴が可能です。

社会福祉学科・社会教育学科の方，および上記 2 回めガイダンスにどうしても参加が難しい福祉心理学科の方で，取り組んでみたいテーマはあるが研究方法がわからないなどご質問・ご相談のある方は，⑴学籍番号，⑵氏名，⑶卒業研究テーマ，⑷質問内容を記入し，郵送・FAX・電子メールなどの書面で通信教育部までお問い合わせください（電子メールアドレス　ugr@tsukyo.tfu.ac.jp）。

## 諸 注 意

卒業研究を途中で断念する場合は，通信教育部または指導教員まで文書にて（様式自由）ご連絡ください。

卒業研究は 1 年で終えなくても結構です。

卒業研究を「科目等履修生」として履修することはできません。

## 参考図書

**1）論文執筆全般に関するもの**


吉田健正著『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方（第 2 版）』ナカニシヤ出版，2004年

新堀聡著『評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方』同文舘出版，2002年

斉藤孝著『増補　学術論文の技法』日本エディタースクール出版部，1977年

保坂弘司著『レポート・小論文・卒論の書き方』講談社学術文庫，1978年

U.エコ著『論文作法』而立書房，1991年

木下是雄著『レポートの組み立て方』ちくま学芸文庫，1994年

慶應義塾大学通信教育部編『卒業論文の手引＜新版＞』慶應義塾大学出版会，2003年

白井利明・高橋一郎著『よくわかる卒論の書き方』ミネルヴァ書房，2008年
奥田統巳ほか著『読みやすく考えて調べて書く（第 2 版）』学術図書，2003年

**2）社会福祉学関連**

川村匡由著『福祉系学生のためのレポート＆卒論の書き方』中央法規出版，2002年
久田則夫著『ノリさんの楽々レポート作成術』大揚社，1995年
平山尚ほか著『ソーシャルワーカーのための社会福祉調査法』ミネルヴァ書房，2003年
斎藤嘉孝著『社会福祉調査　ワードマップ』新曜社，2010年
立石宏昭著『社会福祉調査のすすめ』ミネルヴァ書房，2005年
畠中宗一・木村直子著『社会福祉調査入門』ミネルヴァ書房，2004年
岩田正美ほか編『社会福祉研究法』有斐閣，2006年
鈴木庄亮ほか著『保健・医療・福祉のための論文のまとめ方と書き方［改訂第 2 版］』南江堂，2006年

**3）歴史学関連**

歴史科学協議会編『卒業論文を書く』山川出版社，1997年

**4）心理学関連**

「福祉心理学科　卒業研究の手引き」の文献欄参照（『福祉心理学科スタディ・ガイド』所収）

新しいものとしては，下記の書籍がある。

松井豊著『心理学論文の書き方（改訂新版）』河出書房新社，2010年
都筑学著『心理学論文の書き方』有斐閣アルマ，2006年
杉本敏夫著『心理学のためのレポート・卒業論文の書き方』サイエンス社，2005年

**※統計の基礎を学ぶものとしては，下記の書籍がお勧めです。**

櫻井広幸・神宮英夫著『使える統計　Excelで学ぶ実践心理統計』ナカニシヤ出版，2003年
吉田寿夫著『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大路書房，1998年
B.フインドレイ著『心理学　実験・研究レポートの書き方　学生のための初歩から卒論まで』北大路書房，1996年
岩淵千明編著『あなたもできるデータの処理と解析』福村出版，1997年
浦上昌則・脇田貴文著『調査系論文の読み方』東京図書，2008年
近藤宏ほか著『Excelでかんたん統計分析』オーム社，2007年

## 福祉心理学科　卒業研究指導教員一覧（五十音順）

『　』内は過去の指導論文タイトルの一例。

△＝主として大学院の修士論文の指導を行う教員

| 指導教員名 | 指導分野と過去の指導論文タイトル |
|---|---|
| 宇田川　一　夫△ | 心理療法・心理アセスメント |
| 大　関　信　隆 | 発達障害・認知機能に関する実験心理学的研究<br>情動・ストレスに関する実験心理学的研究<br>『通園施設における園内活動が養育者の心理的変化に及ぼす効果に関する研究』,『音楽を媒介した知的発達障害に伴う自閉症者支援の可能性に関する研究』 |
| 菊　池　陽　子 | 臨床心理学<br>『言語表記方法変更に伴う視覚的文字イメージの差異―「がん・癌」「かぜ・風邪」の 2 疾患による文字イメージの考察』 |
| 木　村　　進△ | 教育心理学・発達心理学（特に乳児～青年）<br>障害児の心理・保育心理学（特に保育所保育との関係で）<br>『友だち関係による児童のストレスに関する研究―運動のすききらいとストレス対処の関係―』,『青年期におけるアイデンティティ早期完了者の親子関係』 |
| 佐　藤　俊　人 | 主として乳児期から青年期までを対象とし，その発達や心理に及ぼす環境の影響について調査，実験を通して検討します。<br>『成人のストレス対処についての研究～「癒し」の視点から～』,『「冬のソナタ」と韓流ブームとの社会的な要因・背景を探る』 |
| 清　水　めぐみ | 臨床心理学，深層心理学，心理療法に関する卒論の指導を行います。 |
| 白　井　秀　明 | 「教えること」「学ぶこと」「動機づけ」に関わる分野<br>『青年期における父親への抵抗の表出と心理的離乳との関係―父親の態度との関連から―』,『看護教員初年度における小児看護学実習指導に関する一考察～看護実践を学ぶためのよりよい実習過程の実現に向けての取り組み～』,『看護師の自我同一性及び自律性の発達と終末期患者の自己決定に対する援助傾向の認識の関係について』,『看護師が抱く看護肯定感と看護職を続けていくうえでの支えに関する調査』,『学習行動の主体性に及ぼす学習動機と内的矛盾の感性の影響』 |
| 内　藤　裕　子 | 学校保健，臨床心理学 |
| 中　村　　修 | 発達心理学，健康心理学分野<br>『福祉系大学1年生における福祉職の選択意思に及ぼす福祉体験の影響～大学入学前の福祉体験と入学後の実習体験を中心に～』,『脳血管障害におけるリハビリ継続行動に及ぼす心理的要因の検討』 |
| 西　野　美佐子 | 教育心理学，発達心理学，家族心理学分野<br>『「幼児における情緒発達プログラムについて」～友だち関係づくりへの働きかけと援助～』,『育児中の母親の自尊感情と育児ストレス・対処行動との関連』,『「合宿生活」による小学生児童の集団生活体験の効果～社会的スキルに焦点をあてて～』,『自尊感情とストレスコーピングについて』 |

| 指導教員名 | 指導分野と過去の指導論文タイトル |
|---|---|
| 皆　川　州　正△ | 青年心理学，家族心理学，臨床心理学（適応やパーソナリティに関する分野を含む）の領域の実証的研究<br>『非合理的なものへの関心と精神的健康に関する研究』，『自己受容の要因についての研究―達成動機・ソーシャルサポートとの関連を中心として―』，『秋田県の自殺率ワースト1　更新の要因を探る』，『宗教意識と生きがい感の関連―大学生と成人の比較を通して』 |
| 吉　田　綾　乃 | 社会心理学分野（自己，対人行動，集団行動など）<br>『成功体験の意味づけと振り返りが自己及び他者への肯定的感情に及ぼす影響―在米高校生の組織キャンプにおけるリーダー経験に基づく検討―』 |
| 渡　部　純　夫 | 臨床心理学<br>・病院臨床…病院における心理療法のあり方と効果<br>カウンセリング技法<br>・学校心理学…スクールカウンセリングの枠構造<br>チームアプローチの効果的技法<br>・芸術療法…箱庭療法，描画療法<br>『心身の健康に及ぼす主観的健康統制観について』，『高校生における親に対する信頼感に関する研究―基本的信頼感及び対人的信頼感に関連して』，『集合同一化と対人ストレスの相関関係について』，『高校生の風景構成法を通した不登校傾向』 |

# 高等学校福祉科
# 教諭免許状関連科目

平成24年度までに「総合演習」を単位修得した方以外の5条別表1による高等学校福祉科免許状取得希望者は,「教育実習」終了後に「教職実践演習（高）」という科目のスクーリングを受け，単位修得が必要になりました。さらに「教職実践演習（高）」を履修する方は毎年「履修カルテ」を提出することが必要になります。該当者で「履修カルテ」をこれまでに提出していない方は至急通信教育部までお申し出ください。

6条別表4（教育職員検定）による高等学校福祉科免許状取得希望者は,「教職実践演習（高）」や「教育実習」の履修の必要はありません。

# 教育原理

科目コード●050301
担当教員●寺下　明

4単位 | R | 1年以上

社会福祉 資格　社会教育 必修

## 科目の内容

現代日本の教育は，混迷した厳しい状況にあり，問題は深く複雑です。混迷の要因の一つとして，教育における理念の不明確さや人間理解の矮小化があげられます。今日の教育問題を解決するためにわたしたちは，教育あるいは人間形成とは何か，ということについて改めて問い直さなければなりません。何故，人間にとって教育が必要なのか，人間にとって教育とは一体何か，という問いにわたしたちはいま直面しているのです。古くて新しい問いかけです。その問いに対する何らかの解答は，教育の実践を根本において強く支えてくれるはずです。

## 教科書

寺下明著『教育原理』ミネルヴァ書房，2003年
**（平成14年度履修登録者）**寺下明著『教育の現在』近代文芸社，1995年にもとづくレポート課題も同じ。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | カントの「人間は教育されなければならない唯一の被造物である」という言葉の意味について述べなさい。 |
| 2単位め | 日本における子ども観について述べなさい。 |
| 3単位め | 日本の近代化において，教育の果たした役割について述べなさい。 |
| 4単位め | 学校とは何か。家庭，地域社会との関係で論じなさい。 |

## アドバイス

各課題についてテキストおよび関連文献を参考にして，ただ「丸写し」するのではなく，自分の言葉で，理解された内容をまとめるように心がけてください。テキストの内容

を十分に踏まえたうえで，他の文献や自分の意見などを加えるのは自由です。

**1単位め 解説**

教育とは何か。これを考えてもらうのがここでの学習の出発点となります。教育を説明することは難しい。その難しさは，実は教育という行為が直接人間に関わるからです。教育の問題は，根底において，多義的で不可解な人間そのものに対する問いに深く関わっています。教育は，人間についての把握がなければ不可能です。教育とは何かの問いは，われわれにとって永遠の課題の一つです。ここでは，人間は教育を必要とし，教育の可能な動物，すなわち，教育的存在としての人間という観点から，教育の意味について考えてみましょう。

**2単位め 解説**

子ども観を，子どもに対する明確に意識され概念化されたイメージと考えるならば，それは西欧近代の産物です。もちろん，日本にも子どもを大人と違った存在として慈しみ育てる慣習と，断片的なイメージはありました。しかし，子どもをどう見るかということに明確な視点を与えてくれたのはルソーの『エミール』です。したがって，子ども観の考察は，まず西欧の子ども観の探究からはじめ，それがいかなる背景のもとで成立したのか，また，実際の教育にどのような影響を及ぼしたのかについて考えることが大切です。そして，西欧の子ども観と日本の子ども観を比較しながら，日本における子どもをめぐる問題の特殊性を明らかにしたい。子どもは，いかなる意味の世界に生きていたのかを通して，逆に全体としての人間存在を問い直してみることがねらいです。

**3単位め 解説**

日本が「近代化」に成功したのは，単に後発の利点を生かし，他国のまねをして，キャッチ・アップしたのではありません。いくつかの要因が整っていたことの結果であると考えられます。ここでは，その重要な要因として，近世からの教育の普及と充実を取り上げてみたいと思います。特に，教育の質を取り上げることが重要です。しかし，日本が近代化を実現していく過程で，近代化が遅れていたがゆえに，教育によって先進文明を効率よく伝達しようとしました。伝統からの脱皮を急ぎつつ，先進文明を大量に伝達しようとしました。そこから教育行政の中央集権化がはじまり，その結果として学校文化の「画一化」が生じてきました。それは，いわば近代化の遅れがもたらしたものです。その点を十分踏まえながら，日本の近代化に果たした教育の役割についてレポートを作成してください。

4単位め
**解説**

近代における公教育制度は，国家の文明化と豊かな産業社会の実現をめざすシステムでありました。今日，日本の識字率，就学率，高学歴は世界の最高水準に達し，公教育以外にもさまざまな教育の機会が充実し，もっとも学校化された社会の一つを実現しています。しかし，80年代その量的制度的拡充がピークに達した頃から，校内暴力，不登校，いじめ問題等が深刻さを増し，その「制度疲労」が目立つようになってきました。近代の，学校を中心とした教育システムが自明としてきた原理そのものが崩壊してきたのです。こうした現代日本における実態についてテキストにこだわることなく，自分で実態を考察し，そこから考えたことを十分取り入れて課題にアプローチしてください。

## 参考図書

大田堯著『教育とは何か』岩波新書，1990年
恒吉僚子著『人間形成の日米比較』中公新書，1996年
河上亮一著『教育改革国民会議で何が論じられたか』草思社，2000年

# 教職論

科目コード●050702
担当教員●寺下　明

2単位 | R | 1年以上

社会福祉
資　格



## 科目の内容

平成10年教育職員免許法が改正され，「教職に関する科目」のなかに「教職論」が新設されました。本科目のねらいは，現代社会が抱えている教育的諸問題と教員の関係を考察し，教職とはどんな仕事か，その基本的な性格や社会的使命などのついての理解を深めることにあります。

## 教 科 書

教職問題研究会編『教職論〔第２版〕』ミネルヴァ書房，2009年

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年４月より教科書が改訂されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 教職の意義と教員の使命について |
| 2単位め | 教員の仕事と役割について |

## アドバイス

各課題について，テキストや参考文献を「丸写し」するのではなく，自分の言葉で理解した内容をまとめるように心がけてください。

**1単位め 解説**

教職とはいかなる仕事か，専門性の高い基本的な性格を理解し，激動する社会の中で，教師の使命や役割について，その求められる資質をふまえてまとめましょう。

2単位め
**解説**

学校では，さまざまな教職員が校務を分担しています。まず，教員の職務内容を把握してください。そして，今日多発する「いじめ」「不登校」「学級崩壊」に対して，教員としてどのように取り組むのかを考えることによって，職業人としての教員についての理解を深めましょう。

## 参考図書

佐伯胖・黒崎勲編『教師像の再構築』（岩波講座 6 現代の教育）岩波書店，1998年

# 高等学校教育課程の意義と編成

科目コード●050703

担当教員●吉井　宏

2単位 | R | 2年以上

社会福祉 資格



## 科目の内容

1999年3月，高等学校学習指導要領の全面的な改訂が行われ，専門教育の中に新たに「福祉科」が加わりました。またこれに先立って，98年には教育職員免許法が改定されました。そして改定に伴い「教職に関する科目」の中に「高等学校教育課程の意義と編成」が誕生しました。

高校福祉科の教員免許取得を希望する者にとっては基本となる科目です。そこで学習指導要領が示す教育課程とはどのようなものなのか，改訂の要点に注目しつつ，その編成について高等学校学習指導要領の総則に従って理解を深めていくことにします。

## 教科書

文部科学省『高等学校学習指導要領解説・総則編』東山書房，2009年

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年4月より学習指導要領の改正にともない，上記教科書に変更されます。改正の内容については，文部科学省ホームページ等で情報を入手し，学習を進めてください。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 学習指導要領上，教育課程とはどのようなものか，また教育課程編成の原則とはどのようなものか，まとめなさい。 |
| 2単位め | 学習指導要領改訂の基本方針をふまえて，改訂の要点をまとめなさい。ただし各教科・各科目等の改訂要点の細部については触れなくてよい。 |

## アドバイス

課題についてレポートを書くのに，最低，テキスト1冊があれば事足ります。ただし精読しなければいけません。

『高等学校学習指導要領解説・総則編』は，いうまでもなく2009年3月に公示された

『高等学校学習指導要領』の第１章総則について，文部科学省が解説を加えたものです。学習指導要領そのものではありませんが，これがないと学習指導要領が理解しきれません。

学習指導要領が各学校段階ごとに編纂されるようになって，もう随分年月がたちますが，この形式のままで総則や各教科・特別活動などの細部にいたるまで記述したとすると，厖大な紙数が必要となります。そこで詳述を避け，必要最低限だけを列記したのが現行の学習指導要領ということになります。しかしそれでは読者がさまざまに解釈してしまうおそれが生じます。そうなれば教育課程の基準であるという学習指導要領の基準性が揺らぐことになりかねません。ですから問題が起きないように，文部科学省は公式注釈書を作成する必要があったのです。そのようにして，解説編は学習指導要領が改訂されるたびに文部科学省自身の著作として発表されてきました。

冒頭で，この１冊を精読すればレポートが書けると述べたのは，そうした事情があったからなのです。ところが実際にテキストを開くと，字面は追えるのに結局何が書いてあるのかよくわからない，という声もしばしば耳にします。確かに意味がつかみにくい文章かもしれません。しかし焦らないでください。真面目に取り組めば取り組むほど悩まされるかもしれません。しかし「読書百遍，意自ずから通ず」といいます。文章がどのような構成になっているかを把握しながら読み進んでみてください。学習指導要領はしばしば教員採用試験にも出題されます。それを意識してノートにまとめてみるのも良いでしょう。頭の中だけでは理解しにくいことも，書いてみると案外簡単にわかるということもあろうかと思います。

ただ初めて教職を目指す方は，一見すると何でもないような用語にも十分気をつけてほしいものです。教科と科目の違いはおわかりですか。学校教育の目的と目標との違いについては大丈夫でしょうか。それどころではありません。肝心の「教育課程」の定義まで専門家によって見解の分かれるところです。教育課程は一般にカリキュラムの訳語として理解されますが，特別活動を教育課程には含めるがカリキュラムには含めないという考えがあります。このように厄介なものですから，気になる教育用語は，簡単な用語集などを横に置いてこまめに調べてみてください。

**1単位め 解説**

教育課程とはどのようなものかといっても，いわゆる教育専門書が教育課程をいかに定義づけているかをレポートせよと言っているのではありません。あくまでも2009年に発表された学習指導要領ではどのように記していますか，ということなのです。しかしそうはいってもまったくイメージが湧かないのも困りますから，まずは「教育課程」とはどのようなものか，その意味を理解してください。あまり高度な専門書を選ぶ必要はありません。辞書的な解釈だけでもよいのです。

さて，それが理解できたらいよいよテキストです。「第２章　教育課程の基準」を開い

てみましょう。「第 1 節　教育課程の意義」では，学校がその学校の教育課程を編成するには，まず教育課程に関する法令や学習指導要領に基づく必要があると説いています。私立学校といえども公教育に携わるからには，国が示す学校教育の目的や目標を逸脱することは許されません。その範囲内で学校独自の目的や目標を定める必要があるのです。次に学校は学校独自のそれらを達成するために，その学校にふさわしい指導内容を選択し組織する必要があるのですが，これも国が示す範囲を守る必要があるということです。そうであれば「第 2 節 教育課程に関する法制」も，レポートを書くに当たって無視することはできないでしょう。

さあ，ここまでがおよそレポートの前半の課題「教育課程とはどのようなものか」についての解説ということになります。第 2 章をまとめたら一気に第 3 章に読み進みましょう。第 3 章は「教育課程の編成及び実施」について書いてありますが，あまりここで解説しすぎてもみなさんが考える余地を奪ってしまいそうですから，一言だけ触れておきます。レポート後半の課題「教育課程編成の原則とはどのようなものか」については，第 3 章全体をまとめるよう言っているのではありません。「第 1 節 教育課程編成の一般方針」の中の「1 教育課程編成の原則」に注目すればよいのです。これと第 3 章を上手に組み合わせてください。

以上，テキストでいえば第 2 章および第 3 章第 1 節「1 教育課程編成の原則」をじっくり読んで，まとめてみてください。

**2単位め 解説**

この課題はテキストの第 1 章をまとめればよいのですが，要点は改訂の基本方針をどのような形で実現化しようとしているのか，理念と具体的な改訂内容との関係を十分見極めてレポートしなければならない点です。1 単位めの課題と異なり，おそらく理解しやすい内容だと思いますが，第 1 節には「改訂の経緯」が書いてあります。改訂の背景となる 3 つの要因に触れています。教育課程を改善しなければならない理由が書かれているのですから，この節をまとめることから始めてください。第 2 節以下が理解しやすくなるはずです。ほかに第 3 章第 2 節，第 3 節 1 も大事です。

レポート課題には「ただし各教科・各科目等の改訂要点の細部については触れなくてよい」と書きましたが，＜福祉＞はしっかり覚えて下さい。みなさんが取得を希望している教科だからです。

## 参考図書

安彦忠彦編著『高等学校新学習指導要領の展開・総則編』明治図書出版，2009年
安彦忠彦編『高等学校学習指導要領　改訂のピンポイント解説』明治図書出版，2009年
天野正輝編『教育課程・重要用語300の基礎知識』明治図書出版，1999年

# 福祉科の指導法

科目コード●050704

担当教員● 佐藤 暢芳(左)
赤塚 俊治(右)

4単位 | R | 2年以上

社会福祉 資格

## 科目の内容

「福祉科の指導法」は，高校福祉科の社会福祉に関する専門教科の科目ではなく，教科教育法に関する科目である以上，社会福祉の制度や歴史そのものを理解するというより，その理解のさせ方に関する教育実践上の視点，留意点，その教育方法と教材の仕方に関して学ぶ科目です。しかしながら，その内容と展開過程は当然のことながら，社会福祉の基礎知識を体系的に理解するのと同じような考え方が根底になければなりません。

本科目では，「福祉科」を学ぶことの意義，また，福祉のもつ社会的な役割について学ぶことを目的としています。しかも専門教科「福祉」の科目の構成は，教科の目標を達成するとともに，職業資格取得との関連，とりわけ介護福祉士国家試験受験資格取得との関連を考慮し，９科目（社会福祉基礎・介護福祉基礎・コミュニケーション技術・生活支援技術・介護過程・介護総合演習・介護実習・こころとからだの理解・福祉情報活用）で構成されているだけに，それぞれの科目に共通した指導法をどのように展開するかが大きな課題となっています。そこで本科目では，今日の社会福祉の動向を的確に把握するとともに，いかにして学ぶ側の生徒の視点に立ちながらわかりやすい授業を展開するための教授の方法と技術，教材教具研究の方法および授業計画の作成方法，具体的な指導計画案などについての可能性を探り，将来の福祉科教員としての資質を高める内容にしたいと考えています。

また，平成12年に初めて告示された学習指導要領における教科「福祉」の科目は，７科目（社会福祉基礎・社会福祉制度・社会福祉援助技術・基礎介護・社会福祉実習・社会福祉演習・福祉情報処理）でしたが，平成21年に告示された学習指導要領において，上記の９科目に改訂になりました。なお，今回告示の９科目と従前の７科目との関連としては，従来の７科目を整理統合した科目（１科目）や名称変更した科目（５科目），と新設された科目（３科目）に改訂されています。

なお，新学習指導要領は，平成21年より一部前倒しで実施されてきましたが，平成23年度に完成年度を迎えます。よって，平成23年度の１年生から３年生まで新学習指導要領に沿って教科「福祉」を学ぶことになります。

## 教 科 書

1）大橋謙策編著『福祉科指導法入門』中央法規出版，2002年

2）文部科学省『高等学校学習指導要領解説　福祉編』海文堂出版，2010年

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年 4 月より学習指導要領の改正にともない，2）が上記教科書に変更されています。改正の内容については，文部科学省ホームページ等で情報を入手し，学習を進めてください。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 教科「福祉」の科目を具体的に教える際の教育目標を設定し，その考え方を決定する場合，何を教育上留意すべきかを論述しなさい。 |
| 2 単位め | 教科「福祉」の科目における教材教具決定の技術について論述しなさい。 |
| 3 単位め | 福祉科教諭の資質について論述しなさい。 |
| 4 単位め | 社会福祉基礎の中から一つの「単元」を取り上げ，その授業の具体的な授業展開について，簡潔に論述しなさい。 |

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年 4 月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年 9 月で締め切りました。

## アドバイス

「福祉科の指導法」を学習する前に教科「福祉」の創設の理由を知ることが重要です。そのためには，「高等学校学習指導要領」の改訂の背景について考察することが大切です。改訂の背景には，科学技術の発展，社会経済の国際化・情報化，人口の少子高齢化，環境問題の深刻化などの社会状況にあります。こうした社会状況から生み落とされるさまざまな生活問題に対応する人材とその育成が必要となりました。そこで新たに加えられた教科「福祉」の目標については，「社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的・体験的に習得させ，社会福祉の理念と意義を理解させるとともに，社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し，社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てることを重視した」と掲げています。このことは福祉サービスに従事する人材の確保と資質の向上や福祉サービスの多様化に対応するために専門的知識と技術を取得した人材需要の増大を見込んだ改訂とも思われます。

こうした教科「福祉」の目標に沿って，どのような指導法が適切なのかは現在のところ模索の域を越えていないのが現状と思われます。いずれにしても教科「福祉」を学んだ生

徒が社会福祉関連の職業に従事するにしても，基本的人権やプライバシーの尊重など自立生活を支援するための態度の必要性を習得した者が『現場』で実践的に行うことが何よりも重要なことです。そのためには「福祉科の指導法」では教育目標と教育内容の考え方を明確にし，より具体的な授業の展開方法を学ぶことが大切です。とくに，生徒の社会的経験，体験が教える側である教員からすると希薄であり，たとえ同じ生活問題を捉えるにしても意味内容においてもズレが生じる場合があります。したがって一つの生活問題を取り上げるにしても発問や教材の工夫によっては大きく変わってくる場合があります。そうした点を十分に留意しながら授業を展開することが大切になります。

なお，レポート作成を行う際は，常に学ぶ側の視点にたった指導法を考慮しながら仕上げてください。

**1単位め 解説**

レポート作成に取り掛かる前に『高等学校学習指導要領福祉編』を熟読してから，教科「福祉」の 9 科目（従前は 7 科目）の教科内容や位置づけについて理解を深めることが重要です。その際，生徒の「福祉」意識・理解の醸成・培養をも視野に入れながら考察することが大切です。その学習が終了した上で，テキストの第 1 章から第11章までをよく読み，「福祉科の指導法」の基本的な理解に努めてください。教科書「福祉科指導法入門」は，従前の 7 科目に関してまとめられていますが，内容としては，新たな 9 科目とも関連が深いので，新旧の科目の整理を行いながら理解を深めてください。とにかく，冒頭にも記述したようにこの科目は社会福祉に関する専門科目ではなく，教科教育法に関する科目であることを忘れないでください。こうした科目の特徴を踏まえながら「教育者として何を生徒たちに教え，また，教えたいのか」，「福祉科の教員として，何を具体的に教え，そしてどのような福祉の内容を生徒たちに教えたいのか」，また，生徒に「福祉とは何か」を具体的に理解させる前に，教える側の教員にとって「福祉とは何か」をきちんと理解しておく必要があります。このような教科「福祉」の特徴を踏まえながら，福祉科教員として生徒たちに現代の社会福祉をどのような方法で教えるべきかを考察して，簡潔に述べてください。

**2単位め 解説**

授業を開始する以前にあらかじめ，どのような授業をするかについて考えておく必要があります。そのために必要なことは，授業の「計画」であり，授業の「案を練ること」です。一般にこのことは「教材研究」とよんでいます。今回の課題は教材教具決定の技術について論述しなければなりませんが，教材教具決定の技術とは，「何のために」「何を」教えるかを決める技術のことです。「何のために」は，教育目標であり，「何を」は教材教具にあたります。教材教具決定の技術を明らかにするためには，教育目標と教材教具ということばおよび両者の関係を明確にしておく必要があり

ます。この課題に関する内容については，テキストの第 2 部を参考にしながら，可能な限り具体的な例を取り上げて書いてください。

**3単位め 解説**

福祉科教諭の資質を検討する前に，教科「福祉」の創設の理由を知ることが重要です。そのためには，「高等学校学習指導要領」の改訂の背景について考察することが大切です。とくに教科「福祉」の目標を十分に理解するとともに，福祉科教諭を目指す学生は，教育目標と教育内容の考え方を明確にし，より具体的な授業の展開方法を学ぶことが大切です。前述したように，生徒の社会的経験・体験と教える側である教諭（実習生）とではズレが生じる場合があります。その際，生徒の「福祉」意識・理解の醸成・培養をも視野に入れながら考察することが大切です。そして何よりも「教育者として何を生徒たちに教え，また，教えたいのか」，「福祉科の教員として，何を具体的に教え，そしてどのような福祉の内容を生徒たちに教えたいのか」，また，生徒に「福祉とは何か」を具体的に理解させるためには，教える側である教員にとって「福祉とは何か」を理解しておく必要があります。こうした点を考察しながら福祉科教諭としての資質について論述してください。

**4単位め 解説**

テキスト第 2 部第 5 章（社会福祉基礎）および第 6 章（社会福祉制度）のそれぞれの科目の考え方，内容および具体的展開方法を熟読し，その中で最も関心のある部分を「単元」として取り上げ，具体的な授業の展開を論述してください。平成21年に告示された学習指導要領の科目「社会福祉基礎」は，従来の「社会福祉基礎」と「社会福祉制度」が整理統合された内容となっています。レポートの提出科目は，「社会福祉基礎」ですが，内容としては，従来の「社会福祉基礎」と「社会福祉制度」双方が該当します。この際，科目の位置づけおよび教育上留意すべきポイントと教材例を考えながら，生徒に教えるつもりで論述してください。なお，授業時間は，1 単位時間（50分）を想定し，書き方は第 5 章および第 6 章の「具体的な授業展開例」を参考にしながら作成してください。表にして書く必要はありません。

## 参考図書

硯川眞旬・佐藤豊道・柿本誠編著『福祉教科教育法』ミネルヴァ書房，2002年
保住芳美編著『高等学校新学習指導要領の展開　福祉科編』明治図書，2010年

# 特別活動の指導法

科目コード●０５０７０５

担 当 教 員● 菅野　　紘

| 2 単位 | R | 2 年以上 |
|---|---|---|

社会福祉
資　格

## 科目の内容

学校において教師と生徒との信頼関係および生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深め，生徒が自主的に判断・行動し積極的に自己を生かしていくことができるようにするにはどのようなことが必要かを考察します。内容としては，特別活動の歴史的変遷，意義・目的，実践的な４つの領域である学級活動，生徒会活動，クラブ活動，学校行事の内容と指導法を扱ったものとなります。

## 教 科 書

江川玟成編『特別活動の理論と方法　三訂版』学芸図書，2009年

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年６月より教科書が改訂されました。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 教育の今日的課題と特別活動の意義と目的についてまとめなさい。 |
| 2 単位め | 学級活動，生徒会活動，クラブ活動，学校行事，それぞれの意義とその指導上の留意点について述べなさい。 |

## アドバイス

**1単位め 解説**

まず，日本における現代教育の課題は何かを念頭におきながら，特別活動が教育課程上でどのように位置づけられているかを理解してください。その上で，特別活動を展開することの教育的な意義と目的についてまとめましょう。

**2単位め 解説**

テキスト３～７章を読み，特別活動の指導原理を踏まえながら，実践的な領域における活動の意義と内容について検討し，その指導上の留意点についてもまとめましょう。

## 参考図書

『個性をひらく特別活動』ミネルヴァ書房，2009年
『中学校学習指導要領の展開　特別活動編』明治図書，2008年
『学習指導要領　平成20年３月』（中学校・高等学校）文部科学省
『学習指導要領解説　特別活動編　平成20年９月』（中学校・高等学校）文部科学省

# 教育方法論（視聴覚教育等を含む）

科目コード●050706

担 当 教 員● 白井　秀明

| 2単位 | R | 2年以上 |
|---|---|---|

社会福祉 資格

## 科目の内容

教育方法学は教育実践にもっとも近い学問分野のひとつであるといわれています。現代の教授理論を学ぶとともに，教育機器利用の意義と方法についても理解を深めることを目的とします。

## 教 科 書

多田俊文編『教育の方法と技術　四訂版』学芸図書，2009年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 現代の教授理論にはどのようなものがあるか，その特徴について述べなさい。 |
| 2単位め | 教育においてコンピュータを利用することのメリット，および利用する上での留意点について述べなさい。 |

## アドバイス

**1単位め 解説**

テキストの3章をよく読んで，日本の戦後から今日にいたるまでの代表的な教授理論を取り上げてその特徴をまとめてください。

**2単位め 解説**

教育工学的な視野のもとに，教育方法の改善に寄与する教育機器利用の意義と方法について，およびその利用上の留意点について考察してください。

## 参考図書

テキスト章末記載の文献を参照してください。

# 生徒指導論（進路指導を含む）

科目コード●050707

担当教員●菅野　紘

2単位 | R | 2年以上

社会福祉 資格



## 科目の内容

教育臨床的行動問題として，校内暴力，家庭内暴力，いじめ問題，青少年の無気力化と自殺，女子非行の増加，性非行，不登校の増加，引きこもり，薬物乱用，刃物不法所持とつぎつぎと問題行動が登場し，社会問題となっています。

いま学校の中で，最も困難を極めているのが生徒指導だといわれています。そうした生徒指導に関する実態を明らかにすると共に，現実に子どもたちの中で起こっている問題行動やその背景にどんな事情があるのかを検討します。

そうした検討をふまえて，生徒指導の今後のあり方を探っていきたいと思います。

## 教科書

江川玟成編『生徒指導の理論と方法　三訂版』学芸図書，2010年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 人格形成上の発達課題と生徒指導との関連について論述せよ。 |
| 2単位め | **【説明型レポート**：ただし，自分のことば，自分で考えて】<br>下記について各300字以上500字以内で具体的に説明せよ。<br>① 生徒指導の内容と指導原理について<br>② 生徒理解について<br>③ 学校教育相談について<br>④ 反社会的行動と非社会的行動について<br>⑤ 進路指導の目的について |

## アドバイス

1単位め解説

人間が成長発達していくためには，それぞれの年代において身につけなければならない課題があります。これは，人間として望ましい「人格」を形成するために生まれたときから成人になるまで習得しなければならない成長の道しる

べのことで「発達課題」といいます。

子どもは，それぞれの発達課題に挑戦しながら，その子らしい「個性」や「能力」を伸ばし成長していきます。

生徒指導を行うにあたっては，子どもがどのような発達過程を一般にたどるのかということを十分認識しておく必要があります。それぞれの発達課題には，普通の子どもが普通の環境下にあれば達成されるはずの発達課題があるが，環境がひどく偏っている場合には，その発達課題が達成されず，それがそのときの不適応行動として現れたり，かなり後の問題行動の遠因となることもあります。

子どもの「今」だけを注視すると，しばしば現象に振り回され，対策に追われることになります。

以上のことをふまえて，人格形成上の発達課題と生徒指導との関連について具体的に考察してください。字数は2, 000字前後が望ましいです。

2単位め
**解説**

教科書や参考図書などの文献を参照しながら，自身で整理し，まとめとして「自分のことば」で「自分の考え」を与えられた字数内で具体的に説明してください。

## 参考図書


坂本昇一著『生徒指導が機能する教科・体験・総合的学習』文教書院，1999年

松田文子・高橋超編『生き方が育つ生徒指導と進路指導』北大路書房，2008年

原田信之編『心をささえる生徒指導』ミネルヴァ書房，2009年

文部科学省『生徒指導の手引き　改訂版』

文部科学省『学習指導要領　平成20年 3 月』（中学校・高等学校）

文部科学省『中学校指導書　教育課程一般編』

# カウンセリング

科目コード●050708
担 当 教 員●衛藤　順子

| 2単位 | R | 2年以上 | 社会福祉 資格 |
|---|---|---|---|



この科目は，教職免許希望者向けの「カウンセリング」です。福祉心理学科の「カウンセリングⅠ・Ⅱ」はp. 105〜106をご覧ください。

## 科目の内容

近年，カウンセリングの需要が高まっています。これは，日本だけではなく世界的な傾向であると言われています。そうした中，カウンセラーの専門化，資格化の動きが進む一方，「心の専門家」についての疑問も提起され始めています。カウンセリングの技法やシステムに関する論述が盛んであるのに対し，カウンセリングとは何かという本質的論議がなおざりにされているように思われます。

本科目では，カウンセリングの理論と技法の基本的な知識を学ぶにとどまらず，なぜ人はカウンセリングを必要としているか，人生におけるカウンセリングの意義，その本質を考えていくことを目的とします。

## 教 科 書

1）水島恵一・岡堂哲雄・田畑治編『カウンセリングを学ぶ〔新版〕』有斐閣選書，1987年
2）追加資料（A 3 両面 1 枚）

## レポート課題

本科目のレポート課題は問題形式になっています。専用解答用紙（教科書送付の際同封）に解答を記入してください。または，以下の各問題番号を記入したうえでその解答を通常のレポート用紙に記入しても可です。

| | |
|---|---|
| 1 単位め | こんにち，さまざまなカウンセリング，心理療法が行われていますが，いずれも，それぞれの創始者のきわめて個人的な体験から生み出されたものです。彼らの個人的体験が普遍的価値をもつようになったということが大切です。 |

1 単位め

カウンセリング，心理療法の創始者について，次の質問に答えて下さい。

問１　次の文中の①から⑮の空欄に適当な語句を入れて下さい。いずれもテキストの文中にある言葉です。（テキスト13〜39頁）

ａ）ジークムント・フロイトは，（①）年に，現在のチェコ共和国のモラビア地方の小都市フライベルグに生まれました。父親は（②）人で毛織物商人でした。フロイトが４歳の時に，一家はオーストリアの（③）に移住しました。（③）こそ，彼がナチス・ドイツに追われて，83歳の時，（④）に亡命するまで，ずっと住みついた土地なのです。

ｂ）フロイトが精神分析を創始することに，最も影響を与えたのは，先輩（⑤）でした。（⑤）が扱ったヒステリーの症例Ｏ・アンナに，（⑤）は催眠暗示療法を施していたのですが，アンナが「甘える」ことを視てとっていたのでした。アンナはこのような状況で感情を吐露したのです。これを（⑥）と呼びます。（⑤）は，このやり方を催眠カタルシスと呼んでいたのでした。アンナ自身は，これを（⑦）とか煙突掃除法とも呼んでいました。

ｃ）フロイトは，治療の方法として，カタルシス療法から（⑧）への道筋をたどるようになります。

ｄ）アルフレット・アドラーは（⑨）年ウイーンに生まれ，両親はユダヤ人でした。４歳までクル病のために歩行できなく，何度も路上で事故に遭いました。彼は，自分のそのような身体的虚弱の代償として，知的に優秀になることで，それを補ったのでした。アドラーは，神経症や性格の形成において重要な役割を果たすものは，（⑩）を克服しようとする（⑪）への意志であると考えました。この（⑪）への意志というのは，Ｆ・ニーチェのいう権力意志のことです。

ｅ）（⑫）は，1875年スイスで生まれました。父親はプロテスタントの牧師でした。彼のなかに強い宗教的色彩があるのは，父親やその一族が教会の牧師であったことと無関係ではないと思われます。母親は，（⑫）にとって複雑で問題の深い人でした。

（⑫）が３歳のとき，両親は一時別居し，その際（⑫）もひどい湿疹にかかったのでした。母親は情緒障害と抑うつに悩まされていたのでした。母なるものの二重性，人格には，外面と内面の両面が共存しているという（⑫）の理論は幼少期からの自らの体験を通して，打ち

出されたと考えられます。

f）「いつの時代にも，その時代に特有のノイローゼがあります。いまは，かつてないほど多くの人たちが，生き甲斐を見失い，生きることの無意味さ，つまらなさに悩んでいます」。これこそ（⑬）が強調し，現代を象徴する苦悩と呼んだものです。

（⑬）の人間観は，人間の（⑭）への意志にあります。このような人間観は，自らが原体験したナチス・ドイツの強制収容所での深刻な事態を通して，より一層確実なものになりました。

g）エリクソンは，1902年ドイツに生まれました。両親はデンマーク人でした。父親はエリクソンが生まれると間もなく亡くなり，やがて母親はエリクソンを連れて再婚しました。彼は若い頃は絵描きになるよう努力し，本格的な精神分析の訓練を受けたのは，30歳直前の頃でした。こうした生い立ちの中で（⑮）の概念が成立したと考えられます。

1 単位め

問 2　ロジャーズの来談者中心のカウンセリングについて，以下の問に答えてください。

a　ロジャーズが自分自身の見解を編み出すようになった，重要な経験について簡単に述べて下さい。（テキスト31〜32頁）

b　カウンセリング過程での必要十分条件について説明してください。（テキスト33〜34頁）

c　カウンセリングの目標はどういうことにおいていますか。（テキスト73〜76頁）

問 3　分析的カウンセリングについて，以下の問に答えてください。（テキスト93〜110頁）

a　カウンセラーの役割は，何と言われていますか。

b　「転移」「治療的退行」について，簡単に説明してください。

c　分析的カウンセリングの目標はどういうことにおいていますか。

問 4　行動カウンセリングについて，以下の問に答えてください。（テキスト37〜39頁，111〜121頁）

a　基礎にある理論は何という理論ですか。

b　その理論の代表的人物を 3 名あげてください。

| | |
|---|---|
| 1 単位め | c　行動カウンセリングの原理について，簡単に説明してください。 |
| 2 単位め | **課題 1**．教育現場におけるカウンセリングのあり方，意義について，述べなさい。（追加資料を参照）<br>**課題 2**．（提出は任意）テキストの「3　現代人の生活とカウンセリング」（第11章から第14章）の中から関心ある分野を 1 つ選び，あなたの経験や見解も入れて，説明してください。 |

## アドバイス

**1単位め 解説**

創始者のどのような経験から，その理論，技法が導き出されたのかを知ることによってそれぞれの本質をよくつかむことができます。自伝，原典を「味わう」ことをお勧めします。

**2単位め 解説**

因みに，フランクルは，「ノイローゼが治るとは，苦悩する能力を甦らせることにほかならぬ」「自由な意志と決断とをもって，苦悩に耐えながら，人生を切り拓いていく人間を健康と考える」と述べています。

フロイトは「精神分析を受けたならば，苦痛はなくなるでしょうか」という患者の質問に対し，「あなたのつまらない悩みはなくなるでしょう。しかし，人間としての悩みはますます増えるでしょう」と答えています。

## レポート用紙の使い方

本科目専用の解答用紙に記入することが望ましいが，通常のレポート用紙に問題番号等を記入して解答してもよい。

## 参考図書

佐治守夫・岡村達也・保坂亨著『カウンセリングを学ぶ』東京大学出版会，1996年

カウンセリングを深く学んでみたい方は是非この本も参考にレポートをまとめてください。とくに 1 単位め問 2 については，この本の a 28〜31頁，b 39〜51頁，c 9 〜13頁が参考になります。

# 総合演習

科目コード●050709
担当教員●寺下　明

2単位 | SR | 3年以上

社会福祉 資格

平成24年7月まで開講



## 科目の内容

今日，日本が直面している問題や人類が共通して抱える諸問題の中で，特に教育と関連する問題のなかから，興味や関心のあるものを選び，それにかかわる研究を演習形式で行います。授業は，特に教科書等を定めず，文献・新聞・雑誌・インターネット等を利用しながら，受講生が自ら問題を提起し，資料をもとに分析　考察を加え，発表してもらいます。その後，全員で議論しながら，現代社会の問題点への認識を深めていきます。

受講生には，問題やテーマについての理解にとどまらず，いかに情報や知識を収集し，分析・検討した成果を発表し，討議を進めるかといったスキルを学んでください。そして，そのことを通して，世界的視野に立った，人間性豊かで，問題解決能力・実践的指導力などの能力を養うことをねらいとします。

## 教科書

教科書はとくに指定しません。各自で資料をさがしてください。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | **・スクーリング前に提出（スクーリングの1週間前までに必着）**<br>たとえば，下記のような研究テーマ（問題提起）についての概略を2,000字程度にまとめてください。<br>（例）・文化の伝統と教育　・学校知の転換について　・戦争と教育<br>・異文化理解と教育　・人権と教育　・教育と福祉<br>・少年犯罪　・いじめ　・不登校<br>・学級崩壊　・道徳と教育　・家庭におけるしつけ |
| 2単位め | **・スクーリング後に提出**<br>スクーリング時に研究・発表した成果をまとめてください。 |

※「総合演習」スクーリングは**平成24年7月28・29日が最後の開講**となります。平成24年度末までにこの科目の単位を修得しなかった高等学校福祉科教職免許状取得希望者は，「教職実践演習（高）」の単位修得が必要になります。

※平成22年度以降 1 年次入学者，平成23年度以降 2 年次編入学者，平成24年度以降 3 年次編入学者は，この科目の履修はできません（再入学者の一部を除く）。必ず「教職実践演習（高）」の単位修得が必要です。

# 介護実習事前事後指導

22年度以前入学者科目コード●050701
23年度以降入学者科目コード●050741

担当教員● 広浦　幸一・後藤美恵子

| 1 単位 | SR | 3 年以上 | 社会福祉 資格 |
|---|---|---|---|



## 科目の内容

社会福祉における援助展開は，個々の生活課題の解決を援助・支援するための実践活動です。介護実習は理論と実践，思考と体験とを有機的に統合化させ，福祉専門職としての実践活動の基盤を形成するものです。本科目は「介護実習」科目を包括した位置づけにおいて，施設の法的位置づけ，社会的役割と現状，対象者理解を深めるとともに，福祉専門職に求められる資質（倫理観・人間性・技能）および社会的役割についての理解を深化させます。さらには，福祉科教員として教育展開方法の考察をしていくことを目的とします。事前指導では，実習施設の概要（形態・業務内容など）理解を図るほか，社会福祉援助のための知識・技術・価値観・態度を確認します。事後指導では，実習を通して体感したことを振り返り，専門職育成の教育者として，自身の専門性の素養　資質の向上を図ります。さらに，一連の実習過程で習得したことを教育にどのように展開していくかを習得します。

**※スクーリング受講にあたっては，①本冊子巻末に添付の「介護実習登録カード」の提出と②受講条件を満たすことが必要です。手続きについてはp.160〜163の「事前指導スクーリング受講条件」「事前指導スクーリング受講申込から実習受講までの流れ」をご覧ください。**

**※また実習にあたっては，自身で受け入れ施設をさがし，依頼をすることが必要です。p.168〜173の「介護実習」もよく読んで準備を進めてください。**

## 教科書

介護実習事前指導スクーリング申込者に『介護実習の手引き』，スクーリング時に『介護実習事前事後指導－技術編－』等を配付。

## レポート課題

**介護実習　事前レポート**

**課題**　自身が実習を予定している施設について，下記の項目のレポートを作成してください。

1．施設概要

①　施設種別　　②　施設の法的規定と理念・趣旨

③　対象者とその具体的条件（利用要件等）　　④　サービスの利用方法

⑤　施設の設置基準　　⑥　社会的役割と現状の課題

2．実習実施計画

①　実習目的　　②　実習課題と取り組み方法

**レポート用紙**：**本科目指定の専用用紙**（事前指導スクーリング受講条件を満たした方に配付されます）。

**提出締切**：６／20（７月受講者）または12／20（１月受講者）

※事前レポートが不合格の場合は実習が不許可になる場合があります。スクーリング受講後すぐに実習を実施する方は早めに提出してください。

※やむをえず実習施設の内諾を得られない状態で事前指導を受講する場合も，実習を予定する施設について作成すること。なお，予定施設と実施施設が異なった場合は，必ず各自で実施施設についてのレポートを作成すること（事前レポートの内容は，実習に必要不可欠なものなので，変更の場合においても各自でレポートを作成してください）。

※実習免除者は，実習証明書の該当施設を対象にしてレポートを作成してください。

**介護実習　事後レポート**

**課題**　事前指導スクーリングの際に提示します。

**レポート用紙**：**通信教育部で使用している通常のレポート用紙。**2,000字程度を標準としますが，4,000字まで記入しても結構です（パソコン印字の場合，左右40字×30行×４枚まで可）。

**提出締切**：実習終了後１カ月以内

※介護実習免除者も，実習証明書の当該施設を題材にして事後レポートを書く必要があります。

## アドバイス

本科目では，介護実習をするうえでの知識や，その背景にある理念，概念を習得するこ

とにより，福祉専門職としての基盤を構築することを学習の目的としています。目的を達成するためには，必要な情報を，資料や文献から検索する力やそれらをまとめて自身の課題を明確化し，課題の解決方法を構成する力も求められてきます。本課題を展開するにあたっては，介護に関する社会的動向や問題に注目したり，インターネットを利用して情報を収集するなど，常に最新の福祉情報を得るよう心掛けてください。そのような過程をもとに，広い視野で学習展開をされることを期待します。

**＜事前レポート　解説＞**

1．施設の概要調査①～⑤については関連法規を調べ，法令等の条文の中から抜粋して記述していきます。⑥については文献，資料，新聞，インターネット等の情報を簡潔にまとめて自身の考えを論述（総括考察）してください。インターネットの情報は公的サイトを活用してください。

2．実習実施計画は，1の①～⑥を踏まえて自身の実習目的を明確にし，目的を達成させるための課題と課題達成のための取り組み方法を具体的に記述してください。

## 参考図書

1）ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法　最新年版』ミネルヴァ書房

2）社会福祉法令研究会編『社会福祉法の解説』中央法規出版，2001年

3）介護福祉士養成講座編集委員会編『介護総合演習・介護実習』中央法規出版，2009年

4）介護支援専門員テキスト編集委員会編『介護支援専門員基本テキスト（5訂)』財団法人長寿社会開発センター，2009年

## 事前指導スクーリング

**会場**：仙台（本学）

**開講日**：7月または1月の連続3日間。詳細は『試験・スクーリング情報ブック』や『With』参照。

| 開講月 | スクーリング申込締切日 | 事前レポート提出締切日 |
|---|---|---|
| 7月 | 6／10 | 6／20 |
| 1月 | 12／10 | 12／20 |

**【平成22年度以前入学者】**

3日間で「介護実習事前事後指導」1科目のスクーリング受講となります。

【平成23年度以降入学者】

3日間で「介護実習事前事後指導」「介護技術」の2科目のスクーリング受講となります。申込みは「介護実習　登録カード」のみの提出でOKです。

## 事前指導スクーリング　申込みにあたって

⑴　受講条件（下記）を達成する必要があります。

⑵　「介護実習　登録カード」（本冊子巻末）を提出してください。
（「介護実習　登録カード」はスクーリングの申込みと実習先を探し始めたいという希望届を兼ねています。）

⑶　「事前指導スクーリング」と「介護実習」は，できるだけ同一年度に受講してください。

⑷　科目等履修生は，「介護実習」を終えた後でも，事後レポートとその評価が出ていない場合は，次年度も「介護実習事前事後指導」「介護実習」の2科目を，再度履修登録する必要があります。

⑸　「事後指導」は事後レポートの提出のみで，スクーリングはありません。

## 事前指導スクーリング受講条件

**1．申込締切日（6／10 or 12／10）までに以下の⑴〜⑸を満たしていること**

⑴　卒業後（将来）教員として就職する意思が明確な方

※単なる免許取得のための実習は認められません（施設は，利用者にとって生活の場です。プライベートな空間へ入るわけですから，しっかりとした目的意識を持ってください）。

※「介護実習」を受講する方は，原則として次年度「教育実習」「障害者（児）教育実習」以外の実習は受講できません。

⑵　3年次以上の方もしくは科目等履修生

⑶　下記①・②の2科目の全単位分のレポートを提出済（5条別表1による履修者は単位修得すること）

①　介護概論

②　実習に行く施設の分野福祉論［高齢者福祉論 or 障害者福祉論 or 児童（・家庭）福祉論］

※6条別表4による履修者は介護実習開始2週間前までに①②を単位修得すること

※これら2科目については，他大学で修得済みであっても，本学での履修・修得が必

要となります。

⑷　下記①～⑥の 6 科目のうち，教職免許の取得にあたって必要な科目を履修登録し，学習を進めていること（ 5 条別表 1 による履修者は単位修得すること）

①　教育原理

②　教職論

③　教育心理学

④　福祉科の指導法

⑤⑥　実習に行く施設以外の分野福祉論 2 科目［高齢者福祉論 or 障害者福祉論 or 児童（・家庭）福祉論］

⑸　卒業要件単位を 1 年次入学者は50単位以上，2 年次編入学者は20単位以上を修得していること（ 3 年次編入学者と科目等履修生は関係ありません）。

※科目等履修生の場合，「介護実習」を受講するには18単位以上（実習科目を含めて可）の履修登録が必要です。

**2．「事前レポート」の提出。締切日（ 6 ／20（ 7 月受講者）or 12／20（ 1 月受講者））**

## 事前指導スクーリング受講申込から実習受講までの流れ

**事前指導スクーリング受講条件の達成**

※p. 160～161参照。スクーリングの申込締切日（ 6 ／10または12／10）までに。

※ 5 条別表 1 による履修者と，6 条別表 4 による履修者では条件が異なります。

↓

**「介護実習　登録カード」の提出**

※本冊子巻末。遅くともスクーリングの申込締切日（ 6 ／10または12／10）必着。

※スクーリング受講条件を達成したならば，早めに提出してください（実習希望先への依頼を早く行うことができます）。

↓

**受講条件をクリアしている方に，大学から「介護実習関連書類一式」を送付**

※一式には，事前レポート用紙や，実習希望先に依頼するための書類等が含まれています。

**スクーリング申込締切日**
（6／10または12／10）

受講条件を達成している方に，大学から「スクーリング受講許可証」を送付

**事前レポートの提出**

※p. 158参照。
※提出締切日（6／20または12／20）必着。

**スクーリング受講料・実習費の納入**

※スクーリング受講料10, 000円（ただし23年度以降入学者は2科目扱いになるため，20, 000円），実習費30, 000円。大学より送付される振込依頼書を使用しコンビニにて納入（実習費はスクーリング受講後でも可）。

**スクーリングの受講**
7月または1月の連続3日間。
詳細は『試験・スクーリング情報ブック』や『With』でご確認ください。

**実習施設をさがす**

※p. 170参照。

**実習施設から内諾を得る**

※p. 170〜171参照。
①電話で依頼
②実習施設を訪問し，依頼のための書類等を提出
・「依頼書」（大学から実習施設宛）
・「内諾書」（実習施設から大学宛）
・「白封筒」（上記2点を入れる封筒）
・「青封筒」（大学への返送用封筒）
③実習施設から大学に「内諾書」を「青封筒」を使って送ってもらう

**実習関係書類を大学に提出**

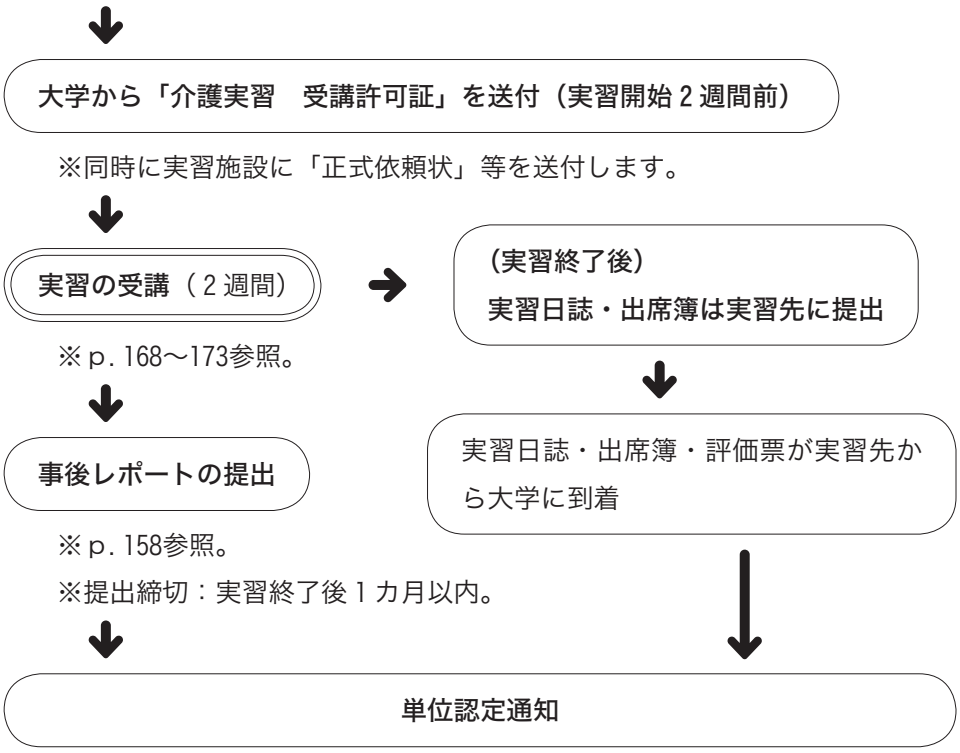
※提出締切日：実習開始2週間前。
・「依頼書」のコピー
・「誓約書」
・「健康診断書」

**「介護実習」受講条件の達成**

1） **6条別表4による履修者**：下記2科目の単位修得（実習開始2週間前までに）。
①「介護概論」

②「実習に行く施設の分野福祉論〔高齢者福祉論 or 障害者福祉論 or 児童（・家庭）福祉論〕」

2）**5条別表1による履修者**：事前指導スクーリング受講条件の達成と同時に「介護実習」受講条件も達成済です。



# 介護実習事前事後指導 23〜

科目コード●050741
担当教員●後藤美恵子
広浦　幸一

| 1 単位 | SR | 3 年以上 |
|---|---|---|

資格：社会福祉（23年度以降入学者）

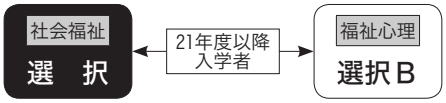
この科目は23年度以降入学者の「介護実習事前事後指導」です。レポート 2 課題やアドバイスは「050701　介護実習事前事後指導」と同じです。p. 157〜163を参照してください。

スクーリングは「介護実習事前事後指導」と併せて「介護技術」の受講も必要です（2 科目で連続 3 日間）。

# 介護技術 21〜

科目コード●050193
担 当 教 員●後藤美恵子

| 2単位 | SR | 3年以上 |
|---|---|---|




※平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。
※高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者は，原則として平成23年度以降入学者が履修可能です。平成22年度以前履修登録者は「介護実習事前事後指導」（050701　スクーリング12コマ）のなかに「介護技術」が含まれているかたちとなります。
※高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者でこの科目を履修する方は，必ず「介護実習事前事後指導」のスクーリングと 3 日間連続で受講してください。
※福祉科免許状取得希望者以外の方は，スクーリングが定員制のため受講ができない場合があることを了承の上，履修登録やスクーリング申込みを行ってください。

## 科目の内容

個人の尊厳を保持しながら主体的に生活できるように，介護実践の目的に基づいた生活支援を展開するための知識や実践理論の習得を通して専門技能を体得すると共に，介護理念，専門性を構築します。⑴介護実践技術の基本目標，介護観についての理解，⑵生活支援の展開における基本介護の意義，目的の理論的背景に基づいた介護技術の習得，⑶生活機能アセスメント方法の理解，⑷個々に応じたケアスキルの展開方法の理解について，学習します。

## 教 科 書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13　高齢者に対する支援と介護保険制度（第 3 版）』中央法規出版，2012年（第 3 版でなくても可）

※「★■高齢者福祉論」「★■介護概論」と共通のため，この科目での教科書配本はありません。

## 履修登録条件

この科目は，原則として「★■高齢者福祉論」および「★■介護概論」を履修登録している方のみが履修登録できます。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 要介護者の生活支援を展開する上での基本的な生活支援技術をまとめなさい。その上で，要介護者がその人らしく生活することの意義を考え，それを可能にするために専門職としてあり方について具体的に論述しなさい。 |
| 2 単位め | 認知症高齢者の状態像についてまとめ，中核症状を踏まえた上でＢＰＳＤ（周辺症状）への対応方法を含め，専門職に求められる認知症介護のあり方について論述しなさい。 |

## アドバイス

**1単位め 解説**

専門職として，生活支援（介護）を展開する上での基本的な専門技術について，テキスト第13・14章を参考に理論的根拠を踏まえた上で介護技術の内容について簡潔にまとめてください。テキストでは，間接技術の一つであるコミュニケーションが網羅されておりませんので，他の文献を参考にしてください。専門職としての生活支援のあり方も介護保険導入と共に変化しています。介護保険の基本理念である「利用者本位」「自立支援」を具現化する上でその人らしい生活の意義について自身の考えを述べ，基本的な専門技術の個別展開のあり方についてまとめてください。

**2単位め 解説**

高齢社会と共に認知症高齢者が増加し，認知症介護についてはゴールドプラン21に基づいて国レベルで取り組まれております。これまで「問題行動」と言われてきた周辺症状も近年では「ＢＰＳＤ」と新たな概念で呼ばれるようになりました。ここでは，新たな介護の専門性を押さえる意味で，テキスト第14章第１節を中心に「認知症高齢者とは」といった状態像をまとめ，認知症高齢者に対する適切な生活支援を展開する上での介護のあり方について，ＢＰＳＤの対応方法を含めて自分の考えを具体的に述べてください。

## 参考図書


1）介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座６　生活支援技術Ⅰ（第２版）』中央法規出版，2011年

2）介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座７　生活支援技術Ⅱ（第２版）』中央法規出版，2010年

3）介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座12　認知症の理解』中央法規出版，2009年

## スクーリング申込方法

**1）高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望の方**　本冊子巻末の「介護実習　介護技術　登録カード」にて申込（申込締切　7月受講希望者：6月10日，1月受講希望者：12月10日）。p. 160〜161記載の「介護実習事前指導」スクーリング受講条件を満たしていれば受講が可能です。

**2）上記以外の方**　申込締切までに『With』の案内に従ってお申込みください。介護実習室の定員に限りがあるため，希望者多数の場合は受講は，①レポートを2単位とも提出している方優先，②同条件の場合は無作為抽選となります。

# 介護実習

科目コード●050903
担 当 教 員●広浦　幸一
後藤美恵子

**2**単位 | **実習科目** | **3**年以上

社会福祉
資　格

## 科目の内容

「介護実習事前事後指導」に準ずる（p. 157参照）。

**※「介護実習」をおこなうためには，介護実習事前指導スクーリングの受講が必要です。介護実習事前指導スクーリングの受講手続については，p. 157～163の「介護実習事前事後指導」をご覧ください。**

※科目等履修生の場合，「介護実習」を行うには18単位以上（実習科目を含めて可）の履修登録が必要です。

## 教 科 書

介護実習事前指導スクーリング申込時に『介護実習の手引き』，スクーリング受講時に『介護実習事前事後指導－技術編－』等を配付

## 実習期間・時期

・連続する 2 週間（実質10日間以上）
・ 1 日の実習は 8 時間を目安とするので計80時間以上
・実習の時間帯は，朝から夕方を原則とするが，詳細は実習施設の方針に従うこと。
・実習期間の分割は，1 週間を単位とした 2 回まで。その場合，1 回目との間隔は 1 カ月を超えないこと
・実習時期については実習施設の方針に従うこと
・体調不良などでやむを得ず欠席した場合は，実習施設側の都合に合わせて欠席分を補い，規定の日数および時間数を満たすこと

## 実習施設

下記⑴～⑸のいずれかの施設で行うこと。それ以外の施設での実習は無効です。

⑴　児童福祉法に規定する医療型障害児入所施設および指定医療機関など（いずれも入所の施設に限る）

⑵　①障害者自立支援法（平成25年４月～障害者総合支援法）に規定する重度障害者等包括支援施設（重度の肢体不自由者を入所させてその更生に必要な治療および訓練を行うものに限る）。②障害者支援施設・自立訓練施設（重度の身体障害者で雇用されることの困難な方等を入所させて，必要な訓練を行い，かつ，職業を与え，自活させるものに限る）。

⑶　生活保護法に規定する救護施設

⑷　老人福祉法に規定する特別養護老人ホーム

⑸　介護保険法に規定する介護老人保健施設

※主たる受け入れ先が上記の施設ならば，そこから「デイサービス」や「養護老人ホーム」において実習することも，一部の期間（３日以内）ならば可能です。

※決められた時期においては本学関連施設での実習も可能です。ご希望の方は，「介護実習　登録カード」に記載してください。

## 実 習 費

・30, 000円

・事前指導スクーリング受講申込後に，大学から送付される振込依頼書にて納入していただきます（一旦納入した実習費は返却できませんので注意してください）。

・実習費には，実習保険加入費・実習先への実習委託費が含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも，その金額を実習生に返金することはできません。

## 実習取消

実習登録後は取消をしないようにしてください。特に実習施設より内諾をいただいた後に取消をしますと，実習施設に大変な迷惑をかけることになります。万一，取消の事態に陥った時はすみやかに実習施設および通信教育部に届け出てください。

## 介護実習免除について

「介護実習」科目は，文部科学省の学習指導要領によると「社会福祉施設等における現場実習などを通して，講義・演習・校内実習等で学んだ知識と技術を実際に活用し，高齢者や障害者への総合的な介護活動等が実践できるための基礎的な能力を習得し，介護に関する総合的な知識と技術を習得させること」を目的としています。

免除については，高等学校で実習教育にあたるための総合的な介護活動の実践能力の習得が主な課題となるため，下記１・２に該当する方のみを実習免除対象者とさせていただきます。実習免除対象者は事後レポートに合格してはじめて，「介護実習」の単位が認定されます。

**1．介護福祉士の資格を厚生労働省が指定した大学・短期大学で取得している場合。**
（現場経験により資格を取得している場合は，目的に応じた実習を計画的に実施する，施設指導者よりスーパーバイズを受ける等の一連のプロセスが不足しているために対象からは除外されます。また，専修学校専門課程の場合も文部科学省の法令解釈通知により不可です。）

**2．上記1の実習後3年以内とする。**

※上記1・2に該当する方は，別途本学より送付する「実習証明書」を出身校に記入してもらった上で，提出してください。

※専修学校専門課程や実務経験などにより，「介護福祉士」を取得した方は実習の免除はありません。また，指定施設以外で実習した方も免除にはなりません。

※実習免除の方は，実習費の3万円は必要ありません。振込依頼書が届いても入金しないでください。ただし，「介護実習事前事後指導」「介護実習」の履修登録，事前指導スクーリングの受講と事前・事後レポートの提出，スクーリング受講料1万円（23年度入学者は2万円）は必要です。

## 実習受講までの流れ

p.161〜163参照。

## 実習施設のさがし方

実習施設は，各自で受け入れていただける施設をさがし，交渉し，内諾を得てください。お住まいの付近に，どのような施設があるかわからない場合は，最寄りの社会福祉協議会，または，市町村の「高齢者福祉」「障害者福祉」を担当する窓口にお問い合わせください。また，WAM NETなどのインターネットの活用も有効です。今後実習先をさがす場合，短期間でもボランティアをするなどで実習希望先と顔見知りになっておいた方が，実習受け入れや実習が円滑に進みます。

## 実習施設から内諾を得るための手順と諸注意

**1．実習施設へ受け入れについて，電話する。**

・言葉遣いに注意し，失礼のないようすること。
・受け入れが可能なようであれば，訪問したい旨を伝え，施設の都合のよい日時を伺うこと。
・実習担当の方の氏名を確認すること。
・話の内容はメモをとること。

〔参　考〕電話による依頼の例

① 東北福祉大学通信教育部○年に（もしくは科目等履修生として）在学し，高等学校福祉科教諭の免許状取得をめざしております○○と申しますが，お時間よろしいでしょうか。

② 貴施設において 2 週間の介護実習をさせていただきたいと思い，お電話いたしました。

③ つきましては，依頼状を持ってお願いにあがりたいので，訪問してよい日を指定してください。

④ 担当者の方のお名前を教えてください。

**2．施設へ直接訪問する。**

・服装など身だしなみに注意すること（面接にいくようなつもりで）。
　例）整髪，化粧は薄く，香水はつけない，ネクタイの結び，爪が伸びていないか等。
・言葉遣い・態度に注意し，明朗快活に応答すること。
・訪問時間には，絶対に遅れないこと。
・訪問は，公共の交通機関を使用すること。
・上履きを準備していくこと。
・携帯電話は電源を切ること。
・実習を依頼するための書類，「依頼書」「内諾書」「白封筒」「大学への送付用封筒（青）」を提出すること。
・「内諾書」は直接受け取るか，郵送していただくようにお願いすること。

注 1　訪問しても必ず内諾がもらえるわけではありません。自身の実習にかける意気込みをお話しください。実習期間は，自己の都合ではなく，実習先の都合に必ずあわせてください。

注 2　この実習は，社会福祉士のための実習や，教職のための「介護等の体験」ではなく，福祉科のための「介護実習」です（概要は注 3 参照）。まちがえられることがあるので，きちんと説明してください。

注 3　高校生に福祉・介護を教える教員を養成するための実習です。主として，福祉施設などにおける介護の実際，介護技術，社会福祉援助技術を身につけることが目的です。聞かれたら，実習の趣旨をよく説明してください。

※上記の手続きをふんだうえで，どうしても実習先が見つからない場合は，「通信教育部　介護実習係」までご連絡ください。

## 実習関係書類作成上の注意

「介護実習　登録カード」を提出し，事前指導スクーリングの受講条件も達成された方に送付する「介護実習関係書類一式」の記入上の注意です。

1．実習先に提出する書類

⑴　**依頼書**（「介護実習の受け入れについて（ご依頼）」）

日付・宛名・本人氏名・学籍番号・学年・連絡先（電話番号）を記入の上，必ずコピーをとって，原紙を実習施設に提出してください。

⑵　**内諾書**（「介護実習の内諾について（回答）」）

学籍番号・学年・本人氏名を記入の上，実習施設に提出してください。

※　⑴⑵の文書は白封筒に入れて実習先に提出してください。

2．通信教育部へ送付する書類

⑴　誓約書

学科の部分は，科目等履修生の場合，学科をペンで横線を 2 本引いて「科目等履修生」と記述し，宛先は，「実習先名　施設責任者の肩書　施設責任者名」を書いてください（施設責任者名がわからない場合，役職までを書く）。

⑵　**健康診断書**

原則として実習開始前 3 カ月以内のもの。実習開始前 3 カ月以内にすでに健康診断を受けた方は，診断した医師に本用紙に同じ内容を転記してもらってください。

施設によっては，腸内細菌検査等（区役所や公衆衛生協会で実施しています）が必要な場合がありますので，必ずご確認ください。

## 単位認定通知

「介護実習事前事後指導」と「介護実習」は，事後レポート提出後に届く「単位認定通知」に「優・良・可」のいずれかが記載されていれば，単位認定です。「実習日誌」が施設より返送されない等により単位認定時期が遅れる可能性があるので，実習終了後 2 カ月を経過しても単位認定通知が届かない場合は通信教育部介護実習係までご連絡ください。

## 「麻疹（はしか）」の対策について

「麻疹（はしか）」に罹患した状態で実習を行うと，実習先に多大なご迷惑をおかけすることになります。

実習を行う方は全て，**医療機関にて「抗体検査」を必ず受けてください。**結果が出るまでに約 1 週間かかり，**もしも抗体がないと判断された場合は予防接種（ワクチン接種）を受けて，約 1 カ月後に再び抗体検査を行う必要があります。**ご自身の実習開始時期を考慮

して，早めの検査をお願いします。

また，実習中に感染が疑われる症状（37.5度以上の発熱　咳・鼻水などの初期症状など）が出た場合は，実習先および通信教育部の各実習担当までご連絡のうえ，欠席をお願いします。医療機関による診察の結果，自身が「麻疹（はしか）」と判明した場合，大至急，実習先および通信教育部までご連絡ください（解熱後3日間外出禁止）。実習先に個人の罹患情報を提供する場合もありますので，ご了承ください。万一，実習先が休校・立ち入り禁止になってしまった場合も，通信教育部までご連絡ください。

## 「インフルエンザ」の対策について

インフルエンザの流行にともない，下記事項の遵守をお願いします。

⑴　実習中に感染が疑われる症状（38.0度以上の発熱，鼻水・鼻づまり，咳・のどの痛みなど）が出た場合，実習先および通信教育部の各実習担当までご連絡のうえ欠席し，医療機関にて診断を受けてください。

⑵　万一自身がインフルエンザに罹患した場合は，実習先および通信教育部の各実習担当までご連絡のうえ欠席してください。平熱になってから2日間，またはタミフル等の抗ウイルス薬を服用している期間は安静にし，実習先への出席はもちろん外出もご遠慮ください。

⑶　発症1日前から発症1週間以内の感染者と5日以内に接触した人は，実習先および通信教育部の各実習担当までご連絡のうえ，指示を受けてください。

⑷　実習先がインフルエンザ流行により閉鎖になった場合，至急通信教育部の実習担当までご連絡ください。

⑸　上記⑴～⑷により実習ができなくなった場合，代替の実習日については，実習先・学生・通信教育部の三者で協議のうえ決定させていただきます（実習先と学生とのご都合がつかず，実習日が確保できない場合は，年度内の免許取得や卒業が不可能になることもありますので，ご了承ください）。

⑹　日頃より，手洗い・うがいを励行するなどインフルエンザ感染の予防に努めるとともに，マスク着用など咳エチケットの徹底もお願いいたします。

⑺　その他実習先から別途指示のある場合は，そちらに従ってください。

⑻　実習先に個人の罹患情報を提供する場合もありますので，ご了承ください。

# 教育実習の事前事後指導

科目コード●050710

担当教員●吉井　宏
佐藤　暢芳

| 1 単位 | SR | 3 年以上 |
|---|---|---|

社会福祉
資　格

## 科目の内容

教育実習は実際に生徒を対象として，教育の理論や技術，さらにその精神的基盤までも学び，研究する場です。教育実習者は未熟な学生でありながら，同時にその学校の教育活動の一翼を担う一人の教師という側面も持ちます。この大変怖いが魅力あふれる貴重な経験を 2 週間行うにあたっては，どのような心構えが必要か，また専門教養は最低どの程度もって実習に臨まなくてはならないか，理論に裏付けられた技術は最低限持っているのか，学習指導案や板書は万全か，など教育現場で戸惑うことのないよう，実習前に学び，確認しておく必要があります。また実習終了後は教科指導，生徒指導その他の実習の成果をまとめる必要があります。

## 教 科 書

1）事前指導スクーリング申込者に配付の『中等教育実習の手引き』（東北福祉大学）
2）「福祉科の指導法」の教科書『福祉科指導法入門』中央法規，2002年
3）「福祉科の指導法」の教科書『高等学校学習指導要領　解説　福祉編』海文堂出版，2010年
※事前指導スクーリング時に 3 冊の教科書およびガイダンス資料を持参してください。

## レポート課題

**〈実習事前（1 単位め）レポート〉**通信教育部で使用している手書き用レポート用紙のｐ．1 ～ 8（ワープロ・パソコン印字の場合は左右40字×30行で 2 枚以内）に記入して，**スクーリング受講後 3 週間以内に送付**してください。

下記の⑴⑵の 2 つの問を合わせて 2 ,000字以内でまとめなさい。

⑴　教育実習の意義　目的について述べなさい。

⑵　教育実習に臨むにあたってのあなたの心構えを述べなさい。

**〈実習事後（2単位め）レポート〉**

⑴　実習事後レポートは**教育実習終了後2週間以内**に，大学へ郵送すること。

⑵　レポートの内容は次のとおり

①　教科指導上，自分が行った指導方法で，どのような問題点が起きたか。
またその問題点をどのように改善したか。

［問題点の例］　ここでいう問題点とは，指導教員から指摘された点，自分で工夫が足りなかったと感じた点を指す―たとえば，導入から展開のつながり，授業のヤマのもっていき方，発問の不足，無反応の授業，チョークの使い方などがあげられる。

②　生活（生徒）指導上，自分が行った指導方法で，どのような問題点が起きたか。
またその問題点をどのように改善したか。ここでの生活（生徒）指導とは部活動や委員会活動などのほかに，SHRやLHR，掃除時間など，教科指導以外すべての指導を指している。

⑶　以上の①②の2つの点について，4,000字以上書くこと。

ただし①と②は，それぞれ項目ごとに書き，ゴチャ混ぜに書かないこと。また①と②の枚数の比率は自由。

⑷　レポート用紙は，手書きの場合は**通信教育部指定のものでp.1〜16を使用して，4,000字以上記入すること。**用紙が足りない場合は別紙を追加して提出すること。ワープロ・パソコン印字の場合は，所定の方法（『学習の手引き』6章参照）にて作成してください（左右40字×30行×4枚以上）。

## 事前指導スクーリング

「教育実習の事前指導」のスクーリングは，仙台で開講します。詳しい開講日程は『試験・スクーリング情報ブック』をご覧ください。『With』巻末のハガキを使用してお申込みください。実習前に必ず受講し，講義中に「模擬授業」なども行っていただきます。毎年3月末に開講を予定しています。

申込みにあたっては，受講条件が課せられています。p.175〜176をご覧ください。また，3月末のスクーリングは4月に学籍番号が変わるような学籍異動を行う方は受講できません（正科生ー科目等履修生の変更など）。

## 事前指導スクーリング・受講条件

「教育実習の事前指導スクーリング」受講申込締切日までに，下記の条件を満たしていることが必要です。

⑴　p.178〜179「大学からの依頼状発行条件」⑴〜⑵を満たしていること。

※文部科学省の指導により，はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書が必要です（p. 182〜183参照）。

⑵　卒業要件単位を62単位以上（一括認定単位を含む）修得していること（3年次編入学者・科目等履修生はこの条件は不要）。

⑶　下記の**20科目中18科目の単位を修得**していること。ただし，「介護実習」は教育実習事前指導スクーリングの受講申込締切日までに必ず終了していること。

**66条の6に定める科目**

①法の基礎（日本国憲法を含む）　②健康科学　③コミュニケーション英語　④情報処理Ⅰ

**教職に関する科目**

⑤教職論　⑥教育原理　⑦教育心理学　⑧福祉科の指導法　⑨高等学校教育課程の意義と編成　⑩教育方法論（視聴覚教育等を含む）　⑪生徒指導論（進路指導を含む）

**教科に関する科目**

⑫介護概論　⑬介護実習事前事後指導　⑭介護実習　⑮高齢者福祉論

⑯児童福祉論（21年度以降入学者は⑯児童・家庭福祉論）

⑰障害者福祉論　⑱社会福祉原論（職業指導を含む）

⑲⑳社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ（21年度以降入学者は⑲社会福祉援助技術総論　⑳福祉心理学，23年度以降入学者は⑲社会福祉援助技術総論　⑳介護技術）

※他大学で修得した単位を教職免許のための科目に使用するためには，その科目が高等学校教諭一種免許状の課程認定を受けていることが原則です。出身校にご確認ください。入学時に提出していただいた証明書で確認できない場合は，あらためて提出していただく場合があります。

※本学で「教育実習」を受講するためには，本学で実習前に18単位以上の単位を修得する必要があります。認定単位の多い方は，ご注意ください。
また，上記の事前指導スクーリング受講条件を達成することも必要です。

⑷「麻疹（はしか）の抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書」のコピー1部を本学に提出済であること（p. 182〜183を参照）。

（注）　ただし，実習依頼のための書類は，p. 178〜179のとおり①教育原理　②教職論　③教育心理学　④福祉科の指導法　⑤高齢者福祉論　⑥児童福祉論（21年度以降入学者は⑥児童・家庭福祉論）　⑦障害者福祉論　⑧介護概論の単位を修得した後でないと発行できませんので，早めにこの8科目の単位を修得するようにしてください。

## スクーリング受講前の準備

とくに事前の提出課題はありませんが，各自で現場で戸惑うことのないように，スクーリング中，科目「社会福祉基礎」についての模擬授業を行いますので，指導案や教材・教具についての予習を行っておくとよいでしょう。なお，事前指導スクーリング申込者に送付している『中等教育実習の手引き』および「福祉科の指導法」で使用した『福祉科指導法入門』と『高等学校新学習指導要領　解説　福祉編』が教科書なので，事前に読んでおいてください。また，スクーリング当日必ず持参してください。下記の参考図書も所持しているものは持参ください。

福祉科以外で実習を行う場合はその教科についての十分な事前準備が求められます。

## 参考図書

硯川眞旬・佐藤豊道・柿本　誠編著『福祉教科教育法』ミネルヴァ書房，2002年
保住芳美 編著『高等学校新学習指導要領の展開　福祉科編』明治図書，2010年
科目「社会福祉基礎」の教科書（中央法規等　各県の教科書供給所で購入が可）
※「福祉科」で教育実習をおこなう場合は所持が望ましい。

# 教育実習

科目コード●050904
担当教員●吉井　宏
　　佐藤　暢芳

2単位 | 実習科目 | 3年以上

社会福祉
資　格

## 科目の内容

大学では教職に関するさまざまな講義を聴き，理論を学びます。そして教育の重要性についての認識を深めます。しかしそこに教育の対象である現実の児童生徒がいるわけではありません。子どもたちや教員が生活を送り，使用する教育施設・設備・環境があるわけではありません。その点，教育実習は，大学だけでは到底不可能な研究を行うことができます。望ましい教育者精神や態度の習得，教育愛，教育の社会的役割を知る上でも極めて効果的な機会といえます。そして何よりも人間形成に対する教育の重要性を知ることが可能なのが教育実習です。なお，実習校には実習生を受け入れなければならない義務は一切ありません。従ってその厚意に報いる気持ちも忘れてはなりません。

## 教 科 書

事前指導スクーリング申込者に『中等教育実習の手引き』（東北福祉大学）を配付予定（なお，実習受講条件，事務手続きは通学課程のものが記載されているのでご注意ください）。

## レポート課題

実習事後レポートは教育実習終了後2週間以内に，大学へ郵送すること。内容・締切は「教育実習の事前事後指導」 p. 174〜175記載のとおり。

## 教育実習内諾のための大学からの依頼状発行条件

下記の条件を満たした方は，本冊子巻末の「教育実習　登録カード」に必要事項を記入して，通信教育部あてに送付してください。条件を確認後，「教育実習内諾のための大学から実習校への依頼状」を学生あてにお送りいたします。

⑴　卒業後（将来），教員として就職する意思が明確な方＝単なる免許取得のための実習ではなりません。

⑵　健康で通常の業務に耐え，伝染性疾患のない方。

⑶　免許状の取得にあたって本学通信教育部を卒業する方は，登録カード送付時点で，1年次入学者は50単位以上，2年次編入学者は20単位以上修得済みであること。

⑷　依頼状発行時点で，「介護実習」を受講しているか，実習の日時が確定していること。

⑸　①教育原理　②教職論　③教育心理学　④福祉科の指導法　⑤高齢者福祉論　⑥児童福祉論（21年度以降入学者は⑥児童・家庭福祉論）　⑦障害者福祉論　⑧介護概論の8科目の単位を修得していること。

※p. 176のとおり，実習受講前に修得すべき科目が多いので，その他の科目もできるだけ前年度までに多く修得するようにしてください。

※実習前年度のできるだけ早い時期に上記の8科目の単位を修得しないと，次年度の教育実習は難しくなります。

※本学で「教育実習」を受講するためには，本学で実習前に18単位以上の単位修得を行う必要があります。認定単位や受講不要な科目のある方は，ご注意ください。
また，事前指導スクーリング受講条件を達成することも必要です。

※教育実習の適切な受け入れと円滑な実施を目的として，大学が必要と考える学生の方々の個人情報（成績や疾病・障がいの状況・履修カルテに記載された内容を含む）を実習校に開示することがあります。

## 教育実習が不要な方

・すでにいずれかの教科の高等学校教諭一種免許状を取得されている方は，原則として「教育実習の事前事後指導」「教育実習」の受講は不要です（教育職員免許法6条別表4）。

・すでに，中学校または高等学校で2週間以上の教育実習経験がある方は，「教育実習」の受講が不要となる場合があります（教育職員免許法施行規則6条備考7，13ほか）。

・高等学校で教員として3年以上の実務経験を有する方は，「教育実習」の受講が不要となる場合があります（教育職員免許法施行規則6条備考10）。

## 実習期間・時期

・実習は高等学校で連続2週間（10日間）行います。

・受入れ校の事情により，実習の時期が決まります。教育実習の大半は年1回5～6月のみの受け入れ校が多いですが，10～11月にも受け入れてもらえることがあります。

・あくまでも実習校側の期間に従ってください。ただし，実習開始は「介護実習」受講後および「教育実習の事前指導」スクーリングの受講後となります。

## 実習教科

・高校福祉科で行うことを原則とします。
・ただし，福祉科のある高等学校は全国でも数少ないものです（依頼状発行者に資料送付）。そのため，どうしても福祉科のある高等学校で実習先を探すことが難しい場合，受け入れ校の了解があれば，福祉科以外で実習を行ってもかまいません（家庭科・公民科など）。その際には他教科を教えるための充分な事前準備が求められます。

## 実習校への依頼方法

・実習校は，福祉科のある高等学校または自分の出身校に依頼することが多くなります。ただし，卒業後年数が経過している方もいらっしゃるので卒業生でなくても受け入れてくれる学校を探し，各自で交渉し，内諾を得てください。
・高等学校における実習生の受け入れの実態は大変厳しいものになってきています。卒業生であっても受け入れ制限をする学校や，教員採用試験の受験を条件とする学校もあります。よって採用試験の制限以上の年齢の方は実習受け入れが難しい場合もあります。
・特に，３年次で実習を依頼する場合は，実習校へ３年次実習の理由（４年次において障害者（児）教育実習を行う旨）を説明しご理解をいただかなくてはなりません。
・以上の事由により，実習希望校へは，早めに打診し**（打診後は，途中で意志を変更しないこと）**実習についての情報を得てください。
・東京都，兵庫県，広島県，北九州市をはじめ**独自の受け入れ体制をとっている地域や事前（実習前年度まで）に教育委員会への申請が必要な地域**もありますので，実習希望校または各教育委員会へ早めに確認を行ってください（p. 253も参照）。
・上記の問い合わせ後，大学からの実習一括申請が必要な場合は，実習前年度に通信教育部教職免許係あてに，①問い合わせ先教育委員会名，②実習希望時期，③実習希望校の候補などを明記し，書面で申し出ください。

## 実習校訪問の手順と諸注意

くわしくは実習登録者にお送りする「実習希望校への打診と訪問について」を参照してください（独自の受入体制の地域を除く）。

1．実習希望校に受け入れについて問い合わせてください。
　最初は電話での問い合わせになりますが，言葉遣いに注意し，失礼のないようにしてください。
2．受け入れ可能なようであれば，訪問したい旨を伝え，学校の都合を伺います。
3．学校から訪問してもよい日時が指定されたら必ず訪問してください。

4．初めて希望校の先生方にお会いしますので，服装・態度・言葉遣いに注意し，明朗快活に応答してください。

5．訪問の際，大学からの書類（実習依頼状・実習内諾書・実習生個人調査票・返信用封筒）を持参し，希望校へ提出して内諾をもらうことになります。内諾書は，実習校から本学へ直接ご送付いただくか，またはご自身で本学へ郵送してください。

## 実 習 費

・「教育実習の事前事後指導」のスクーリング受講前後に納入していただきます。一旦納入した実習費（30,000円）は卒業・修了・退学するまで有効です。

・実習費のなかには，実習校への委託費，実習保険加入費用が含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも，その金額を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

## 実習取消

・実習登録後は取消をしないようにしてください。特に実習校より内諾をいただいた後に取消をしますと，実習校に大変な迷惑をかけることになります。

・万一，取消の事態に陥った時はすみやかに実習校および本学通信教育部に届け出てください。この場合，実習校へは直接参上しておわびしていただきます。

## 実 習 後

実習後，実習校へ御礼状を送付するとともに実習事後レポートを提出する必要があります。

事後指導のスクーリングはありません。

## 教育実習受講条件

教育実習受講のためには，下記の条件を満たしていることが必要です。原則として，実習受講の約2カ月前までに必要書類を提出してください。実習校への正式依頼状をお送りさせていただきます。

※正式依頼状は実習開始約1カ月前をめどにお送りする予定です。

⑴ p.178〜179記載の「教育実習内諾のための大学からの依頼状発行条件」⑴〜⑸の受講条件を満たしていること。また，p.176記載の20科目中18科目の単位を修得していること。

⑵ 「教育実習の事前指導スクーリング」を受講済みであり，スクーリング受講後3週間以内に「実習事前レポート」を提出し，合格していること。

⑶　実習校への依頼状配付時に渡される「実習生個人調査票」のコピー，ならびに事前指導スクーリング受講者に渡される「健康診断書」「誓約書」の必要事項が記載されているもの，および「はしかの抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書」のコピー（実習事前指導スクーリング受講申込締切日までに提出済であること）が，大学あてに提出されていること。

## 単位認定通知

「教育実習の事前事後指導」「教育実習」は，①事前指導スクーリングとその後の実習事前レポート（p. 174参照），②実習，③実習日誌，④実習事後レポート（p. 175参照）の評価を総合して行います。単位認定通知は，事後レポート提出，および実習校からの実習日誌返却，いずれか遅いほうから１カ月程度で書面で通知します。

実習校から実習日誌が返却されない場合は単位認定ができないので，実習事後レポート提出後，２カ月以上経過しても結果が届かない場合は，通信教育部教職免許係までご連絡ください。

## 「麻疹（はしか）」の対策について

「麻疹（はしか）」に罹患した状態で実習を行うと，実習先に多大なご迷惑をおかけすることになります。

**実習を行う方は全員，医療機関にて「抗体検査」を必ず受けてください。結果が出るまでに４，５日かかりますので，早めに受診してください。抗体を有していることを証明できるよう，はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書のコピー１部を実習事前指導スクーリング受講申込締切日，遅くともスクーリング初日までに本学に提出する必要があります。**「麻疹（はしか）」の抗体がないと判断された場合は，医療機関と相談の上，予防接種（ワクチン接種）を受け，再度抗体検査を受けてください。予防接種を受けたという証明書ではなく，その結果，抗体を有しているという証明書が必要となります。

**「はしか」の抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書のコピーの送付方法**

１）事前指導スクーリング申込ハガキと同時に通信教育部に送付してください。

２）同時に送付できない場合は，病院に予約などをしたうえで，申込ハガキ・オモテ面に受診〔予定〕日を記入し，証明書のコピーは事前指導スクーリング初日に持参してください。

３）数値のみではなく，「はしか」の抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書のコピーを送付してください。

４）原紙は必ず各自で保管し，実習校から提出を求められたら，いつでも提出できるよ

うにしておいてください。

また，実習中に感染が疑われる症状（37.5度以上の発熱　咳・鼻水などの初期症状など）が出た場合は，実習先および通信教育部教職免許係までご連絡のうえ，欠席をお願いします。医療機関による診察の結果，自身が「麻疹（はしか)」と判明した場合，大至急，実習先および通信教育部までご連絡ください（解熱後 3 日間外出禁止)。実習先に個人の罹患情報を提供する場合もありますので，ご了承ください。万一，実習先が休校・立ち入り禁止になってしまった場合も，通信教育部までご連絡ください。

## 「インフルエンザ」の対策について

「介護実習」 p. 173を参照し，対策を行ってください。

## 大地震時の対応について

万一，実習中に大きな地震に見舞われた際は下記の点にご留意ください。

1）実習校の校長先生や実習担当の先生の指示にしたがって行動してください。震災時の学校は通常の教育活動以外の役割（避難所など）を担うことがありますので，可能な限り協力してください。

2）とっさの場合は避難経路などは頭に入れておき，児童・生徒，ならびに自身の安全の確保を最優先に判断・行動してください。出席簿は必ず持参して避難してください。

3）実習期間中の夜間などに東日本大震災級の大地震が起こり，翌朝，実習校へ出勤が難しい場合でも実習校へ何らかの方法で連絡をとり状況を報告し指示を仰ぐようにご努力ください。なお，東日本大震災級の大地震が起こった際の対応について，可能ならばあらかじめ実習校の校長先生や実習担当の先生などと相談しておくとよいと思います。

4）万一，大学と連絡がとれなくなった場合，各自で，実習校の校長先生や実習担当の先生と相談のうえ，実習を継続または延期，中止などをおこなってください。連絡がとれるようになったら，大学に状況をご報告・ご相談ください。

## さいごに

・教育実習は，たとえその学校の卒業生であっても必ず受け入れてもらえるとは限りません。高等学校にも実習生を受け入れなければならない法的根拠も義務もないからです。
・実習を受け入れてくれるのは将来教員になろうとしている学生に対する「厚意」です。皆さまもその厚意を裏切らないように取り組んでください。

# 教職実践演習（高）

科目コード●０５０９１３

担当教員●荒川　圭介・庭野賀津子
寺下　明

| 2単位 | SR | 4年 | 社会福祉 資格 |
|---|---|---|---|

## 科目の内容

教員として求められる４つの事項，すなわち，使命感や責任感，教育的愛情等に関する事項，社会性や対人関係能力に関する事項，児童生徒理解や学級経営等に関する事項，教科等の指導力に関する事項について，講義やグループ討論，ロールプレイ，現地調査，模擬授業等を通じて，学生の理解度を把握し，指導をおこなう。

**授業の到達目標**：教科に関する科目及び教職に関する科目の履修状況をふまえ，教職科目の最終段階の科目として，教員として必要な知識技能を習得したことを確認する。

**評価**：事例研究発表，グループ討論，ロールプレイング，模擬授業，レポート等の結果にもとづいて，教員として必要な資質能力が身に付いているかを総合的に評価する。

## 履修登録条件

この科目は４年次以上で「教育実習」と同一年度かそれより後で履修登録してください。平成24年度までに「総合演習」を単位修得した方は履修の必要は原則としてありませんが，それ以外の５条別表１による福祉科免許状取得希望者は「教育実習」終了後にスクーリングを受け，単位修得が必要です。

## 教 科 書

未定

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | **（スクーリング事前レポート＝教育実習終了後スクーリングの１週間前までに提出）**　教育実習や履修を通じて自身に不足していると考えること，および，その対応策をまとめてください。 |
| 2単位め | **（スクーリング後レポート）**　教員として求められる４つの事項を今後さらに向上させるために必要と思われることを，スクーリングで学んだことを含めて具体的にまとめてください。 |

## アドバイス

「履修カルテ」でこれまで記載してきたこと，教育にかかわるボランティア活動，教育実習内容やその反省をふまえて，レポートをまとめ，スクーリングに参加してください。

## スクーリング講義内容（3日間の集中講義）

1）各自の「履修カルテ」をもとにしたこれまでの学修の振り返り及び教職の意義や教員の役割，職務内容，生徒に対する責任についての講義・グループ討論①
2）教職の意義や教員の役割，職務内容，生徒に対する責任についての講義・グループ討論②
3）学校教育に関する事例研究発表・討議①
4）学校教育に関する事例研究発表・討議②
5）学校教育・現場に関する講義・グループ討議
6）社会性や対人関係能力についての講義・ロールプレイング
7）生徒理解や学級経営についての講義・ロールプレイング
8）教科等の指導力についての講義・ロールプレイング
9）模擬授業①　10）模擬授業②　11）模擬授業の総括・グループ討論
12）資質能力の確認（教員として求められる4つの事項を面接などを通じて確認），まとめ

## スクーリング受講条件

スクーリングは毎年7月下旬または8月上旬の連続3日間で行われます（1年に1回限り）。受講する方は，下記の条件を満たすことが必要です。

⑴　入学後下記期限までに「履修カルテ」を提出していること。

| | 発送予定日 | 提出締切 |
|---|---|---|
| 4月生 | 3月10日 | 4月25日 |
| 10月生 | 10月20日 | 11月25日 |

左記発送予定日から5日たっても「履修カルテ」が届かない場合は至急お知らせください。

⑵　受講する年度の7月中旬までには「教育実習」を終了していること。

⑶　1単位めレポートを教育実習終了以降，スクーリング受講の1週間前までに提出していること。

# 情報処理Ⅰ

科目コード●050332

担当教員●似内　寛

2単位 | R | 1年以上

社会福祉 資格

社会教育 選択A

## 科目の内容

かつて情報処理は一部の専門家のものと認識されておりましたが，近年では社会生活の隅々まで浸透しています。個人の日常生活では，携帯電話や電子メールによるコミュニケーションをはじめ，ブログによる情報発信，SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を介して広がるネットワークコミュニティ，Twitterのつぶやきによる新しい形の情報共有など，幅広い用途で活用されます。そして職業人としてのIT活用は，ワープロ・表計算といったアプリケーションソフトから，ネットワークとデータベースを利用した種々の情報管理システムの活用と，データベースに蓄積した情報の分析/活用へと，応用範囲が拡大しています。

このような状況の中で，情報処理に関する正確な知識を学習することは，情報の共有と職場の課題を把握・分析し解決するための手段を身につけ，さらに業務に付加価値を生み出していく「パスポート」として重要性を増しております。

この科目では「情報機器の操作」として，Microsoft社のWindowsがインストールされているパーソナルコンピュータの基本的な操作を学ぶことを目的としています。

## 教科書

『学生のためのOffice2010 &情報モラル』noa出版，2010年

この科目のレポート課題は，通信教育部「TFUオンデマンド」http://www2.netrecorder.jp/tfu/login　にアクセスし，左側「mBook」から「情報処理Ⅰ　レポート課題」にて閲覧できるようになっております。

Microsoft　Office2010　がインストールされたWindowsパソコンが必要になります。課題はメール（または将来的には「TFUオンデマンド」上）による提出になります。

※「Microsoft」「Windows」は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

# 特別支援学校教諭免許状関連科目

## ● 新法・2・3年生以上配当科目 ●

この部にとりあげられているものは，平成19年４月に新設された特別支援学校教諭一種免許状取得に関する新法対応科目です。

旧法対応科目の掲載ページは下記を参照してください。

| 科目コード | 科　目　名 | 単位数 | 履修方法 | 記載冊子・ページ数 |
|---|---|---|---|---|
| 050711 | 障害児教育Ⅰ | 4 | R | 2011(1・2年次) p.278 |
| 050712 | 障害児教育Ⅱ | 2 | R | 2011(1・2年次) p.282 |
| 050713 | 障害児の生理・病理 | 4 | R | 2011(1・2年次) p.285 |
| 050714 | 障害児の教育課程 | 2 | R | 2011(3・4年次) p.184 |
| 050715 | 障害児の指導法 | 4 | R | 2011(1・2年次) p.186 |
| 050716 | 障害児教育実習の事前・事後指導 | 1 | SR | 本冊子 p.245 |
| 050905 | 障害児教育実習 | 2 | 実習科目 | 本冊子 p.251 |

# 【お知らせ】

平成19（2007）年４月より「特別支援教育」制度が創設されました。この部に載っている科目の参考図書などには，発行年の関係で「特別支援教育」制度に対応していなかったり，用語が古いものがあります。

文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main.htm などで特別支援教育の理念と制度を理解したうえで，学習を進めてください。

なお，概略は下記のとおりです。

１）平成19（2007）年４月より盲学校，聾学校および養護学校が，障害種別を超えた「特別支援学校」に一本化されました。

※従来の盲学校，聾学校および養護学校は，法律上は「特別支援学校」になりましたが，学校の名称は都道府県により検討中のため変更されていない場合もあります。

２）小・中学校の「特殊学級」も「特別支援学級」に名称変更されました。

３）学校教育法上の「障害」の呼び方や分類が変わります（一部H18. 4施行済）

（旧）　情緒障害者

→→　（新）①　自閉症者　　②　情緒障害者（選択性かん黙など）

※自閉症が「情緒障害」とは明確に区分されます。

（旧）　盲者　→→　（新）視覚障害者

（旧）　聾者　→→　（新）聴覚障害者

・さらに，LD（学習障害者），ADHD（注意欠陥多動性障害者），高機能自閉症者なども特別支援教育の対象となりました。

# 【平成21年3月告示の新・学習指導要領について】

各科目の学習にあたっては，平成21（2009）年３月告示の「特別支援学校　学習指導要領」「特別支援学校　学習指導要領　解説」も参照してください（幼稚部21年度～　小学部23年度～　中学部24年度～　高等部22年度～実施。ただし，小・中学部においては総合的な学習の時間，道徳，特別活動及び自立活動の指導については平成21年度より，高等部においては総合的な学習の時間，道徳（知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校に限る。），特別活動及び自立活動の指導については平成22年度より，新学習指導要領により実施）。たとえば下記のような変更点があります。

⑴　現在の「自立活動」の５区分に「人間関係の形成」を追加し６区分26項目に改善。

⑵　特別支援学校においてすべての幼児児童生徒に「個別の教育支援計画」を作成。

⑶　知的障害・特別支援学校〔高等部〕の専門教科に「福祉」を新設。

# 障害者教育総論

科目コード●050718

担 当 教 員●荒川　圭介

2単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

この科目では，特別支援教育の制度，障害者教育の歴史，障害者の特性，障害者教育の現状等について学習します。

障害者といっても，一人一人の障害の種類や程度，特性等による相違があります。障害者一人一人が，自立し社会参加していく資質を培うため，それぞれの障害の種類，程度，特性等に応じ，①特別支援学校，②小・中学校の特別支援学級，通級による指導，通常の学級において，きめ細やかな教育が行われています。

習得するにあたっては，実際に障害者教育の場を見学するなどして障害者および障害者教育についての理解を深めることが大切なことといえるでしょう。また，社会のノーマライゼイションの進展，障害者の自立と社会参加の充実，特別支援教育の推進等の大きな流れを把握していかなければなりません。さらに，社会の変化に応じて法律の改正，教育内容や方法の改善などがなされているので，新しい情報についても関心を示し，対応を図っていく必要があります。

## 教 科 書

佐藤泰正編『特別支援教育概説 改訂版』学芸図書，2011年

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年４月より教科書，レポート課題が変更されました。以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能ですが，2007年発行第２刷以前の教科書をお持ちの方は，学校教育法改正後の法規を踏まえたうえで，解答してください。

〔注〕　平成21年度よりこの科目のスクーリングスクーリングは６コマ，スクーリング単位＝１単位に変更になりました。

そのため，障害者教育総論（２単位）の受講者で，平成20年度までの12コマのスクーリングを受講済みの方（スクーリング単位＝２単位）の科目コードを050717に変更いたしますが，学生の方にご留意いただく点はありません。ご安心ください。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 知的障害教育における「領域と教科を合わせた指導」について具体的に述べなさい。 |
| 2 単位め | 自閉症の特性と指導について具体的に述べなさい。 |

**（平成24年度以前履修登録者）**2012年 8 月からレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2014年 3 月末までは提出できますが，できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

## アドバイス

各課題について，テキストおよび参考図書等をよく読み，自分の言葉で，具体的な事例を入れてまとめるように心掛けてください。そのためには，近隣の障害者と接したり，障害者の教育がどのように行われているのか理解するために，特別支援学校あるいは特別支援学級を設置している小・中学校の学校公開や文化祭，学習発表会，運動会などの参観や見学したりすることをお勧めします。

1･2単位め **解説**

テキストや参考図書を読み，知的障害者教育，自閉症者教育を把握した上で，レポート課題を作成することを望みます。また，できればそれぞれの障害者と直接接し，障害者の特性等を十分理解した上で課題に取り組むことを望みます。

## 参考図書

⑴ 文部科学省『特別支援学校学習指導要領』，『特別支援学校学習指導要領解説』国立印刷局，2009年
⑵ テキストの各章末にある「引用及び参考文献」

# 知的障害者の心理

科目コード●050721

担当教員●大関　信隆

2単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉
資格/選択

14〜18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

「知的障害」すなわち認知処理機能の障害は，それ単独で現れることもあれば，発達障害をはじめとするさまざまな疾患と併存して現れることもある，発達支援にとって基本的かつ重要な概念です。この知的障害という現象に対し，本課題では心理学的側面からのアプローチ，すなわち「脳が作り出している『心』と呼ばれる精神機能のどのような側面が知的障害の行動像に影響を与えているのか」ということを考察するなかで，その支援を模索していくことをねらいとしています。

発達支援の方略に完全な正解はありません。それが良い関わりだったのかは数年経ってみないとわからないことも多く，日々の関わりではそれこそ試行錯誤，対象の方に対する研究（理解を深める行為）の日々です。だからこそ，自分自身の力で，よりベターな関わりを見つけていく必要があります。そのための一つの視点として，心理学というものの考え方から行動を理解し，そのなかで気持ちも理解し，関わり方を模索し，また創造することにつながればと思います。

## 教科書

梅谷忠勇著『図解　知的障害児の認知と学習――特性理解と援助』田研出版，2001年

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年４月より教科書が変更されました。以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能です。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 物事を学習していくなかで，人間の言語機能はどのような役割を果たしているか，そして，そこから見えてくる「関わり方」は何か，知的障害児の学習プロセスに即して論述せよ。 |
| 2単位め | 注意と動機付けが学習に果たす役割について整理し，知的障害児がどの様な困難を示すか論述せよ。あわせて，関わりの方略についても論述せよ。 |

**(平成22年度以前履修登録者)**2011年４月よりレポート課題が変更されました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年９月まで提出できます。

## アドバイス

**1単位め 解説**

ここでは言語機能や言語能力というものが学習に果たす役割，そして言語を扱う力に困難さを有する知的障害のお子さんにとっての，学習プロセスの特性を理解していただくことが目的です。一般的に，私たちが学習を進める過程で言語能力は非常に重要な役割を担っています。まずこの関係について考察する必要があります。その際，「学習」とは何か，言語機能とは何か，その発達は如何なるものか，ということを事前に述べた上で両者の関係を整理していくと良いでしょう。その後，知的障害のお子さんにとっての言語機能の発達を整理すると，健常発達との違い，そして直面する問題点なども見えてきます。ここまでを踏まえて，最後に関わり方の切り口の一つを述べていただけると良いでしょう。関わり方を背後に流れるプロセスと関連させながら述べてみてください。

**2単位め 解説**

注意や動機付けといった，直接的な情報処理以外の機能もまた，私たちの学習過程に大きく影響します。これらは認知活動を下支えしたり，認知活動を方向付けたりする働きです。注意と動機付け，この２つの側面について，それぞれが学習に果たす役割をまず整理してください。その後，知的障害児にとってそれらがどのように機能し難いのか，または通常と異なって機能するのか整理してください。それらをふまえて，関わりの方略を考えてみてください。

一見すると両課題とも「気持ち」という側面を直接には扱っていないように思われるかもしれませんが，世界を捉える方法の特徴を整理し考える中で，彼らの気持ちも見えてくるはずです。

## 参考図書

・以下の１） ２）の本は基礎的事項を押さえる上で必要になる本です。

１）田島信元・子安増生ほか編『認知発達とその支援』（シリーズ臨床発達心理学第２巻）ミネルヴァ書房，2002年

２）熊谷公明ほか編『発達障害の基礎』日本文化科学社，1999年

・各種発達障害に関する書籍も参考になります。例えば３） ４）のような本があります。

３）杉山登志郎・辻井正次編『高機能広汎性発達障害　アスペルガー症候群と高機能自閉症』ブレーン出版，1999年

4）中根晃編『ＡＤＨＤ臨床ハンドブック』金剛出版，2001年

・近年は5） 6）のような「マニュアル」的な書籍も多く出版されています。これらの内容がご自身の現場で即役立つわけではありませんが，さまざまなかかわりの方略を考える際の基礎的情報としては役立ちます。

5）杉山登志郎・大河内修ほか著『教師のための高機能広汎性発達障害・教育マニュアル』少年写真新聞社，2005年
6）独立行政法人国立特殊教育総合研究所 編『LD・ADHD・高機能自閉症の子どもの指導ガイド』東洋館出版社，2005年

・知能検査に関して書かれている7）のような書籍も，有益な情報を提供してくれる場合があります。

7）上野一彦・海津亜希子ほか編『軽度発達障害の心理アセスメント』日本文化科学社，2005年

・意外と思われるかもしれませんが，下記の8） 9）のような心理学の基礎領域に関する書籍も時に参考になります。余力があったらご一読ください。

8）大山正編『実験心理学』東京大学出版会，1984年
9）御領謙・菊地正・江草浩幸著『最新 認知心理学への招待――心の働きとしくみを探る』サイエンス社，1993年

# 知的障害者の生理・病理

科目コード●050722

担 当 教 員● 金野　公一

| 2 単位 | R | 3 年以上 |
|---|---|---|

社会福祉 資格/選択

14〜18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

知的障害とはどのような状態をいうのでしょうか？　この科目ではまずはそのことについて学ぶことになります。アメリカ知的・発達障害学会（AAIDD）の定義ではその内容がかなり具体的に述べられています。そもそも知能とは何か，という考えが様々であることが知的障害の定義を複雑なものにしています。知能検査の数値だけで判断される傾向は今も強くありますが，重要なことはその人が置かれてきた養育，教育環境等によっては数値が低く出てしまうことや，数値では説明できないような能力が実生活の中で発揮されていることも多くあります。また，サポートの在り方によっても本人の状態が変わってくることなどもしっかり考えるべきだと思います。

何故知的障害という状態が起こってくるのかその原因についても学ぶことになります。参考書等の出版物やインターネットなどではいろいろな原因を挙げていますが，それらは現在の医学で判明している原因疾患を述べているものです。その数の多さから見ると実際の医療現場でかなりの頻度で明らかにされているような印象を受けますが，実際にはごく一部が解っているだけなのです。全体の７割，８割の原因がはっきりしません。つまり原因不明なのです。健康なご両親から，しかも妊娠・出産，その後の生育経過にも何らの疾患もなく全く原因が不明でも後にその子に知的障害のあることが判明することがしばしばあります。そのことを生理的要因と説明しています。その内容についても良く勉強してみて下さい。

一方，いわゆる知的障害はないが発達上のアンバランスを指摘される人たちもいます。高機能自閉症や注意欠陥・多動性障害と診断される人たちのことですが，適応がうまくできないということも広い意味では知的な領域で考えることができるので学んでおくべきかと思います。

## 教 科 書

黒田吉孝・小松秀茂編『発達障害児の病理と心理〔改訂版〕』　培風館，2005年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 知的障害とはいかなる状態をいうのでしょうか。 |
| 2 単位め | 知的障害の原因について述べなさい。 |

## アドバイス

**1単位め 解説**

厳密に定義しようと思えばそれなりに文章化もできますが，実際の現場においては行動観察，家族からの聞き取り，知能検査（年齢が小さければ発達検査とも言いますが）などから判断することが一般的です。書籍等の記載では18歳までにその状態が確認されることと述べていることも多いのですが，何らかの原因で成育の中途で知的障害の状態になることももちろんありますが，多くは幼児期において公的機関の健診や家族自身が発達の異常に気づいて医療機関や相談機関を訪れるということが圧倒的に多いのです。

幼児期において知的障害のあることが判明すれば医学的には，「精神発達遅滞」という言葉を使います。学齢に達しても遅れの状態がはっきりしていれば，発達という言葉は取り除かれて「精神遅滞」と言われることになります。知的障害という言葉は医学では使いません。

つまり「診断」という行為では，遅れの有無と発達上の特徴の両面から診ているということです。「知能とは何か」という定義は，その領域の専門家の数ほどあるとも言われていて，人によってそれぞれに定義の仕方が異なるとも言われていますが，一応は文章化されています。インターネット上でもいろいろな情報を得ることができますので十分な解釈を行った上で自分なりの創意工夫された表現を試みていただきたいと思っています。それによってはレポート採点の評価が高まることがあります。

**2単位め 解説**

実際の現場ではすべての知的障害の原因が判明するわけではありません。むしろ圧倒的に不明なことが多いのです。

遺伝的な疾患の有無や妊娠中の状態，周産期のトラブル，生後の脳障害が関与すると推測される疾患などさまざまな観点から調べても原因を特定することができないことが，圧倒的に多いのです。したがって，書籍等に記載されている原因と称されているものは，一部の特定されたものについて述べているにすぎないと思ってください。私自身の臨床経験から言っても全体の80％は原因不明に入るのではないかと思っています。

それでも原因を知ることは大事なことです。医療現場では今の医学で治療可能なものが見出されるかどうかに強い関心を持っています。一部の代謝異常症やホルモン分泌異常症

などは早期発見・早期治療によって知的な障害を未然に防ぐことができるのですから。それほど遠くはない将来においては遺伝子治療，胎児治療などで知的な障害を防ぐことができるようになるものと思います。

レポートでは現在判明している原因をそれぞれ記載することでよいわけですが，それは全体から見てのほんの一部でしかないことを念頭において欲しいと思います。しかも予防や治療もできないことも多いということも事実なのです。ただ診断がつくだけ，という悲しい現実が今でも厳然としてあるという事実を再認識していただくだけになってしまいますが……。

## 参考図書

知的障害だけに関して定義したり原因を述べたりする書籍は少ないと思います。むしろインターネットなどから情報を引き出す方が早いかと思います。

# 肢体不自由者の心理,生理･病理

科目コード●050723

担当教員●鳴海　宏司(左)
金野　公一(右)

2単位 | R | 3年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度入学者　19年度以降入学者

この科目は，「肢体不自由者の心理」と「肢体不自由者の生理・病理」の２つの部分からなります。それぞれで教科書も担当教員も異なります。そのために，レポートは**１単位め・２単位め別々のレポート用紙を使用して提出**してください。

## 科目の内容

**◆「肢体不自由者の心理」の部分**

肢体不自由児は，上肢，下肢あるいは体幹に運動障害があるため，歩行や階段昇降等の移動に必要な動作や，衣服の着脱，書字，食事等の日常生活に必要な基本動作に全面的あるいは部分的に困難があります。

この科目では肢体不自由児の心理について学習を進めていきますが，まず，最初にしっかり学んでもらいたいのは，人の基本的な運動発達と認知発達についてです。このことについては，ピアジェの認知発達理論の，特に「感覚－運動期」を詳しく学んでもらいますし，さらにこの時期の運動発達全般についても学んでもらいます。

また，この学習を進めるにあたって押さえておきたいことは，運動障害がどうして起きたかということが学習内容の大きな要素になっているということです。そのためにも，その障害が先天的なものか後天的なものか，後天的だとしたらいつどのような理由でその障害を負ったのか等について知る必要があると思いますが，ここで押さえるのは，脳性まひに代表されるような中枢神経系の障害による脳性運動障害なのかそれ以外なのかということにつきます。なぜなら，近年の肢体不自由を主とする特別支援学校に在籍する児童生徒の９割近くがこうした脳性運動障害児ですし，この中には運動障害の他に様々な認知面の障害が認められる子どもも少なくないからです。

平成21年３月の学習指導要領の改訂で，自立活動の第２内容の４環境の把握⑵に「感覚や認知の特性への対応に関すること。」という項目が加わりました。ＬＤ児等の発達障害の子どもたちがこの対象として考えられていることはもちろんですが，前述した，近年の肢体不自由を主とする特別支援学校に在籍する脳性運動障害児にとってもこのことは大きな意味があります。

以上のように，運動発達と認知発達の関係，脳性運動障害児の認知の特性ということに焦点を当て学習しますが，コミュニケーションの発達や学力の問題，社会性の発達についても学習していきます。

**◆「肢体不自由者の生理・病理」の部分**

さまざまな原因で肢体不自由という状態が起こるわけですが，どのような不自由さがあるのかということとその原因について学ぶことにします。

肢体不自由には医学的にいろいろな診断名が付けられています。それぞれ原因も違えば状態も異なるからです。また，疾患の内容も時代によって変化してきました。どのように変化してきているのかについても学びます。発生頻度がほとんどゼロになった疾患もあります。

治療にもさまざまな進歩がありました。訓練方法や外科的な治療手技，あるいは診断技術にも時代により変化・進歩があります。

## 教 科 書

**◆「肢体不自由者の心理」の部分（＝「病弱者の心理」の部分と同じ）**

筑波大学特別支援教育研究センター／前川久男編『特別支援教育における障害の理解』教育出版，2006年

**◆「肢体不自由者の生理・病理」の部分**

篠田達明監修『肢体不自由児の医療・療育・教育[改訂第 2 版]』金芳堂，2009年

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年 4 月より，「肢体不自由者の生理・病理」部分の教科書が変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

## レポート課題

1 単位めと 2 単位めは別々のレポート用紙で出してください。

| | |
|---|---|
| 1 単位め | **◆「肢体不自由者の心理」の部分**<br>脳性まひ児に認められることのある視知覚認知の障害について代表的なものを 3 つあげ，それがどのような障害であるのか述べ，対応策についての自分の考えを述べよ。 |
| 2 単位め | **◆「肢体不自由者の生理・病理」の部分**<br>⑴ 肢体不自由者とはいかなる状態の人たちを言うのでしょうか。<br>⑵ 肢体不自由の原因について述べなさい。時代による違いにも言及してください。 |

**（平成21年度以前履修登録者）**2010年 4 月より，1 単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年 9 月で受付を締め切りました。

## アドバイス

1単位め解説

ここでは，中枢神経系の障害によって運動障害を起こす脳性運動障害児の中でも，特に多い脳性まひの子どもの視知覚認知について考えてもらいます。

断るまでもないでしょうが，ここで問題にしているのは単なる視覚障害ではなく，視知覚認知の障害です。脳性まひの子どもには，屈折異常や斜視，弱視等の視覚障害が認められるものも少なくありません。でも，ここではそのことを聞いているのではありません。また，知覚には視知覚のほかに聴知覚，触知覚等の感覚の種類に対応したものがありますが，ここでは視知覚に限定して考えてもらいます。

たとえ視覚機能に問題がなくても，視覚で得られた情報を適切に統合できないと様々な混乱が起こりますし，そのことによって結果的に環境への適応が阻害されかねないことにもなります。視知覚認知とはどういうことか一例をあげると，目の前に何か物体を見たとき，それが自分から見て上方に見えたのか下方に見えたのか，また，左方に見えたのか右方に見えたのか，あるいは，目の前全体が漠然と視野に入っただけなのか，それともその視野の中に特定のものを区別して見たのかという認識上の判断ができるかどうかということです。

まず，教科書の第 2 章と第 6 章をしっかり読んでください。

レポートについては，第 6 章第 2 節を熟読すれば容易にまとめられると思います。

ここで問題にしている視知覚認知の障害は，脳性まひの多くの子どもたちに認められる障害ですが，すべての子どもに認められるわけではありません。また，脳性まひ児の視知覚障害については，この教科書のような整理の仕方がありますが，文献によって様々な整理のされ方があります。障害の状態がよくわかるよう論述されていれば教科書以外の資料に基づいて整理されてもかまいませんので，とにかく代表的なものを 3 つあげてください。

課題の後段の対応策については，教科書ではほとんど触れられていません。したがって，視知覚認知の障害がどのようなものであるかを整理したら，あとは，そのことにどう対応するか自分で考えてみてください。

なお，これまでの学習障害研究の中で，運動発達は知覚の発達に先行し，知覚の発達は概念の発達に先行するということが言われてきており，このこと自体は広く受け入れられています。このことから考えられることは，視知覚認知の発達にとって運動発達がいかに重要かということです。脳性まひの子どもには当然ながら運動障害がありますが，つまりはこの運動障害にどう取り組んでいくか，そこが対応策を考える上でのポイントになるでしょう。

2単位め
**解説**

⑴⑵ともに以下のアドバイスと教科書を熟読のうえ解答してください。

まず，⑴について。その原因は問わず肢体不自由という状態はあるわけです。四肢や躯幹をうまく使うことができない，つまりさまざまな程度に運動上の不自由さがあるわけです。脳性マヒであればそのマヒの状態によって片マヒや四肢マヒなどと称されます。

その不自由さはマヒではなく不随意運動による場合もあります。自分の意に反して手足が勝手に動いてしまうために目的の動作を円滑に行えない状態にあるわけです。アテトーゼタイプの脳性マヒの方々を例に考えると理解できるかもしれません。

もちろん，手足が何らかの理由で切断あるいは先天的に欠損している場合もあります。

ただし，機能的に使うことができないということですので痛みのために動かすことができないというような状態は通常肢体不自由には含まれないと考えられます。

肢体不自由という状態をどのように表現すれば，原因を問わずまた不自由さのさまざまな状態を問わず，なるほどと思われる表現になるのでしょうか。

教科書や参考書あるいはインターネットなどの情報なども参考にしながら納得できる表現を考えてみてください。

⑵については，次のようなことを参考にしてください。

肢体不自由の原因は中枢神経系の障害によるものもあり，また末梢神経系の異常によるもの，あるいは筋肉の疾患や神経と筋肉の接合部位の問題によって起こることもあります。状態としてはいずれも運動障害がありますのでいわゆる肢体不自由ということになります。

ポリオの多かった時代，先天性股関節脱臼やペルテスなどが多かった時代，そして脳性マヒが多い現在など時代による原因の変遷もあります。

きわめて特殊な疾患もありますが，その辺はあまり詳しく述べる必要はないでしょう。一応代表的なものか時代の脚光を浴びていてマスコミなどにもとりあげられているものは入れるとよいでしょう。

原因には治療可能なものもありますがそうでないものもあります。可能なものの早期発見・早期治療は重要なことですのでそういう種類の疾患については注目して欲しいと思います。

疾患頻度を％で示すことも肢体不自由の原因をわかりやすくする方法かと思います。

## 参考図書

1）M.サイム著，星三和子訳『乳幼児の考える世界――目で見るピアジェ理論』誠信書房，1983年

2）高橋純編著『脳性まひ児の発達と指導』福村出版，1983年
3）三澤義一編著『運動障害の心理と指導』日本文化科学社，1993年
4）黒田吉孝・小松秀茂編『発達障害児の病理と心理』培風館，2005年
5）全国肢体不自由養護学校長会編著『特別支援教育に向けた新たな肢体不自由教育実践講座』ジアース教育新社，2005年
6）インターネット等でもかなりの情報が得られます。

# 病弱者の心理, 生理･病理

科目コード●050724

担当教員● 鳴海　宏司(左)
金野　公一(右)

**2**単位 | **R** | **3**年以上

社会福祉
資格/選択

14〜18年度入学者

19年度以降入学者

この科目は，「病弱者の心理」と「病弱者の生理・病理」の 2 つの部分からなります。それぞれで教科書も担当教員も異なります。そのために，レポートは**1 単位め・ 2 単位め別々のレポート用紙を使用して提出**してください。

## 科目の内容

**◆「病弱者の心理」の部分**

病弱児とは，学校教育の立場からは，病気が長期にわたっているもの，あるいは長期にわたる見込みのもので，その間，継続した治療または生活規制を必要としている子どものことを言います。当然ながら，こうした子どもたちは，入院生活や闘病生活の中で絶えず痛みや不安と向き合い，場合によっては死と向き合うこともあります。したがってこうした子どもの心理や行動特性を考えるとき，治療や入院に伴う苦痛体験や遊びの欠如などからくるストレスと，そのことを原因とした退行行動や睡眠や食事の異常，頭痛や腹痛などの身体症状を考慮する必要があります。

ここでは，こうした子どもたちのＱＯＬ（Quality of life）を向上させるために，心理的側面からどのような支援が必要かについて，病弱児の認知スタイルとその発達的変容の可能性に視点をあてて学習します。

**◆「病弱者の生理・病理」の部分**

病弱とはどのような状態を言うのでしょうか。病気の状態にあるということは当然でしょうが，病名で言えばどのような疾患なのかを学びます。また，やはり肢体不自由と同じように疾患の内容にも時代とともに変化があります。小児慢性特定疾患治療研究事業に該当するような難病もあります。

今はまだ広くは認知されていませんが化学物質過敏症というものがあります。また，さまざまな脳障害によって植物状態という厳しい現実におかれている子どもたちもいます。この子どもたちについても病弱という枠内で学びたいと思います。さらに身体虚弱という言葉もありますが，どのような状態にある子どもたちなのかについても学びます。

## 教 科 書

**◆「病弱者の心理」の部分（＝「肢体不自由者の心理」の部分と同じ）**

筑波大学特別支援教育研究センター／前川久男編『特別支援教育における障害の理解』教育出版，2006年

**◆「病弱者の生理・病理」の部分（＝「病弱教育」に同じ）**

横田雅史監修・全国病弱養護学校長会編著『病弱教育Q&A（part 1）――病弱教育の道標』ジアース教育新社，2001年

## レポート課題

1 単位めと 2 単位めは別々のレポート用紙で出してください。

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 病弱児にとっての「学習性無気力（Learned Helplessness）」とはどういうことをいうのか，また，このことと「コントロール感」とはどのような関係にあるか，自分の考えを述べよ。 |
| 2 単位め | **◆「病弱者の生理・病理」の部分**<br>以下の 2 つのことについて説明しなさい<br>⑴ 病弱や身体虚弱と言われている子どもたちとはどのような状態にある人たちを言うのでしょうか。<br>⑵ 最近ではどのような病気の子どもたちが（疾患の種別）病弱教育の対象になっていますか。 |

**（平成21年度以前履修登録者）**2010年 4 月より，1 単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年 9 月で受付を締め切りました。

## アドバイス

**1単位め 解説**

近年の医療技術の進歩や専門性の分化に伴い，特別支援教育（病弱を主とする）が対象とする病弱児の範囲が広がっています。一方，この医療技術の進歩は，病気によってはこれまでのような長期にわたる高度の生活規制を必要としなくなるということも生み出してきました。また，社会情勢の変化に伴って病弱児のＱＯＬを大切にする治療方針がとられるようになり，病気のため医療ケアを必要とされる時期でも，できるだけ通常に近い生活を送らせるような取り組みがなされています。その結果，例えば，かつては小児慢性特定疾患の子どもたちのほとんどは病弱を主とする特別支援学校に学んでいましたが，現在では，この子どもたちのおよそ85％は通常の小・中学校で学んでいるといわれています。

こうした情勢の中，今，病弱を主とする特別支援教育に求められることは，単に病気の

期間の教育保障だけではなく，病弱児自身にメンタルな面からの自己治癒力を促すこと，日常の生活を送る上でセルフケアをしっかり実践できるための支援を行うことであると思われます。教科書で述べられている「ヘルス・エンパワーメント＝自己効力感＋ヘルス・リテラシー」というモデルについては，このことと関連させながら読んでください。要するに，現実の健康状態の改善のためには，自己効力感に代表されるような心理・感情的側面とヘルス・リテラシーとして包括される認知的側面が必要だということですし，「学習性無気力」や「コントロール感」は，心理・感情的側面の一部をなしています。

したがってレポートを作成するに当たっては，自己効力感との関連をしっかりおさえてまとめる必要がありますし，健康行動とか発達心理について参考文献に目を通し，その意味内容を十分に踏まえることが肝要です。

教科書の第 2 章と第 7 章をしっかり読んでください。

このレポートをまとめるにあたっては，第 7 章第 2 節を特によく読んでください。

教科書では，「コントロール感」について“…病弱児の行動・情緒を捉える時は，健康に関する統制感（Health Locus Of Control：HLOC）が重要になるであろう。…”と述べられていますが，このことについて補足的な説明をしておきます。

まず，「健康に関する統制感」については，「主観的健康統制感」と述べられている文献もありますが，このことは，健康の統制に関して異なる二つの立場の，よりどちらに近いところに立つのかという統制の位置の評価ということができます。一つの立場とは，健康になるためには，自分自身がそのための努力をすることが大きい意味を持つと考える，いわゆる内的な統制感を持つ立場です。もう一つは，健康かどうかということは，ある種運命的なことであり，健康になるためには，医療従事者や自分を保護する立場の者の能力や努力によることが大きい意味を持つという，いわゆる外的な統制感を持つ立場です。

教科書で述べられている「内的コントロール」と「外的コントロール」については，上記のことを参考にすることでよく理解できるものと思いますし，それを基にして「学習性無気力」との関係を考えてください。

**2単位め 解説**

⑴⑵ともに以下のアドバイスと教科書を熟読のうえ解答してください。

まず，⑴について。学校教育年齢で言えば少なくとも定義と言われているものはあります。これこれこういう状態にある場合は特別な教育環境を与える必要がある，ということですが，それらはどのような疾患でどの程度の症状の重さなのでしょうか。同じ疾患でも病状が軽ければ一般の教育環境で対応できるのでしょうが，どの程度の重さから対象になるのでしょうか。

病気の治療を受けながら同時に一般の子どもたちと大きな差はない教育を与えていかな

ければなりません。その多くは医療機関に併設ということですが，一方では病弱支援学校というものもあります。両者の間に疾患の種類や病状の程度についても違いはあるのでしょうか。

時代の流れの中でも疾患の種類が違ってきているのでしょうか。

脳性マヒなどは肢体不自由教育と病弱教育のどちらにも入っていますが，これは何故なのでしょうか。

すべての疾患に共通して言えることは，何故一般の教育環境ではなく特殊な環境を用意しなければならないのか，ということです。疾患を超えた何らかの共通状態というものがあるのでしょうか。

特にその共通の状態を詳しく述べていただくと，レポートの評価が高まります。

⑵については，次のようなことを参考にしてください。

小児疾患の中の喘息や慢性腎疾患などは病弱教育の対象として以前からありますが，最近ではさまざまな特殊な疾患も含まれてきています。いわゆる難病と言われる疾患を抱えている子どもたちもいます。

化学物質過敏症というような今までであれば病気とは認められなかった子どもたちもいます。あるいは交通事故などで寝たきりの状態（いわゆる植物状態という言葉もありますが）にある子どもたちはどうでしょうか。教育可能と判断されている子どもたちだけが教育の対象になるのでしょうか。

特に最近注目されている，いわゆる軽度発達障害（私としてはあまり好ましくない表現であると思っていますが）の子どもたちは，なぜ病弱教育の対象になっているのでしょうか？　知的障害でもなければましてや肢体不自由でもありません。それで残った病弱に入れているのかも知れません。

## 参考図書


1）横田雅史監修　全国病弱養護学校長会編『病弱教育Ｑ＆Ａ（partⅠ）――病弱教育の道標』ジアース教育新社，2001年

2）横田雅史・西間三馨監修　全国病弱養護学校長会編『病弱教育Ｑ＆Ａ（partⅤ）』ジアース教育新社，2003年

3）田中農夫男他編著『障害者の心理と支援』福村出版，2001年（「内部障害，病弱・虚弱者の心理」の章）

4）谷川弘治他編著『病気の子どもの心理社会的支援入門』ナカニシヤ出版，2004年

5）黒田吉孝・小松秀茂共編『発達障害児の病理と心理』培風館，2005年

6）中村尚樹著『脳障害を生きる人びと』草思社，2006年

7）http://www.nise.go.jp/portal/elearn/shiryou/byoujyaku/supportbooklet.html

# 聴覚障害者の心理

科目コード●050725

担 当 教 員●庭野賀津子

2単位 | R | 3年以上

社会福祉
資格/選択

14〜18年度入学者　19年度以降入学者

## 科目の内容

本科目では，聴覚障害児・者の心理を理解し，適切な支援をしていくために必要な基礎知識を得ることを目的とします。聴覚障害には，聴力障害だけではなく耳鳴や補充現象など，さまざまなものが含まれますが，この科目では聴力障害について扱うこととします。

まず，聴覚障害がもたらす聞こえの世界がどのようなものであるのか，そしてその障害によりどのような制約が生じ得るのかを学びます。そして，その制約が，言語発達や認知発達，社会性の発達にどう影響するのか，また，社会生活上どのような支障があるのかを考えます。

聴覚障害児・者が抱える問題は，必ずしも障害の程度に起因するものだけではなく，社会システムや，周囲の人々の理解や対応方法等に起因するものもあり，それらの改善により，変化する可能性があります。そのような視点から，支援のあり方について自ら考える力を養ってほしいと思います。

## 教 科 書

中野善達・吉野公喜著『聴覚障害の心理』田研出版，1999年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | **課題1・2の両方について解答してください。**<br>**課題1**　教科書の第1〜5章を熟読し，聴覚障害児の知的発達，言語発達について1,200字以内でまとめてください。<br>**課題2**　あなたが健聴者である場合，耳栓をして難聴の擬似的状況を作り，1時間程度，住居の中で過ごしてみてください（事故防止のため，耳栓をしたままでの外出はしないでください）。そして，難聴であることの心理的影響，コミュニケーションへの影響，自分の行動面の変化等，気づいたことを書いてください。<br>　また，あなた自身が難聴者である場合は，日常，難聴であることに起因していると思われる心理状態，コミュニケーションへの影響，行動の特徴等，気づいたことを書いてください。<br>　いずれの場合も800字以内でまとめてください。 |

| 2 単位め | 教科書の第 6 〜10章を熟読し，⑴聴覚障害児・者の社会性の発達，⑵パーソナリティの形成，および⑶ろう文化についてまとめてください。 |
|---|---|

## アドバイス

まず，レポートを書き始める前に，教科書全体を読み通してください。聴器の機能・構造に関する基礎的事項や聴覚障害については，参考図書や他の文献等も参考にして理解を深めておいてください。そして，各課題に取り組む際には，教科書の該当部分を精読するとともに，アドバイスにしたがってまとめてください。

聴覚障害者のさまざまな能力の発達や心理については，聴覚障害という障害特有の特徴も考えられる一方，基本的には健聴児・者の発達や心理がベースとなっており，両者に大きな違いや隔たりがあるわけではありません。つまり，聴覚障害児・者を理解する際には，まず，健聴児・者の発達や心理を理解しておく必要があります。聴覚障害者の心理を学ぶにあたって，発達心理学やその他の心理学全般についても興味をもち，さまざまな文献を通して学んでおいてほしいと思います。また，聴覚障害児・者と接する機会のある人は，ぜひ，積極的にかかわり，そこから多くを学んでください。

なお，レポートを作成するにあたり，指定の教科書や参考図書以外にも参考にした文献がある場合は，レポートの最後にその文献の著者名，書名，出版社，出版年を忘れずに書いてください。また，教科書やその他の文献の文章をそのままレポートに記述することは避け，自分なりの表現に直して書いてください。やむを得ずそのまま引用する際には，引用箇所をかぎ括弧で括るとともに引用文献を明記して，必ず引用であることがわかるようにしてください。

**1単位め 課題 1 解説**

聴覚障害児の知的発達にはどのような特徴があるのでしょうか。また，聴覚障害児の知能を測定するためにはどのような検査方法があるのでしょうか。

聴覚障害児の言語発達にはどのような特徴があるのでしょうか。前言語的コミュニケーション，音声・構音の特徴，話しことばの発達，読み書き能力の発達に分けてまとめてみましょう。

**1単位め 課題 2 解説**

実際には，耳栓をして音が小さく聞こえる状態イコール難聴の状態，というような単純なものではありません。難聴の種類にもよりますが，たとえ音が聞こえてもその音は歪んで聞こえるため，何の音なのか弁別することが難しいという問題があります。そのため，残念ながら耳栓の使用だけでは本当の意味での難聴疑似体験とはいえないということを踏まえておいてください。

心理的影響としては，たとえば，周囲の音や人の声がよく聞こえないことへの不安などが考えられるでしょう。

コミュニケーションについては，同居している家族のいる人は，その家族と会話をしてみてください。一人暮らしの人はテレビやラジオなどをつけて音声を聞いてみてください。

自分の行動の変化としては，ドアをいつもより大きな音をたてて閉めてしまう，自分の足音が聞こえないのでどの程度の足音で歩けばいいのかわからない，などがあげられるでしょう。

2単位め
**解説**

⑴聴覚障害児は乳幼児期には親子関係において，また，幼児期，児童期には集団生活における子ども同士の関係において，コミュニケーションの取りにくさからつまずきのあることがあります。そのような制約下において，社会性の発達にはどのような問題があるのか，また，それらはどのように克服されていくのか，教科書をよく読むとともに，自分なりに考えてみてください。

⑵聴覚障害児において，コミュニケーションの障害がパーソナリティの形成にどのような影響があるのか，教科書をよく読み，考えながらまとめてみましょう。

⑶ろう文化とアイデンティティの獲得について，まとめてください。特に，アイデンティティの獲得については，教科書だけではなく，発達心理学関連の文献も参考にしてください。

## 参考図書

永渕正昭著『聴覚と言語の世界（改訂版）』東北大学出版会，2002年

# 聴覚障害者の生理・病理

科目コード●050726

担 当 教 員● 永渕　正昭

**2**単位 | **R or SR** | **3**年以上

社会福祉 資格/選択

14〜18年度入学者　19年度以降入学者

## 科目の内容

人間らしい生活をする上で，聴覚は視覚よりも重要です。盲聾唖（もうろうあ）の三重苦に耐えたヘレン・ケラーは聴覚の回復を最も切望したと言われています。

聴覚は単に音の知覚だけでなく，言語にも深く関与していることは説明するまでもありません。そこで「聴覚障害」を理解するためには，聴え，音声，言葉などを含めて幅広く勉学する必要があります。ここでは音の性質，聴覚の仕組み，言語発達の条件，難聴，中枢性聴覚障害といった医学的な側面をとりあげることにします。

## 教 科 書

永渕正昭著『聴覚と言語の世界（改訂版）』東北大学出版会，2011年（第 8 刷）

**（平成20年度以前履修登録者）**2008年に版が新しくなり一部修正が加えられていますが，以前のものも今年度の課題に対応しています。

## レポート課題【説明型レポート】

| | |
|---|---|
| 1 単位め | ⑴　音の性質（約1, 000字）<br>⑵　難聴の原因（約1, 000字） |
| 2 単位め | ⑴　言語環境と言葉の発達（約1, 000字）<br>⑵　聾教育の過去と現在（約1, 000字） |

**（平成22年度以前履修登録者）** 2010年 4 月および2011年 4 月に，レポート課題が変更されました。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年 9 月で受付を締め切りました。『レポート課題集2010』記載の課題は2012年 9 月まで提出できます。

## アドバイス

最近の耳科学の進歩は著しく，補聴器の性能も年々向上し，さらに人工内耳の出現で先天聾（ろう）者も聴覚を活用することが可能になりました。その結果，特別支援（聾）学校では補

聴器が役立たない児童は人工内耳を装着するようになってきました。また画像診断技術が発達して脳科学も大きく進歩したので，脳の中における聴覚と言語機能の関係が徐々に解明されてきました。それで「聴覚障害」を理解するには，聴覚の生理・病理以外に聴覚補償（補聴器，人工内耳）や聴覚障害児教育，さらには言語と関係した脳機能についても学習する必要があります。

まず教科書を一通り読んで，「聴覚」を全般的に理解すると同時に聴覚と関連する言語や脳機能についても学習してください。聴覚障害児教育に関与された方は自分の経験と併せて検討されるとよいでしょう。

1単位め 解説

⑴ **音の性質**：これは教科書のｐ．７～16を読んでください。音の基本的な性質として「大きさ」（強さ）と「高さ」（周波数）をまず理解し，次にその他の性質として，速さ，反射，屈折，屈曲，吸収，明瞭性などを学習してください。

⑵ **①難聴の原因**：ｐ．121～134を読んで，遺伝性から後天性までの難聴原因とその特徴（症状）を理解し，難聴が発現する仕組みも勉強してください。さらに難聴児の重複障害（ｐ．143）にも関心を持ってください。

2単位め 解説

⑴ **言語環境と言葉の発達**：幼児の言語発達には「話し言葉の環境」が大事です。教科書のｐ．108～116を読んでください。言語は聴覚の影響を受けて発達するので，幼児期に不良な言語環境で育つと，その後の発話は不明瞭のままで，思考言語も発達しません。この点に着目して，聴覚と言語の関係を検討してください。

⑵ **聾教育の過去と現在**：教科書のｐ．148～156を参考にしてください。ヨーロッパでは16世紀から聾教育が芽生えたといってよいが，日本では明治以降です。当初は手話法や口話法であり，戦後は補聴器が活用されるようになり，最近では人工内耳も普及しています。

## 参考図書


1）舩坂宗太郎著『回復する聾』人間と歴史社，1996年

2）日本聴覚医学会編・立木孝監『聴覚検査の実際』南山堂，1999年

3）小寺一興編『補聴器の選択と評価』（図説 耳鼻咽喉科 New Approach）メジカルビュー社，1996年

4）本庄巖編著『人工内耳』中山書店，1999年

5）永渕正昭著『障害者のリハビリと福祉（改訂版）』東北大学出版会，2010年

# 知的障害教育

科目コード●050727

担 当 教 員● 阿部　芳久

4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉 資格/選択

14〜18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

特別支援教育の対象は，視覚障害，聴覚障害，知的障害，肢体不自由，病虚弱，情緒障害，自閉性障害，言語障害，学習障害，注意欠陥多動性障害の障害をもつ児童生徒です。知的障害児以外の障害児に対する教育課程は，基本的には普通の教育に準じた教育課程になっています。ところが知的障害児の教育課程は，普通の教育の教育課程に基礎を置いていますが，知的障害児の障害の特性や社会参加・自立という彼らの将来の生活を実現するために歴史的に特有の教育課程となっています。この科目では，知的障害児を対象とした教育課程および指導のねらいや指導方法について学習します。

## 教 科 書

阿部芳久著『知的障害児の特別支援教育入門』日本文化科学社，2006年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 知的障害者の特別支援教育における「領域・教科を合わせた指導」（「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」「作業学習」）のそれぞれの指導形態について指導上の留意点について述べなさい。 |
| 2 単位め | 特別支援学校小学部高学年の中度知的障害児を対象として，「お好み焼きパーティーを開こう」という生活単元学習を設定した（授業時数30時間程度）。この単元の「指導目標」を示し，児童が意欲的に取り組めるような「学習活動」を設定せよ。児童の実態や活動の流れを考慮して単元全体の「学習活動」を順序よく時系列に配列せよ。 |
| 3 単位め | 知的障害児の特別支援教育における国語科，算数・数学科の指導目標およびそれぞれの指導の基本的視点について述べよ。また，知的障害児の特別支援教育における自立活動の指導目標と指導内容について述べよ。 |

| | |
|---|---|
| 4 単位め | 特別支援学校中学部の中度知的障害生徒を対象として，「ファーストフードショップに出かけよう」という生活単元学習を設定した（授業時数30時間程度）。この単元の「指導目標」を示し，生徒が意欲的に取り組めるように国語科と数学科の指導内容を中心に「学習活動」を設定せよ。生徒の実態や活動の流れを考慮して単元全体の「学習活動」を順序よく時系列に配列せよ。 |

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年４月よりレポート課題が変更されました。『レポート課題集2010』の課題に取り組むことも2012年９月まで可能です。

## アドバイス

**1単位め 解説**

まずテキストｐ. 31～ｐ. 102を熟読してください。「日常生活の指導」であるならｐ. 50，「遊びの指導」であるならｐ. 59，「生活単元学習」であるならｐ. 73，および「作業学習」であるならｐ. 96の内容を参考にしてください。

**2単位め 解説**

まず，児童にどのようなスキル・態度・意欲等を身につけさせたいかを考え「指導目標」を設定してください。その後，テキストｐ. 64の指導例５の形式を参考にして，「学習活動」を記述してください。

**3単位め 解説**

テキストｐ. 103～ｐ. 163およびｐ. 195～ｐ. 216を熟読してください。「国語科」の指導の基本的視点については児童生徒の発達レベル（「話しことばが獲得されていない児童生徒」「話しことばによるコミュニケーションが拡大しつつある児童生徒」「話しことばで日常的なコミュニケーションが行える児童生徒」）に応じて記述してください。レポート枚数が制限されていますので，最も基本的な視点を整理して記述してください。

**4単位め 解説**

まず，児童にどのようなスキル・態度・意欲等を身につけさせたいかを考え「指導目標」を設定してください。その後，テキストｐ. 141の指導例23の形式を参考にして，「学習活動」を記述してください。

## 参考図書

月刊雑誌『実践障害児教育』学習研究社
月刊雑誌『特別支援教育研究』東洋館出版社
季刊雑誌『特別支援教育の実践情報』明治図書

文部科学省『特別支援学校幼稚部教育要領　小学部・中学部学習指導要領　高等部学習指導要領』海文堂出版，2009年
文部科学省『特別支援学校学習指導要領―総則等編』教育出版，2009年
文部科学省『特別支援学校学習指導要領―自立活動編』海文堂出版，2009年

2009年 3 月告示の「特別支援学校　学習指導要領」「特別支援学校　学習指導要領 解説」は，文部科学省ホームページなどにも掲載されています。

# 肢体不自由教育

科目コード●050719

担当教員●鳴海　宏司

| 2単位 | R | 2年以上 |
|---|---|---|

社会福祉
資格/選択

14～18年度入学者　19年度以降入学者

## 科目の内容

この科目で学習することは，まず，肢体不自由教育の対象になる子どもたちとはどのような子どもたちであり，その子どもたちの教育的な課題は何かということです。そして，そのための教育課程はどのように編成されているか，また，教育内容・方法等の特徴としてどのようなことがあげられるかについても学習します。

中でも領域としての「自立活動」について重点的に取り組んでほしいと考えています。なぜならば，「自立活動」について学ぶことは，子どもにとって“障害とは何か”，“自立とは何か”を学ぶことになりますし，なによりも「自立活動」には心理的・身体的・社会的な活動性を求めるための幅広い内容が盛られており，特に肢体不自由教育にあっては，教育課程の中核に位置するものと考えていいからです。「自立活動」の指導をどのように実践できるかによってこの教育についての専門性が計られると言って過言ではありません。

もう一つ重点的に取り組んでほしいのは「個別の指導計画」についてです。「個別の指導計画」は，平成11年改訂の特別支援学校学習指導要領では，重複障害者の指導と「自立活動」について作成することになっていましたが，平成21年の改訂で，在籍する児童生徒一人一人の教科・領域等について作成することとされました。「個別の指導計画」の必要性・重要性がいよいよもって増してきたと思えます。したがって，ここでは，この「個別の指導計画」をどのように作成したらよいか，授業に生かすとはどういうことかなどについてあらためてしっかり学んでいってほしいと考えています。

また，現在の特別支援学校が担っていかなければならない機能として，地域のセンター的役割を果たすことがあげられます。このことは，特に肢体不自由という障害種にとらわれずに考えなければならないことですが，障害種が何かにかかわらず，今後の特別支援学校に求められ続けることですので，このことについてじっくりと学習していきます。

さらに，「個別の教育支援計画」とは何かについても学習していきます。このことも，特に肢体不自由という障害種にかかわらず取り組まなければならないことなのですが，学校卒業後の自立や社会参加のための支援はどうあらねばならないかを考え，そのために今

何をどのように計画すべきか，具体的な策定方法について学習していきます。

## 教 科 書

肢体不自由教育研究会監修『肢体不自由教育の基本とその展開』（肢体不自由教育シリーズ１），慶應義塾大学出版会，2007年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 「自立活動」と「養護・訓練」の目標についてその違いを説明しなさい。また，現行の「自立活動」の内容の６つの区分それぞれについて，肢体不自由の子どもにどのような具体的指導内容が考えられるか，あなたの考えを述べなさい。 |
| 2 単位め | 「個別の指導計画」を作成するにあたり，以下のことについて述べよ。<br>1　作成する意義は何か<br>2　書式を検討するときに留意すべき事は何か<br>3　指導目標を検討するときに必要な視点は何か |

**（平成21年度以前履修登録者）**2010年４月より，１～２単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年９月で受付を締め切りました。

**（平成24年７月以前履修登録者）**2012年８月から１単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2014年３月末までは提出できますが，できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

## アドバイス

「自立活動」とは，特別支援教育の教育課程に設けられている独特の領域です。なぜ，特別支援教育にだけ，領域としてこの「自立活動」が設けられているのかをよく考えてください。そうすればこの領域が何を目標としているか，その達成のために教師に何を求めているのか自ずと理解できるはずです。

また，この「自立活動」の前身は「養護・訓練」（昭和46年の学習指導要領で設けられた）といわれていましたが，平成11年の学習指導要領の改訂で「自立活動」と変更されました。なぜ「自立活動」と変更されたのか，この点についてよく学習してください。単に名称が変更されたのではなく，「障害」の枠組み（とらえ方）が変わったことと，目指すべき自立とは何かということをしっかり押さえてほしいと思います。

「個別の指導計画」については，前述しているとおり，現行の学習指導要領では重複障害者のみならず個々の児童生徒について，また，自立活動のみならず各教科等にわたり作

成することになっていますが，実は，このことは全国のほとんどの特別支援学校で今回の改訂を待つまでもなくすでに取り組まれ，活用されてきていたことです。つまり，前回の改訂直後から，特別支援学校は，ますます進行する児童生徒の実態の重度・重複化，多様化に対応すべく，一人一人に応じた指導計画を作らざるを得なかったということなのです。

また，「個別の指導計画」は，児童生徒の実態を的確に把握したうえで，各教科・領域等の特質を十分ふまえ，教職員全体での共通理解の下に作成されるものであり，そのためにも書式や内容を十分検討しなければなりません。ただ，そのときに忘れてほしくないことは，綿密・詳細・膨大な計画を求めるのではなく，使い勝手のいいものを作ろうということです。そのことを念頭に置いて課題に取り組んでください。

**1単位め 解説**

まず，最初にお詫びとおことわりをさせていただきますが，現在使用している教科書は，現行の学習指導要領（平成21年３月告示）に完全には対応できていません。したがってこの課題については，教科書と一緒に参考書，特に『特別支援学校学習指導要領解説　自立活動編』（平成21年６月発行）をよく読んでください。申し訳ございませんがよろしくお願いいたします。

この『学習指導要領解説　自立活動編』をお読みいただくとわかると思いますが，現行の「自立活動」の目標の一部が改められていますし，内容もこれまでの５区分22項目から６区分26項目になっています。ただし，この課題の前段については教科書第１章第４節を読むことで十分理解できます。「養護・訓練」と「自立活動」の目標とどこがどう違っているか比較検討してみてください。そうすることで「自立活動」の目標をより鮮明に理解できるはずです。なお，「養護・訓練」の目標について，教科書巻末の用語解説では「……調和的な基盤を培うこと……」（p. 259「養護・訓練」の下から２行目）となっていますが，「……調和的発達の基盤を培うこと……」の誤りです。

内容の６つの区分については，新しく区分として加わったものや項目として加わったものがあります。その中でも特に肢体不自由教育にとって重要なものは何かよく考えてみてください。『学習指導要領解説　自立活動編』には，26項目それぞれについて，障害種全般にわたって具体的指導内容が紹介されていますが，**ここでは肢体不自由の子どもに限定し，また，項目ごとではなく区分ごとに考えられる具体的指導内容について論述**してください。単に整理されている項目を知識として覚えるのではなく，肢体不自由のある子どもの，障害による学習上または生活上の困難に応じて内容を選択し，組み合わせ，さらには他の指導と関連させながら指導するとはどういうことなのか，よく考えながら論述してください。

**2単位め 解説**

ここでは教科書の第2章第1節をよく読んでください。また，教育課程との関連も考える必要がありますので第1章第2節も読んでください。

課題の1の意義について考えるとき，これまでも教育課程にもとづいた指導計画は編成されていましたが，今なぜあえて「個別の指導計画」が求められるのか，そのことをまず考えてください。そして，子どもたち一人一人の指導計画を立てることで何がどのように改善されるのか併せて考えてください。そうして整理されたことが意義に他ならないと思います。

課題の2の書式については，学習指導要領等で具体的に示されているわけではなく，実際にはそれぞれの学校で検討され作成されています。この書式の検討でまず最初に考えてほしいことは，実際の授業実践に必要な情報を，的確にコンパクトに記載するための書式はどうあるべきかということです。さらに，入学から卒業までの継続した指導を展開するために必要なエッセンスは何かということであり，次期の指導に引き継ぐべきポイントをどう伝えるかということです。

課題の3の指導目標の検討とは，収集した実態の情報をどう読み解いて指導目標の設定に至るのかということです。子どもたちの実態は多様で，いろいろな側面から様々な課題が見えてくるものと思われますが，そのときに，当面の課題として押さえておくべきことは何か，今優先して取り組むべき課題は何か等を整理検討し目標化していくことになります。そのときに必要な視点としてどんなことがあげられるでしょうか。そのことを論述してください。

## 参考図書


1）全国肢体不自由養護学校長会編著『特別支援教育に向けた新たな肢体不自由教育実践講座』ジアース教育新社，2005年

2）成瀬悟策著『臨床動作学基礎』学苑社，2005年

3）文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説―総則等編―』教育出版，2009年

4）文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説―自立活動編―』海文堂出版，2009年

5）大野清志・村田　茂編著『動作法ハンドブック　基礎編――初心者のための技法入門〈改訂版〉』慶應義塾大学出版会，2003年

6）坂本竜生他編著『新・感覚統合法の理論と実際』学習研究社，1997年

7）文部科学省編『肢体不自由児のコミュニケーションの指導』日本肢体不自由協会，1994年

8）国立特殊教育総合研究所編著『肢体不自由のある子どもの自立活動ガイドブック』ジアース教育新社，2006年

# 病弱教育

科目コード●050729

担当教員●鳴海　宏司

2単位 | R | 2年以上

社会福祉
資格/選択

14〜18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

病弱を主とする特別支援学校や学級では，慢性疾患，悪性新生物等により継続して治療や生活規制が必要な子どもたち，重度重複障害の子どもたち，また，身体虚弱の状態が持続するため，生活の管理を必要としている子どもたちが学んでいます。

こうした子どもたちの教育にあたっては，子ども一人一人をよく見つめ，子ども個々のその時々の健康状態，治療等の状況，これまでの学習への取り組みの状況，心理的な安定度等に十分配慮しながら進めることが肝要です。また，自主性，積極性，社会性を培うこともこの教育の大きな役割になりますが，なによりも大事なことは，子ども個々の年齢や発達段階に応じて病気を正しく理解させ，治療に前向き取り組めるような気持ちを作り上げることにあります。

ここでは，そのための教育課程がどのように編成されているか，教科，自立活動等の領域を具体的にどのように展開すべきか，また，重度重複障害児の教育内容・方法がどうあるべきかについて学びます。併せて，病弱教育にとって特に大事である教育と医療の連携について，その必要性，具体的なあり方等についても学習します。これについては現在，病弱を主とする特別支援学校・学級が果たしている具体的内容を手がかりにして学習しますが，医療との連携ばかりでなく，行政や福祉等との連携の在り方を含め，今後の特別支援教育の中で，病弱を主とする特別支援学校・学級に何が求められているかについても学んでいきます。

## 履修登録上の注意

この科目を履修する方は，原則として**「病弱者の心理，生理・病理」はセットで履修することが望ましいものです。**また，**この科目と「病弱者の心理，生理・病理」を履修する方は，原則として「病弱教育総論」を履修することはできません。**

## 教 科 書

横田雅史監修，全国病弱養護学校長会編著『病弱教育Q＆A　PARTⅠ　―病弱教育の道標―』ジアース教育新社　2001年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 通常の小学校から，病弱を主とする特別支援学校に転入してくる児童の指導について，以下の 2 つのことに解答しなさい。<br>1　転校時，受け入れるにあたって留意すべきことについて述べよ。<br>2　体験活動や実技をともなう教科の指導で工夫すべきことは何か。理科，図工，体育，音楽，家庭科の中から 2 つの教科を選び，工夫する内容を具体的に述べよ。 |
| 2 単位め | 病気治療中の子どもの自立活動の指導に関して，次の課題 1 と課題 2 のいずれかを解答しなさい。<br>**課題 1**　自分が罹っている病気についての理解がなぜ必要なのか，また，その指導を進めるにあたって留意すべきことは何か，自分の考えを述べよ。<br>**課題 2**　慢性腎疾患の児童生徒と気管支喘息の児童生徒の指導にあたって，それぞれについての目標と指導内容をどのように設定したらよいか，考えを述べよ。 |

**（平成19年度以前履修登録者）**2008年 4 月より課題が一部変更になり，『レポート課題集2007』記載の課題は2009年 9 月で受付を締め切りました。

**（平成21年度以前履修登録者）**2010年 4 月より，1 ～ 2 単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年 9 月で受付を締め切りました。

**（平成24年 7 月以前履修登録者）**2012年 8 月から 1 単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2014年 3 月末までは提出できますが，できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

## アドバイス

それぞれの課題をまとめるにあたって，対象とする児童生徒の障害の状態や学部・学年を具体的に想定して取り組んでみてください。

1 単位めは，通常の小学校から転入する児童ですから，いわゆる準ずる教育課程での対応が可能な児童として考えてください。病弱を主とする特別支援学校のほとんどは医療機関に併設されていたり隣接していたりします。したがってその医療機関への入退院に応じて学校への転出入が生じますが，年度当初に多いことはもちろん，学期の途中でも少なか

らずあります。課題１は，こうした病弱を主とする特別支援学校が避けて通れない転出入にかかわる課題です。また，こうした児童は当然ながら入院治療という目的がありますので，なんらかの生活規制・行動規制があると考えなければなりません。課題２はそうした状況にある児童の教科の指導についての課題です。

２単位めは，病気治療中の子どもの自立活動についての課題です。

病弱を主とする特別支援学校には，当然ながら病気治療に取り組んでいる子どもたちが在籍しています。課題１は，そのような子どもたちにとって，何故，自分の病気についての理解を深めていくことが重要なのかということと，そのために教師のするべきことは何かということを問うています。様々な難しい問題が予想されるとしても，病弱を主とする特別支援学校の教師にとってこの課題は避けて通ることができないものと思われます。じっくり考えてみてください。

課題２は，学部・学年とか，どの教育課程で指導しているかというようなことは特定していませんが，疾患を特定しています。ただし，課題をまとめるにあたっては，準ずる課程の児童生徒を想定するとまとめやすいと思われます。ここでは児童生徒の実態については触れていませんので，病気の状態や生活規制の程度等について任意で想定し，それに応じた目標と指導内容を考えてください。任意で考えるといろいろな状況を想定し，それに応じて様々な目標が考えられるのですが，ここでは目標を１つか２つに絞り，それに対応した指導内容をいくつか考えるということでまとめてください。

**1単位め 解説**

教科書の第Ⅱ章１，２を中心によく読んでください。

少し無理な注文かもしれませんが，課題１についてまとめる前に，もし，自分がこのような状況になったとしたら，どんなことが不安で，学校に望むことはどんなことだろうかと想像してみてください。そのうえで，学校として，担当教師として何をしなければならないか考えてほしいと思います。

教科書では触れられていませんが，現在の特別支援教育においては，子ども一人一人のニーズを把握して，関係者・機関の連携による適切な教育的支援を効果的に行うため，教育上の指導や支援を内容とする「個別の教育支援計画」の策定，実施，評価（「Plan―Do―See」のプロセス）が重視されています。このため通常の小・中学校にも特別支援教育コーディネーターが置かれており，そのコーディネーターが中心となり校内，保護者，校外関係諸機関等との連絡調整役を果たしています。ここで対象になっている児童の前籍校で「個別の教育支援計画」が作成されているかどうかは別にしても，「個別の教育支援計画」が基本的にどのように作成されているかを知ることで，課題１のまとめの役に立つと思われます。参考書等をあたってみてください。

課題２については，体験的な活動や実技をともなう指導の工夫について詳しく述べられ

ているページがありますので特によく目を通すことが必要です。

この課題2をまとめるにあたって最初に留意してほしいことは，対象になる児童の病類がどのようなものであるかということです。ここでは病類を特定していませんので，このような病類にはこのような配慮・工夫を，というようにいくつかの病類をあげて整理すると具体的で解りやすいレポートになると思われます。

また，学習環境についても考えてください。病弱を主とする特別支援学校の学年ごとの在籍数は決して多くないのが普通ですし，病状によって厳しい生活規制を必要とする場合もあるでしょう。教科の特質や指導内容によっては，あまりに小さな集団だと学習効果があがらないこともありますので，そういった場合の学習環境の整え方についても考える必要があるでしょう。

教科書には一般論が述べられています。丁寧に読んだ上でよく考えてください。そして自分なりの工夫点を論述してください。

2単位め
**解説**

ここでも教科書の第Ⅱ章をよく読んでください。特に第Ⅱ章の5を詳しく読んでください。

課題1は，子ども自身の病気理解をどう進めていけばよいかということについて聞いています。このことに取り組むことは，自立活動の内容の区分でいえば，主として1と2に掲げられていることに取り組むことになると思われますので，まずはここに目を通してください。また，病弱教育の意義の一つに「病気の自己管理能力の育成」ということが挙げられますが，このことの具体的なねらいがどこにあるのか考えることで，この課題で取り組むべき事も解ってくると考えられます。したがって，ここでは教科書のⅡ章の1もしっかり読み込んでください。

病気理解の指導をすすめるにあたって，病気の告知や治療方法等についてのインフォームドコンセント等に関することをしっかり把握しておくことが絶対条件です。それによっては，学校として踏み込んではいけないこともでてきます。そのことも念頭に入れながらレポートしてください。

課題2については，自立活動の「個別の指導計画」の作成の手順に沿って考えてほしいと思います。特に第Ⅱ章にはこのことについて詳しく述べられておりますし，病気の種類別の課題例や実践例も載せられています。ただ，この課題に取り上げている慢性腎疾患と気管支喘息については他の参考図書にもあたり，学校生活上の配慮についてもう少し詳しく調べてみてください。そのことによって指導内容として考えるべきことがもっと見えてくるものと思います。

なお，教科書に掲載されている「自立活動の内容」（99ページ）は，平成21年3月の改訂版ではありません。改訂された中身については新しい学習指導要領で確かめていただき

たいと思いますし，インターネットでも知ることができます。

## 参考図書

1）横田雅史監修，全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q＆A　ＰＡＲＴⅢ』ジアース教育新社，2004年
2）横田雅史・西間三馨監修，全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q＆A　ＰＡＲＴⅤ』ジアース教育新社，2003年
3）文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説―総則等編―』教育出版，2009年
4）文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説―自立活動編―』海文堂出版，2009年
5）http://www.nise.go.jp/portal/elearn/shiryou/byoujyaku/supportbooklet.html

# 聴覚障害教育

科目コード●050730

担 当 教 員● 菅井　邦明

**4** 単位 | **R or SR** | **2** 年以上

社会福祉
資格/選択

14〜18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

聴覚障害者教育を学ぶには，聴覚障害に関する生物学的，音声音響学的条件と障害補償についての知識，また幼児段階ではコミュニケーション・言語発達，保育・養育環境条件に関する知識を学ぶ必要があります。さらに学校教育段階では教育内容と指導に関する知識・技術，そして学習指導要領の学習が重要になります。

特別支援教育では，児童のニーズの把握の上で「個別の教育支援計画」を作成し指導を展開することになります。現実の教育実践の中では，ニーズ把握・計画・指導・評価が一連の過程として，瞬間瞬間，一時限内，学期内，年間内で繰り返されます。その過程では，知識・指導技術等に関し，新しく工夫・開発する必要もでてきます。この科目では，１単位めでは，児童のニーズや実態把握に必要な聴覚面の知識を，２単位めでは主にコミュニケーション・言語発達と療育，教育について，３単位めと４単位めでは，個別教育指導計画に関連する条件と指導技術について学習します。

## 教 科 書

1）篠田達明監修，今野正良ほか編『視覚・聴覚・言語障害児の医療・療育・教育（改訂２版)』金芳堂，2011年

2）菅井邦明著『早期教育における聴覚障害児・家族・専門家のコミュニケーションに関する省察』『発達・療育研究（京都社会福祉センター紀要)』10，1994年（コピーで配付）

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年４月より教科書１）が改訂されました。以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能です。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 下記の１） 2）合計７つの項目についてそれぞれ約300字程度で説明しなさい。<br>１）①オージオグラムの目的・測定方法・表記の仕方<br>②人間の可聴範囲（周波数で）<br>③一般に普通の会話は何デシベル程度，不快な大声は？<br>④手話とは<br>⑤難聴とは<br>２）①外耳から聴覚中枢までの音の伝達経路を簡略に説明しなさい。<br>②難聴児療育・教育の目的を簡略に説明しなさい。 |
| 2 単位め | 個別指導計画を立てる時に考慮されるべき条件を書きなさい。 |
| 3 単位め | 聴覚障害教育の指導技術の特徴を説明しなさい。 |
| 4 単位め | 平均聴力レベル（難聴の程度）とコミュニケーション手段の関係を説明しなさい。 |

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年４月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年９月まで提出できます。

## アドバイス

まず教科書２つを熟読してください。また実際に自分の指で耳を塞ぎ聞こえにくい状態を作ったり，理解不可能な外国語を20分間聞いてみたりして，聴覚障害の聞こえにくい状況を少しでも体験してください。また可能な限り聴覚障害児・者や高齢者で耳が遠いといわれる方に接してみてください。実際に聴覚障害児・者に接している受講者はその人を想定してレポートに取り組んでください。

**1単位め 解説**　教科書１）を熟読し，音声が脳へ伝わる経路・言語音認知過程とその障害を簡略に整理してください。

**2単位め 解説**　教科書１），２）を熟読し，聴覚障害によって起こるコミュニケーション・言語学習および発達課題を知り，条件を記述してください。

3単位め
**解説**

教科書1），2）を熟読し，いわゆる健常児（健聴児）には必要としないと思われる指導技術を考え，特徴を整理してください。

4単位め
**解説**

教科書1），2）を読んで，難聴の程度と学習可能性の高いコミュニケーション手段を整理してください。

## 参考図書


1）原田泰・生田目美紀著『ゆびもじ練習あいうえお』小学館，2004年（CD-ROM教材）

2）米内山明宏監修『はじめての手話入門』ナツメ社，2005年（DVD付き）

3）原田恵子・広瀬千恵子著『二人の難聴児を育てて――わが子に学んだ日々』聴覚障害児と共に歩む会・トライアングル，1996年

4）岩立志津夫・小椋たみ子編著『よくわかる言語発達』ミネルヴァ書房，2005年

5）ドナルド・F・ムーアズ　デヴィッド・S・マーティン編　松藤みどり，長南浩人，中山哲志訳『聴覚障害児の学力を伸ばす教育』明石書店，2010年

# 病弱教育総論

科目コード●050731

担当教員●鳴海　宏司

2単位 | R | 3年以上

社会福祉
資格/選択

14〜18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

学齢期にある子どもが病気になった場合，ごく普通に考えれば，まずは病気の治療が優先され，とりあえず学校を欠席して治療に専念し，回復・治癒したらまた登校するという形をとるでしょう。しかし，罹った病気が特に急激・重篤ではないけれども，長期間の治療を要する疾患だったとしたら，この子どもの学校生活はどうしたらいいでしょう。

たしかに，まずなによりも病気を治すことが大事です。でも，だからといって生活のすべてをそのことだけに費やし，学校を長期間欠席することになれば，学校生活で身につけるべき多くのことが滞ってしまいますし，なによりも生活の質（ＱＯＬ）そのものが低下してしまい，この子どもの生涯を通してみるととりかえしのつかないマイナスになることでしょう。

こうした状況を解消し，病気であっても生活の質の維持・向上を図ることは，子どもとその家族にとって共通した願いですし，そのためにこそ病弱教育があるのです。

ここでは，病弱教育の対象となる子どもとは具体的にはどのような子どもなのか，また，このような子どもたちが学んでいる特別支援学校や特別支援学級では，どのような教育が行われているのか，さらに，なによりも大事な医療と教育の連携はどのようになされているのか等について学習します。

## 履修登録上の注意

**この科目を履修する方は，「病弱者の心理，生理・病理」「病弱教育」の２科目を履修することはできません。**

## 教科書

横田雅史監修，全国病弱養護学校長会編著『病弱教育Ｑ＆Ａ（Part Ⅰ）――病弱教育の道標』ジアース教育新社，2001年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 下に掲げた病名は，主として病弱を対象とする特別支援学校の児童生徒にみられる病気のいくつかです。<br>この中から**2つ選び**，その病気を治療中の子どもの，学校生活上で配慮すべきことについてまとめなさい。<br>筋ジストロフィー，　急性白血病，　慢性腎炎，　小児気管支喘息，<br>若年型糖尿病，　ペルテス病，　血友病 |
| 2 単位め | 長期にわたる病気治療が必要な児童生徒にとって，病弱教育を主とする特別支援学校が果たすべき役割とは何かについて，視点を7つ挙げ，それぞれについて具体的にのべなさい。 |

**（平成21年度以前履修登録者）**2010年4月より，1～4単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年9月で受付を締め切りました。

## アドバイス

近年の病弱を主とする特別支援学校に学ぶ児童生徒の疾患は，多様化してきています。また，医学の進歩とか社会のニーズの多様化に応じて，入院しながら治療をしなければならない期間が短くなってきています。

1単位めも2単位めも，それぞれの課題にとりくむにあたり，病弱を主とする特別支援学校で学ぶ子どもの疾患が，この20年来，どのように変遷してきたか，また，それはどうしてなのかについても調べてみてください。このことから，病弱を主とする特別支援学校に求められる役割も少しずつ変遷してきたことがわかりますし，さらには，現在の果たすべき役割についてもよくわかります。

**1単位め 解説**

ここをまとめるためには，教科書の第Ⅰ章をよく読んでください。また，参考書にも目を通してください。

ここで求めている答えは，その病気がどんな病気かということではなく，その病気の子どもが学校生活を送るとすれば，そのために学校や教師はどんな配慮をしなければならないのかということです。もちろん，そのためには，病理についての基礎的な知識・理解は必要ですが，病気自体が問題なのではなく，あくまでも病気の子どもが問題なのだということを忘れないでください。

2単位め
解説

ここでは教科書の第Ⅱ章をよく読んでください。ここで聞かれていることはきわめて基本的なことですが，それだけにきわめて大事なことでもあります。

病弱を主とする特別支援学校が，病弱養護学校といわれていた時代を含め，この20年来，どのような変遷をたどったか，よく調べてください。たしかに，対象とする子どもたちの病類が変化してきたことは事実ですが，その中で，病気の子どもに何を伝え，何を身につけさせなければならないのか，ということについても変わってきています。また，一方，この20年来どころか，もっと以前から，いささかもゆるがずに果たしてきた役割もあります。

そういった役割を，大まかに７つにまとめてください。そうすることで，今，病弱を主とする特別支援学校に求められていることが何なのか，おのずと理解できます。

## 参考図書


1）横田雅史監修，全国病弱養護学校長会編『病弱教育Ｑ＆Ａ　ＰＡＲＴⅢ』ジアース教育新社，2004年

2）横田雅史，西間三馨監修，全国病弱養護学校長会編『病弱教育Ｑ＆Ａ　ＰＡＲＴⅤ』ジアース教育新社，2003年

3）筑波大学特別支援教育研究センター／前川久男編『特別支援教育における障害の理解』教育出版，2006年

4）筑波大学特別支援教育研究センター／安藤隆男編『特別支援教育の指導法』教育出版，2006年

5）文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説―総則等編―』教育出版，2009年

6）文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説―自立活動編―』海文堂出版，2009年

7）http://www.nise.go.jp/portal/elearn/shiryou/byoujyaku/supportbooklet.html

# 重複障害教育総論

科目コード●050732

担 当 教 員●鳴海　宏司

**2**単位 | **R or SR** | **3**年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

近年，特別支援学校の児童生徒の障害の実態は重度・重複化し多様化してきているといわれています。文部科学省の調査によると，平成21年 5 月現在，特別支援学校に在籍する児童生徒の 4 割強は重複障害を有しています。この場合の重複障害とは，学校教育法施行令第22条の 3 で規定されている 5 障害（視覚障害，聴覚障害，知的障害，肢体不自由，病弱）の中の 2 つ以上を併せ有していることを意味しています。

※教育課程の編成に当たっての「重複障害」については，前述の 5 障害に加えて言語障害や情緒障害等を含めて考えていいとされています。

ところで，平成21年 3 月に告示された特別支援学校小・中学部学習指導要領の中に「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」（第 1 章第 2 節第 5 ）という項がありますが，これを読んで分かることは，ここで述べられている「重複障害者」の障害をかなり重いと想定しているということです。たしかに，近年の特別支援学校には，常時医療的ケアを必要としている児童生徒をはじめ，呼吸器系に障害を抱えている児童生徒，摂食機能に障害を抱えている児童生徒等，障害がきわめて重い児童生徒が在籍するようになってきています。

本科目では，こういった状況を受け，障害が重くかつ重複している児童生徒の教育，いわゆる重度・重複障害教育について総合的に学んでいくこととします。主な内容としては，重度・重複障害の主な原因，重度・重複障害児童生徒の臨床像，実態把握の在り方，教育の目的・内容・方法等になります。

## 教 科 書

大沼直樹著『重度・重複障害のある子どもの理解と支援』明治図書，2009年

**（平成23年度以前履修登録者）**2012年 4 月より教科書とレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2013年 9 月までは提出できますが，できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 重度・重複障害児とはどういう子どもか，詳しく説明してください。 |
| 2 単位め | 重度・重複障害児の教育の目的とは何か，教育内容・方法としてどのようなことが考えられるか，詳しく論述してください。 |

## アドバイス

重度・重複障害教育を担うためには，まず，いろいろな障害種に応じた教育についての専門的知識・技術を必要としますが，それだけではなく，基礎的な医学的知識，心理学的知識，福祉・行政面に関する知識等も必要とします。ただし，この教育を担う者にとって本当に必要なのは，目の前の子どもがどんなに障害が重かろうと，可能性を秘めたかけがえのない主体であると受け止める心と目です。このことをしっかり踏まえて学習に取り組んでください。

なお，教科書はかなり分かりやすく書かれていますが，もし，分かりにくい語句があったなら後掲する参考書等にも十分に目を通し，しっかりと読み砕いた上でレポート作成に臨んでください。

**1単位め 解説**

ここでは，「重複障害」について障害種の数や組み合わせ等のような形式的な説明は必要ありません。まず，「重度・重複障害児」がどのように概念化されてきているかまとめてみてください。教科書にも述べられているとおり，必ずしも統一された概念があるわけではありませんが，第 2 部第 3 章を読むと「重度・重複障害児」がこれまでどうとらえられてきたか分かります。また，合わせて第 3 部第 1 章も丁寧に読んでください。ここでは「重度・重複障害児」の様子が 2 つの側面から整理されていますので，「重度・重複障害児」とはどういう子どもか，より具体的におさえられると思います。

**2単位め 解説**

ここでは，まず教科書の第 2 部第 4 章をしっかり読んでください。教育の目的については，障害の有無にかかわらず普遍的なものがあります。そこをしっかりと押さえた上で「重度・重複障害児」の場合を考えてください。教育内容については，教科書でも学習指導要領の「自立活動」の要点が紹介されていますが，後掲の参考図書 2）などを参考にしながら独自にまとめてくださっても結構です。なお，第 3 部第 2 章は，直接教育内容に触れている部分ではないのですが，このことを考える上でたいへん参考になることが書かれています。ここにもしっかり目を通しておいてください。

方法については，基本的には教科書第３部第３章をしっかり読むことでまとめられると思います。また，ここについても参考図書２）に基づいて独自にまとめることができると思いますし，もし，ご自身の実践等に基づいたまとめができるのであれば是非そうしていただきたいと思います。

## 参考図書


１）文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説―総則等編―』教育出版，2009年

２）文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説―自立活動編―』海文堂出版，2009年

３）筑波大学特別支援教育研究センター／前川久男編『特別支援教育における障害の理解』教育出版，2006年

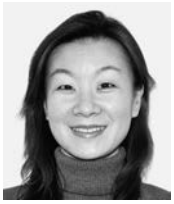
４）横田雅史・西間三馨監修　全国病弱養護学校長会編『病弱教育Ｑ＆Ａ（partⅤ）』ジアース教育新社，2003年

５）飯野順子，授業づくり研究会Ｉ＆Ｍ編著『障害の重い子どもの授業づくり』ジアース教育新社，2005年

６）世界保健機構編『ＩＣＦ国際生活機能分類―国際障害分類改訂版』中央法規出版，2002年

７）大沼直樹著『重度・重複障害児の興味の開発法―四つの感覚と四つの興味』明治図書，2002年

# 発達障害者の心理



科目コード●050733

担当教員●黄　淵熙

2単位 | R or SR | 3年以上

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択B |

2010年度より「軽度発達障害者の心理」の科目名が「発達障害者の心理」に変更されました。

## 科目の内容

この科目では，発達障害のある児童生徒の認知的特徴からくる心理的問題を理解し，それに対する対応について学習します。1単位めの課題においては，発達障害の定義および学習障害（LD）・注意欠陥／多動性障害（ADHD）・高機能自閉症（HFPDD）の特徴に関して理解します。2単位めの課題においては，発達障害のある児童生徒が学校や社会で直面する心理上の問題に関して理解し，適切な対応法に関して学習していきます。

## 教科書　「050734　発達障害教育総論」と同じ

上野一彦・花熊暁編『軽度発達障害の教育――LD・ADHD・高機能PDD等への特別支援』日本文化科学社，2006年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 発達障害児の特徴を障害種別（LD・ADHD・高機能PDD）に要約し，その特性上起こりうる心理的問題について述べなさい。 |
| 2単位め | 「A君は小学校3年生で，読み書きがとても苦手です。特に，漢字が苦手でどうしても覚えられなく，国語の時間にみんなの前で本を読むと笑われたりしないかすごく気になります。また，不注意なところがあって，テストではケアレスミスが多く，プリントやノートなどをなくすこともしばしばあります。家でもよく叱られているし，先生からは「できるはずなのにしない」と思われています」。<br>この事例に対して，心理的なサポートを含め，学校や家庭でどのような対応が必要であるのかを述べなさい。 |

（注）　2単位めレポート用紙の課題記載欄は，下線部のみでよい。

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年4月よりレポート課題が変更されました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できます。

## アドバイス

各課題について，テキストおよび参考文献などをよく読み，自分の言葉でまとめるようにしてください。参考図書の中の『軽度発達障害児を育てる――ママと心理臨床家の4000日』には発達障害児の事例が多数掲載されているので，それらを読んで発達障害児の特徴を具体的に描いてください。

**1単位め 解説**

教科書の第 2 章（「軽度発達障害のある子どもたちとは」）および参考図書 1）「発達障害の子どもの心がわかる本」の第 1 章を熟読し，発達障害の概念や発達障害のある児童生徒が抱える困難についてよく理解した上でレポートを作成してください。心理的問題に関してはｐ. 24～25の「擬似体験」をし，その感想を踏まえてまとめてください。

**2単位め 解説**

事例の心理的困難について自分の考えを述べ，参考図書 1）の『発達障害の子どもの心がわかる本』の第 4 章および教科書の指導編を参考にして適切な対応について考察してください。

## 参考図書


1）主婦の友編 『発達障害の子どもの心がわかる本』主婦の友社，2010年

2）齋藤万比古著 『発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート』学習研究社，2009年

3）五十嵐一枝著 『軽度発達障害児を育てる――ママと心理臨床家の4000日』北大路書房，2010年

# 発達障害教育総論

科目コード●050734

担当教員●後藤　紗織

2単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉 資格/選択

14〜18年度入学者

19年度以降入学者

2010年度より「軽度発達障害教育総論」の科目名が「発達障害教育総論」に変更されました。

## 科目の内容

発達障害の定義について学び，その特性から生じる問題を理解します。また，その問題に対応するための教育的支援を学習してください。1単位めの課題では，発達障害の定義，および学習障害（LD）・注意欠陥多動性障害（ADHD）・高機能自閉症（HFPDD）の特徴と問題点を理解してください。2単位めでは，発達障害児に対してどのような教育的支援・配慮が考えられるのかを学習してください。

## 教科書 「050733　発達障害者の心理」と同じ

上野一彦・花熊暁編『軽度発達障害の教育――LD・ADHD・高機能PDD等への特別支援』日本文化科学社，2006年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | LD・ADHD・高機能自閉症の定義をまとめなさい。また，早期発見につながるような，それぞれの障害における乳幼児期の発達の特徴を述べなさい。 |
| 2単位め | LD・ADHD・高機能自閉症のいずれかを選び，学校生活で生じると考えられる問題を述べなさい。また，その問題についての支援策や指導内容をまとめなさい。 |

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年4月より，レポート課題が変更になりました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月までは提出できます。

## アドバイス

教科書や参考図書，関連すると思われる文献を探し，よく読んで理解したうえで書くよ

うにしてください。本の丸写しにならないように，自分の中で消化してからまとめてください。

発達障害のお子さんや特別支援教育に関することは，新聞または例えばテレビのドキュメンタリー番組でも度々取り上げられています。日頃から注意を向けて関心を深めていくと，レポートも書きやすいのではないかと思います。

**1単位め 解説**　教科書の第二章などを読んで，障害の定義をまとめてください。その内容を理解した上で，参考図書をよく読んで，それぞれの乳幼児期の発達の特徴をまとめてください。発達障害にはそれぞれ，乳幼児期に特徴的な発達の遅れがみられます。（例えば，自閉症の乳児は親への後追いをしない，など）それを理解するには健常児の発達段階もふまえながら，比較して考えてみると理解しやすいと思います。

**2単位め 解説**　LD・ADHD・高機能自閉症のいずれかを選び，子どもがその特性のために学校生活で生じやすいであろう問題を具体的に考え，述べてください。（例えば，ADHDなので授業中に集中しづらく学習が遅れる，など）また，その特性の子どもがどうしたらその問題を克服できるのか，支援者としてどのような指導や配慮が必要であるのかをまとめてください。

## 参考図書

上野一彦・海津亜希子・服部美佳子編『軽度発達障害の心理アセスメント――WISC-Ⅲの上手な利用と事例』日本文化化学社，2005年

横山浩之著『AD/HD，LD，高機能自閉症　軽度発達障害の臨床』診断と治療社，2005年

小枝達也編著『ADHD，LD，HFPDD，軽度MR児　保健指導マニュアル』診断と治療社，2002年

# 自閉症教育総論

科目コード●050735

担 当 教 員●阿部　芳久

2単位 | R | 3年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

わが国で，自閉性障害のある児童生徒に学校教育が行われてから約30年の年月が経過している。彼らの障害の程度に応じて，通常学級や特別支援学級，あるいは特別支援学校で多様な教育が行われてきた。しかし，未だなお，彼らに効果的であると実証された指導方法は確立されていない。そのことは自閉性障害のある児童生徒の教育がいかに困難であることを物語っている。

本科目では，自閉性障害のある児童生徒を対象とする，社会的自立を目指し，発達をうながす指導内容として，どのような内容を設定したらよいかを考える。

## 教 科 書

阿部芳久著 『知的障害を伴う自閉児の特別支援教育』　日本文化科学社，2010年

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年４月より教科書，レポート課題が変更されました。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | テキストに掲載されている事例を参考にして，自閉児に対して行われる，対人的相互反応のさまざまな課題（例 「一緒にいて楽しいという情動共有の遊び・活動」，「やりとりによる対人的相互反応を高める遊び・活動」等）の指導例を作成してみよう。「①遊び・活動の指導例」，「②その遊び・活動によって学習される意欲・態度」の２つ項目を立てて整理してください。作成する課題は一つだけでなく，レポート用紙の枚数制限内で複数でも結構です。 |

| | |
|---|---|
| 2 単位め | 学校生活や家庭生活の場面において，毎日繰り返される活動を利用して，自閉児に対してコミュニケーションの機能を高める指導の指導例を作成してください。「①指導例」，「②その指導によって学習される意欲・態度」の 2 つ項目を立てて整理してください。作成する課題は一つだけでなく，レポート用紙の枚数制限内で複数でも結構です。 |

（注）レポート用紙の課題記載欄は下線部のみでよい。

**（平成22年度以前履修登録者）** 2011年 4 月よりレポート課題が変更されました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年 9 月までは提出できます。

## アドバイス

**1単位め 解説**

テキストの55ページから95ページを熟読してください。学校生活において，教師と児童，および児童間の関わりのある活動から「対人的相互反応の機能を高める課題」に発展する可能性のある遊びや活動がないか探ってみましょう。その遊びや活動をベースにして「対人的相互反応の機能を高める課題」を作成してみましょう。

「②その遊び・活動によって学習される意欲・態度」についてはテキストに掲載されている「期待される指導効果」に示されている内容を参考にしてください。

**2単位め 解説**

テキストの96ページから159ページを熟読してください。そこに示されている指導例を参考にしてください。まず，指導に利用できる生活場面を探ってみましょう。その後，活動の流れにおいて，どのような言葉を習得させたいかを考えてみます。「指導例」には指導場面，習得させたい言葉，働きかけを明示してください。

「②その指導によって学習される意欲・態度」についてはテキストに掲載されている「期待される指導効果」に示されている内容を参考にしてください。

以上の 2 つの課題について，なかなか，指導場面が思いつかない方は，下記の参考図書およびその他の著書に掲載されている「対人的相互反応の機能を高める事例」「コミュニケーション指導の事例」参考にしてそれを整理してレポートにしてもかまいません。

## 参考図書

月刊雑誌『実践障害児教育』学習研究社
月刊雑誌『特別支援教育研究』東洋館出版社

# コミュニケーション障害教育

科目コード●050736

担 当 教 員●庭野賀津子

2単位 | R | 3年以上

社会福祉
資格/選択

14〜18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

コミュニケーション障害をともなう障害は多岐にわたります。その中で，当科目においては自閉症，知的障害，特異的言語発達障害，脳性まひ・重症心身障害，難聴，構音障害，学習障害，それぞれの障害の理解と適切な対応の仕方，そしてコミュニケーション力を促進する指導方法について学びます。また，聴覚障害について，心理，生理・病理，指導法，教育課程について学びます。

特別支援教育において，コミュニケーション障害を抱える障害児・者が，コミュニケーション障害を克服あるいは改善して，生活の質を高められるような支援を展開するにはどうしたらよいのか，自分で考えて実践する力を養ってほしいと思います。

## 教 科 書

1）西村辨作編『ことばの障害入門』大修館書店，2001年

2）中野善達・根本匡文編著『聴覚障害教育の基本と実際（改訂版）』田研出版，2008年

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年4月より上記教科書に変更されています。

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 教科書「ことばの障害入門」の全体を読んだ上で，次の課題1・2の両方について解答してください。<br>**課題1**　第6章を熟読して，「脳性まひ・重症心身障害」におけるコミュニケーション障害の特徴をまとめてください。<br>**課題2**　第9章を熟読して，「学習障害」における言語の問題をまとめてください。 |

| | |
|---|---|
| 2 単位め | 教科書「聴覚障害教育の基本と実際」の全体を読んだ上で，次の課題1・2の両方について解答してください。<br>**課題1**　第2章を熟読して，「聴覚障害と言語コミュニケーション」「言語指導の方法」「手話と日本語」「コミュニケーション手段」についてまとめてください。<br>**課題2**　第5章を熟読して，特別支援学校（聴覚障害）＊の幼稚部，小学部，中学部，高等部・専攻科それぞれにおける教育の内容と方法について，まとめてください。<br>＊教科書には「聾学校」と表記されてあります。 |

**（平成20年度以前履修登録者）**2009年4月よりレポート課題が変更されています。必ず今年度の課題で解答してください。

## アドバイス

レポート課題の該当箇所だけではなく，必ず教科書全体を読んでください。各章は他の章と相互に関連していますし，科目修了試験においては他の章も出題範囲となります。また，必要に応じて参考図書も読むことをお勧めします。参考図書1）は教科書1）と類似した内容となっており，両方を併せて読むことにより，より理解が深まることと思います。障害児へコミュニケーションの指導にあたる際には，まず，健常児のコミュニケーション発達についてよく理解しておく必要があります。そのためには，参考図書2）が参考となります。具体的にコミュニケーション障害を評価したり，指導法を考えたりする際には参考図書3）が参考となるでしょう。さらに，言語発達やコミュニケーション障害に関する他の文献を各自探して読んでみることを勧めます。脳科学や神経心理学・認知心理学の視点から言語発達や障害について書かれてある文献も興味深いと思います。また，言語獲得段階にある乳幼児や，コミュニケーション障害のある障害児・者と接する機会のある人は，ぜひ積極的にかかわってください。きっと多くのことを学び，感じることでしょう。

なお，レポートを作成するにあたり，指定の教科書や参考図書以外にも参考にした文献がある場合は，レポートの最後にその文献の書名，著者名，出版社，出版年を忘れずに書いてください（指定の教科書や参考図書から引用・要約した場合はそちらも記載してください)。教科書やその他の文献の文章をそのままレポートに転記することは避け，自分のことばを用い，自分なりの表現に直して書いてください。やむを得ず原文のまま引用する際には，引用箇所をかぎ括弧で括るとともに，その直後に括弧で著者名や引用文献を明記して，必ずその箇所が引用文であることがわかるようにしてください。

1単位め
解説

**課題 1　「脳性まひ・重症心身障害」**

脳性まひ児の言語発達阻害要因にはどのようなものがあるか，また，言語発達障害の諸症状にはどのようなものがあるかまとめてみましょう。また，摂食機能と口腔運動機能の関連についても，まとめてください。

**課題 2　「学習障害」**

学習障害の概念をまとめた上で，学習障害児の言語の問題を整理してみましょう。

また，課題には取り上げていませんが，次の各障害についても，以下のポイントを押さえて，よく理解しておいてください。

⑴　知的障害

知的障害児は言語の発達が遅れる傾向にあります。知的障害により，言語発達の基盤となる認知発達，特に象徴機能の発達が遅れるためと考えられます。また，言語発達の遅れは語彙の問題だけではなく，構音や統語の問題としても現れます。

⑵　自閉症

自閉症は，ことばの発達に遅れがあるだけではなく，獲得した言語をコミュニケーション手段として有効に活用できない，他者の心の理解が困難である，という質的な障害をもっています。また，言語コミュニケーションだけではなく非言語コミュニケーションにおいても，表出が少ない，理解ができないなどの問題があります。ですから，自閉症のコミュニケーション障害は表出される音声言語の問題だけではない点を理解してください。

⑶　難聴

難聴児がことばを獲得する際，どのような問題が生じるのか，また，難聴児のことばの獲得を促進する際にはどのような点に気をつけたらよいのかを考えながらまとめておきましょう。コミュニケーションの発達を促す上で，乳幼児期に難聴を早期発見し，早期指導することは重要なことです。また，難聴の程度が重度である場合には，聴覚活用と口話法だけではなく，手話も重要なコミュニケーション手段として使用する必要があります。

⑷　構音障害

構音障害には，機能性構音障害，器質性構音障害，運動性構音障害があります。それぞれの構音障害の特徴についてまとめておきましょう。

2単位め
解説

**課題１　次のポイントをふまえてレポートをまとめましょう。**

⑴「聴覚障害と言語コミュニケーション」

まず，聴覚機構と障害について理解してください。そして，聴覚障害児の言葉の獲得にはどのような特徴があるかまとめてください。

⑵「言語指導の方法」

構成法的アプローチと自然法的アプローチの違いと，それぞれの特徴についてまとめてください。

⑶「手話と日本語」

手話には，日本語対応手話，日本手話，中間型手話の 3 種類があります。それぞれの特徴，および指文字についてまとめてください。

⑷「コミュニケーション手段」

聴覚障害教育におけるコミュニケーション指導の方法として，聴覚口話法，トータルコミュニケーション，二言語二文化教育があります。それぞれの特徴についてまとめてください。また，自立活動や教科指導における言語指導についてもまとめてください。

**課題 2**

特別支援学校（聴覚障害）の各学部における教育では，それぞれ発達段階や障害の特性に応じた工夫が施されています。その特徴の要点を整理してまとめてください。

## 参考図書


1）笹沼澄子監修『子どものコミュニケーション障害』大修館書店，1998年

2）秦野悦子編『ことばの発達入門』大修館書店，2001年

3）大石敬子編『ことばの障害の評価と指導』大修館書店，2001年


2009年 3 月告示の「特別支援学校　学習指導要領」「特別支援学校　学習指導要領 解説」（文部科学省ホームページなど）も参照してください。

# 視覚障害教育総論

科目コード●050737

担 当 教 員●猪平　眞理

**2** 単位 | **R** | **2** 年以上

社会福祉
資格/選択

14〜18年度入学者

19年度以降入学者

## 科目の内容

人間の最も効率のよい情報収集感覚である視覚に障害があると，人は行動の制限や視覚的情報および模倣に不足を生じ，生活や学習に多くの支障を受けることになります。

ここではまず，視覚機能と眼疾患について学び，視覚障害教育の現状と明治期以降の制度的変遷を考えます。盲児には点字の使用を，弱視児には文字の拡大などの手段を講じる視覚障害児の学習には，各教科の学習において触覚や聴覚を活用するさまざまな工夫と指導法や種々の教材教具があり，こうした具体的な方法から視覚障害教育の理解を深めます。

また，視覚障害が発達に及ぼす特性と早期支援の方法や知的障害などとの重複障害児の教育法についても学んでいきます。

## 教 科 書

香川邦生編著　共同執筆　猪平眞理・大内進・牟田口辰巳『四訂版　視覚障害教育に携わる方のために』慶應義塾大学出版会，2010年

**（平成22年度以前履修登録者）**2011年４月より教科書が改訂されました。以前の「三訂版」教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能です。参照する章も同じです。

## レポート課題 【説明型レポート】

| | |
|---|---|
| 1 単位め | 下記の用語について，１つ150字以上300字以内で簡潔に解説してください。<br>①視覚障害と盲児，弱視児の区分　②弱視児のための視力検査<br>③京都盲唖院と楽善会訓盲院　④盲学校及聾唖学校令と盲学校の義務制<br>⑤拡大教科書　⑥視覚特別支援学校における職業教育<br>⑦視覚特別支援学校のセンター的機能 |

| | |
|---|---|
| 2 単位め | 下記について各300字以上500字以内で簡潔に解説してください。<br>①視覚障害児の乳幼児期における支援の配慮事項について<br>②点字の特質と学習上の配慮点について<br>③弱視児に対する学習指導の配慮について<br>④視覚障害のある児童生徒に対する自立活動の指導について |

**（平成24年度以前履修登録者）**2012年 8 月よりレポート課題が一部修正されました。以前の課題も2014年 3 月までは提出が可能ですが，できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

## アドバイス

教科書『四訂版　視覚障害教育に携わる方のために』の第 1 章〜第 9 章を熟読し，参考図書にもあたりながら課題に取り組んでください。

対象となる視覚障害者は他の障害種別に比べると少数ですが，視覚障害教育は130年を遡る歴史があり，各教科の指導法や教材教具，乳幼児支援，職業教育などの各分野に明確な専門性が存在します。種別の異なる障害教育とも比較してみると理解を深めることができます。また，視覚障害教育の視覚を補うさまざまな工夫や多様な手段は障害の有無にかかわらず教育指導を豊かにすることのできる手法ともなることに気づいて欲しいと思います。

**1単位め 解説**　教科書の第 1 章〜第 4 章，および第 7 章，第 9 章をよく読み，視覚障害の概要や視機能，視覚障害教育の変遷と制度，視覚障害者の職業を理解して参考図書や文部科学省の特別支援教育に関する資料等も参照しながら用語の解説をしてください。

**2単位め 解説**　教科書の第 5 章「教育課程と指導法」，第 6 章「自立活動の基本と指導」，第 7 章「視覚障害児のための教材・教具」，第 8 章「乳幼児期における支援」をよく読み，実際の視覚障害教育における具体的な方法や配慮事項について理解を深めて欲しいと思います。その上で 4 つの課題について説明してください。

## 参考図書

1）香川邦生・千田耕基編著『小・中学校における視力の弱い子どもの学習支援』教育出版, 2009年
2）鳥山由子編著『視覚障害指導法の理論と実際』ジアース教育新社, 2007年

# 障害者教育実習の事前・事後指導

科目コード●050740

担当教員●荒川　圭介・庭野賀津子
阿部　芳久

| 1 単位 | SR | 3 年以上 |
|---|---|---|

社会福祉 資格

## 科目の内容

特別支援学校における教育実習は，特別支援学校教諭免許状取得のための学習の一部です。しかし，別の面からすれば，これまで大学において履修してきた障害者教育に関する理論や技術等を，実際の場で，生かし，確かめ，深める機会です。

学生の身分としての実習ではありますが，現実には特別支援学校の一教員と同様の勤務を行うものであり，教育者としての責任ある言動をもって，実習に臨まなければなりません。

実習にあたっては，現場で戸惑うことのないように，事前に，障害者への接し方や学習指導案の作成のしかた等の最小限の必要事項を学び，確認しておく必要があります。また，終了後は，実習の成果を，“理論と実践”の統合の視点からまとめる必要があります。

## 教科書

事前指導スクーリング申込者に配付の『障害者教育実習の手引き』（東北福祉大学）

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | **事前指導スクーリング受講後の課題**<br>『障害者教育実習の手引き・改訂』７月受講者＝第31版ｐ. 226～229，３月受講者＝第30版ｐ. 221～224（第31版ｐ. 222～225）の作成資料に基づき，指導案を作成しなさい。 |
| 2 単位め | **事後指導の課題＝実習終了後２週間以内に提出**<br>本冊子ｐ. 246～247に従い，実習報告レポートをまとめなさい。 |

## アドバイス

1単位め 解説

７月受講者＝第31版ｐ.226～229（学習指導案作成問題資料２・単元・七夕集会をしよう），３月受講者＝第30版ｐ.221～224（第31版ｐ.222～225）（学習指導案作成問題資料１・単元・お金の使い方）について，課題をよく読み，ス

クーリング時の講義と合わせて，自分なりの指導案を作成してください。

実習校で，「研究授業」実施にあたってはさらに指導案を作成することになると思いますが，実際に授業を行うつもりになって作成してください。

**提出締切**　スクーリング終了約 2 週間後の指定された期日（詳しくはスクーリング時にご案内します。）

・Ａ 4 判の用紙使用　横書き　パソコン打ち出し可。下部にページ数をつける。オレンジの表紙に貼り付けて提出（貼り付け方は『レポート課題集（社会福祉編）』p. 16参照）。手書きの場合，Ａ 4 判（縦長・横書き）の原稿用紙使用。

・万一レポートが再提出になったら，評価指導票の裏面に，再提出になった評価指導票を貼付してください。

・事前指導スクーリング受講者は，スクーリング受講時に話された注意点と「手引き」記載の注意点をふまえて作成してください。

・事前指導スクーリング免除者は，「手引き」記載の注意点をふまえて作成してください。

2単位め
**解説**

・下記の内容にそって，実習終了後に実習報告レポートを作成してください。

**1　実習校名（障害種別）**

**2　実習校の概要**

・規模（小，中，高，訪問等）

・立地条件（田園地帯，住宅街，林の中等）
（交通の利便性，公共交通機関バス停から○分等）
（通学制，寄宿者制等）

**3　実習の概要**

・担当学級（学年，人数，単一障害か重複障害か，障害の程度等）

・講義，参観授業の内容等

・主担当としての指導回数（指導形態，時数等）

**4　研究授業**

・指導形態

・題材，目標，内容，方法（工夫したこと，自作教材等）

・授業検討会で指導を受けたこと，褒められたこと等

**5　感想**

・心に残ったこと

※研究授業の指導案（コピー）も合わせて提出してください。
※実習報告レポートは，**実習終了後 2 週間以内**に，大学へ郵送してください。
※レポートはＡ 4 判用紙にまとめてください（ワープロ・パソコン可　枚数自由）。オレンジ色表紙に貼り付けて提出してください（貼り付け方『レポート課題集（社会福祉編）』 p. 16参照）。

## 事前指導スクーリング

「事前指導スクーリング」は，仙台で開講します。『With』巻末のハガキを使用して，お申込みください。詳しくは『試験・スクーリング情報ブック』をご覧ください。

| 事前指導スクーリング申込締切 | 事前指導スクーリング開講日<br>開講時間<br>1 日め　11：00〜18：20<br>2 日め　9 ：00〜15：40 | 4 科目の試験受験・スクーリング受講期限 | 実習開始時期 |
|---|---|---|---|
| 6 月末ごろ | 毎年 7 月下旬（または 8 月上旬）の土・日 | 8 月上旬 | 10月以降 |
| 2 月末ごろ | 毎年 3 月下旬の土・日 | 3 月末 | 5 月以降 |

平成24年度以降も 3 月末と 8 月に開講を予定しています。

なお，事前指導スクーリングの申込みにあたっては，受講条件が課せられています。下記をご覧ください。また，毎年 3 月末のスクーリングは 3 月卒業者や 4 月に学籍番号が変わるような学籍異動を行う方は受講できません（正科生ー科目等履修生の変更など）。

## 事前指導スクーリング・受講条件

「事前指導スクーリング」申込締切日までに，下記の条件を満たすことが必要です。

⑴　本冊子 p. 251〜252「障害者教育実習内諾依頼状の発行条件」⑴〜⑵の受講条件を満たしていること。

⑵　基礎となる幼・小・中・高いずれかの教職免許状を所持しているか，基礎免許状取得のための「教育実習」を終了していること。

⑶　特別支援学校教諭一種免許状の科目の中から，**「障害者教育総論」「知的障害教育」および実習に行く特別支援学校が主たる対象とする領域の教育の科目**（例えば，肢体不自由者を主たる対象とする特別支援学校で実習を希望する場合は「肢体不自由教育」）**を含む 6 科目のレポートを提出**していること。また，**上記 6 科目中 4 科目は，単位修得済み**，ないし単位修得が見込める状態であること。

（注）**「障害児教育実習の事前・事後指導」を受講する旧法履修者**は，①「障害児教育

Ⅰ」，②「障害児教育Ⅱ」，③「障害児の指導法」，④「障害児の心理」または「障害児の生理・病理」の４科目のレポートを提出し，単位修得済み，ないし単位修得が見込める状態であること。

※単位修得が見込める状態には，以下のものを含みます（p. 247表の「４科目の試験受験・スクーリング受講期限」も参照してください）。

・７月下旬受講者：７月（７月にない場合は８月上旬）の科目修了試験受験予定・８月上旬までのスクーリング受講予定（ただし科目修了試験受験予定とは，事前指導スクーリングの申込締切日までに，７月科目修了試験申込ハガキが本学に届いていること）

・３月下旬受講者：２月の科目修了試験受験予定・３月下旬までのスクーリング受講予定

⑷「麻疹（はしか）の抗体を有する旨の医師の文言が入っている証明書」のコピー１部を本学に提出済みであること（p. 256～257を参照）。

なおp. 252 ⑸のとおり，実習内諾依頼状の発行条件は，特別支援教育に関する科目のうち任意の４科目（旧法履修者は①「障害児教育Ⅰ」，②「障害児教育Ⅱ」，③「障害児の指導法」の３科目）の単位を修得した後でないと発行できませんので，早めにこれらの単位を修得するようにしてください。

## 事前指導スクーリング免除について（新法履修者のみ対象）

特別支援学校の教員として３カ月以上良好な成績で勤務した方を対象に事前指導スクーリングの受講を免除します。

※特別支援学校において，細案による指導案を作成した経験のない方は，事前指導スクーリングの免除はできません。

※「視覚障害者に関する教育の領域」の課程認定を受けていないため，盲学校（視覚障害者を主たる対象とする特別支援学校）でのみの勤務は対象外です。

※「特別支援学級の教員」や「特別支援教育支援員」「寄宿舎指導員」などの方は対象外です。

スクーリング受講免除希望の方は，本冊子巻末の「事前指導スクーリング受講免除　希望届」を提出し，①実務に関する証明書（校長印必要）と②スクーリング免除のためのレポートの提出により，大学でスクーリング受講免除の可否を判定します。

| 事前指導<br>スクーリング<br>受講免除希望届<br>提出期限 | スクーリング免<br>除申請書類（証<br>明書･レポート）<br>提出期限 | 事前指導<br>スクーリング<br>受講申込締切 | 免除を希望する<br>事前指導<br>スクーリング | 実習開始時期 |
|---|---|---|---|---|
| 5 ／25 | 6 月中旬 | 6 月末ごろ | 7 月下旬<br>（or 8 月上旬） | 10月以降 |
| 12／15 | 2 月中旬 | 2 月末ごろ | 3 月下旬 | 5 月以降 |

※事前指導スクーリングの受講が免除になるだけで，「障害者教育実習の事前・事後指導」の履修登録，p. 245〜247記載の事前・事後レポートの提出，単位修得や「障害者教育実習」の履修登録・受講・単位修得は必要です。

**※事前指導スクーリングの受講が免除になっても，事前指導スクーリング申込締切日までに，「事前指導スクーリング・受講条件」（p. 247〜248参照）をクリアする必要があります。**

なお，教員との対面授業による最新の知識・技能の習得，さまざまな領域の特別支援学校における教育方法や児童・生徒理解，教育実習に向けての意識高揚の観点からスクーリングの受講を推奨いたします。

## 実習許可までの流れ

※事前指導スクーリング受講免除対象者　：1 ➔ 2 ➔ 3 ➔ 6 ➔ 7 ➔ 8　の順
※事前指導スクーリング受講者　：3 ➔ 4 ➔ 5 ➔ 6 ➔ 7 ➔ 8　の順

1　事前指導スクーリング受講免除希望届の提出

本冊子巻末「事前指導スクーリング受講免除　希望届」を提出。その後，必要書類が届きます。

↓

2　スクーリング受講免除申請の書類を提出

①実務に関する証明書（校長印必要）と②スクーリング免除のためのレポートを該当する期限（p. 249）までに提出。本学到着後，2 週間程度で免除の可否について結果送付します。

↓

**3　事前指導スクーリング受講条件の達成**

事前指導スクーリングの申込締切日までに事前指導スクーリングの受講条件（p. 247〜248）を満たし，かつ，「はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入っている証明書」のコピー 1 部を本学に提出してください。

↓

**4　事前指導スクーリングの申込み**

『With』巻末のハガキで，締切までに必着で申込んでいただきます。

↓

**5　事前指導スクーリングの受講**

↓

**6　受講後のレポート提出・合格**

「障害者教育実習の事前・事後指導」 1 単位めレポートを該当する期限までに提出。

↓

**7　実習のための必要書類の提出**

実習開始約 2 カ月前までに，⑴「個人調査票」のコピー，⑵誓約書，⑶健康診断書を本学に提出。

↓

**8　実習許可**

大学より学生に実習許可通知を発送します。同時に，実習校へは大学より正式依頼状を発送します。

※正式依頼状は実習開始約 1 カ月前をめどにお送りする予定です。

なお，上記の流れとは別に実習校に受け入れの内諾を得るための手続きが必要となります。詳しくはp. 251〜254をご覧ください。

# 障害者教育実習

科目コード●050906

担当教員●荒川　圭介・庭野賀津子
阿部　芳久

2単位 | 実習科目 | 3年以上

社会福祉
資　格

## 科目の内容

障害者教育実習は，これまで学んできた理論や方法を，特別支援学校という実際の場で活用し，より理解を深め，教師としての素地を養うものです。

特別支援学校での実習は，基本的には，中学校や高等学校での実習と変わりませんが，特別支援学校教諭免許取得の場合，さらに必修としているのは，それぞれの学校における教育対象や教育方法が，普通教育と著しい差異を有するからです。

特別支援学校は，名称は一つですが，知的障害者，肢体不自由者，病弱者（身体虚弱者を含む），聴覚障害者，視覚障害者を教育対象にしており，しかも，障害の程度は重く，病状はまことに多種多様です。したがって，障害者教育実習も，教育対象によって極めて複雑な色彩をおびます。

実習者は，こうした特別支援学校の複雑な性格をよくわきまえて，障害者教育実習という同一の呼び名であっても，自分の行くべき学校の教育対象や実態と，対象児に関する一般的知識を学習した上で臨む必要があります。

特別支援学校の現場にとっては，単なる単位取得のための実習は迷惑であって，将来，特別支援学校教員としてやる気十分な学生を歓迎しており，そのためにも，児童生徒，実習校に対し理解を深め，少しでも役立つことを念頭において臨むことが必要です。

## 教科書

事前指導スクーリング申込み者に配付の『障害者教育実習の手引き・改訂第30版（または31版）』（東北福祉大学）

## 障害者教育実習内諾依頼状の発行条件

**下記の条件を満たした方は，本冊子巻末の「障害者教育実習　登録カード（新法）」（旧法履修者は学習計画案を別紙で提出）に必要事項を記入して**，通信教育部あてに送付してください。条件を満たしたことを確認した後，「障害者教育実習内諾依頼状」（東北福祉大学から実習校へ依頼する内容のもの）を学生あてにお送りいたします。

⑴　卒業後（将来），教員として就職する意思が明確な方

⑵　健康で通常の業務に耐え，伝染性疾患のない方

※文部科学省の指導により，はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書が必要です（ｐ. 256〜257参照）。

⑶　免許状の取得にあたって本学通信教育部を卒業する方は，受講する前年度末（３月末または９月末）または登録カード送付時の時点のいずれか遅い方で，卒業見込であること（１年次入学者は90単位，２年次編入学者は60単位，３年次編入学者は28単位修得済みであること）。

⑷　依頼状発行時点で，幼・小・中・高いずれかの教職免許状を所持していること。ただし，本学で高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得する場合は，「教育実習」を受講しているか，実習の日時が確定していること。他大学で基礎となる免許状の実習を受講する場合は，「教育実習」を受講済み（単位修得済み）であること。なお，平成19年４月以降の入学者より，ご入学時点で四年制大学を既卒の方を除き，他大学在学中の実習受講はできません。

⑸　本学通信教育部で特別支援教育に関する科目のうち任意の４科目の単位を修得していること。

⑹　（平成23年度以降入学者より）「障害者教育実習」の受講は入学時四年制大学既卒でない方は４年次となります。

⑺　本学を卒業せず特別支援学校教諭二種免許状取得希望の方は教育委員会にて履修指導を受けてください。

　なお，本学にて教育実習を行うためには内諾依頼状発行前に別途提出していただく所定の書類があります。短期大学卒業者の方で該当する方は書面（メール・ＦＡＸ・郵送・窓口）にてお申し出ください。その場合でも教育実習は４年次となります。

（注）**「障害児教育実習」を受講する旧法履修者**の場合は，本学通信教育部で①「障害児教育Ⅰ」，②「障害児教育Ⅱ」，③「障害児の指導法」の３科目の単位を修得していること。

※３年生の方で現時点で上記の条件を満たしていない場合は，できるだけ早く⑸に記載の科目の単位修得，ならびに本学卒業が必要な方は卒業見込の条件を満たすように努力してください。早めに単位を修得すれば，早めに実習校に依頼をすることができます。

※ご自身の責任において，大学からの依頼状入手前に実習を希望する特別支援学校への依頼や情報収集を始めていただいても結構です。

※教育実習の適切な受け入れと円滑な実施を目的として，大学が必要と考える学生の方々の個人情報（成績や疾病・障がいの状況・履修カルテに記載された内容を含む）を実習校に開示することがあります。

## 実習校への依頼方法

上記の「障害者教育実習内諾依頼状」を持って，お住まいの近くまたはその他ご都合のよい特別支援学校に各自で依頼していただくことになります。実習を希望する特別支援学校の種別（知的障害・肢体不自由・病弱・聴覚障害）や幼・小・中・高等部のいずれを有する学校かは確認したうえで依頼を行ってください。

盲学校での実習は十分な指導ができませんのでみとめておりません。課程認定を受けていないため，独自の受け入れ体制をとっている地域や事前（実習前年度まで）に教育委員会への申請が必要な地域もありますので，実習希望校または各教育委員会へ早めに確認を行ってください。**以下の地域で次年度に実習を希望する場合は，実習前年度７月ごろまでに通信教育部教職免許係あてに①問い合せ先教育委員会名，②実習希望時期，③実習希望校の候補などを書面でお申し出ください。** 3 年次編入学者や科目等履修生は，入学後すぐに確認を行い，前年度の実習受け入れ申請が必要な地域の方は早急に申し出てください（各申請先への申請期間に間に合わない場合は，次年度の実習はできません）。

**＜前年度の実習受け入れ申請が必要な地域＞**

| | |
|---|---|
| 伊勢崎・川西・神戸・北九州市立の学校<br>北海道・東京都・広島県立の学校 | 実習申込みは教育委員会で受付け，実習校を指定される。 |

※これ以外にも独自の受け入れ体制をとっている地域・学校があると思われますので，各自で確認してください。

## 実習校訪問の手順と諸注意

くわしくは実習登録者にお送りする「実習希望校への打診と訪問について」を参照してください（独自の受け入れ体制の地域を除く）。

1. 実習希望校に受け入れについて問い合わせてください。
   最初は電話での問い合わせになりますが，言葉遣いに注意し，失礼のないようにしてください。
2. 受け入れ可能なようであれば，訪問したい旨を伝え，学校の都合を伺います。
3. 学校から訪問してもよい日時が指定されたら必ず訪問してください。
4. 初めて希望校の先生方にお会いしますので，服装・態度・言葉遣いに注意し，明朗快活に応答してください。
5. 訪問の際，大学からの書類（実習依頼状・実習内諾書・実習生個人調査票・返信用封筒）を持参し，希望校へ提出して内諾書をもらうことになります。または郵送してもらいます。

お近くの特別支援学校が不明な場合は，「○○県　特別支援学校　一覧」などというキーワードでホームページを検索し，実習先の候補をさがしてください。

## 障害者教育実習受講条件

障害者教育実習受講のためには，以下の条件を満たしていることが必要です。原則として，実習受講の約 2 カ月前までに大学へ必要書類を提出してください。受講条件が整いましたら，実習校へ正式依頼状をお送りいたします。

※実習校への正式依頼状は実習開始約 1 カ月前をめどにお送りする予定です。

⑴ 「障害者教育実習内諾依頼状」の発行条件⑴〜⑸を満たしていること。

⑵ 「障害者教育実習の事前・事後指導」スクーリングを受講済みであり，スクーリング受講後 3 週間以内に「指導案」を提出し合格していること。

⑶ 「実習生個人調査票」（「障害者教育実習内諾依頼状」とともに配付）のコピー，ならびに「健康診断書」「誓約書」（事前指導スクーリング受講者に配付）「はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書」のコピーが大学あてに提出されていること。いずれの書類も必要事項を記入すること。

※なお，本学で「障害者教育実習」を受講するためには，本学で実習前に実習科目の受講条件となる科目を実習科目も含めて18単位以上の履修登録（事前指導受講条件のクリアも含む）を行う必要があります。認定単位や受講不要な科目のある方は，ご注意ください。

## 実習校・期間

特別支援学校で連続 2 週間（10日間）行います。祝日が入るなどの場合 9 日間までは可です。いかなる理由があっても 8 日間以下は不可となります。実習校の指示により実習 3 週間の場合もありますが，実習校の指示に従ってください。

実習校は「特別支援学校」に限ります。―特別支援学校以外の「特別支援学級」「通級指導教室」での実習は認められません。勤務校実習は認めておりません。

⑴知的障害，⑵肢体不自由，⑶病弱，⑷聴覚障害のいずれを主たる対象にしている特別支援学校なのかによって，実習内容も変化してきますので，実習校選択の際にはご留意ください。

特別支援学校の幼・小・中・高等部のいずれに配属されるかはわからず，教科もすべての教育活動にわたって担当することが多くなることを十分承知しておいてください。

※本学で高等学校福祉科免許状と同時に特別支援学校免許状取得を希望する方の実習は「教育実習」後となります。ある年度に「教育実習」を受講する方は，原則として次年度の「障害者教育実習」受講となります。ただし，同一年度中に両免許状取得，および卒業

のためのすべての学習を終えられる方は，特例で同一年度（９～２月）に「障害者教育実習」を受講することもできます。

## 実 習 費

「障害者（児）教育実習の事前・事後指導」のスクーリング受講前後に納入していただきます。一旦納入した実習費（30,000円）は卒業・修了・退学するまで有効です。

実習費のなかには，実習校への委託費，実習保険加入費用が含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも，その金額を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

## 実習取消

実習登録後は取消をしないようにしてください。特に実習校より内諾をいただいた後に取消をしますと，実習校に大変な迷惑をかけることになります。

万一，取消の事態に陥った時はすみやかに実習校および大学の通信教育部に届け出てください。この場合，実習校へは直接参上しておわびしていただきます。

## 実 習 後

実習後，実習校へ御礼状を送付するとともに事後レポートを提出する必要があります。

事後指導のスクーリングはありません。

## 単位認定通知

「障害者教育実習の事前・事後指導」「障害者教育実習」は，①事前指導スクーリングとその後の実習事前レポート，②実習，③実習日誌・実習事後レポート（本冊子ｐ.245～247参照）の評価を総合して行います。単位認定通知は，事後レポート提出，および実習校からの実習日誌返却，いずれか遅いほうから１カ月程度で書面で通知します。実習校から実習日誌が返却されない場合は単位認定ができないので，事後レポート提出後，２カ月以上経過しても結果が届かない場合は，通信教育部教職免許係までご連絡ください。

## 「特別支援学校教諭免許状」授与の申請

・免許状は，各自で都道府県教育委員会に申請していただきます。
・申請に必要な「学力に関する証明書」は，免許申請に必要な単位がすべて修得できたら，『学習の手引き』11章の案内にそって，巻末の「様式８」使用でお申込みください。[複数の学籍にまたがって単位を修得した場合は，その学籍の数の証明書が必要となります。（例）２つの学籍→２通の証明書]

※科目等履修生の方・本学通信教育部を卒業しない方

→→学力に関する証明書（教員免許申請用）特別支援学校　1通600円

基礎資格証明書は卒業した大学から取り寄せてください。

※本学通信教育部を卒業の方

→→学力に関する証明書（教員免許申請用）特別支援学校　1通600円

（基礎資格証明書もこの中に含まれています）

・その他の必要な書類や申請の方法について，各自で申請する都道府県にお問い合わせください（東京都・京都府など規定の用紙に単位修得証明を行う都府県もありますので，ご注意ください）。採用が決まっている場合はその都道府県へ免許申請を行うほうが望ましいようです。

・4月からの採用が決まっていないなど特別の理由がない場合は，12～3月中は個人による免許申請を受け付けない場合もありますが，各自で都道府県教育委員会に確認してください。

・別の大学を卒業している方（本学通信教育部を卒業していない方）は，「基礎資格証明書」は本学では発行できませんので，卒業した大学へ申請してください。本学では「教職免許申請用の学力に関する証明書」のみ発行します。

## 「麻疹（はしか）」の対策について

「麻疹（はしか）」に罹患した状態で実習を行うと，実習先に多大なご迷惑をおかけすることになります。

実習を行う方は全て，医療機関にて**「抗体検査」を必ず受けてください。結果が出るまでに4，5日かかりますので，早めに受診してください。抗体を有していることを証明できるよう，はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書を取得してください。そのコピー1部を実習事前指導スクーリング申込み締切日までに，遅くともスクーリング初日までに本学に提出する必要があります。**

「麻疹（はしか）」の抗体がないと判断された場合は，医療機関と相談の上，予防接種（ワクチン接種）を受ける等の対策を行ってください。その後，再度抗体検査を受けてください。予防接種を受けたという証明書ではなく，その結果，抗体を有しているという証明書が必要となります。ご留意ください。

**「はしか」の抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書のコピーの送付方法**

1）事前指導スクーリング申込みハガキと同時に通信教育部に送付してください。

2）同時に送付できない場合は，病院に予約などをしたうえで，申込ハガキ・オモテ面に受診〔予定〕日を記入し，証明書は事前指導スクーリング初日に持参してください。

3）数値のみではなく，「はしか」の抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書を送

付してください。

4）原紙は必ず各自で保管し，実習校から提出を求められたら，いつでも提出できるようにしておいてください。

また，実習中に感染が疑われる症状（37.5度以上の発熱　咳・鼻水などの初期症状など）が出た場合は，実習先および通信教育部教職免許係までご連絡のうえ，欠席をお願いします。医療機関による診察の結果，自身が「麻疹（はしか）」と判明した場合，大至急，実習先および通信教育部までご連絡ください（解熱後3日間外出禁止）。実習先に個人の罹患情報を提供する場合もありますので，ご了承ください。万一，実習先が休校・立ち入り禁止になってしまった場合も，通信教育部までご連絡ください。

## 「インフルエンザ」の対策について

p.173をお読みいただき，対策を行ってください。

## 大地震時の対応について

万一，実習中に大きな地震に見舞われた際の対応はp.183をご覧ください。

# 特別支援教育支援員概論

科目コード●050771

担 当 教 員● 庭野賀津子(左)
鳴海　宏司(右)

| 2単位 | SR | 2年以上 |
|---|---|---|

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択B |

## 科目の内容

特別支援教育支援員を目指している方，あるいはすでに現職にある方に，特別支援教育支援員の業務を遂行する上で必要な基礎知識を学んでいただくための科目です。特別支援教育支援員の心構え，業務内容，特別支援教育，学校現場，各障害の特性等の基礎的事項と支援技術を習得することをねらいとしています。特別支援教育支援員のみならず，教師，保育士，一般の方々にも役立つ内容となっています。

## 教 科 書

庭野賀津子編『特別支援教育支援員ハンドブック』日本文化科学社，2010年

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 教科書第1章をよく読み，特別支援教育支援員に求められる役割と心構えについて，あなたの考えも含めてまとめなさい。 |
| 2単位め | 教科書第3章で解説されている8つの障害の中から，特にあなたが興味を持っている障害2つを取り上げ，参考文献も参考にしながら，①障害の特性，②支援をする上で配慮する事項について，まとめなさい。 |

## アドバイス

**1単位め 解説**

特別支援教育支援員は教育現場である幼稚園や学校で直接幼児児童生徒の支援に当たる職ですが，教員とは違う役割が求められます。教科書をよく読んで役割や心構えについて知るとともに，自分が特別支援教育支援員になった場合，どのような点について気をつけていきたいかを考えてレポートをまとめてください。すでに現職にある方は自身の経験もふまえながらまとめてみてください。

2単位め
**解説**

教育現場で幼児児童生徒に対して適切な支援を展開していくためには，まずは対象児の障害の特性を知り，支援ニーズに応じた的確な支援方法を考えなければなりません。そのためにも，教科書に記載されてあることをベースとして，さらに参考文献によってより障害についての理解を深めておきましょう。参考文献については第 3 章の各項の末に挙げられていますが，それ以外の参考図書を用いてもかまいません。なお，レポートの最後には，必ず，参考とした図書名をあげてください。

## 参考図書

教科書の各章，項の最後に参考図書があげられていますので，それらを参照してください。

# レクリエーション・インストラクター関連科目

## レクリエーション概論

科目コード●050280

担当教員● 金山内 義信(左) 直子(右)

2単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉 選択　社会教育 選択B　福祉心理 選択B

### 科目の内容

レクリエーション活動・支援分野について専門的に修得するには，幅広い環境や対象者，状況に対しての汎用性を深める必要性があります。本講ではまず，活動や支援の目的を明瞭化したうえで，レクリエーションの実践に必要な知識や方法について学習します。それらを理解したうえで，地域貢献という視点から，市民活動とボランティア活動についての意義を理解し，レクリエーション支援方法の幅広さ，対象者の主体性を重んじる姿勢や具体的な行動支援について考察を深めます。

### 教科書

財団法人日本レクリエーション協会編『レクリエーション支援の基礎』

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1 単位め | レクリエーション支援における主目的をまとめたうえで，レクリエーションの実践が及ぼす対人的効果について述べ，さらに支援者としてのレクリエーションの在り方についてあなたの意見をまとめなさい。 |
| 2 単位め | 地域とレクリエーションについてあなたの身のまわりでの事例をあげながら，人々が共創するその繋がりと，地域貢献を視野に入れた定着の意義について簡潔に論述しなさい。<br>**※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題** |

## アドバイス

**1単位め 解説**

本課題では，レクリエーション運動における歴史と背景を学び，支援の実践に必要な知識や方法論について考察を深め，レクリエーション支援に必要な基礎的概要と行動支援について理解を深めることをねらいとしています。

そのねらいを達成するためのポイントは，テキストを熟読したうえで，レクリエーション支援そのものの「意義」について洞察することが必要となります。この講座習得のねらいは，レクリエーションの基本的理論を踏まえ，実生活の場面や高齢社会，少子化社会になぞらえ，それぞれのライフステージでの意義を考えることにあります。したがって，レポート課題の内容は，①レクリエーション支援の目的を明瞭化し，②地域に在住する子どもから高齢者，障がい者への支援活動の意義を理解し，③汎用性のある具体的な行動支援について考察を深める，ことを段階的に進められるよう構成してあります。課題を簡潔にまとめる作業を効率的に進めると同時に，幅広い支援方法の視野を広げるため，レクリエーション関係資料なども有効に活用しながら，学習を進めて下さい。

**2単位め 解説**

本課題では，「地域とレクリエーション」をテーマとして考察を深めて頂くことを目的としています。理論的な考え方から，現場を意識した支援をイメージして頂き，あなたの身の回りで実践されているレクリエーション支援を意識して観察してみましょう。それらの概要の中から，本来，レクリエーション支援が目指すべき方向性と果たすべき役割について，あなたの考えを含めて論じてください。人と人との繋がりや，地域における啓蒙，啓発も，さまざまなライフステージにおいて定着させるには必要不可欠なことです。テキストの「Ⅱ レクリエーション支援論」第 4 章を中心に参考にすると良いでしょう。

# レクリエーション実技

科目コード●050281

担当教員● 金山内吉澤 義信(左) 直子(中) 秀晃(右)

| 2単位 | SR | 3年以上 |
|---|---|---|

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択B |

## 科目の内容

レクリエーション実技では，コミュニケーション・ワークが最も重要なテクニックとされています。関連科目となるレクリエーション事業を習得する前段階として，ホスピタリティトレーニングやアイスブレーキング等の基本的技法を概説します。実際のレクリエーション支援においては，目的に合わせたレクリエーション・ワークと活動や種目，素材の選択が重要な要素となります。対象者間の相互作用を鑑みたうえで，活動・種目・素材の生きた活用が必要不可欠となり，心地よい刺激を享受できるようなアレンジや工夫が要されます。

さらに本学通信教育部におけるレクリエーション実技の特色は，わが国固有の伝統的文化，運動文化である武道を実技内容に盛り込んでいることであり，生涯的な活動としても老若男女が共に楽しみながら，幅広く活動できる内容も習得できます。

## 履修登録条件

この科目は，「レクリエーション概論」をすでに履修登録済みか，同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

## 教　科　書（「レクリエーション概論」と共通のため，この科目での教科書配本はありません）

財団法人日本レクリエーション協会編『レクリエーション支援の基礎』

## レポート課題

| | |
|---|---|
| 1単位め | 目的に合わせたコミュニケーション・ワーク「相互作用の活用方法」について述べなさい。 |
| 2単位め | 対象者に合わせたコミュニケーション・ワーク「対象に合わせたアレンジ法」について述べなさい。 |

## アドバイス

**1単位め 解説**

「相互作用」とは対象者間の「関係性」を指します。したがって，対象者間に生まれる円滑な関係性の引き出し方と活用方法について，実技体験を踏まえて考察してみてください。対象者に見られた変容過程や段階的に主体性が生まれてくる様子を観察することで，個の活動そのものが，支えあう集団的活動に移行していく様相を見逃さないことが大切です。

**2単位め 解説**

より効果的なレクリエーション支援を行うために必要な，活動・種目・素材を対象者にふさわしいように「アレンジ」することは，対象者の意欲を向上させ，かつ主体的な取り組みの達成には欠かせません。基本となるアレンジ法から応用するアレンジの技法について，学びを深めましょう。

# レクリエーション事業

科目コード●050282

担当教員● 金山内 義信(左) 直子(右)

**1** 単位 | **実習科目** | **3** 年以上

| 社会福祉 | 社会教育 | 福祉心理 |
|---|---|---|
| 選　択 | 選択B | 選択B |

## 科目の内容

本課程において，「公認指導者資格　レクリエーション・インストラクター」（公益財団法人日本レクリエーション協会）を取得する者は，地域において実施されているレクリエーション支援に関わる事業に 3 回以上参加することが必須となります。

レクリエーション事業は，いわゆる理論的，実技的学習の総合的演習を体系化したものです。具体的にはさまざまなワークが顕在し，対象を想定した支援「コミュニケーション・ワーク」としてのホスピタリティトレーニングやアイスブレーキングの提供や事業の展開方法，アセスメントに基づいたプログラム計画，安全管理といったものがその主を成します。本講では，課程認定の指定を受けたレクレーションに関係する各種の事業に実際に参画し，「事業にかかわるスタッフの様子」，「支援者の役割」，「事業のプロセスの理解」，「事業の企画運営や実施方法」等を事業に参加して学ぶ「事業参加」の形態と，実際に運営スタッフとして事業に参加する「スタッフ参加」の二つの形態があります。

インストラクターの役割を理解し総合的に実践力を身につけるためには，「事業参加」・「スタッフ参加」の両方に参加することが望ましいと思います。

## 履修登録条件

この科目は，「レクリエーション実技」をすでに履修登録済みか，同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

## 「事業参加」開始条件

「レクリエーション実技」のスクーリングを受講・合格済みであること。
（単位修得ではありません）

詳細については，レクリエーション実技のスクーリングの際にご説明いたします。

## 教科書（「レクリエーション概論」「レクリエーシィン実技」と共通のため，この科目での教科書配本はありません。）

財団法人日本レクリエーション協会編『レクリエーション支援の基礎』

## レポート課題（レクリエーション事業参加後の課題）

| | |
|---|---|
| 1 単位め | レクリエーション事業の考え方について述べよ。 |

## アドバイス

本講では，概論では見えにくい「実践における実技的」学習の習得にねらいを置いています。したがって，コミュニケーション・ワークとしてのホスピタリティトレーニングやアイスブレーキング等の専門的技法が，さまざまな局面や対象者の年齢層，雰囲気等によって，形態を変えながら展開されてきます。実際のレクリエーション支援の場面に自らを置くことで，主体である対象者や支援者の立場に立つことにより，レクリエーション支援そのものの本質について考察を深めてください。

各都道府県レクリエーション協会ホームページ掲載のレクリエーション協会主催イベントの中から選択できます。

○事業参加……地域におけるレクリエーション事業への参加（参加者として参加する）
事業参加では参加費用がかかる場合があります。

○スタッフ参加……レクリエーション事業への運営スタッフ（主催者のメンバーの一員）として事業へ関わる
「スタッフ参加」はイベント当日を含めて 3 回以上参加することを原則とします。

通信教育で学ぶことを決意されたみなさまは，多くの本を読み，知識として得たこと，自ら考えたことを「レポート」という形にまとめていくことが，これからの学習活動の中心になります。

この『レポート課題集』は，一般の大学の授業と同じ働きをするものです。その科目で何を学んでほしいかの「科目の内容」，レポート課題に取り組むにあたっての「アドバイス」などには，担当の先生方からみなさまへのメッセージが込められています。

今後学習を進めていくなかで，時には本の内容がまったく頭に入らなかったり，レポート用紙を前に何を書けばよいかととまどったりすることがあるかもしれません。そんなときは，ちょっと一休みしたあと，この『レポート課題集』のなかにある担当の先生方からのアドバイスをもう一度読んで，取り組みやすそうな課題から再び学習を始めてください。

学問とは難しそうに感じることもありますが，人間が考えたことです。必ず理解できるはずです。どうしてもわからないときは，「質問票」を使って担当の先生に質問をすることもできます。

みなさまがこの『レポート課題集』を存分に活用し，学習を順調に進めていかれることを願っています。

**レポート課題集 2013** 心理・教職編

2012年 8 月 1 日　　初版発行

発　　行　　東北福祉大学通信教育部
〒981-8522（本学専用）　仙台市青葉区国見1-8-1
電話 022-233-2211　　http://www.tfu.ac.jp
印刷・製本　今野印刷株式会社

©Tohoku Fukushi University 2012　　Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは，著作権法上の例外を除き，禁じられています。

# 卒業研究ガイダンス・面接指導　申込書

FAX・電子メール可（郵送・FAXの場合はコピーして使用してください）

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ<br>氏　名 | | 学籍番号 | T |

| | | |
|---|---|---|
| 現住所 | 〒　　－ | 電話 |
| | | FAX |
| | | 携帯 |
| | | Eメール |

■事前相談・2回めガイダンス（指導教員決定前）

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 取り組んでみたいテーマ（簡単で可） | | | | | | | | |
| 第1希望 | 月 | 日 | （　） | 時間 | ： | ～ | ： | |
| 第2希望 | 月 | 日 | （　） | 時間 | ： | ～ | ： | |
| 第3希望 | 月 | 日 | （　） | 時間 | ： | ～ | ： | |
| 指導希望教員（あれば） | 先生 | | | | | | | |

■面接指導（指導教員決定後）

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指導教員 | 先生 | | | | | | | |
| 第1希望 | 月 | 日 | （　） | 時間 | ： | ～ | ： | |
| 第2希望 | 月 | 日 | （　） | 時間 | ： | ～ | ： | |

■連絡事項／相談・質問内容

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| （記入しないで下さい） | 決定日 | | 教員 | 教員連絡 | 学生連絡 | 備考 |
| | ／ | ／ | | | | |

B5判（またはA4判）用紙にコピーして使用してください

# 介護実習　登録カード

郵送（FAX不可）・三ツ折可

「介護実習事前事後指導」（23年度以降入学者は合わせて「介護技術」も）のスクーリング受講を下記のとおり希望します。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2013年 | 1／12～14 | ◌ | 2014年 | 1／11～13 | ◌ | 2015年以降受講予定 | ◌ |
| | 7／13～15 | ◌ | | 7／19～21 | ◌ | | |

「介護実習」の受講条件を満たす（見込を含む）ので，「介護実習」先依頼に関する書類の送付を希望します。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| フリガナ<br>氏　名 | | 学籍番号 | T | 生年月日 | 昭和<br>平成　　年　月　日　男<br>女 |
| 現住所 | 〒　　－ | 電話 | | | |
| | | FAX | | | |
| | | 携帯 | | | |
| 勤務先 | 名称 | Eメール | | | |
| | 〒　　－ | | | | |
| | | 電話 | | | |

| | |
|---|---|
| 教員免許状取得の方法 | 学歴 |
| 5条別表1　　6条別表4 | 大学卒業　短大卒業　専修学校専門課程卒業　その他 |

所持している免許状・資格　社会福祉士・介護福祉士・ホームヘルパー（1級・2級・3級）

教職免許状　幼・小・中（　　）・高（　　）一種・二種・専修

| | |
|---|---|
| 介護実習受入れ先 | 福祉科免許状を希望する理由 |
| 1　自分で確保できる見込みがある<br>予定施設名<br><br>施設種別<br><br>2　現時点では見込みはないが，自分で確保する<br><br>3　本学関連施設での実習を希望 | |
| 実習希望時期（予定）<br>年　　月ごろ | |

実習免除希望（ある場合右に○を付ける）　◌　下記の理由に該当するので免除を希望

理由　介護福祉士の資格を厚生労働省が指定した大学・短期大学で取得

（記入しないでください）

| | 履修条件 | 学年 | 履修登録 | 事前課題 | 入金 | 出席 | 評価 | 免除 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5別1　6別4 | 可　保　不 | | | ／ | | | | |

B5判（またはA4判）用紙にコピーして使用してください

# 障害者教育実習の事前指導スクーリング受講免除　希望届

私は，将来教職につくことを強く希望しており，現在，または以前に特別支援学校の教員として３カ月以上良好な成績で勤務し，教員としての素質･熱意を有しているので，障害者教育実習受講までに必要な「障害者教育実習の事前・事後指導」事前指導スクーリングの受講免除を希望します。

つきましては，事前指導スクーリング受講免除申請のための書類等の発送をお願いいたします。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| フリガナ<br>氏　名 | | 学籍番号 | T | 生年月日 | 昭和<br>平成　　年　　月　　日 | 男<br>女 |

| | | |
|---|---|---|
| 現住所 | 〒　　－ | 電話 |
| | | FAX |
| | | 携帯 |
| | | Eメール |

| | | |
|---|---|---|
| 勤務先 | 名称 | |
| | 〒　　－ | |
| | | 電話 |
| 勤務時期 | 年　　月　～　　年　　月（　　年　　ヶ月） | |

勤務先の主たる領域（複数可）に○をしてください。

知的障害　・　肢体不自由　・　病弱　・　聴覚障害

免除を希望する事前指導スクーリング（受講条件達成は別途必要です）

平成＿＿年３月下旬・７月下旬～８月上旬（どちらかに○）

実習希望時期（予定）

平成＿＿年５月～９月・10月～翌年２月（どちらかに○）実習受講希望

障害者教育実習受講までに必要な科目の学習計画

単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を，単位未修得の科目はレポート・科目修了試験・スクーリングの欄に合格している箇所には○を，提出して結果待ちの箇所には△を，これからのものは何月に提出・受験・受講予定かを記入してください。履修不要な科目には「単位修得済」欄に×を記入してください。

| 科目名 | 単位修得済 | レポート1 | レポート2 | レポート3 | レポート4 | 科目修了試験 | スクーリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 障害者教育総論 | | | | ＼ | ＼ | | |
| 知的障害者の心理 | | | | ＼ | ＼ | | |
| 知的障害者の生理･病理 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 肢体不自由者の心理，生理･病理 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 病弱者の心理，生理･病理 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 知的障害教育 | | | | | | | |
| 肢体不自由教育 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 病弱教育 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |

| 科目名 | 単位修得済 | レポート1 | レポート2 | レポート3 | レポート4 | 科目修了試験 | スクーリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 重複障害教育総論 | | | | ＼ | ＼ | | |
| (軽度)発達障害教育総論 | | | | ＼ | ＼ | | |
| 視覚障害教育総論 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| コミュニケーション障害教育 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 聴覚障害者の心理 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 聴覚障害者の生理･病理 | | | | ＼ | ＼ | | |
| 聴覚障害教育 | | | | | | | |

（記入しないでください）

| | 履修条件 | 学年 | 履修登録 | 課題 | 合格 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教免有　無 | 可　保　不 | | | ／ | | |

B５判（またはＡ４判）用紙にコピーして使用してください

# 教育実習　登録カード

郵送（FAX不可）・三ツ折可

私は，①将来教職につくことを強く希望しており，②現時点で教育実習先に内諾を得るための依頼状発行のための単位修得を終え，③教育実習受講までに必要な科目の単位修得が見込めるため，高等学校教諭一種免許状（福祉）の授与に必要な「教育実習」の受講を下記の期間中に希望しています。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| フリガナ<br>氏　名 | | 学籍番号 | T | 生年月日 | 昭和<br>平成　　年　月　日 | 男<br>女 |

| | | |
|---|---|---|
| 現住所 | 〒　－ | 電話 |
| | | FAX |
| | | 携帯 |
| 勤務先 | 名称 | Eメール |
| | 〒　－ | |
| | | 電話 |

教育実習の事前指導スクーリング受講予定（スクーリングの申込みは別途必要です）

平成＿＿年３月下旬　受講予定

実習希望時期（予定）

平成＿＿年５月～翌年２月　実習受講希望

依頼状発行の前提科目の単位修得状況（単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を，他大学で修得済の場合は「他」と記入してください）

| 科目名 | 単位数 | 単位修得済 |
|---|---|---|
| 教育原理 | 4 | |
| 教職論 | 2 | |
| 教育心理学 | 2 | |
| 福祉科の指導法 | 4 | |
| 高齢者福祉論 | 2 or 4 | |
| 児童(・家庭)福祉論 | 4 | |
| 障害者福祉論 | 4 | |
| 介護概論 | 2 or 4 | |

※上記８科目が単位修得済にならないと，この登録カードは提出できません。

教育実習受講までに必要な科目の学習計画
（単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を，他大学で修得済の場合は「他」と，未修得の科目はレポートや試験の欄に合格している箇所は○を，提出して結果待ちの科目は△を，これからのものは何月に提出・受験・受講予定かを記入してください）

| 科目名 | 単位数 | 単位修得済 | レポート1 | 2 | 3 | 4 | 科目修了試験 | スクーリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 法の基礎（日本国憲法を含む） | 4 | | | | | | | |
| 健康科学 | 2 | | | | | | | |
| コミュニケーション英語 | 2 | | | | | | | |
| 情報処理Ⅰ | 2 | | | | | | | |
| 高等学校教育課程の意義と編成 | 2 | | | | | | | |
| 教育方法論（視聴覚教育等を含む） | 2 | | | | | | | |
| 生徒指導論（進路指導を含む） | 2 | | | | | | | |
| 社会福祉原論（職業指導を含む） | 4 | | | | | | | |
| H20年度以前入学者<br>社会福祉援助技術論Ⅰ | 2 | | | | | | | |
| H20年度以前入学者<br>社会福祉援助技術論Ⅲ | 2 | | | | | | | |
| H21年度以降入学者<br>社会福祉援助技術総論 | 4 | | | | | | | |
| H21年度入学者<br>福祉心理学 | 2 | | | | | | | |
| H23年度以降入学者<br>介護技術 | 2 | | | | | | | |
| 介護実習事前事後指導 | 1 | | | | | | | |
| 介護実習 | 2 | | | | | | 実習受講　年　月 | |

（記入しないでください）

| | 履修条件 | 学年 | 履修登録 | 事前課題 | 合格 | 出席 | 評価 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5別1　6別4 | 可　保　不 | | | ／ | | | | |

B5判（またはA4判）用紙にコピーして使用してください

# 卒業研究　申込用紙

※提出締切①：４月５日　②：10月５日

郵送（FAX不可）・三ツ折可

※希望者は別途「卒業研究」の履修登録を忘れずに行ってください。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| フリガナ<br>氏　名 | | 学籍番号 | T | 生年月日 | 昭和<br>平成　年　月　日　男<br>女 |
| 現住所 | 〒　－ | 電話 | | | |
| | | FAX | | | |
| | | 携帯 | | | |
| 勤務先 | | Eメール | | | |
| テーマ・論題 | | | | | |
| 現時点の主旨と構想（箇条書きでもよい） | ※書き切れない場合は別紙に記入・添付してください | | | | |
| 研究の方法（予定） | 未定　文献研究　アンケート（対象）　インタビュー（対象）<br>その他 | | | | |
| 質問（あれば） | | | | | |
| 指導を希望する教員 | なし | 第１希望 | 先生 | 第２希望 | 先生 |

| （記入しないで下さい） | 履修条件 | 指導教員 | 面１ | 面２ | | 通１ | 通２ | 通３ | | 許１ | 許２ | 取消 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 可　不可 | | | | | | | | | | | |

B５判（またはＡ４判）用紙にコピーして使用してください

# 障害者教育実習　登録カード（新法）

郵送（FAX不可）・三ツ折可

私は，①将来教職につくことを強く希望しており，②現時点で障害者教育実習先に内諾を得るための依頼状発行のための単位修得を終え，③障害者教育実習受講までに必要な科目の単位修得が見込めるため，特別支援学校教諭一種免許状の授与に必要な「教育実習」の受講を下記の期間中に希望しています。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| フリガナ<br>氏　名 | | 学籍番号 | T | 生年月日 | 昭和<br>平成　　年　月　日 | 男<br>女 |

| | | |
|---|---|---|
| 現住所 | 〒　－ | 電話 |
| | | FAX |
| | | 携帯 |
| 勤務先 | 名称 | Eメール |
| | 〒　－ | |
| | | 電話 |

障害者教育実習の事前指導スクーリング受講予定（スクーリングの申込みは別途必要です）

平成＿＿年３月下旬・７月下旬～８月上旬（どちらかに○）

実習希望時期（予定）

平成＿＿年５月～９月・10月～翌年２月（どちらかに○）実習受講希望

障害者教育実習受講までに必要な科目の学習計画

単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を，単位未修得の科目はレポート・科目修了試験・スクーリングの欄に合格している箇所には○を，提出して結果待ちの箇所には△を，これからのものは何月に提出・受験・受講予定かを記入してください。履修不要な科目には「単位修得済」欄に×を記入してください。指定４科目の単位修得済を確認後，内諾を得るための依頼状を発行します。

| 科目名 | 単位修得済 | レポート1 | レポート2 | レポート3 | レポート4 | 科目修了試験 | スクーリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 障害者教育総論 | | | | ＼ | ＼ | | |
| 知的障害者の心理 | | | | ＼ | ＼ | | |
| 知的障害者の生理・病理 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 肢体不自由者の心理，生理・病理 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 病弱者の心理，生理・病理 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 知的障害教育 | | | | | | | |
| 肢体不自由教育 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 病弱教育 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |

| 科目名 | 単位修得済 | レポート1 | レポート2 | レポート3 | レポート4 | 科目修了試験 | スクーリング |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 重複障害教育総論 | | | | ＼ | ＼ | | |
| (軽度)発達障害教育総論 | | | | ＼ | ＼ | | |
| 視覚障害教育総論 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| コミュニケーション障害教育 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 聴覚障害者の心理 | | | | ＼ | ＼ | | ＼ |
| 聴覚障害者の生理・病理 | | | | ＼ | ＼ | | |
| 聴覚障害教育 | | | | | | | |

所持している教職免許状

幼・小・中（教科名　　）・高（教科名　　）一種・二種・専修

実習希望校との関係　現時点であてはない　上司・同僚の紹介予定　希望校の教職員を知っている　その他

（記入しないでください）

| | 履修条件 | 学年 | 履修登録 | 事前課題 | 合格 | 出席 | 評価 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教免有　無 | 可　保　不 | | | ／ | | | | |

B5判（またはA4判）用紙にコピーして使用してください

TOHOKU
FUKUSHI
UNIVERSITY